

高砂ポンプ場耐震補強工事特記仕様書																																													
<p>総 則</p> <p>工 事 概 要</p> <table border="1"> <tr> <td>1. 工事場所</td> <td>四日市市尾上町 地内</td> </tr> <tr> <td>2. 工事種目</td> <td>雨水ポンプ棟・汚水ポンプ棟耐震補強工事</td> </tr> </table> <p>1. 共通仕様</p> <p>(1) 図面及び特記仕様に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(平成28年版)」(以下「改修標仕」という。)による。ただし、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(平成28年版)(以下「標仕」という。)による。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>(1) 項目は、○印の付いたものを適用する。  (2) 特記事項は、ⓐ印の付いたものを適用する。  ⓐ印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  ⓐ印とⓑ印の付いた場合は、共に適用する。  (3) 特記事項に記載の〔 . . . 〕内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。  (4) 特記事項に記載の(標 . . . )内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>部分完成 . . . 有 ( )  部分引渡し . . . 有 ( )</p> <p>1) 保険及び保証</p> <p>○建設工事保険 (保険証の写しを提出)  ○請負業者賠償責任保険 (保険証の写しを提出)  (○管理財物担保特約に加入のこと)</p> <p>. 任意にて加入  下記の制度について加入すること。  ○法定外労災保証制度 (加入証明書の写しを提出)  ○建設業退職金共済制度 当初の請負金額が500万円以上の場合は、掛金納書を提出すること。また、増額の契約変更があった場合についても、その分を提出すること。 共済証紙購入額 請負金額の 1/1000以上  なお、他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は、理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする  . 任意にて加入  ※資材の購入及び下請け業者の選定に際しての留意事項  資材の購入及び工事の一部を下請け業者にして施工する場合、業者の選定に際しては、出来る限り市内業者を優先させること。</p>				1. 工事場所	四日市市尾上町 地内	2. 工事種目	雨水ポンプ棟・汚水ポンプ棟耐震補強工事																																						
1. 工事場所	四日市市尾上町 地内																																												
2. 工事種目	雨水ポンプ棟・汚水ポンプ棟耐震補強工事																																												
7 交通安全管理	8 建築材料等	9 化学物質を発生する建築材料等	<p>※ 廃棄物管理票(マニフェスト)確認表を作成し、監督職員にA票及びD票もしくはE票の確認を受けるものとする。ただし、電子情報処理組織に登録(電子マニフェスト)により確認を行う場合は、この限りではない。  ※建設発生土(50m3以上)を搬出する場合は、書面にて処分地の報告(位置図等)を行うこと。  また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。  交通誘導員 ※配置する 名以上(大型車の出入は必ず) ・配置しない [1.3.9]  ※本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又は同等のものとする。  ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。  ・品質及び性能を試験により証明を求めた材料は以下の物とする。 [1.4.5]  本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。  1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、パーティクルボード、MDF、その他木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗料は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。  2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。  3) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンキシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。  4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。  5) 1)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。  また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。  規制対象外  ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品  ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品  ③下記表示のあるJAS規格品  a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用  b.接着剤等不使用  c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用  d.ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用  e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用  f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用  第三種  ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品  ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品  ③旧JISのE0規格品  ④旧JASのFco規格品  改修標仕、標仕に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。  ※適用する ○適用しない [1.6.2]  ・鉄筋施工 ・型枠施工 ・鉄工 ・塗装 ・左官  ※防水施工 ・建築大工 ・サッシ施工 ・内装仕上げ施工  施行完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン [1.6.9]  エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン、スチレンの濃度を測定し報告すること。  測定は、パンプ型採集機器により行う。  着工前測定 ・行う ・行わない  測定対象室 ・図示 ・  測定箇所数 ・図示 ・  採取方法 ・文部科学省の定めるところによる。 ・  報告書の様式 濃度測定記録表の記載事項は、次のとおり  1. 工事名 2. 測定年月日 3. 天候 4. 測定前の換気及び閉鎖時間  5. 測定時間 6. 室名と測定時間 7. 測定器具  8. 化学物質採取方法 9. 分析装置</p> <p>⑩ 特別な材料の工法  ⑪ 技能士</p> <p>12 化学物質の濃度測定</p> <p>⑬ 完成図</p> <p>○提出する ※提出しない [1.8.1~1.8.3]  種類 ※改修標仕 表1.8.1による ・  ・配置図及び案内図 ・各階平面図  ・各立面図 ・断面図  ・仕上表 ・施工図  ・施工計画書 ・</p> <p>※CADデータの提出 ※提出する ・提出しない  ・保全に関する資料 提出部数 ※1部 ・</p> <p>工事記録については以下による。(A4版)  ※工事着手前写真 1部  ※工程写真 各工程毎 1部  ※竣工写真 ※内部、外部 2部  ※工事の各記録写真については、デジタル画像にて整備編集を行うよう努めること。  ※工事日報・納品伝票等の写しは、監督職員が提出を求めた場合は提出すること。</p>																																										
15 設備工事との取合い	16 設計GL	17 完成引渡し後の点検	<p>施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強  ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強  ※図示のベンチマーク(B.M) mm (現状地盤はB.M mm)  かし期間は、別に定めた特約(責任施工による保証期間など)を除き、四日市市工事請負契約書に準拠する。  ・工事完成引渡し後、必要に応じて一年又は二年を超えない範囲の適当な時期に、双方立ち会いで工事目的物のかし点検を実施する。  予定価格(税込)3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第8条第6項の規定により、発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受検すること  公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めにより、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、警備事業者についても記載すべき下請負の範囲に含むものとする。</p> <p>⑬ 随時検査</p> <p>⑭ 施工体制台帳の提出</p>																																										
2章 仮設工事	1 足場その他	2 養生その他	3 仮設間仕切り	<p>4 監督職員事務所</p>																																									
3章 防水改修工事	1 既存下地の補修及び処置	2 アスファルト防水	3 改質アスファルトシート防水	<p>※図示による [3.2.6]  既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 ・する ・しない</p> <p>[3.3.2~3][表3.1.1][表3.3.3~3.3.10]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>防水改修工法の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>新規防水層の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトの種類 ※3種 ・ 押え金物 ※アルミニウム製(L-30x15x2.0程度)  脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量 ( )箇所  改修用ドレン ※設ける ( 箇所) ※鋼製 ・鉛製 ・設けない [3.2.5]  屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材  材質 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付き)  ・A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b(スキンあり)  厚さ(mm) ※35  屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材  材質 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号  ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号  厚さ(mm) ※35  乾式保護材 製造所の仕様による・  防水保護のれんがの種類 ※市販品のレンガ又は市販品のレンガ形コンクリートブロック  仕上塗装 (P2A, M3D, POD, POD1, M3D1, M4D1, 工法) ※種類および使用量は製造所の仕様による  施工標識 ※設ける ・設けない <p>[表3.1.1][3.4.2~3][表3.4.1~3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>防水改修工法の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>新規防水層の種類(厚さmm)</th> <th>仕上塗料等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・  脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量 ( )箇所  露出防水絶縁断熱工法に用いる断熱材 ・製造所の指定する製品  ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号  ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号  施工標識 ※設ける ・設けない </td></tr></tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>※産業廃棄物税  本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求することができる。</td> <td>※暴力団等による不当介入に関する事項  1. 契約の解除  四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱(平成20年四日市市告示第28号)  第3条又は第4条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。</td> <td>2. 暴力団等による不当介入を受けたときの義務  (1) 不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。  (2) 契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。  (3) (1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td colspan="3">平成30年度公共下水道事業</td> </tr> <tr> <td>工事名</td> <td colspan="3">高砂ポンプ場耐震補強工事</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td colspan="3">四日市市尾上町 地内</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td colspan="3">特記仕様書(1)</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>—</td> <td>設計年月日</td> <td>平成30年1月</td> </tr> <tr> <td>工種</td> <td></td> <td>設計者</td> <td>オリジン設計株式会社</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>四日市市</td> <td>図面番号</td> <td>A-1/87</td> </tr> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	アスファルトの種類 ※3種 ・ 押え金物 ※アルミニウム製(L-30x15x2.0程度) 脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量 ( )箇所 改修用ドレン ※設ける ( 箇所) ※鋼製 ・鉛製 ・設けない [3.2.5] 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材 材質 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付き) ・A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b(スキンあり) 厚さ(mm) ※35 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 材質 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号 厚さ(mm) ※35 乾式保護材 製造所の仕様による・ 防水保護のれんがの種類 ※市販品のレンガ又は市販品のレンガ形コンクリートブロック 仕上塗装 (P2A, M3D, POD, POD1, M3D1, M4D1, 工法) ※種類および使用量は製造所の仕様による 施工標識 ※設ける ・設けない <p>[表3.1.1][3.4.2~3][表3.4.1~3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>防水改修工法の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>新規防水層の種類(厚さmm)</th> <th>仕上塗料等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・  脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量 ( )箇所  露出防水絶縁断熱工法に用いる断熱材 ・製造所の指定する製品  ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号  ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号  施工標識 ※設ける ・設けない </td></tr></tbody> </table>	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類(厚さmm)	仕上塗料等	仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・ 脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量 ( )箇所 露出防水絶縁断熱工法に用いる断熱材 ・製造所の指定する製品 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号 施工標識 ※設ける ・設けない	※産業廃棄物税 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求することができる。	※暴力団等による不当介入に関する事項 1. 契約の解除 四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱(平成20年四日市市告示第28号) 第3条又は第4条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。	2. 暴力団等による不当介入を受けたときの義務 (1) 不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。 (2) 契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。 (3) (1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td colspan="3">平成30年度公共下水道事業</td> </tr> <tr> <td>工事名</td> <td colspan="3">高砂ポンプ場耐震補強工事</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td colspan="3">四日市市尾上町 地内</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td colspan="3">特記仕様書(1)</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>—</td> <td>設計年月日</td> <td>平成30年1月</td> </tr> <tr> <td>工種</td> <td></td> <td>設計者</td> <td>オリジン設計株式会社</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>四日市市</td> <td>図面番号</td> <td>A-1/87</td> </tr> </table>	事業名	平成30年度公共下水道事業			工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事			工事場所	四日市市尾上町 地内			名称	特記仕様書(1)			縮尺	—	設計年月日	平成30年1月	工種		設計者	オリジン設計株式会社	事業主体	四日市市	図面番号	A-1/87
防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類																																											
アスファルトの種類 ※3種 ・ 押え金物 ※アルミニウム製(L-30x15x2.0程度) 脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量 ( )箇所 改修用ドレン ※設ける ( 箇所) ※鋼製 ・鉛製 ・設けない [3.2.5] 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材 材質 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付き) ・A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種b(スキンあり) 厚さ(mm) ※35 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 材質 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号 厚さ(mm) ※35 乾式保護材 製造所の仕様による・ 防水保護のれんがの種類 ※市販品のレンガ又は市販品のレンガ形コンクリートブロック 仕上塗装 (P2A, M3D, POD, POD1, M3D1, M4D1, 工法) ※種類および使用量は製造所の仕様による 施工標識 ※設ける ・設けない <p>[表3.1.1][3.4.2~3][表3.4.1~3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>防水改修工法の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>新規防水層の種類(厚さmm)</th> <th>仕上塗料等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・  脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量 ( )箇所  露出防水絶縁断熱工法に用いる断熱材 ・製造所の指定する製品  ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号  ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号  施工標識 ※設ける ・設けない </td></tr></tbody> </table>	防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類(厚さmm)	仕上塗料等	仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・ 脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量 ( )箇所 露出防水絶縁断熱工法に用いる断熱材 ・製造所の指定する製品 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号 施工標識 ※設ける ・設けない																																								
防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類(厚さmm)	仕上塗料等																																										
仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・ 脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量 ( )箇所 露出防水絶縁断熱工法に用いる断熱材 ・製造所の指定する製品 ・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ※A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号 施工標識 ※設ける ・設けない																																													
※産業廃棄物税 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求することができる。	※暴力団等による不当介入に関する事項 1. 契約の解除 四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱(平成20年四日市市告示第28号) 第3条又は第4条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。	2. 暴力団等による不当介入を受けたときの義務 (1) 不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。 (2) 契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。 (3) (1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td colspan="3">平成30年度公共下水道事業</td> </tr> <tr> <td>工事名</td> <td colspan="3">高砂ポンプ場耐震補強工事</td> </tr> <tr> <td>工事場所</td> <td colspan="3">四日市市尾上町 地内</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td colspan="3">特記仕様書(1)</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>—</td> <td>設計年月日</td> <td>平成30年1月</td> </tr> <tr> <td>工種</td> <td></td> <td>設計者</td> <td>オリジン設計株式会社</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>四日市市</td> <td>図面番号</td> <td>A-1/87</td> </tr> </table>	事業名	平成30年度公共下水道事業			工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事			工事場所	四日市市尾上町 地内			名称	特記仕様書(1)			縮尺	—	設計年月日	平成30年1月	工種		設計者	オリジン設計株式会社	事業主体	四日市市	図面番号	A-1/87														
事業名	平成30年度公共下水道事業																																												
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事																																												
工事場所	四日市市尾上町 地内																																												
名称	特記仕様書(1)																																												
縮尺	—	設計年月日	平成30年1月																																										
工種		設計者	オリジン設計株式会社																																										
事業主体	四日市市	図面番号	A-1/87																																										

3章 防水改修工事	4 合成高分子系ルーフィングシート防水	[表3.1.1][3.5.2~3][表3.5.1~2]
	5 塗膜防水	[表3.1.1][3.6.2~3][表3.6.1]
	6 保証期間	[3.2.6]
	⑦シーリング	[3.1.4][表3.1.2] [3.7.2][表3.7.1]
	8 と い	[3.8.2(a)] [3.8.2(b)][表3.8.2]
	9 アルミニウム製笠木	[3.9.2]
4章 外壁改修工事 (内装仕上共)	1 施工数量調査	[1.5.2]
	2 改修工法の種類	[4.1.4~5]
	3 ひび割れ部改修工事	[4.1.4][4.3.4]
	4 欠損部改修工事	[4.1.4][4.2.2][4.3.7]
	5 浮き部改修工事	[4.1.4][4.4.10~4.4.15][表4.4.3][表4.4.4]
	6 既存塗膜等の除去及び下地処理	[4.2.2][4.6.3]
	7 仕上げ塗材仕上	[4.1.4][4.2.2][表4.2.4~5]
	8 設計数量	[4.2.2][4.6.3]
	9 既存劣化部材の除去及び下地処理	[4.6.3][表4.6.1~4.6.5]
	10 下地調整材	[4.2.2][4.6.3]

4 欠損部改修工事	※充填工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7] 充填材料 ・ポリマーセメントモルタル(・モルタル面 ・コンクリート面 ・C/B面) ・エポキシ樹脂モルタル( ) ・モルタル塗替え工法(改修標仕4.2.2(g)による)
5 浮き部改修工事	改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) アンカーピン(本数(本/m <sup>2</sup> )) 注入工法の種類 (エポキシ樹脂注入工法) アンカーピン(本数(本/m <sup>2</sup> )) 注入工法の種類 (エポキシ樹脂注入工法)
6 既存塗膜等の除去及び下地処理	※狭幅部におけるアンカーピン本数は、幅中央に5本/mとする アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカーピン [4.2.2] 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径6mm
7 仕上げ塗材仕上	既存塗膜劣化部の除去及び下地処理の工法 [4.6.3][表4.6.1~4.6.5] 工 法 処 理 範 囲 下地面の補修 ①サンダー工法 ※既存仕上面全体 ②図示 ・ひび割れ部改修工法 ・高圧水洗工法 ※既存仕上面全体 ・浮き部改修工法 ・塗膜はく離剤工法 ※既存仕上面全体 ・欠損部改修工法 ・水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体
8 設計数量	下地調整材 [4.2.2][4.6.3] ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上げ塗材主材を使用 種類、仕上げの形状、工法 [4.1.4][4.2.2][表4.2.4~5] 種 類 呼 び 名 仕 上 の 形 状 ①薄付け仕上塗材 ②外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ③複層仕上塗材 ・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ④複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RS ・可とう形改修用仕上塗材 ・可とう形改修塗材E 菊水化学工業(株) 下塗り材「フワリコート」+上塗り材「ビニールシロ」 エスケー化研(株) 下塗り材「水性フワリコート」+上塗り材「水性シロ」 スズカファイブ(株) 下塗り材「フワリコート」+上塗り材「水性シロ」 上記同等品とする ※塗工法はローラー塗りとする ※塗工法及び塗布量はメーカー仕様による 尚、下塗り材の塗布量は薄塗を適用する
9 既存劣化部材の除去及び下地処理	外 壁 部 位 種 類 工 法 数 量 備 考 ・コンクリート打放し面 ・ひび割れ ※リカットシール材充填工法 ・欠損部 ※エポキシ樹脂モルタル充填工法 ・モルタル塗り仕上げ面 ・ひび割れ ※リカットシール材充填工法 ・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・欠損部 ※充填工法 ・浮き部 ※アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※上記数量については、現場調査を行い報告書を作成し、提出する。 尚、数量の10%を越える増減が生じた場合は協議の上、契約変更を行う事ができる。

5章 建具改修工事	①改修工事	・かぶせ工法 ②撤去工法(・引き抜き工法 ③はつり工法) [5.1.3]
	2 見本の製作等	・建具見本の製作 ・特殊な建具の仮組 [5.1.5]
	③アルミニウム製建具	外部に面する建具(フロントサッシは除く) [5.2.2][表5.2.1] 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工箇所 ・A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70 ※図示 ④B種 S-5 ・C種 S-6 A-4 W-5 ・100 表面処理 ※B-1種 ⑤B-2種(※ﾌﾞﾛｯｸ系 ⑥ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝﾍﾞｰ) [5.2.4][表5.2.2] 内部建具 [5.2.4][表5.2.2] 表面処理 ※C-1又はB-1種 ・C-2又はB-2種(※ﾌﾞﾛｯｸ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝﾍﾞｰ)
	4 網戸	防虫網 [5.2.3] 網の種類 ・ステンレス(SUS316)製 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 形 式 ※可動式 ・固定式
	5 樹脂製建具	外部に面する建具(フロントサッシは製造所の仕様による) [5.3.2][表5.3.1] 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工箇所 ・A種 S-4 ・B種 S-5 A-4 W-5 ※70 ※図示 ・C種 S-6 W-5 ・100 ・防音ドアセット及び防音サッシの適用 種別 ・T-A種 ・T-B種 [5.3.2][表5.3.2] ・断熱ドアセット及び断熱サッシの適用 種別 ・H-A種 ・H-B種 [5.3.2][表5.3.3]
	6 鋼製建具	簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない [5.4.1] 品質規格 ※改修標仕5.5.11による [5.5.2][5.5.4] ・製造所標準仕様による
	7 鋼製軽量建具	簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない
	8 ステンレス製建具	表面仕上げ ※H/L仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.2][5.6.4] 曲げ加工 ※普通まげ ・角出しまげ 簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない
	⑨建具用金物	マスターキー ・製作する ⑩製作しない [5.7.4] モノロック ゴール( ) 美和ロック( ) シリンダー箱錠 ゴール( ) 美和ロック( ) シリンダー本締り錠 ゴール( ) 美和ロック( ) ドアクローザー ダイハツディーゼル機器(大島機工、ニッカナ) 日本ドアチェック製造、美和ロック、リョービ フロアヒンジ 大島機工(ニッカナ、美和ロック)、日本ドアチェック製造、リョービ ヒンジクローザー 大島機工(ニッカナ、美和ロック)、日本ドアチェック製造、リョービ、デンセイオートテック 押板、取手 樹建工業、ユニオン
	10 自動ドア開閉装置	開閉方法 ※スライディングドア ・スイングドア [5.8.2][5.8.3][表5.8.1~5.8.3] センサーの種類 ・マットスイッチ ・光線スイッチ ・熱線スイッチ
	11 自閉式上吊り引戸装置	品質規格 ※改修標仕5.9.31による [5.9.3][表5.9.1] ・製造所標準仕様による
	12 重量シャッター	種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター [5.10.2][表5.10.1] ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター 開閉機能 ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.10.2] スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・溶融亜鉛めっき鋼板 [5.10.3] 形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] シャッターケース(防火・防煙以外のもの) ・設ける ・設けない 危害防止機構 ・障害物感知装置(自動閉鎖型) ・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの 耐風圧性能( ) N/m <sup>2</sup> (一般重量・外壁用防火のもの)
	13 軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.11.2][表5.11.1] スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.11.3] 形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.4] 耐風圧性能( ) N/m <sup>2</sup>
	14 その他のシャッター	・オーバーヘッドドア ・リンググレルシャッター

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	特記仕様書(2)		
縮尺	—	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-2/87

5章 建具 改修工事	⑮ ガラス	種類・厚さ ※ 建具表による [5.13.2]
	⑯ ガラスの留め材	種別(区分は図示による) [5.13.2][表5.13.1] ※シーリング材(SR-1, シュコン系, 9030G) ・ガスケツト 品質は、JIS A5759による ※ガラス飛散防止フィルム 種類(・第2種 ・ ) 張り面(※内張 ・外張) 性能値 ※飛散防止率D-1
6章 内装 改修工事	① 改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示による範囲 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示による範囲 天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修範囲 ※既存のまま ○ 図示による範囲
	② 既存床の撤去並びに 下地補修	ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) [6.2.2] ○下地モルタルとも(※図示の範囲 ○ 除去範囲全て) 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・図示 合成樹脂塗床の除去 ・機械的除去工法 ・目荒工法
	③ 既存壁の撤去 並びに下地補修	間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [4.4.9][6.3.2] ※図示 ・モルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の補強 ・行う ・行わない)
	4 木下地等	表面の仕上がり ・A種 ・B種 ・C種 [6.5.1][表6.5.1] 木材の含水率 ※A種 ・B種 [6.5.2][表6.5.2] 木材の品質 ※改修標仕6.5.2による ・市販品 [6.5.2][表6.5.3] 樹種 構造材 ※杉 ・松 ・ひのき 造作材 ※杉 ・松 ・ひのき 代用樹種 ※改修標仕6.5.4による [6.5.2][表6.5.4] ・代用樹種を適用しない箇所( ) 防蟻処理 ※行わない ・行う(箇所ー ) 木材保存(木材の防蟻・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。 ※9.0mm未満の合板上張り留め付けはタッカー留めとする。
	5 集成材等	集成材の材質 ※6.5.2(b)による ・ ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 集成材の等級 品名 規格・品質 芯材の樹種 施工箇所 ※集成材 ・一般材 ・たも ・なら ・しおじ ・構造用集成材 ・1種 ※2種 ・ ・造作用集成材 ※1等 ・2等 ・ ・化粧ばり造作用集成材 ※1等 ・2等 ・針葉樹単一樹種
	6 接着剤	※木工事に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6.5.2] ※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤の [6.8.2][6.14.2] ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種
	7 床板張り	フローリング及び縁甲板張り床 [表6.5.10] 下張り用床板 ※無し ・有り ※合板張り ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 床板 ※単層フローリング(標仕19.5.2による) ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 ・縁甲板 ※ひのき
	⑧ 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋内(※19形 ・25形) 屋外(※25形 ・19形) [6.6.2][表6.6.1] 既存の埋込みインサート ○使用する ・使用しない [6.6.4] あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う ○行わない 耐震補強 ・行う(図示) 屋外軒天井及びピロティ天井補強 ※図示
	9 軽量鉄骨壁下地	スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示
	10 ビニル床シート	工法 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所) [6.8.2][6.8.3] 種類 JISの記号 色柄 厚さ(mm) 備考 ※発泡層のないもの ※FS ・無地 ※マーブル柄 ・2.5 ※2.0 ・発泡層のあるもの ※柄物 ・無地 ・ 接着材 ※改修標仕6.8.1による ・エポキシ樹脂系
⑪ ビニル床タイル	[6.8.2] 種類 JISの記号 厚さ(mm) 備考 ※単層ビニル床タイル TT ※2.0 ・複層ビニル床タイル FT ・ ・コンポジションビニル床タイル KT ・ 接着材 ※改修標仕6.8.1による ・エポキシ樹脂系	

12 帯電防止ビニル 床タイル	[6.8.2] 種類 厚さ(mm) 性能 ※単層ビニル床タイル ※2.0 体積抵抗値 1.0x10 <sup>9</sup> Ω以下又は ・複層ビニル床タイル 漏えい抵抗値 1.0x10 <sup>10</sup> Ω以下 ・コンポジションビニル床タイル			
	視覚障害者用床タイル [6.8.2] 種類 寸法(mm) 施工箇所 ・塩化ビニル製 ※300×300 ・レジンコンクリート製 ・ ・磁器又はせっ器質タイル			
	高さ(mm) ※60 ○75 ・100 ・織じゅうたん [6.9.2][6.9.3][表6.9.1]			
	種別	パイル形状	色柄等	備考
	・A種	・カットパイル	※無地	
	・B種	・ループパイル	・柄物(標準品)	
	・C種	・カット、ループパイル併用	・	
	耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・ ・タフテッドカーペット [6.9.2][6.9.3][表6.9.2]			
	パイル形状	パイル長(mm)	工法	帯電性
	・カットパイル	※5～7	※全面接着工法	人体帯電圧
・ループパイル	※4～6	・グリッパー工法	※3kV以下	
・カット、ループパイル併用				
耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・ ・タイルカーペット [6.9.2][6.9.3][表6.9.2]				
パイル形状	種類	寸法(mm)	総厚さ(mm) 施工箇所	
・ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5	
・カットパイル				
・カット、ループ併用				
下敷き材 種類 ※第二種二号 厚さ 8.0mm				
[6.10.3][表6.10.4～表6.10.8] ⑬ 弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流し展べ仕上げ ・防滑仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ(※平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防滑) ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種				
[6.11.2～6.11.7][表6.11.1～表6.11.4] 種別 樹種 工法 塗装 ※天然木化粧複合フローリング ※なら ※釘止め工法(C種) ※塗装品 ・単層フローリング ・ひのき ・接着剤併用釘留め ・無塗装品 ・モザイクパーケット張り				
ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6.12.2][表6.12.1] 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ※D種(KT-Ⅲ) [6.13.2][表6.13.1]				
種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等		
・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25 ・		
・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25 ・		
・けい酸カルシウム板	0.8FK	無石棉 ※6 ・8 ・		
○ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ(※9(不燃) ○12 ・ ) ・凹凸タイプ(※12(不燃) ・15 ・19 ・ )		
○せっこうボード	GB-R	※12.5(不燃) ○9.5(準不燃)		
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃) 化粧無(下地張り用) 化粧有(トラバ-チン模様)		
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5(不燃) ・15.0(不燃)		
・シージング石こうボード	GB-S	・12.5(不燃)		
・化粧せっこうボード	GB-D	・12.5(不燃) ・9.5(準不燃)		
・せっこうラスボード	GB-L	・9.5		
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ1.2		
・パーティクルボード				
・化粧けい酸カルシウム板	0.8FK	※6		
合板類、繊維板、パーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※適用する ・適用しない				
13 誘導用及び 注意喚起用床材	⑭ ビニル幅木 15 カーペット敷き			
⑯ 合成樹脂塗床材 [6.10.3][表6.10.4～表6.10.8]				
17 フローリング張り [6.11.2～6.11.7][表6.11.1～表6.11.4]				
18 畳敷き ⑰ セッコウボード その他ボード張り				

20 セッコウボードの 目地処理	目地処理の種類等 [6.13.3][表6.13.5] ・継目処理工法 施工場所( ) ○突付け工法 施工場所(図示 ) ・目透し工法 施工場所( )		
	21 壁紙張り [6.14.3] 施工箇所 壁紙の種類 防火性能 備考 ※AA級 ・不燃 ・準不燃 ・難燃 ・不燃 ・準不燃 ・難燃		
モルタル及びプラスチック一面の下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 [表7.2.5] 石こうボード及びその他ボード面の下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 [表7.2.7] ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種			
22 陶磁器質タイル張り タイルの種類 (6.16.3) 施工箇所 形状寸法(mm) 用途による区分 耐凍害性 色調 うわぐすり 役物 無 有 標準 特注 無釉 施釉 無 有 ・屋内 ・床 ※ ※ ・屋外 ・壁 ・屋内 ・床 ※ ※ ・屋外 ・壁 ※ ※ ・屋内 ・床 ※ ※ ・屋外 ・壁 ※ ※			
23 セルフレベリング タイルの見本焼き ※行わない ・行う(※外装タイル ・ ) 内装タイル ※壁タイル接着剤張り ・改良積上げ張り [6.16.5][表6.16.5]			
24 断熱材 セルフレベリング材の種類 ・せっこう系 ※セメント系 [6.17.1][表6.17.1] ※厚み( mm程度) (標19.9.2)(標19.9.3) 種類 施工箇所 厚さ(mm) 品質等 ・押出法 ※2種b ※一般部 ※25 ※ノンフロンもの ポリスチレン ・特定フロンを使用しないもの フォーム ※3種b ・接地部分 ※25 保温板 ・現場発泡断熱材 ※断熱材補修部分 ノンフロンタイプ ・一般部 ※15 ・HFCタイプ 難燃性・3級 ・2級 ・難燃材料相当品			
25 可動間仕切 ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材の ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 (標20.2.3) 構造形式 ハ 材部の総厚さ(mm) 表面材種 厚さ(mm) 表面仕上げ ※パネル式 ※鋼板 ※メラミン樹脂又は ・スタッド式 (※0.6 ・0.8) アクリル樹脂焼付け ・スタッドパネル式 ・ 遮音性 ・あり( ) ・なし			
26 フリーアクセス フロア (標20.2.2) 施工箇所 仕上り高 耐震性能 耐荷重性能 表面仕上げ材 ・帯電防止床タイル ・タイルカーペット			
27 移動間仕切り (標20.2.4) 製造所 パネル表面材( ・ ) 遮音性( ・ ) パネル及び圧着装置の操作方法 ( ・ ) (標20.2.5)			
28 トイレブース パネル表面材 ( ・高圧メラミン化粧版 ・ ) 脚部 ※幅木タイプ ・脚金物タイプ 材種 ※ステンレス製ビニルタイヤ入り (標20.2.6) 寸法 ※幅 35mm ・ 取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法 黒板 (暗線工場製作品) (標20.2.8) 種類 ※ホーロー黒板 ・焼付け鋼製黒板 ・ホーロー白板			
事業名		平成30年度公共下水道事業	
工事名		高砂ポンプ場耐震補強工事	
工事場所		四日市市尾上町 地内	
名称		特記仕様書(3)	
縮尺	—	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-3/87

6章 内装 改修 工事	31 ブラインド	<p>・既存再使用する（養生方法 [2.3.1][5.1.6]）</p> <p>・新設する (標20.2.12)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材種・幅(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※横型</td> <td>※ギヤ式・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金 ※25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・縦型</td> <td>・1本操作コード ・2本操作コード</td> <td>・アルミスラット ・80 ・クロススラット ・100</td> <td></td> </tr> </table>	形式	種類	スラットの材種・幅(mm)	施工箇所	※横型	※ギヤ式・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金 ※25		・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・80 ・クロススラット ・100			<p>・コンクリート面、押出成型セメント板面 工法は、表7.8.3 種別は(・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2 ・C-1種 ・C-2種) (7.8.4)(表7.8.3)</p> <p>上塗種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JISK5658 主要原料 ふっ素樹脂(1級)</li> <li>JISK5658 主要原料 シリコン樹脂(2級)</li> <li>JISK5658 主要原料 ポリウレタン樹脂(3級)</li> </ul>	<p>⑨コンクリートの材料 [8.2.5][表8.2.3]</p> <p>※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (適用箇所 ( ))</p> <p>・高炉セメントB種 (適用箇所 ( ))</p> <p>・フライアッシュセメントB種 (適用箇所 ( ))</p> <p>・アルカリシリカ反応による区分 ※A</p> <p>・フェロニッケルスラグ細骨材は使用しない</p>																						
	形式	種類	スラットの材種・幅(mm)	施工箇所																																			
	※横型	※ギヤ式・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金 ※25																																				
	・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・80 ・クロススラット ・100																																				
32 カーテン	<p>・既存再使用する（養生方法 [2.3.1][5.1.6]）</p> <p>・新設する (標20.2.14)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>名称・品質</th> <th>ひだの種別</th> <th>形式</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・箱ひだ等</td> <td>・片引き</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・片ひだ</td> <td>・引分け</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・箱ひだ等</td> <td>・片引き</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・片ひだ</td> <td>・引分け</td> </tr> </table> <p>防火加工 消防庁認定の㊦とする</p> <p>カーテンレール ・アルミニウム製 ※ステンレス製 ※C型又はD型</p> <p>カーテンきれ地のはぎれ ※半幅未満は使用しない ・一幅未満は使用しない</p> <p>暗幕用カーテンの召合せの重なりは、300mm以上とする</p>	施工箇所	名称・品質	ひだの種別	形式			・箱ひだ等	・片引き			・片ひだ	・引分け			・箱ひだ等	・片引き			・片ひだ	・引分け	<p>⑧つや有合成樹脂 エマルジョン</p> <p>ペイント塗り (EP-G) [7.9.2~7.9.5][表7.9.1~表7.9.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>下地の種類</th> <th>塗り工法</th> </tr> <tr> <td>コンクリート、モルタル、プaster、その他ボード面</td> <td>新規(○A種 ・B種) 塗替え(※B種 ・ )</td> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>新規(※A種 ・ ) 塗替え(※B種 ・ )</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>新規(・A種 ・B種) 塗替え(※B種 ・ )</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>新規(・A種 ・B種) 塗替え(※B種 ・ )</td> </tr> </table> <p>塗替えの場合のシーラー ※改修標仕 7.9.2による ・行わない</p>	下地の種類	塗り工法	コンクリート、モルタル、プaster、その他ボード面	新規(○A種 ・B種) 塗替え(※B種 ・ )	木部	新規(※A種 ・ ) 塗替え(※B種 ・ )	鉄鋼面	新規(・A種 ・B種) 塗替え(※B種 ・ )	亜鉛めっき鋼面	新規(・A種 ・B種) 塗替え(※B種 ・ )	<p>⑩モルタル及びグラウト材 [8.2.6][8.2.10][8.5.10]</p> <p>グラウト材 ※無収縮グラウト材 (圧縮強度 45N/mm<sup>2</sup>以上) [8.2.6][8.2.10][8.5.10]</p> <p>太平洋プレユーロックス(太平洋マテリアル) マスターフロー540グラウト(BASFポゾリス)</p> <p>ノンシュリンクライトグラウト(ABC商会) デンカ プレタスコン TYPE-1(電気化学工業)</p> <p>社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの</p> <p>柱底等の均しモルタル ※無収縮モルタル ・モルタル</p> <p>太平洋プレユーロックス(太平洋マテリアル) マスターフロー870グラウト(BASFポゾリス)</p> <p>ノンシュリンクライトグラウト(ABC商会) デンカ プレタスコン TYPE-1(電気化学工業)</p> <p>社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの</p>						
施工箇所	名称・品質	ひだの種別	形式																																				
		・箱ひだ等	・片引き																																				
		・片ひだ	・引分け																																				
		・箱ひだ等	・片引き																																				
		・片ひだ	・引分け																																				
下地の種類	塗り工法																																						
コンクリート、モルタル、プaster、その他ボード面	新規(○A種 ・B種) 塗替え(※B種 ・ )																																						
木部	新規(※A種 ・ ) 塗替え(※B種 ・ )																																						
鉄鋼面	新規(・A種 ・B種) 塗替え(※B種 ・ )																																						
亜鉛めっき鋼面	新規(・A種 ・B種) 塗替え(※B種 ・ )																																						
33 点検口	<p>天井点検口 ※アルミニウム製 (※額縁タイプ ・目地タイプ)</p> <p>床点検口 ※アルミニウム製 ・受け枠(・ )</p>	<p>9 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</p> <p>10 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</p> <table border="1"> <tr> <th>既存塗膜</th> <th>下地調整</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>合成樹脂エマルジョン模様塗り</td> <td>※RB種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・RC種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td>平滑な塗料塗り</td> <td>※RB種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・RC種</td> <td>・C-1種 ・C-2種</td> </tr> </table>	既存塗膜	下地調整	種別	合成樹脂エマルジョン模様塗り	※RB種	※A種		・RC種	※C種	平滑な塗料塗り	※RB種	・A種 ・B種		・RC種	・C-1種 ・C-2種	<p>⑪無筋コンクリート [8.11.1~8.11.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>設計基準強度 F<sub>o</sub> (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>粗骨材の最大寸法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※普通コンクリート</td> <td>※18</td> <td>※15又は18</td> <td>※25</td> <td>ピット床</td> </tr> </table>	種類	設計基準強度 F <sub>o</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	スランブ (cm)	粗骨材の最大寸法	適用箇所	※普通コンクリート	※18	※15又は18	※25	ピット床											
既存塗膜	下地調整	種別																																					
合成樹脂エマルジョン模様塗り	※RB種	※A種																																					
	・RC種	※C種																																					
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種 ・B種																																					
	・RC種	・C-1種 ・C-2種																																					
種類	設計基準強度 F <sub>o</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	スランブ (cm)	粗骨材の最大寸法	適用箇所																																			
※普通コンクリート	※18	※15又は18	※25	ピット床																																			
34 流し台ユニット	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>適用内容</th> <th>規格・品質等</th> </tr> <tr> <td>流し台</td> <td>※1200 ・1500 ・</td> <td>トラップ付</td> <td>※優良住宅部品</td> </tr> <tr> <td>コンロ台</td> <td>※600 ・700 ・</td> <td>バックガード付</td> <td></td> </tr> </table>	種類	寸法	適用内容	規格・品質等	流し台	※1200 ・1500 ・	トラップ付	※優良住宅部品	コンロ台	※600 ・700 ・	バックガード付		<p>11 ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC)</p> <p>12 木材保護塗料塗り (WP)</p> <p>⑬床用塗料塗</p>	<p>⑫調管理強度 [8.11.1~8.11.3]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">構造体強度補正值 (S)</th> </tr> <tr> <th>打設期間</th> <th>補正值 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>3/ 1~7/ 9 9/ 9~11/23</td> <td>3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11/24~2/28</td> <td>6.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7/10~9/ 8</td> <td>6.0</td> <td>暑中コンクリート</td> </tr> </table>	構造体強度補正值 (S)			打設期間	補正值 (N/mm <sup>2</sup> )	備考	3/ 1~7/ 9 9/ 9~11/23	3.0		11/24~2/28	6.0		7/10~9/ 8	6.0	暑中コンクリート									
種類	寸法	適用内容	規格・品質等																																				
流し台	※1200 ・1500 ・	トラップ付	※優良住宅部品																																				
コンロ台	※600 ・700 ・	バックガード付																																					
構造体強度補正值 (S)																																							
打設期間	補正值 (N/mm <sup>2</sup> )	備考																																					
3/ 1~7/ 9 9/ 9~11/23	3.0																																						
11/24~2/28	6.0																																						
7/10~9/ 8	6.0	暑中コンクリート																																					
7章 塗装 改修 工事	①材料一般	<p>○屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。</p> <p>・次の箇所を除き防火材料とする。( )</p> <p>建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 [7.1.3]</p> <p>※規制対象外 ・第三種</p>		<p>⑬コンクリートの試験 [8.8.2][8.8.3]</p> <p>※コンクリートの強度試験の試験回数は、下記による。 [8.8.2][8.8.3]</p> <p>20m<sup>3</sup>以下の場合の試験については、監督職員の指示による。</p> <p>20~50m<sup>3</sup>の場合は任意の一車より試料を採取し、各3個供試体を作成する。</p> <p>50m<sup>3</sup>以上は 改修標仕8.8.3による。</p>																																			
	②下地調整	<p>RB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1]</p> <p>下地調整 [表7.2.1~表7.2.7]</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td> <td>新規はRA種(不透明塗り)</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td> <td>新規はRA種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td> <td>新規鋼製建具はRC種 新規鋼製建具以外はRA種</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プaster面</td> <td>○RA種(※RB種 ・RC種)</td> <td>EP-G塗り替え部は、RA種とする。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート及びALCパネル面</td> <td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td> <td>新規はRA種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード、その他ボード面</td> <td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td> <td>新規せっこうボードで目地処理(継目処理)工法はRA種</td> </tr> </table> <p>既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 [表7.2.4~表7.2.6]</p> <p>・行わない ・行う(補修範囲及び補修方法は図示)</p>	下地面の種類	下地調整の種別	備考	木部	・RA種 ※RB種 ・RC種	新規はRA種(不透明塗り)	鉄鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種	新規はRA種	亜鉛めっき面	・RA種 ※RB種 ・RC種	新規鋼製建具はRC種 新規鋼製建具以外はRA種	モルタル、プaster面	○RA種(※RB種 ・RC種)	EP-G塗り替え部は、RA種とする。	コンクリート及びALCパネル面	・RA種 ※RB種 ・RC種	新規はRA種	せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種 ・RC種	新規せっこうボードで目地処理(継目処理)工法はRA種	<p>①鉄筋の種類 [8.2.1][表8.2.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>径</th> </tr> <tr> <td>・SD295A</td> <td>※D16以下</td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td>※D19以上</td> </tr> </table>	種類の記号	径	・SD295A	※D16以下	・SD345	※D19以上	<p>⑭型枠 [8.1.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>外部に面するコンクリート打ち直し仕上げの打増し ・20 ※図示 [8.7.8]</p>	種別	施工箇所	・A種		※B種	図示	・C種	
	下地面の種類	下地調整の種別	備考																																				
	木部	・RA種 ※RB種 ・RC種	新規はRA種(不透明塗り)																																				
鉄鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種	新規はRA種																																					
亜鉛めっき面	・RA種 ※RB種 ・RC種	新規鋼製建具はRC種 新規鋼製建具以外はRA種																																					
モルタル、プaster面	○RA種(※RB種 ・RC種)	EP-G塗り替え部は、RA種とする。																																					
コンクリート及びALCパネル面	・RA種 ※RB種 ・RC種	新規はRA種																																					
せっこうボード、その他ボード面	・RA種 ※RB種 ・RC種	新規せっこうボードで目地処理(継目処理)工法はRA種																																					
種類の記号	径																																						
・SD295A	※D16以下																																						
・SD345	※D19以上																																						
種別	施工箇所																																						
・A種																																							
※B種	図示																																						
・C種																																							
3 錆止め塗料塗り	<p>塗料種別 [表7.3.1]</p> <p>屋外 (※A種 ( ) ・B種 ) 屋内 (※A種 ・B種 ・C種 )</p> <p>鉄鋼面EP-Gの場合 (・A種 ※B種)</p> <p>塗り工法 [表7.3.3][表7.3.4]</p> <p>鉄鋼面塗り替えの場合の種別 ・A種 ・B種 ※C種</p> <p>亜鉛めっき面の塗りの種別 ・A種 ・B種 ※C種</p> <p>亜鉛めっき面EP-G塗り替えの場合の種別 ・A種 ・B種 ※C種</p> <p>新規鉄鋼面、亜鉛めっき面の塗りの種別 ※標仕18.3.3による</p>	<p>2 溶接金網 [8.2.2]</p> <p>網目の形状 (※150x150 ・100x100 ・50x50 )</p> <p>鉄線の径 (mm) (※6.0 ・3.2 )</p>	<p>15 鉄骨製作工場</p> <p>・監督職員の承諾する工場</p> <p>・(社)全国鉄構工業協会、(株)日本鉄骨評価センター認定工場(下記認定グレード以上)</p> <p>(・S ・H ・M ・R ・J )</p>																																				
4 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	<p>塗り工法 [7.4.1~7.4.5][表7.4.1][表7.4.2][表7.4.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>下地の種類</th> <th>塗料種類</th> <th>塗り工法</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※1種 ・2種</td> <td>新規(※A種 ・ ) 塗替え(※B種 ・ )</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※1種 ・2種</td> <td>・A種 ※B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>※1種 ・2種</td> <td>※改修標仕7.4.3による ・</td> </tr> </table>	下地の種類	塗料種類	塗り工法	木部	※1種 ・2種	新規(※A種 ・ ) 塗替え(※B種 ・ )	鉄鋼面	※1種 ・2種	・A種 ※B種 ・C種	亜鉛めっき面	※1種 ・2種	※改修標仕7.4.3による ・	<p>③鉄筋の材料試験 [8.2.3]</p> <p>※JIS規格品については径の異なるごとに1t未満の場合は規格証明書の提出を省略することができる。</p>	<p>16 鉄骨工作図 [8.1.6]</p> <p>※高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等は、[8.1.6]</p> <p>国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による</p>																								
下地の種類	塗料種類	塗り工法																																					
木部	※1種 ・2種	新規(※A種 ・ ) 塗替え(※B種 ・ )																																					
鉄鋼面	※1種 ・2種	・A種 ※B種 ・C種																																					
亜鉛めっき面	※1種 ・2種	※改修標仕7.4.3による ・																																					
5 フタル酸樹脂 エナメル塗り (FE)	<p>木部 種別 (・A種 ※B種 ・C種 ) [7.6.2][表7.6.1]</p> <p>鉄鋼面、亜鉛めっき面 種別 (・A種 ※B種 ・C種 ) [7.6.3][表7.6.2]</p>	<p>④継手及び定着 [8.3.4][表8.3.3]</p> <p>鉄筋の継手方法 [8.3.4]</p> <p>・径D19mm以上の柱、梁の主筋はガス圧接、その他は重ね継手</p> <p>・重ね継手</p> <p>継手位置 ※標仕各部配筋参考図による ・図示 [8.3.3]</p> <p>定着長さ ※改修標仕[表8.3.4]による ・図示 [8.3.4][表8.3.4]</p>	<p>17 溶接管理技術者 [8.15.2]</p> <p>・適用する ・適用しない</p>																																				
6 アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD)	<p>塗り替えの場合の下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 [7.2.5][7.2.6]</p> <p>塗り工法の種別 ・A種 ※B種 [7.7.2][表7.7.1]</p>	<p>⑤帯筋組立の形 [8.3.4]</p> <p>※各部配筋参考図1.1による ・図示</p>	<p>18 鋼材 [8.2.8]</p> <p>鋼材の材質、規格は下表による。</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>品名又は使用箇所</th> <th>規格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JISの規格品</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JISの規格品</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JISの規格品</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JISの規格品</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JISの規格品</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JISの規格品</td> </tr> </table>	材質	品名又は使用箇所	規格			※JISの規格品			※JISの規格品			※JISの規格品			※JISの規格品			※JISの規格品			※JISの規格品															
材質	品名又は使用箇所	規格																																					
		※JISの規格品																																					
		※JISの規格品																																					
		※JISの規格品																																					
		※JISの規格品																																					
		※JISの規格品																																					
		※JISの規格品																																					
⑦耐候性塗料塗り (DP)	<p>塗り替えの場合の下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 [7.2.2][表7.2.1] ~ [7.2.7][表7.2.7]</p> <p>・鉄鋼面 工法は、表7.8.1 種別は新規はA種、塗替はB種 (7.8.2)(表7.8.1)</p> <p>・亜鉛めっき面 工法は、表7.8.2 種別は新規はA種、塗替はB種 (7.8.3)(表7.8.2)</p> <p>上塗種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JISK5659 (1級) ふっ素系樹脂塗料</li> <li>JISK5659 (2級) シリコン系樹脂塗料</li> <li>○ JISK5659 (3級) ポリウレタン系樹脂塗料</li> </ul>	<p>⑥壁の配筋及び補強 [8.3.7]</p> <p>※標仕各部配筋参考図4節による ・図示</p>	<p>19 高力ボルト [8.2.9]</p> <p>※トルシア高力ボルト ・JIS高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (径 ( ))</p> <p>すべり係数試験 ・実施する ※実施しない [8.14.2]</p> <p>試験方法 ( )、試験片の摩擦面の状態 ( )</p>																																				

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	特記仕様書(4)		
縮尺	—	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-4/87

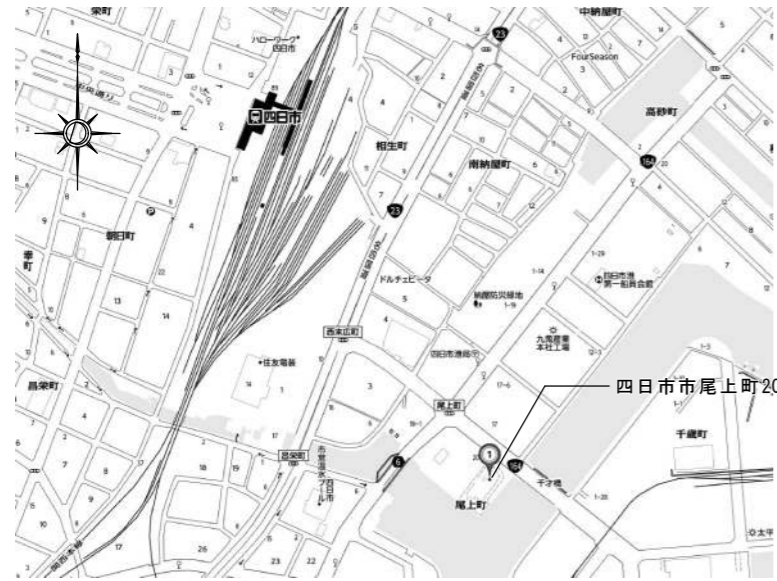
8章 耐震改修工事	20 鋼材の材料試験	※JIS規格品については種類の異なるごとに1t未満の場合は規格証明書の提出を省略することができる。	[8. 2. 13]
	21 スカラップ等	スカラップ ※改良型スカラップ	[8. 15. 7]
	22 溶接部の試験	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う(9mm以上) ・行わない 試験箇所数 耐震ブレース ※改修標準8.14.11(b)による ・ その他 ※標準7.6.11(b)による ・	[8. 15. 11]
	23 錆止め塗料	・鉄骨造の鉄部錆止め塗料の種類は、下記とする。 ・ JIS K 5625 ・ JIS K 5674 耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う ※行わない	[8. 17. 3]
	24 耐火被覆材	[8. 18. 2~8. 18. 7]	
②5 既存コンクリート面の目荒し	適用範囲	※既存コンクリートとの打継ぎ面 ※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材充填部の接合面 ・	[8. 21. 3][8. 22. 3]
	目荒らしの範囲	※柱、梁面 打継ぎ面又は接合面全体の3/4以上 ※壁面 打継ぎ面又は接合面全面の1/3程度 ・	
	目荒らしの程度	※平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹部を施す	
	②6 あと施工アンカーの材料	・金属拡張アンカー ※接着系アンカー 接着剤の材質及びカプセルの種類 (ガラス管タイプ) 日本デコラックス(株) ケミカルアンカー-R、RSタイプ 旭化成ジオテック(株) ARケミカルセッター-SUPER LL AP 日本ヒルティ(株) HVU-G/E A もしくは同等品以上 接合筋の種類 ※鉄筋コンクリート用棒鋼(D16以上SD345) ・全ねじボルト	[8. 2. 4]
	②7 あと施工アンカーの施工	施工管理技術者 ※置く ・置かない	[8. 12. 1]
②8 あと施工アンカーの穿孔	穿孔前の埋込み配管等の探査 範囲 ・あと施工アンカー施工部分全て ○構造特記仕様書参照 方法 ・探査機により探査し、配管等の位置の墨出しを行う。 ○構造特記仕様書参照 穿孔方法 ○低騒音、低振動工法とする(工法については、監督員の承諾を得ること)	[8. 12. 2]	
②9 あと施工アンカーの確認試験	施工確認試験 ※全数打音試験を行う。 ○引張試験は増設壁又は鉄骨ブレース1箇所あたり1本とし、引張荷重は設計強度の2/3以上とする。場所については監督職員の指示による。	[8. 12. 5]	
③0 既存構造体との取り合い	グラウト材の品質管理 ※圧縮強度試験を行う(3日、28日、封かん養生) ※コンシステンシー試験を行う。	[8. 21. 9][8. 22. 7]	

9章 環境配慮改修工事	① 一般事項	労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針(建築物等の解体等の作業での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針)を遵守すること。 ○アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。																
	② アスベスト含有建材の処理工事	アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理 ・行う ○行わない アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理 ・行う ○行わない アスベスト含有建材除去後の仕上げ ○行う ・行わない 施工箇所及び工法 ※図示	[9. 1. 1]															
	③ アスベストの含有調査	分析による確認 ・行う(下表による) ○行わない																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>調査方法</th> <th>1材料あたりの試料数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※定性分析(3 . )</td> <td>※定量分析(※3 . )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析(3 . )</td> <td>※定量分析(※3 . )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析(3 . )</td> <td>※定量分析(※3 . )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析(3 . )</td> <td>※定量分析(※3 . )</td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	調査方法	1材料あたりの試料数		※定性分析(3 . )	※定量分析(※3 . )		※定性分析(3 . )	※定量分析(※3 . )		※定性分析(3 . )	※定量分析(※3 . )		※定性分析(3 . )	※定量分析(※3 . )	
材 料 名	調査方法	1材料あたりの試料数																
	※定性分析(3 . )	※定量分析(※3 . )																
	※定性分析(3 . )	※定量分析(※3 . )																
	※定性分析(3 . )	※定量分析(※3 . )																
	※定性分析(3 . )	※定量分析(※3 . )																

4 アスベスト含有吹付け材の除去	吹付けアスベストの施工数量調査 ※行う アスベスト粉じん濃度測定 ※行う [9. 1. 3]																																								
	表9.1.1 アスベスト粉じん濃度測定																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定名称</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">処理作業前</td> <td>測定1</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点又は3点</td> <td>(注)1</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td>施行区画周辺又は、敷地境界</td> <td>計2点</td> <td>大気</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">処理作業中</td> <td>測定3</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点又は3点</td> <td>(注)1</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>ケリイヤーゾーン入口</td> <td>1点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>負圧・除じん装置の排出吹出し口(処理作業室外の場合)</td> <td>1点</td> <td>(注)2</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td>施行区画周辺又は、敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">処理作業後(隔離シート撤去前)</td> <td>測定7</td> <td>処理作業室内</td> <td>各2点又は3点</td> <td>(注)1</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>施行区画周辺又は、敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td>大気</td> </tr> </tbody> </table>	測定時期	測定名称	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	備考	処理作業前	測定1	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1	測定2	施行区画周辺又は、敷地境界	計2点	大気	処理作業中	測定3	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1	測定4	ケリイヤーゾーン入口	1点	空気の流れを確認	測定5	負圧・除じん装置の排出吹出し口(処理作業室外の場合)	1点	(注)2	測定6	施行区画周辺又は、敷地境界	4方向各1点	-	処理作業後(隔離シート撤去前)	測定7	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1	測定8	施行区画周辺又は、敷地境界	4方向各1点	大気
	測定時期	測定名称	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	備考																																				
	処理作業前	測定1	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1																																				
測定2		施行区画周辺又は、敷地境界	計2点	大気																																					
処理作業中	測定3	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1																																					
	測定4	ケリイヤーゾーン入口	1点	空気の流れを確認																																					
	測定5	負圧・除じん装置の排出吹出し口(処理作業室外の場合)	1点	(注)2																																					
	測定6	施行区画周辺又は、敷地境界	4方向各1点	-																																					
処理作業後(隔離シート撤去前)	測定7	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1																																					
	測定8	施行区画周辺又は、敷地境界	4方向各1点	大気																																					
(注)1. 各施工箇所ごとの室内面積が50㎡以下までは2点、300㎡以下までは3点とする。 300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。 (注)2. 集じん・排気装置の性能確認																																									
表9.1.2 アスベスト粉じん濃度測定方法																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定3</th> <th>測定1, 2, 4, 6, 7, 8</th> <th>測定5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器</td> <td colspan="3">位相差顕微鏡</td> </tr> <tr> <td>メンブレンフィルタの直径</td> <td colspan="2">25mm</td> <td>47mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1l/min</td> <td>5l/min</td> <td>10l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> <td>210 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td colspan="3">アセトン-トリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法</td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td colspan="3">総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野</td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td colspan="3">直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ×直径比3:1以上</td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </tbody> </table>		測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定5	計数機器	位相差顕微鏡			メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm	試料の吸引流量	1l/min	5l/min	10l/min	試料の吸引時間	5 min	120 min	210 min	試料の透明化	アセトン-トリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法			計数条件	総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野			計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ×直径比3:1以上			定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l					
	測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定5																																						
計数機器	位相差顕微鏡																																								
メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm																																						
試料の吸引流量	1l/min	5l/min	10l/min																																						
試料の吸引時間	5 min	120 min	210 min																																						
試料の透明化	アセトン-トリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法																																								
計数条件	総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野																																								
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ×直径比3:1以上																																								
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																						
⑤ アスベスト含有仕上塗材の除去	作業場の隔離 ※行う ・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する ・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う ・粉じん飛散抑制剤については「建設技術審査証明書」の取得に関する資料を監督職員に提出し、承認を得ること。																																								
	アスベスト含有仕上塗材の除去(除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等)については、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。																																								
	除去仕上塗材( ) アスベスト含有箇所 ・吹付主剤 ・下地調整材(吹付仕上) ○下地調整材(ローラー仕上) 吹付主剤、下地調整材(吹付仕上)の除去及び養生はアスベスト含有吹付け材、下地調整材(ローラー仕上)はアスベスト含有成形板として扱う。 撤去の範囲 ・全面撤去 ○塗膜の劣化部及び外壁補修等作業箇所のみ撤去 ○図示による 外壁補修等作業はUカット工法、アンカーピニング工法、樹脂注入工法、モルタル充填工法 足場アンカー設置、コア抜き等軽微な作業を示す。																																								
	除去工法 吹付主剤、下地調整材(吹付仕上)の除去 ・集じん装置付高圧水洗工法 ・集じん装置付超高圧水洗工法 ・超音波ケレン工法 ・剥離材併用高圧水洗工法 ・剥離材併用超高圧水洗工法 ・剥離材併用手工具ケレン工法 ・剥離材併用超音波ケレン工法 ・集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法 上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。 下地調整材(ローラー仕上)の除去工法についてはレベル3(アスベスト含有成形板)の除去工法と同等とする。																																								
	除去工法の試験施工 ※行う ○行わない 作業場の隔離及び養生 ※「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による ○隔離養生不要 ・その他( )																																								

6 アスベスト含有保温材等の除去	官公署等への届出 労働安全衛生法に基づく届出 ・行う ○行わない 石綿障害予防規則に基づく届出 ・行う ○行わない 大気汚染防止法に基づく届出 ・行う ○行わない 外壁補修作業の内Uカット工法以外は労働安全衛生法及び石綿障害予防規則に基づく届出は不要とする。 アスベスト粉じん濃度測定 ※行う(試験施工時) ○行わない [9. 1. 3]																
	表9.1.1 アスベスト粉じん濃度測定																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定名称</th> <th>測定場所</th> <th>測定点</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験施工時</td> <td>測定1</td> <td>※施行区画周辺又は、敷地境界 ・図示による</td> <td>2方向各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	測定時期	測定名称	測定場所	測定点	備考	試験施工時	測定1	※施行区画周辺又は、敷地境界 ・図示による	2方向各1点							
	測定時期	測定名称	測定場所	測定点	備考												
	試験施工時	測定1	※施行区画周辺又は、敷地境界 ・図示による	2方向各1点													
(注)1. 試験施工時に濃度測定を行い、結果を監督職員へ提出すること。 なお、アスベストの飛散が確認された場合は、除去工法及び養生方法を再検討し、監督職員と協議すること。 なお、工法の再選定する場合は、協議の上契約変更を行う事ができる。																	
表9.1.2 アスベスト粉じん濃度測定方法																	
7 アスベスト含有成形板の除去	測定1																
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>計数機器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>メンブレンフィルタの直径</td> <td>25mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>5l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>120 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td>アセトン-トリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法</td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td>総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野</td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ×直径比3:1以上</td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>0.5 f/l</td> </tr> </tbody> </table>	計数機器		メンブレンフィルタの直径	25mm	試料の吸引流量	5l/min	試料の吸引時間	120 min	試料の透明化	アセトン-トリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法	計数条件	総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野	計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ×直径比3:1以上	定量限界	0.5 f/l
	計数機器																
	メンブレンフィルタの直径	25mm															
	試料の吸引流量	5l/min															
試料の吸引時間	120 min																
試料の透明化	アセトン-トリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法																
計数条件	総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野																
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さ×直径比3:1以上																
定量限界	0.5 f/l																
作業場の隔離 ※行う ・行わない [9. 1. 4] ・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する ○中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う																	
アスベスト含有箇所 ・吹付主剤 ・下地調整材(吹付仕上) ○下地調整材(ローラー仕上) 吹付主剤、下地調整材(吹付仕上)の除去及び養生はアスベスト含有吹付け材、下地調整材(ローラー仕上)はアスベスト含有成形板として扱う。 撤去の範囲 ・全面撤去 ○塗膜の劣化部及び外壁補修等作業箇所のみ撤去 ○図示による 外壁補修等作業はUカット工法、アンカーピニング工法、樹脂注入工法、モルタル充填工法 足場アンカー設置、コア抜き等軽微な作業を示す。																	
除去工法 吹付主剤、下地調整材(吹付仕上)の除去 ・集じん装置付高圧水洗工法 ・集じん装置付超高圧水洗工法 ・超音波ケレン工法 ・剥離材併用高圧水洗工法 ・剥離材併用超高圧水洗工法 ・剥離材併用手工具ケレン工法 ・剥離材併用超音波ケレン工法 ・集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法 上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。 下地調整材(ローラー仕上)の除去工法についてはレベル3(アスベスト含有成形板)の除去工法と同等とする。																	
除去工法の試験施工 ※行う ○行わない 作業場の隔離及び養生 ※「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による ○隔離養生不要 ・その他( )																	

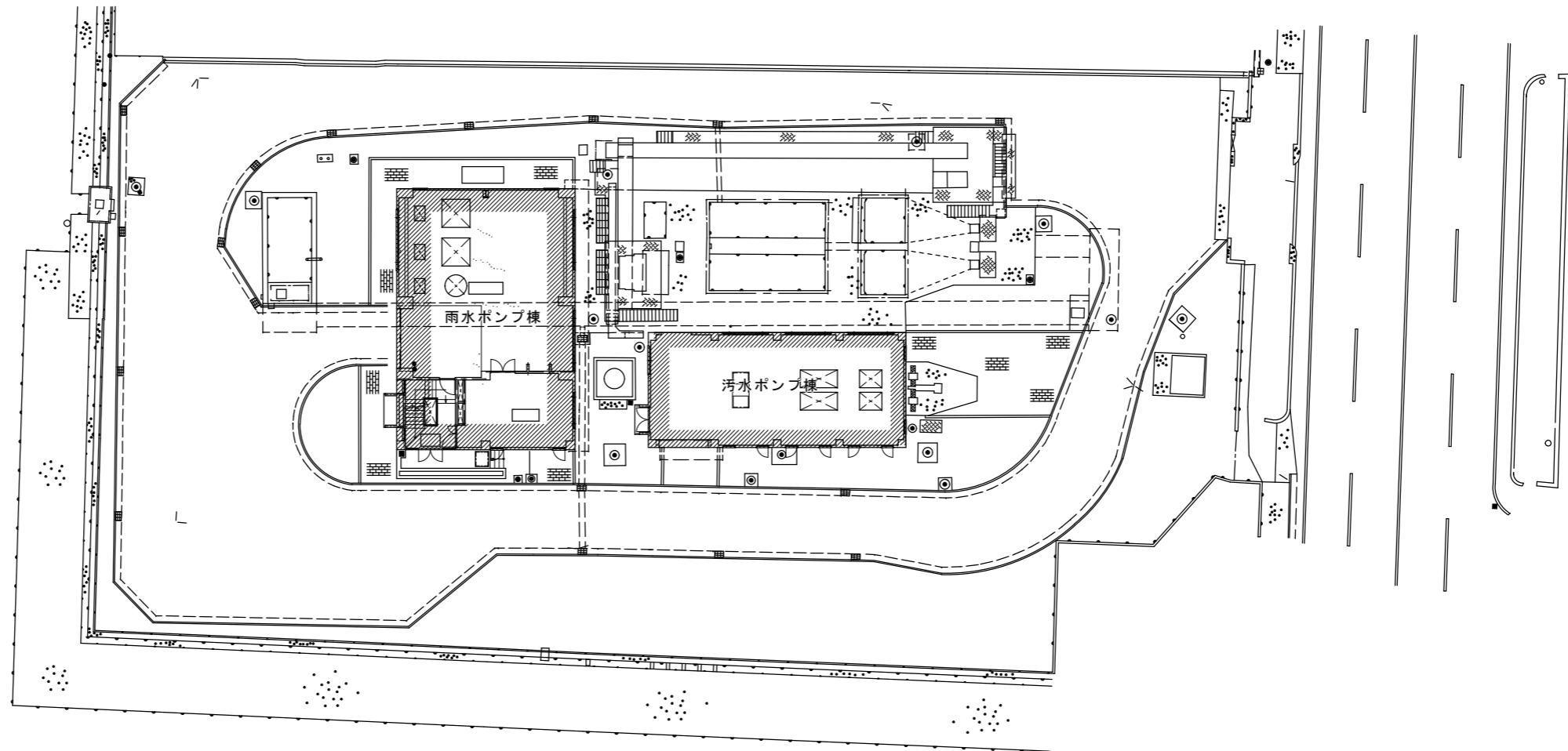
⑧ 特記事項	作業場の隔離 ・行う ・行わない [9. 1. 5] 処分方法 ・埋立処分 ・アスベストの中間処理に適する溶融施設 ・認定を受けた無害化処理施設 除去成形板( )			
	※本工事に配置管理させる者(有資格者) ※特定化学物質等作業主任者(H18.3.31以前の講習修了者) 又は石綿作業主任者(H18.4.1以降の講習修了者)			
	事業名	平成30年度公共下水道事業		
	工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
	工事場所	四日市市尾上町 地内		
	名称	特記仕様書(5)		
	縮尺	—	設計年月日	平成30年1月
	工種	—	設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-5/87	




位置図 1/10,000

# 高砂ポンプ場現況平面図

四日市市尾上町地内



配置図 1/200

 : 対象施設を示す。

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	配置図		
縮尺	S=1:200	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-6/87





内部仕上表																														
階	室名		床				幅木				腰壁				壁				天井				備考							
			下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	柱型仕上	詳細番号		改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	梁型仕上	天井高
2F	休憩室	改修前	W	畳敷き		F	W	畳寄せ		F					GB-R	ビニルクロス貼	2-03-9	F	壁に同じ	2-03-9	F	S	GB-D (W) t=12	3-01-1	F			2500	F	押入、物入、木製カーテンボックス、カーテン
		改修後	W	畳敷き		f	W	畳寄せ		f					GB-R	ビニルクロス貼	2-03-9	f	壁に同じ	2-03-9	f	S	GB-D (W) t=12	3-01-1	f			2500	f	押入、物入、木製カーテンボックス、カーテン
	湯沸室	改修前	M	床用塗料	1-01-1	F	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	F				M	EP	2-02-7	F				S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	F			2300	F	天井点検口、流し台、ガス台、吊戸棚、水切棚
		改修後	M	床用塗料	1-01-1	f	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	f				M	EP	2-02-7	f				S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	f			2300	f	天井点検口、流し台、ガス台、吊戸棚、水切棚
	脱衣室	改修前	W	天然木化粧複合フローリング貼		F	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	F				M	EP	2-02-7	F				S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	F			2400	F	脱衣棚、天井点検口
		改修後	W	天然木化粧複合フローリング貼		f	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	f				M	EP	2-02-7	f				S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	f			2400	f	脱衣棚、天井点検口
	浴室	改修前	C	均しモルタル t=15 アスファルト防水 (E-2) 保護モルタル t=15 無筋コンクリート 2.5角磁器質タイル貼		F	M	アスファルト防水 平ラシ2号	1200 1500		F				M	100角陶器質タイル貼	2-01-1	F				S	バスリブ		F			2300 2400	F	ステンレスバス (1020×720×650)
		改修後	C	均しモルタル t=15 アスファルト防水 (E-2) 保護モルタル t=15 無筋コンクリート 2.5角磁器質タイル貼		f	M	アスファルト防水 平ラシ2号	1200 1500		f				M	100角陶器質タイル貼	2-01-1	f				S	バスリブ		f			2300 2400	f	ステンレスバス (1020×720×650)
	便所	改修前	C	均しモルタル t=15 アスファルト防水 (E-2) 保護モルタル t=15 無筋コンクリート 2.5角磁器質タイル貼		F	M	アスファルト防水 平ラシ2号	600 900		F				M	100角陶器質タイル貼	2-01-1	F				S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	F			2350 2650	F	
		改修後	C	均しモルタル t=15 アスファルト防水 (E-2) 保護モルタル t=15 無筋コンクリート 2.5角磁器質タイル貼		f	M	アスファルト防水 平ラシ2号	600 900		f				M	100角陶器質タイル貼	2-01-1	f				S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	f			2350 2650	f	
	洗面所	改修前	M	床用塗料	1-01-1	F	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	F				M	EP	2-02-7	F				S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	F			2650	F	洗面カウンター
		改修後	M	床用塗料	1-01-1	f	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	f				M	EP	2-02-7	f				S	石綿板 t=6の上EP	3-01-1	f			2650	f	洗面カウンター
廊下	改修前	M	床用塗料	1-01-1	F	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	F				M	EP	2-02-7	F	幅木・壁に同じ	2-02-7	F	S	GB-R t=9.5 (捨張) DR t=12	3-01-4	F			2650	F	床下点検口 下部二重スラブ内: 床・壁: 打放し仕上の上塗膜防水	
	改修後	M	床用塗料	1-01-1	f	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	f				M	EP	2-02-7	f	幅木・壁に同じ	2-02-7	f	S	GB-R t=9.5 (捨張) DR t=12	3-01-4	f			2650	f	床下点検口 下部二重スラブ内: 床・壁: 打放し仕上の上塗膜防水	
3F	事務室・操作室	改修前	C	フリーアクセスフロアH=300 の上ビニル床タイル貼		F	M	ビニル幅木 (特部分)	7.5	2-11-1	F				M	複層塗材E	2-11-7	F	幅木・壁に同じ	2-11-7	F	S	GB-R t=9.5 (捨張) DR t=12	3-01-4	F			3000	F	ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口
		改修後	C	フリーアクセスフロアH=300 の上ビニル床タイル貼		f	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	f				C	モルタル塗 t=20 複層塗材E	2-11-7	f	幅木・壁に同じ	2-11-7	f	S	GB-R t=9.5 (捨張) DR t=12	3-01-4	f			3000	f	ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口
	原動機室上部 (点検 見晴通路)	改修前	C	無筋コンクリート t=70 モルタル塗 t=30 の上床用塗料	1-01-1	F					C	モルタル塗 t=20	1500	2-02-12	F	C	コンクリート打放し (B) の上ロックウール吹付	2-02-7	F	腰壁・壁に同じ	2-02-7	F	C	コンクリート打放し (C) の上ロックウール吹付 t=20	3-01-10	F	天井に同じ	直天	B	ステンレス製手摺
		改修後	C	無筋コンクリート t=70 モルタル塗 t=30 の上床用塗料	1-01-1	f					C	モルタル塗 t=20	1500	2-02-12	f	C	コンクリート打放し (B) の上ロックウール吹付	2-02-7	f	腰壁・壁に同じ	2-02-7	f	C	コンクリート打放し (C) の上ロックウール吹付 t=20	3-01-10	f	天井に同じ	直天	b	ステンレス製手摺
	点検バルコニー	改修前	C	床用塗料	1-01-3	F					C	モルタル塗 t=20	1500	2-02-12	F	C	コンクリート打放し (B) の上ロックウール吹付	2-02-7	F	腰壁・壁に同じ	2-02-7	F	C	コンクリート打放し (C) の上ロックウール吹付 t=20	3-01-10	F	天井に同じ	直天	B	ステンレス製手摺
		改修後	C	床用塗料	1-01-3	f					C	モルタル塗 t=20	1500	2-02-12	f	C	コンクリート打放し (B) の上ロックウール吹付	2-02-7	f	腰壁・壁に同じ	2-02-7	f	C	コンクリート打放し (C) の上ロックウール吹付 t=20	3-01-10	f	天井に同じ	直天	b	ステンレス製手摺
4F	工具室	改修前	C	無筋コンクリート t=170 モルタル塗 t=30 の上床用塗料	1-01-1	F	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	F				M	EP	2-02-7	F	幅木・壁に同じ	2-02-7	F	C	木毛板 t=25打込の上 外装薄塗材E		F	壁に同じ	直天	F		
		改修後	C	無筋コンクリート t=170 モルタル塗 t=30 の上床用塗料	1-01-1	f	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	f				M	EP	2-02-7	f	幅木・壁に同じ	2-02-7	f	C	木毛板 t=25打込の上 外装薄塗材E		f	壁に同じ	直天	f		
共通	階段室	改修前	M	床用塗料	1-01-1	F	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	F				M	EP	2-02-7	F				C	木毛板 t=25打込の上 外装薄塗材E		F	壁に同じ	直天	F	ステンレスノンスリップ、 ビニル手摺	
		改修後	M	床用塗料	1-01-1	f	M	ビニル幅木	7.5	2-11-1	f				M	EP	2-02-7	f				C	木毛板 t=25打込の上 外装薄塗材E		f	壁に同じ	直天	f	ステンレスノンスリップ、 ビニル手摺	

凡例 今回改修対象箇所を示す。

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	仕上表 (2)		
縮尺	-	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-8/87

特記なき限り

仕上材料・厚さ	材料名	種別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備考	材料名			種別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備考
						仕上	下地	壁紙				
GB-R	GB-R	仕上	12.5	12.5	NM-8619	けい酸カルシウム板 (タイプ2)	12	10	NM-8578			
		下地	12.5			押出法ポリスチレンフォーム保温材	25	25				
GB (N)	GB (N)	下地	9.5		NM-8613 又は同等	壁紙			NM-8606			
		仕上	9.5			グラスウール吸音材						
GB (W)	GB (W)		12.5		不燃 (個別認定)	ビニルクロス			QM-9164			
DR	DR		12			EP・EP-G			NM-8585			

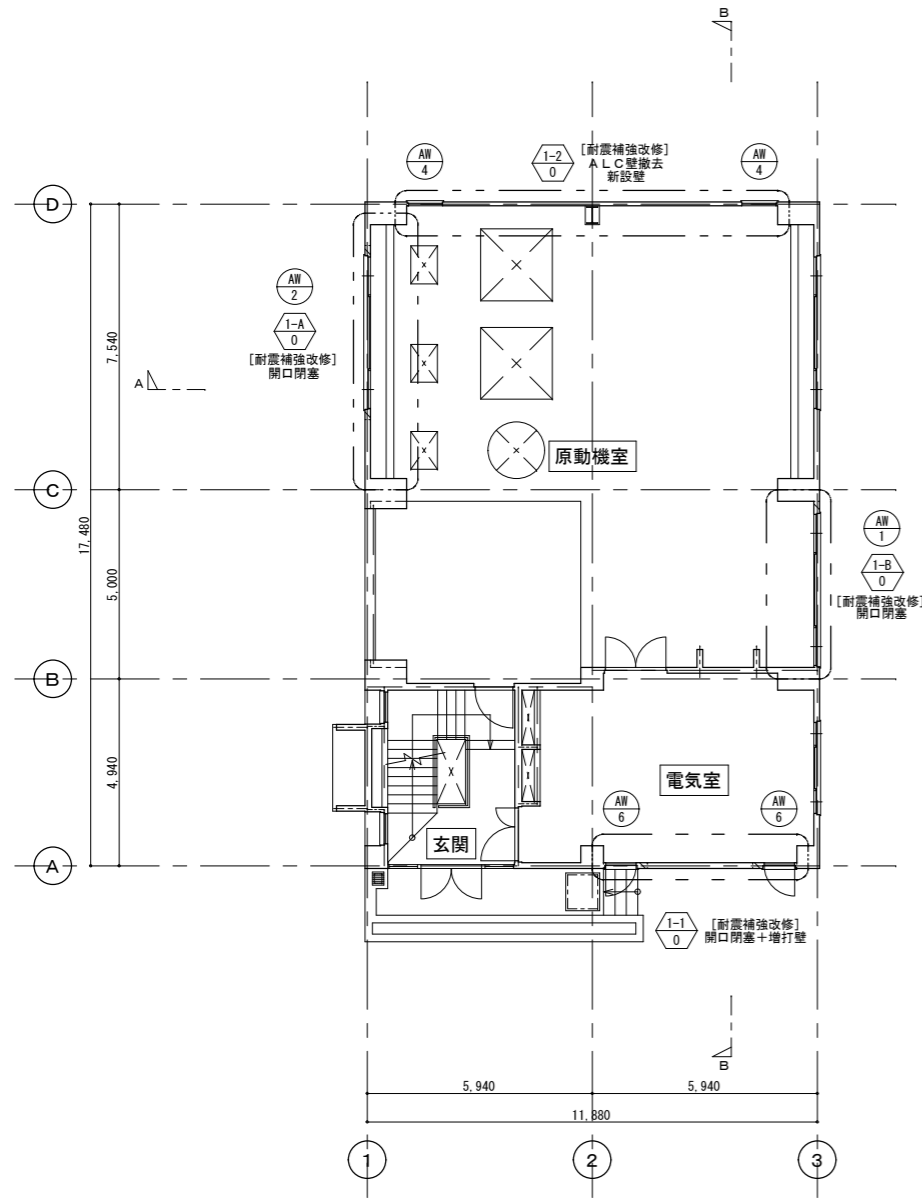
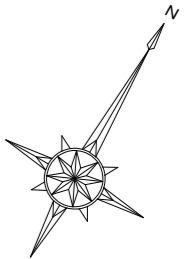
工事区分略号

- < > (C) : 土木工事
- < > (AM) : 建築機械設備工事
- < > (AE) : 建築電気設備工事
- < > (PM) : プラント機械設備工事
- < > (PE) : プラント電気設備工事

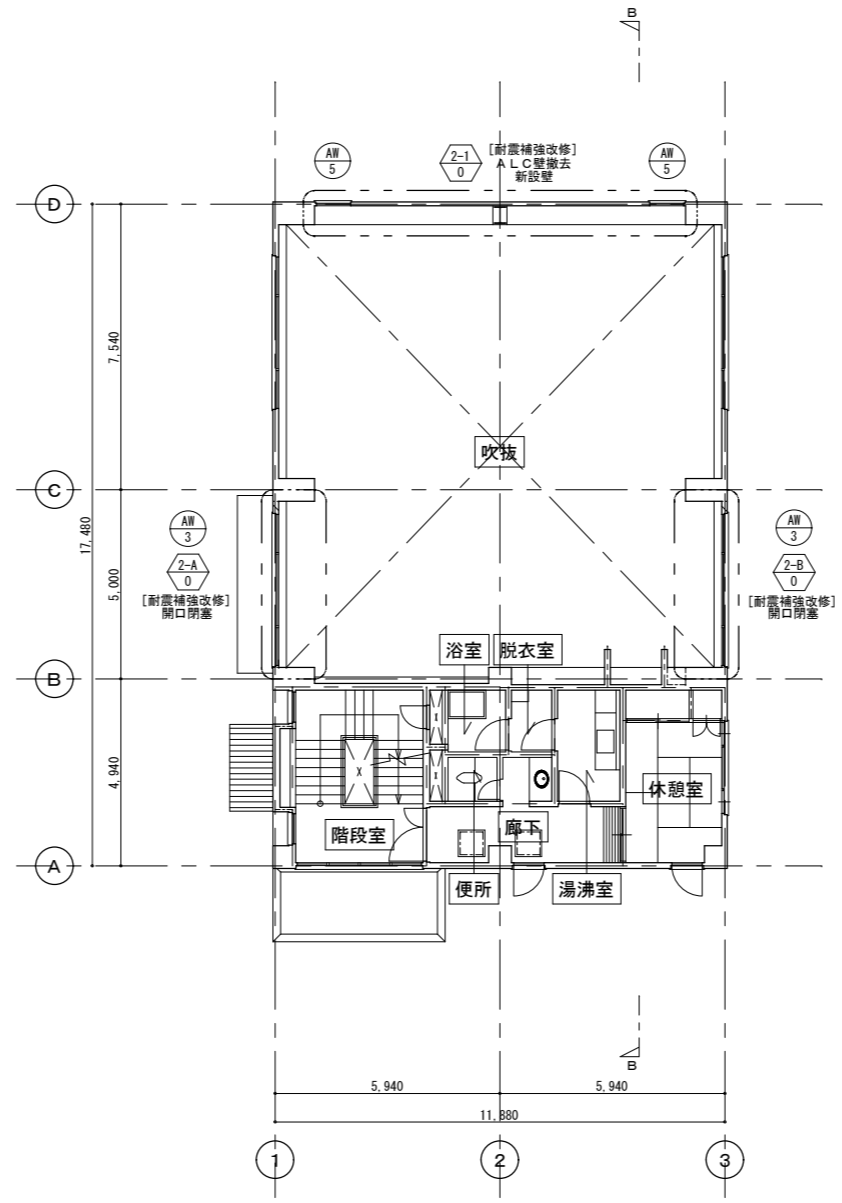
改修内容凡例

改修前	改修後
A: 仕上撤去	a: 仕上新設
B: 図示の仕上撤去	b: 図示の仕上新設
C: 下地共撤去	c: 下地共新設
D: 図示の下地共撤去	d: 図示の下地共新設
E: 図示の下地調整	e: 図示の塗装塗り替え
F: 既存のまま	f: 既存のまま

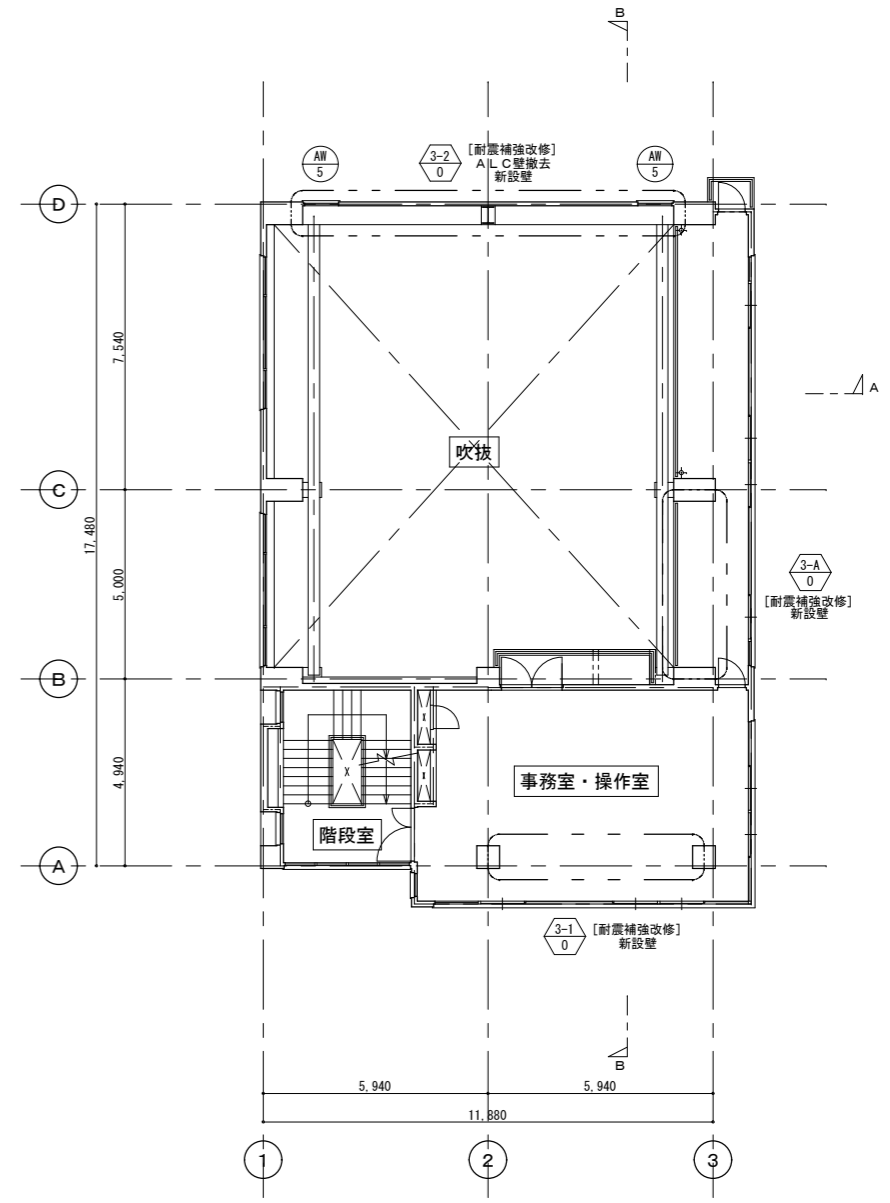




1階平面図 1/100



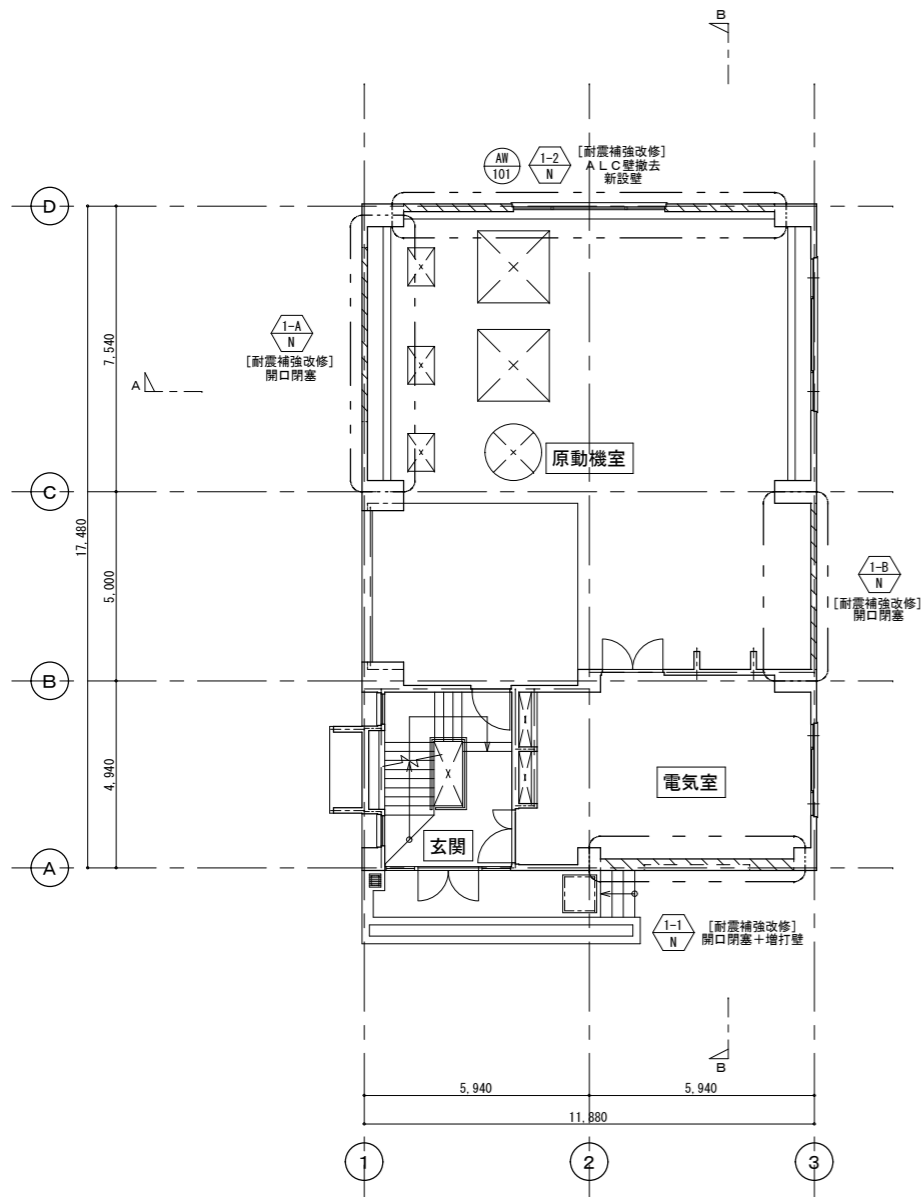
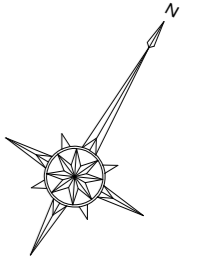
2階平面図 1/100



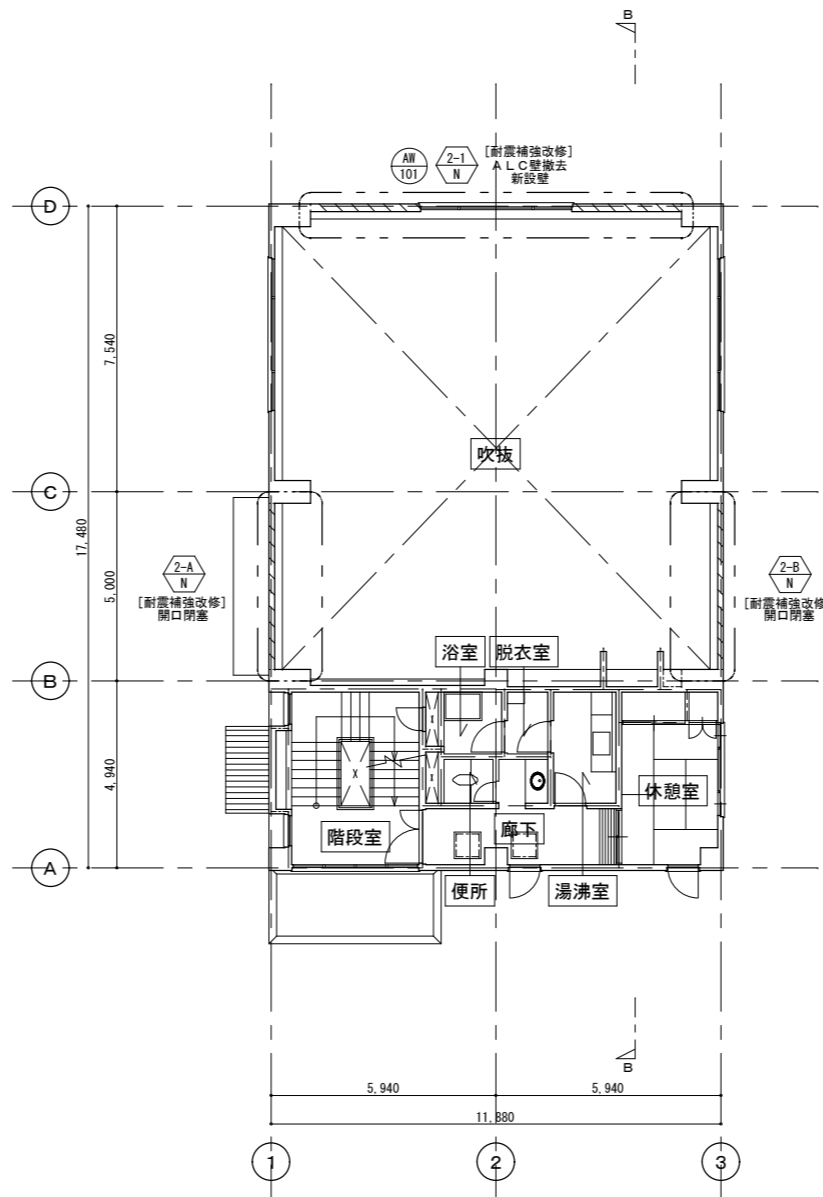
3階平面図 1/100

- 凡 例
- 撤去建具を示す。
  - 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
  - RC躯体撤去範囲を示す。

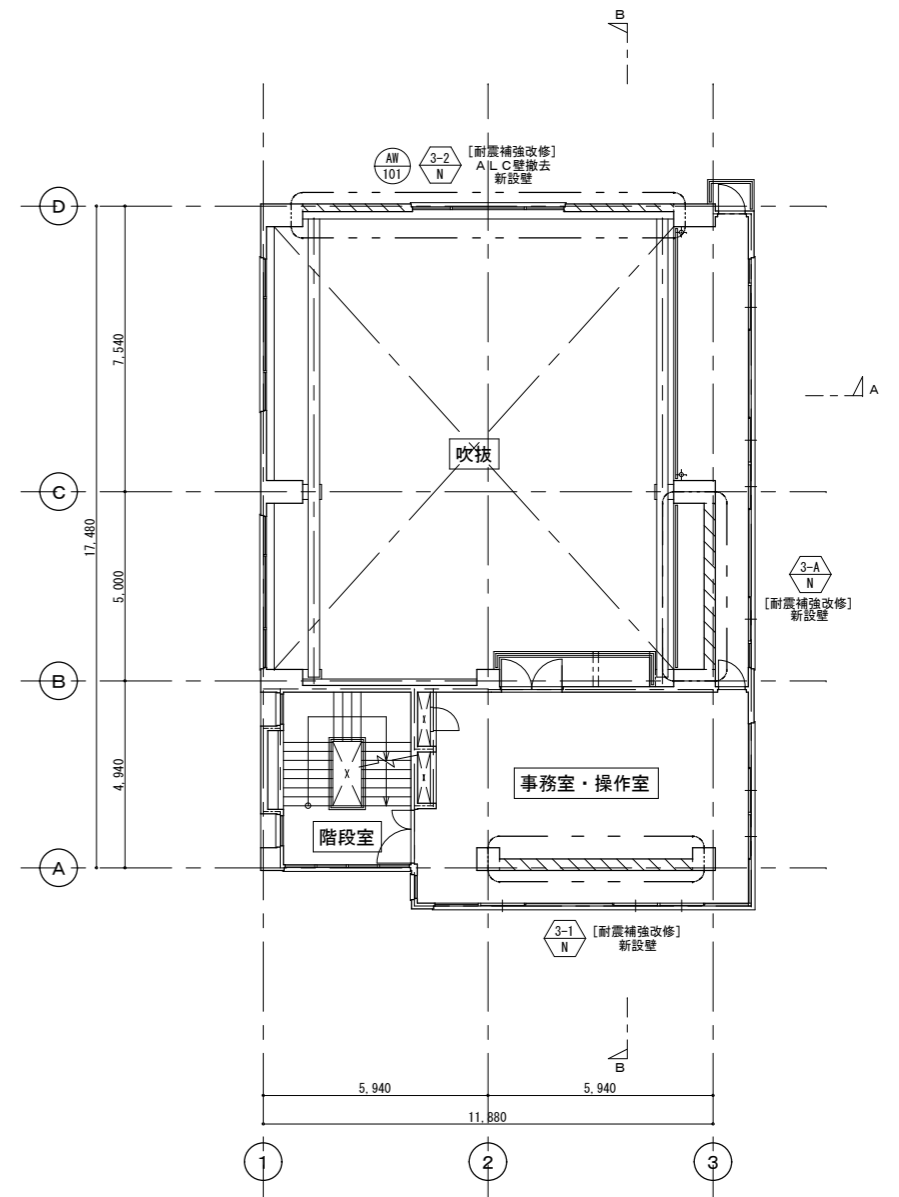
【雨水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-9/87



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

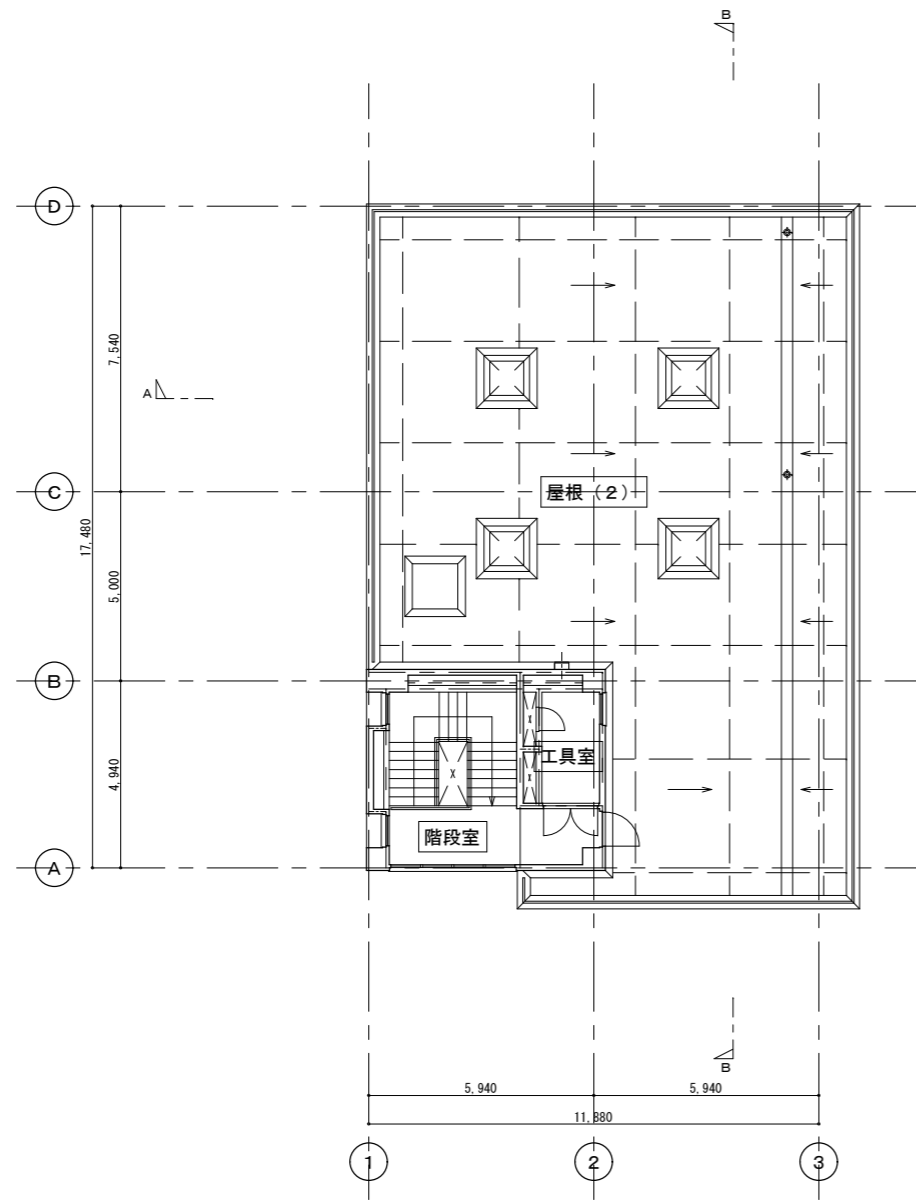
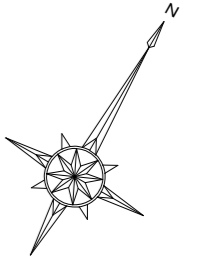


3階平面図 1/100

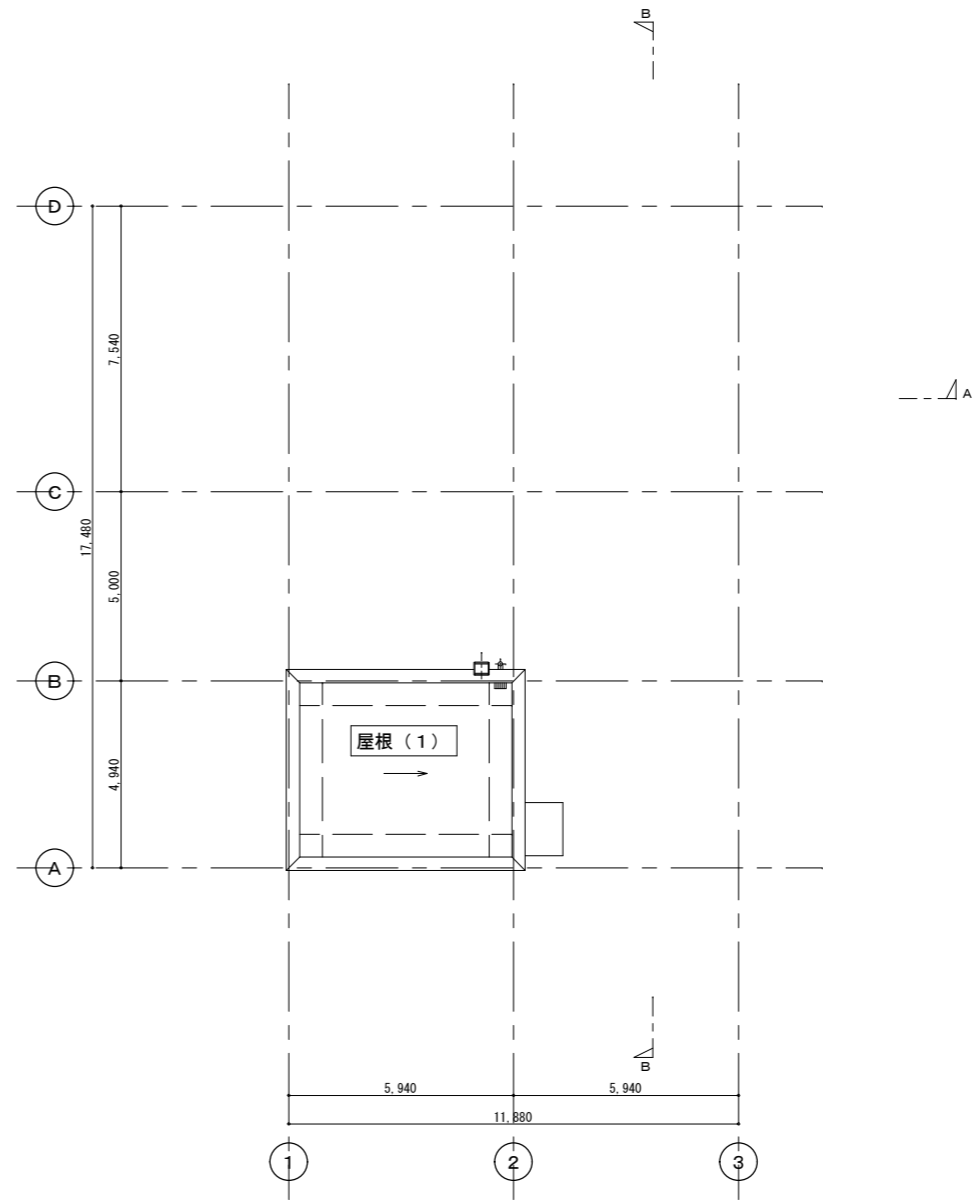
- 凡 例
- 新設建具を示す。
  - 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
  - RC躯体新設範囲を示す。

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-10/87



4階平面図 1/100

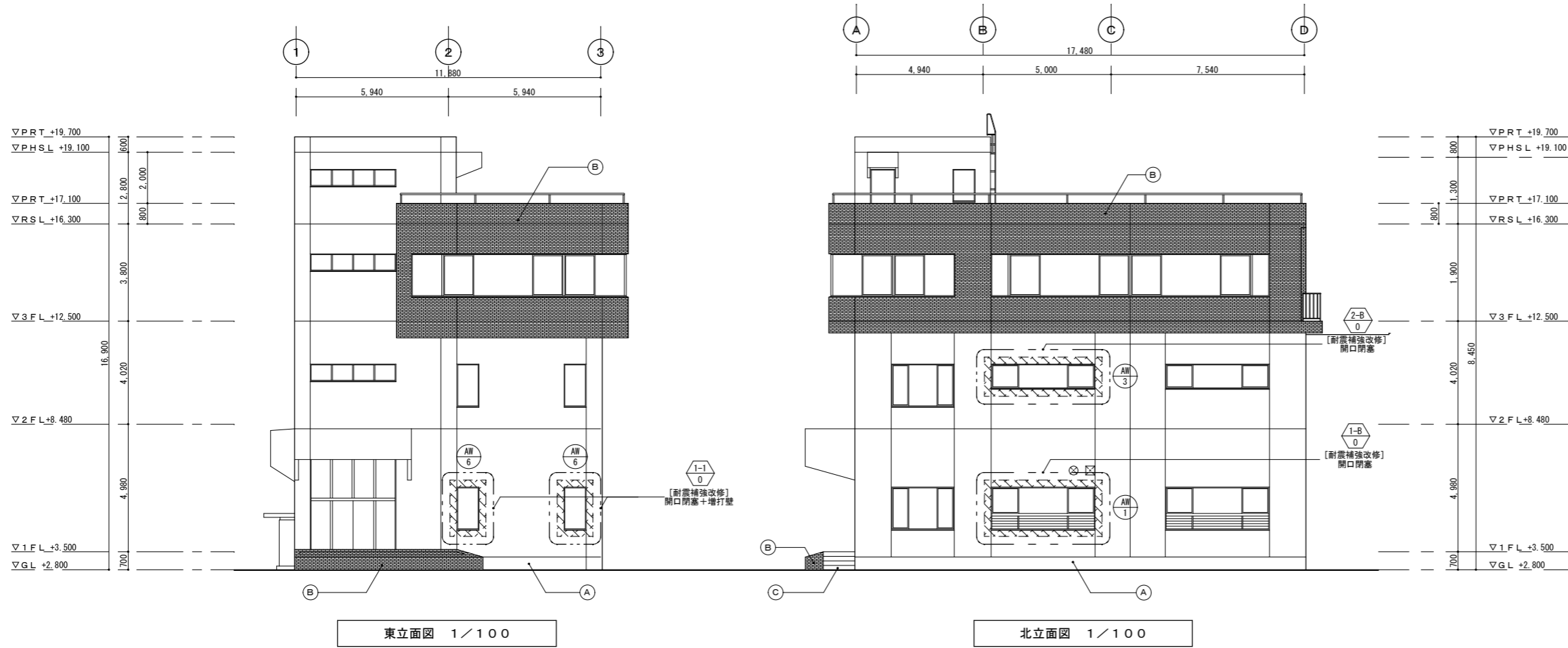


PH階平面図 1/100

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図(3)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-11/87

改修前

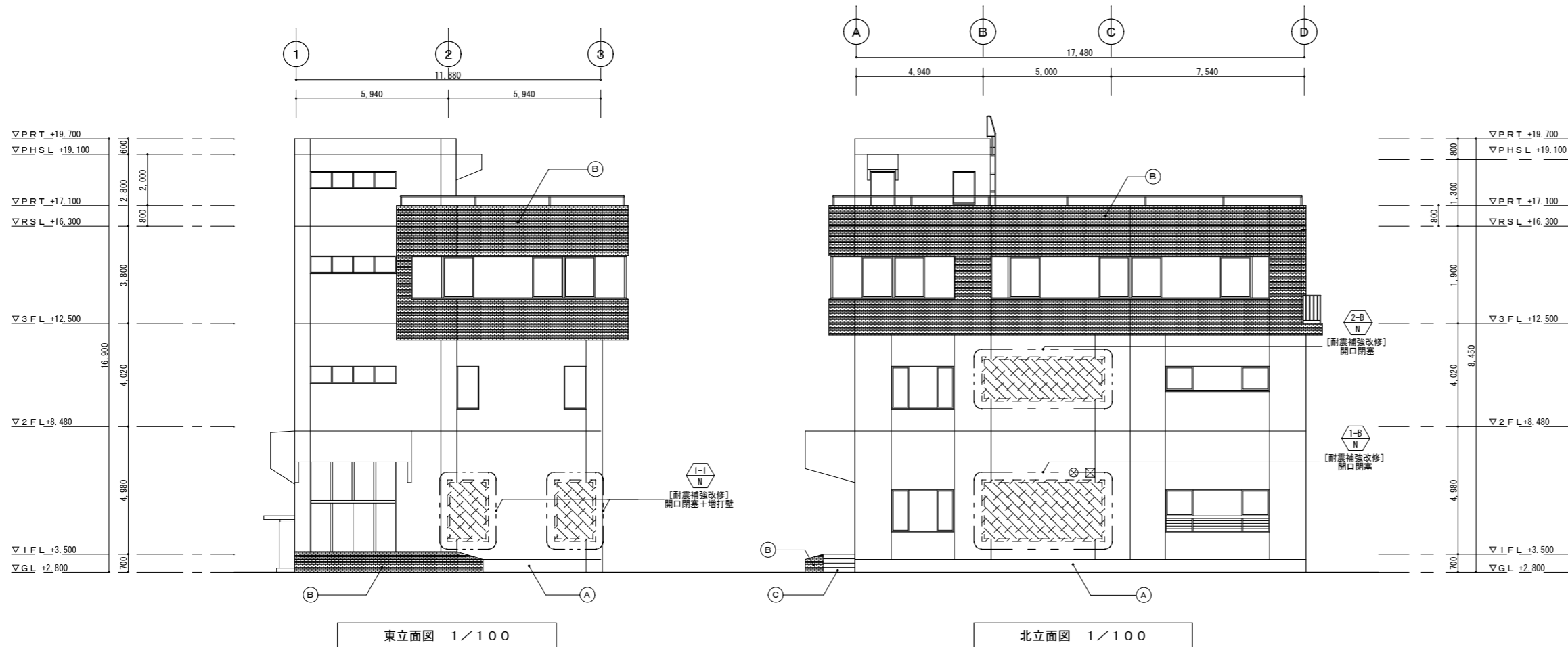


凡例

- 撤去建具を示す。
  - 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
  - RC躯体撤去範囲を示す。  
(仕上げ下地調整材にアスベストが含まれています)
  - 仕上・下地撤去範囲を示す。  
(仕上げ下地調整材にアスベストが含まれています)
- 注記(特記なき限り)  
下記仕上以外はコンクリート打放し(B)の上複層塗材Eとする。

(A)	コンクリート打放し(B)
(B)	二丁掛タイル貼
(C)	100角磁器質タイル貼
(D)	A L C板 t=100の上複層塗材E

改修後



凡例

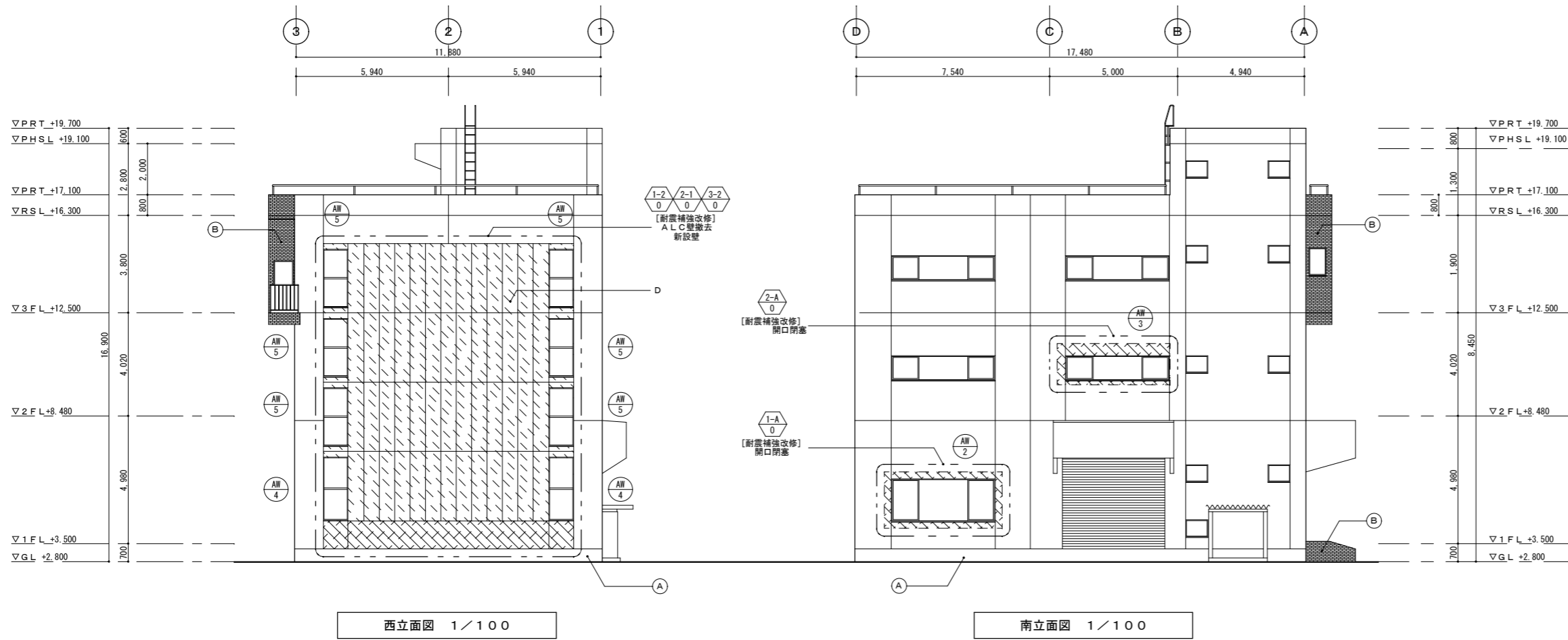
- 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
  - RC躯体新設範囲を示す。
  - 仕上・下地新設範囲を示す。
- 注記(特記なき限り)  
下記仕上以外はコンクリート打放し(B)の上複層塗材Eとする。

(A)	コンクリート打放し(B)
(B)	二丁掛タイル貼
(C)	100角磁器質タイル貼

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	立面図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-12/87

改修前



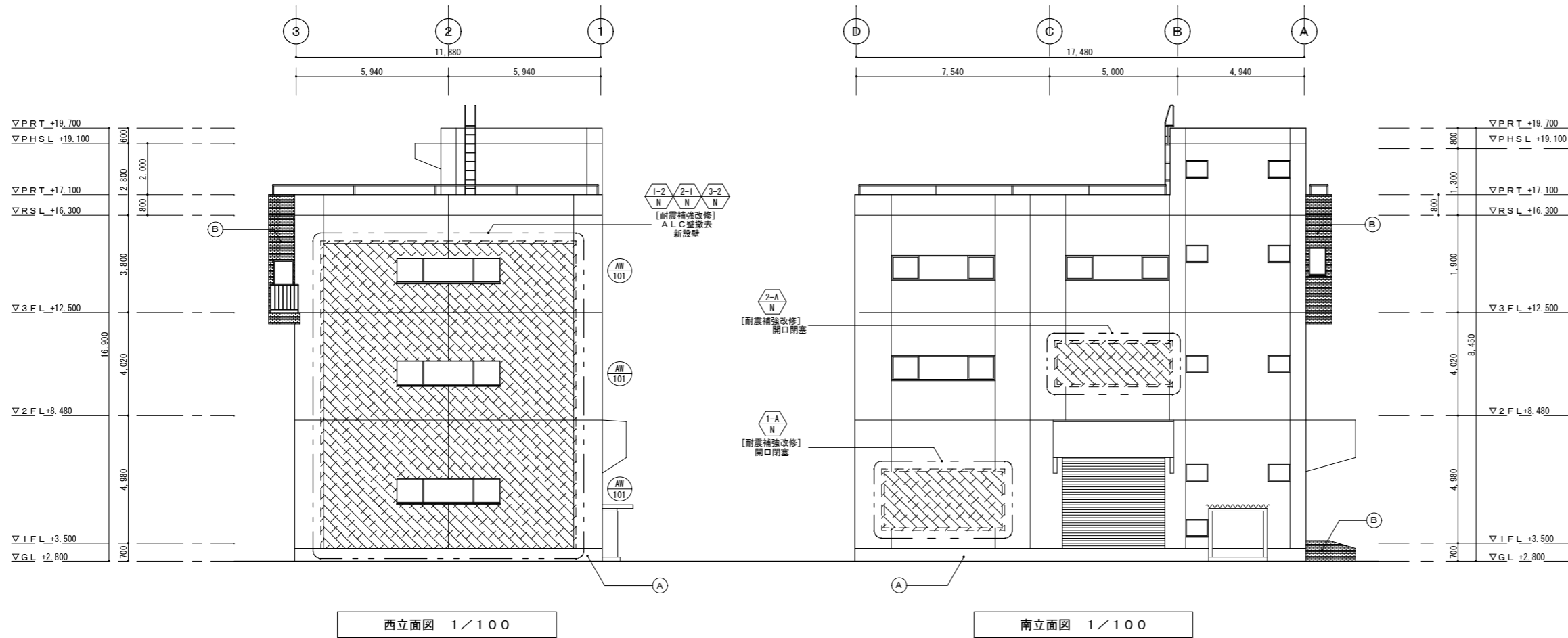
凡例

- 撤去建具を示す。
- 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
- ▨ R C躯体撤去範囲を示す。  
(仕上げ下地調整材にアスベストが含有されています)
- ▨ 仕上・下地撤去範囲を示す。  
(仕上げ下地調整材にアスベストが含有されています)
- ▨ 仕上・下地撤去範囲を示す。  
(仕上げ下地調整材にアスベストが含有されていません)

注 (特記なき限り)  
下記仕上以外はコンクリート打放し (B) の上複層塗材 E とする。

(A)	コンクリート打放し (B)
(B)	二丁掛タイル貼
(C)	100角磁器質タイル貼
(D)	ALC板 t=100の上複層塗材 E

改修後



凡例

- 新設建具を示す。
- 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
- ▨ R C躯体新設範囲を示す。
- ▨ 仕上・下地新設範囲を示す。

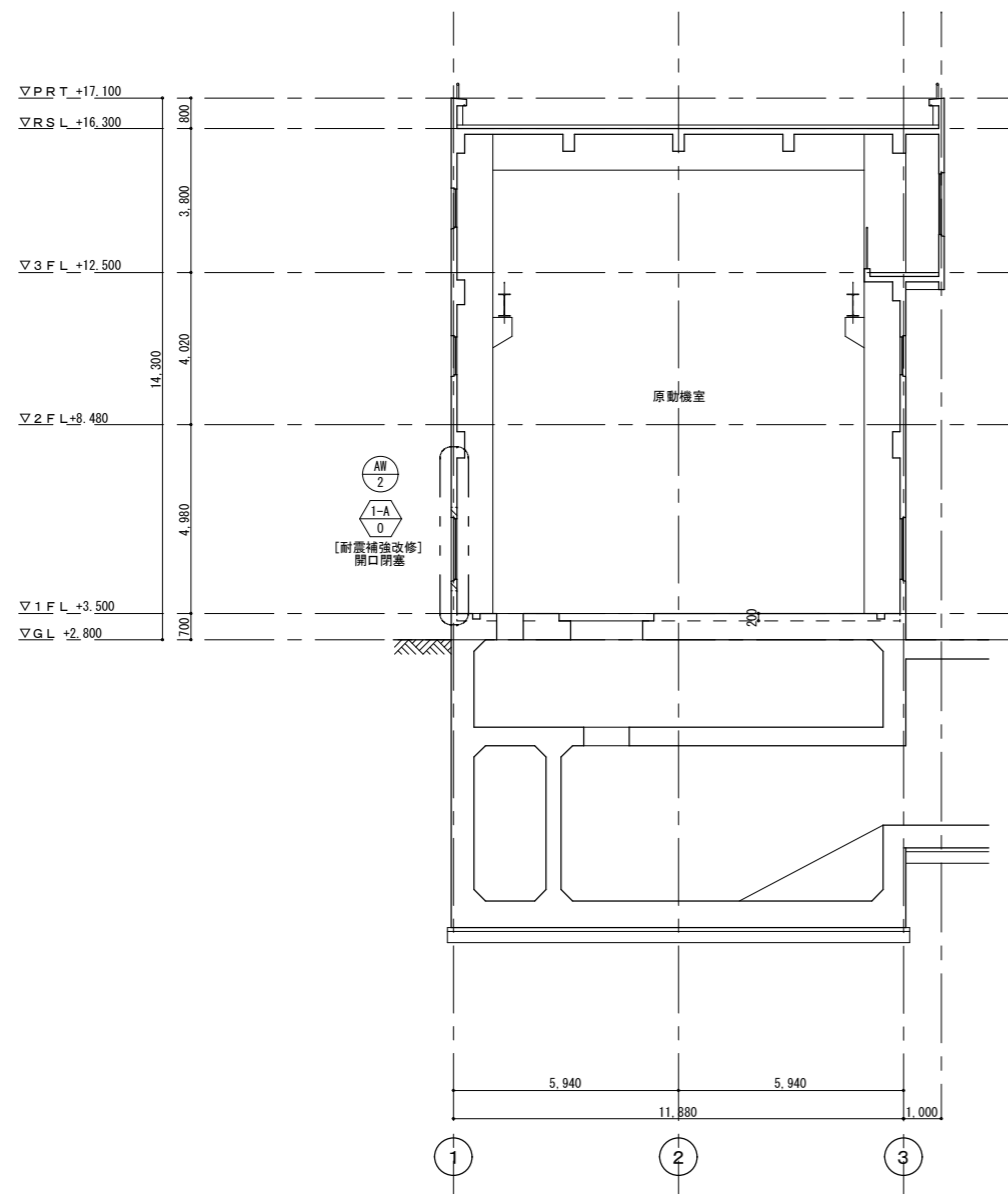
注 (特記なき限り)  
下記仕上以外はコンクリート打放し (B) の上複層塗材 E とする。

(A)	コンクリート打放し (B)
(B)	二丁掛タイル貼
(C)	100角磁器質タイル貼

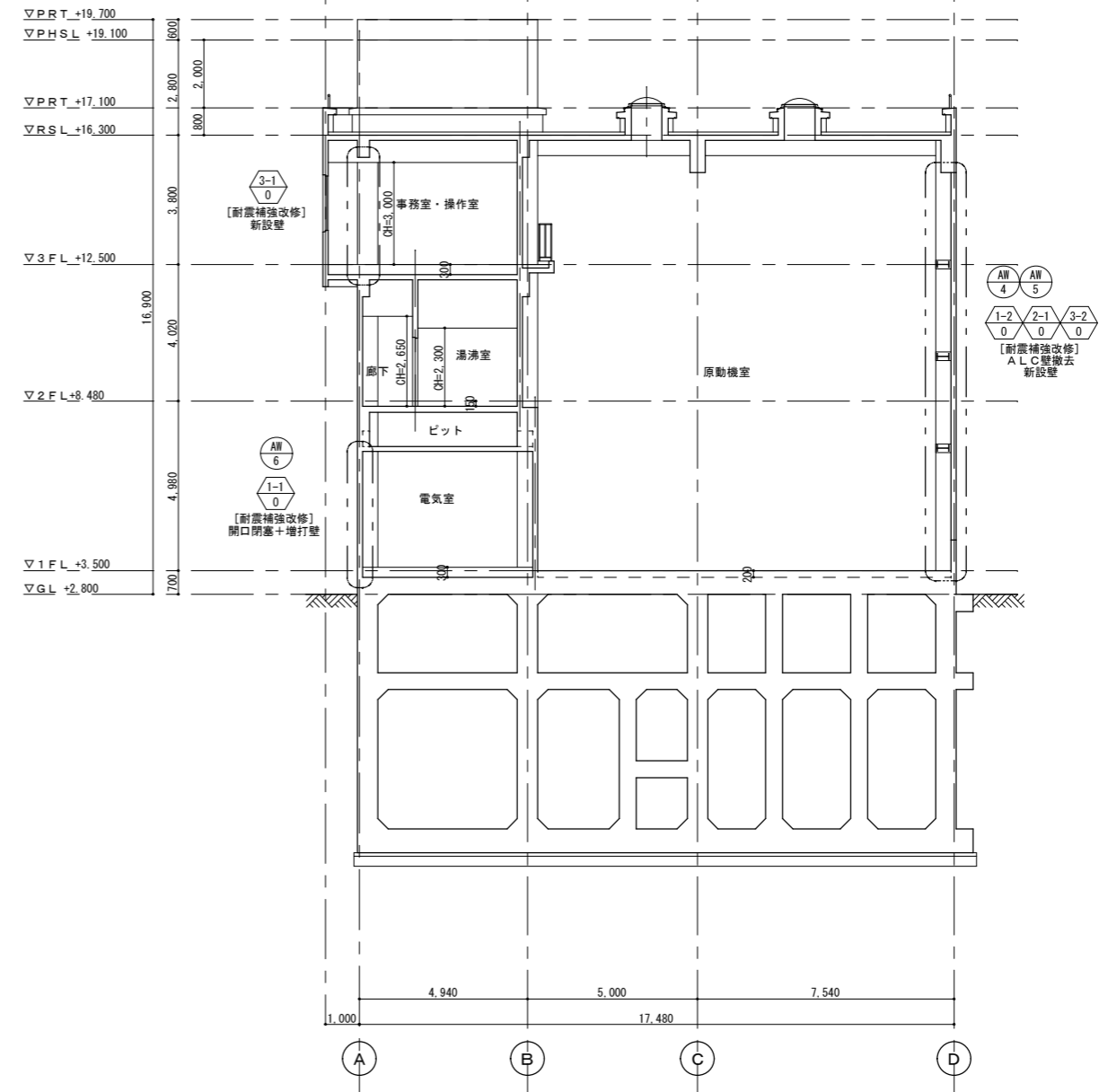
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	立面図 (2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-13/87

改 修 前



A-A断面図 1/100



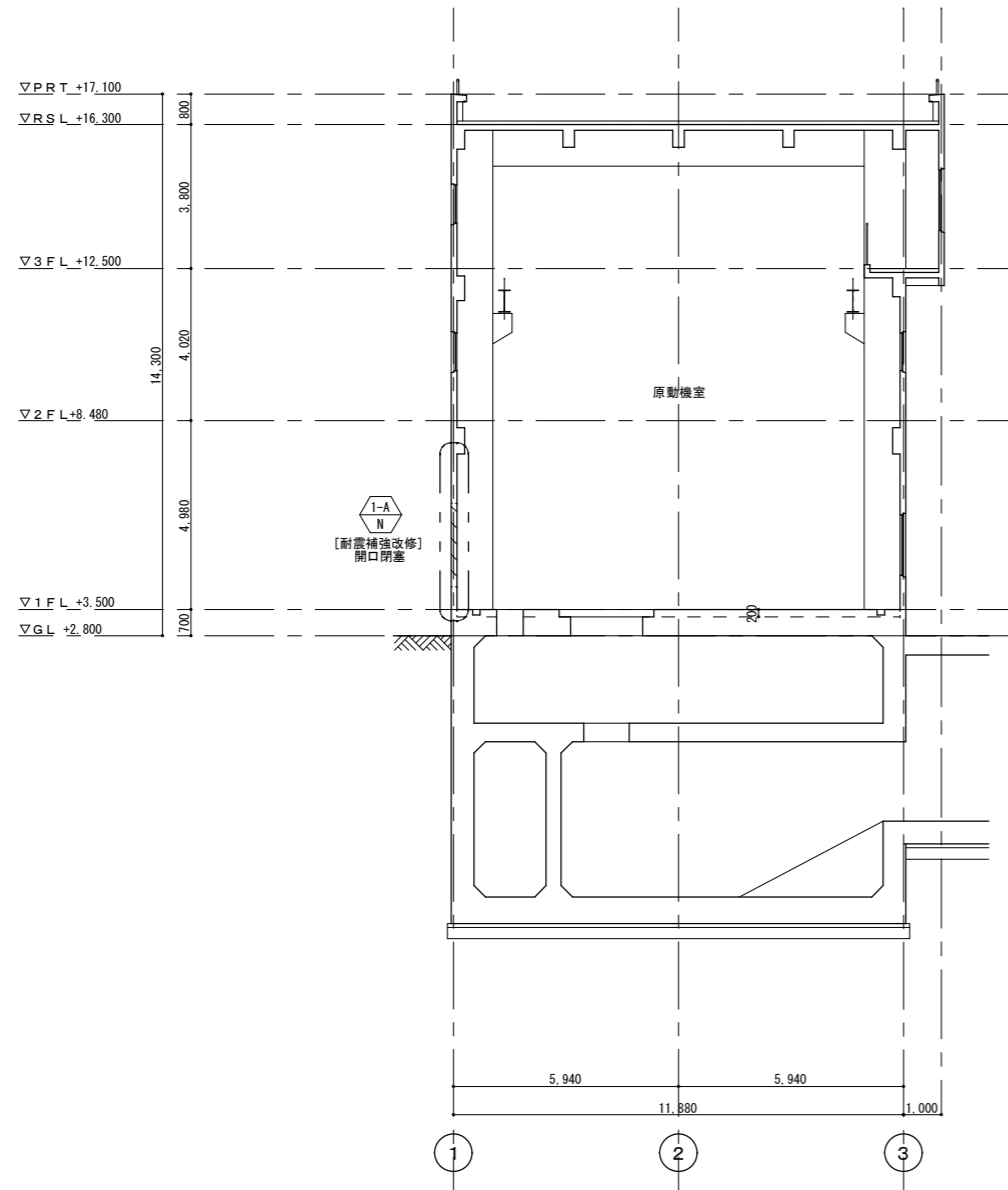
B-B断面図 1/100

- 凡 例
- 撤去建具を示す。
  - ◇ 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
  - ▨ RC躯体撤去範囲を示す。

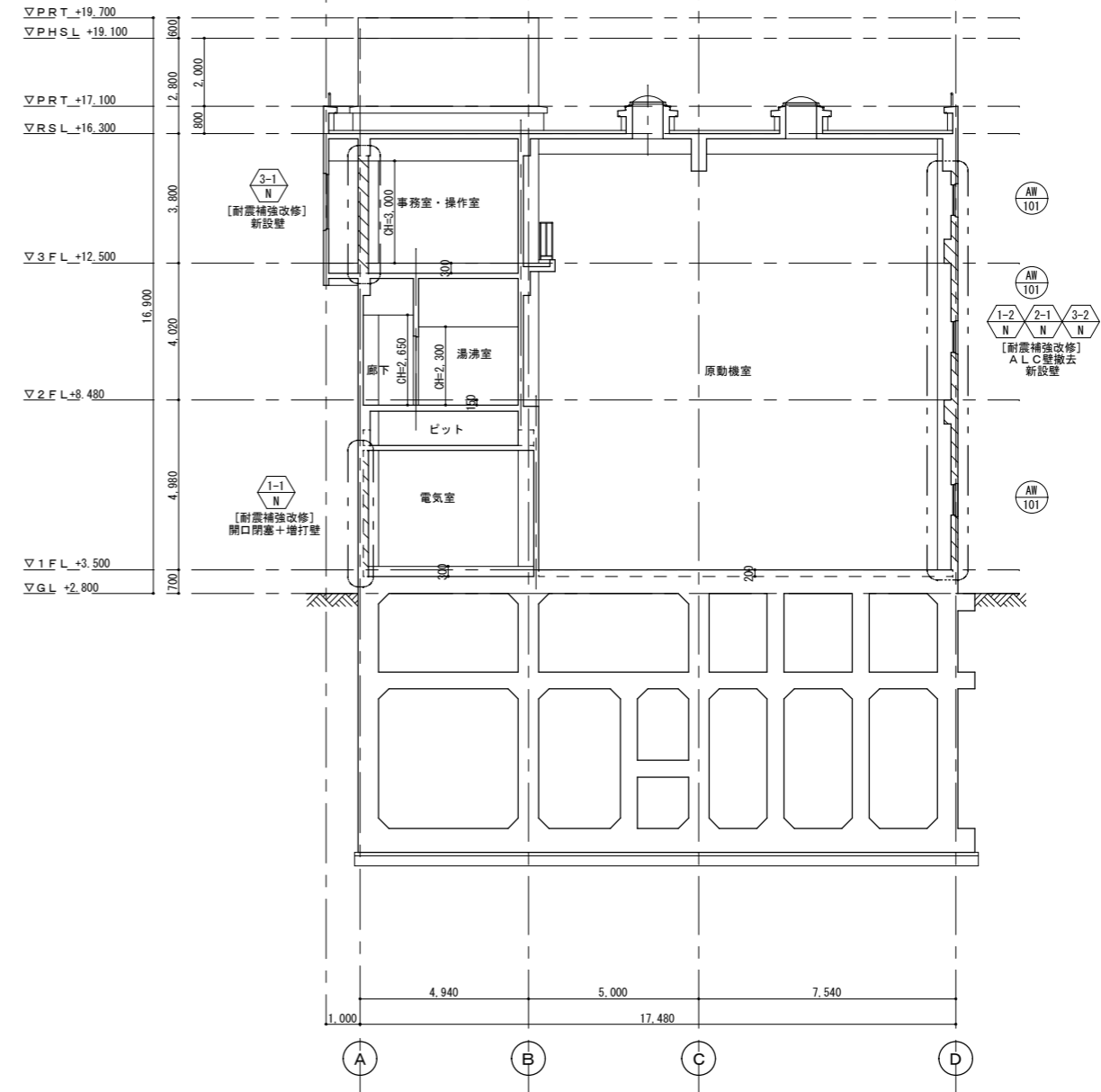
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	断面図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-14/87

改 修 後



A-A断面図 1/100



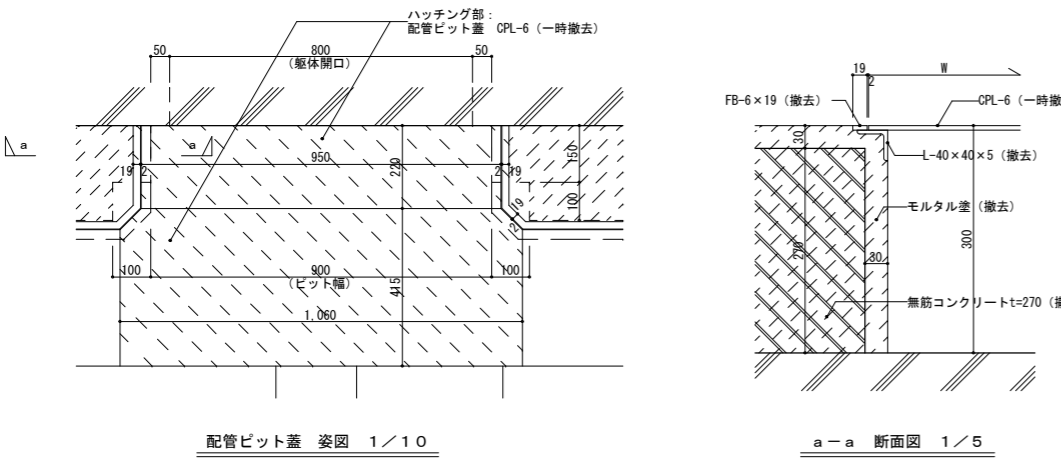
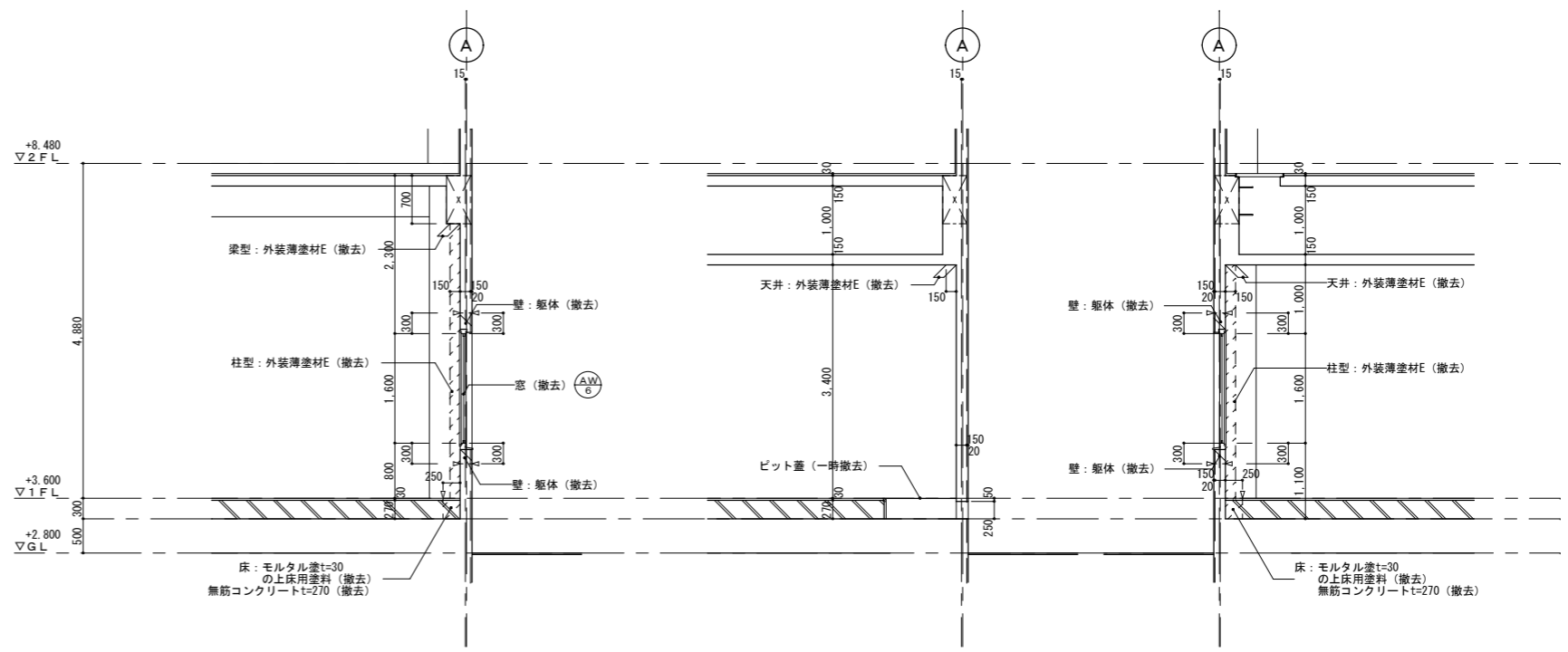
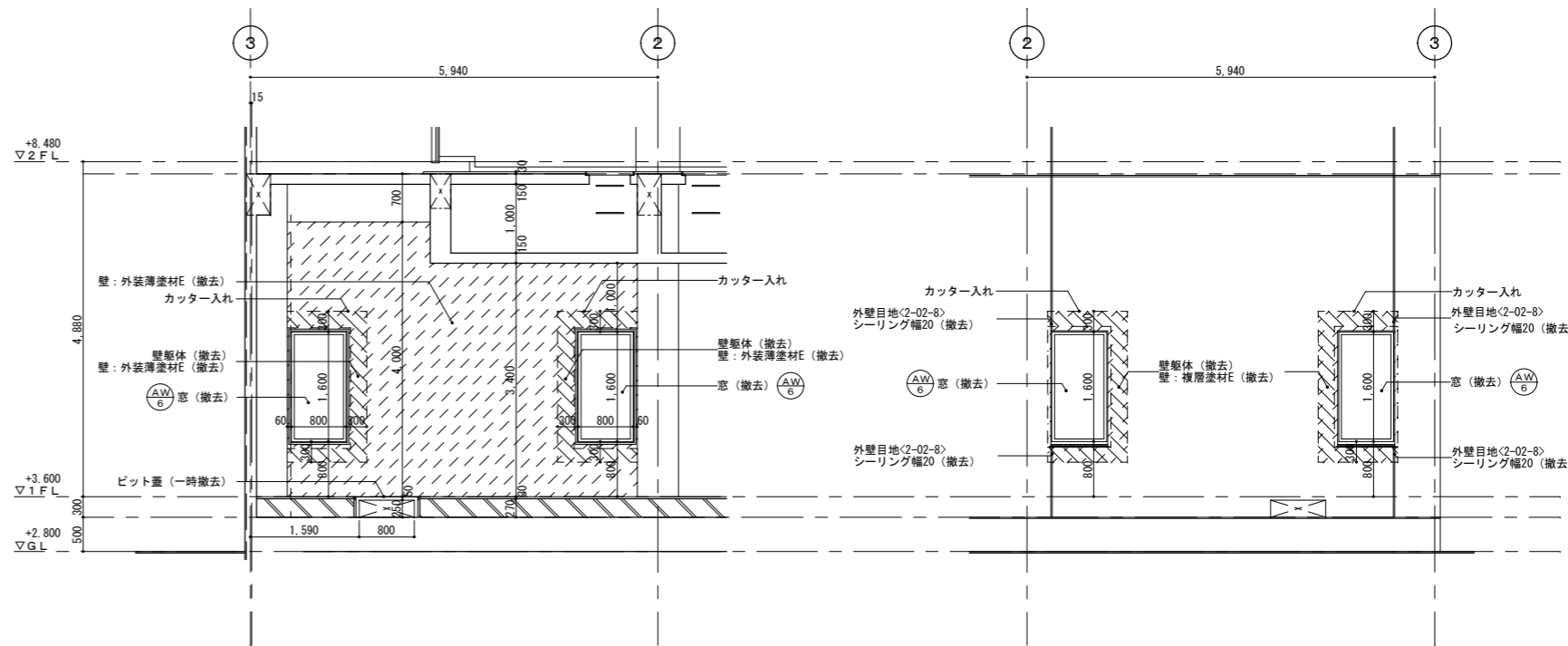
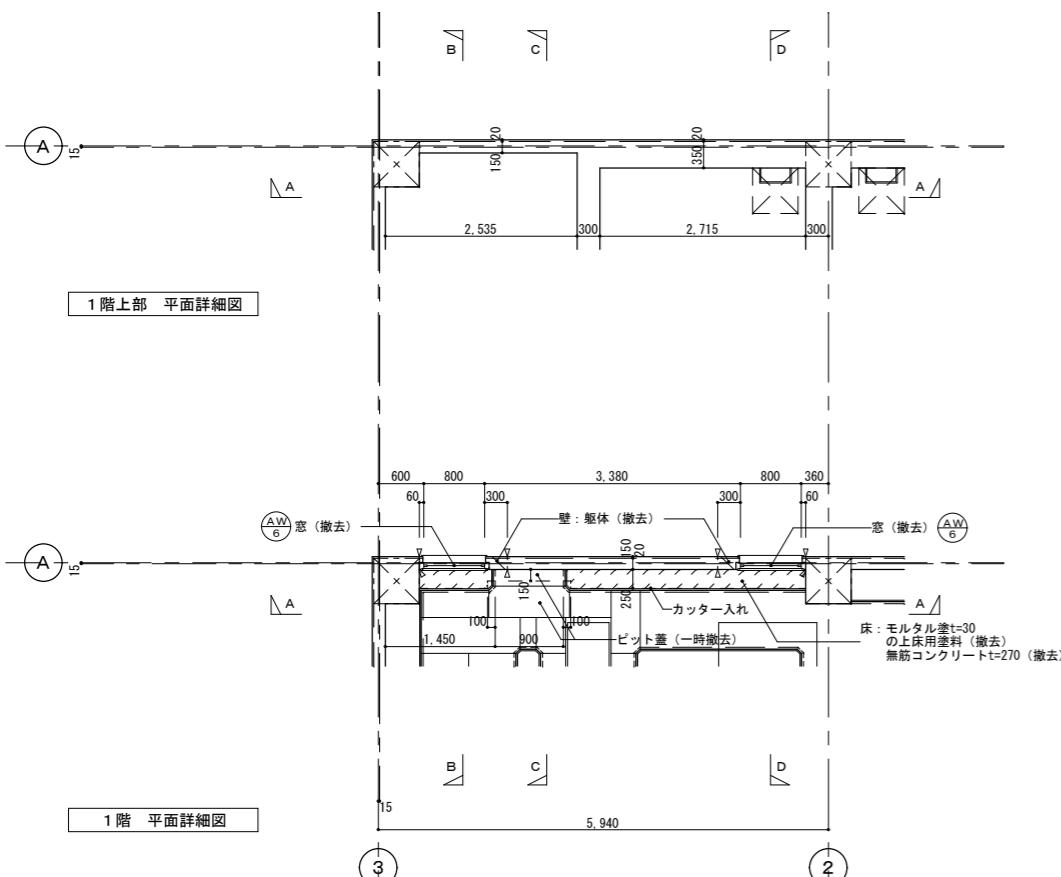
B-B断面図 1/100

- 凡 例
- 新設建具を示す。
  - ◇ 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
  - ▨ RC躯体新設範囲を示す。

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	断面図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-15/87



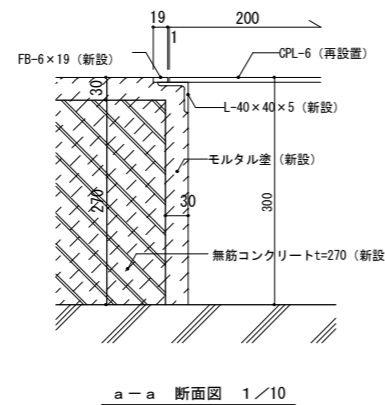
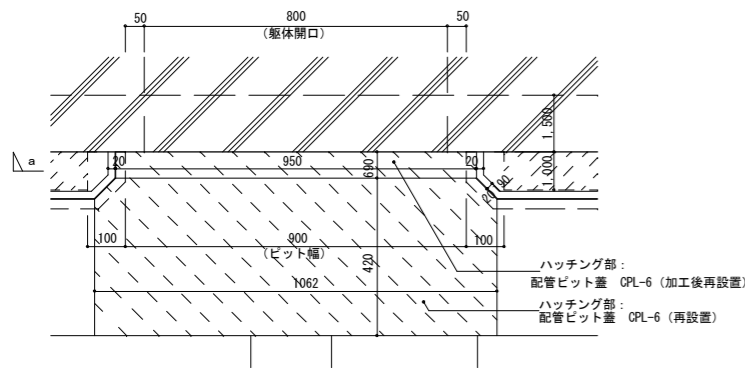
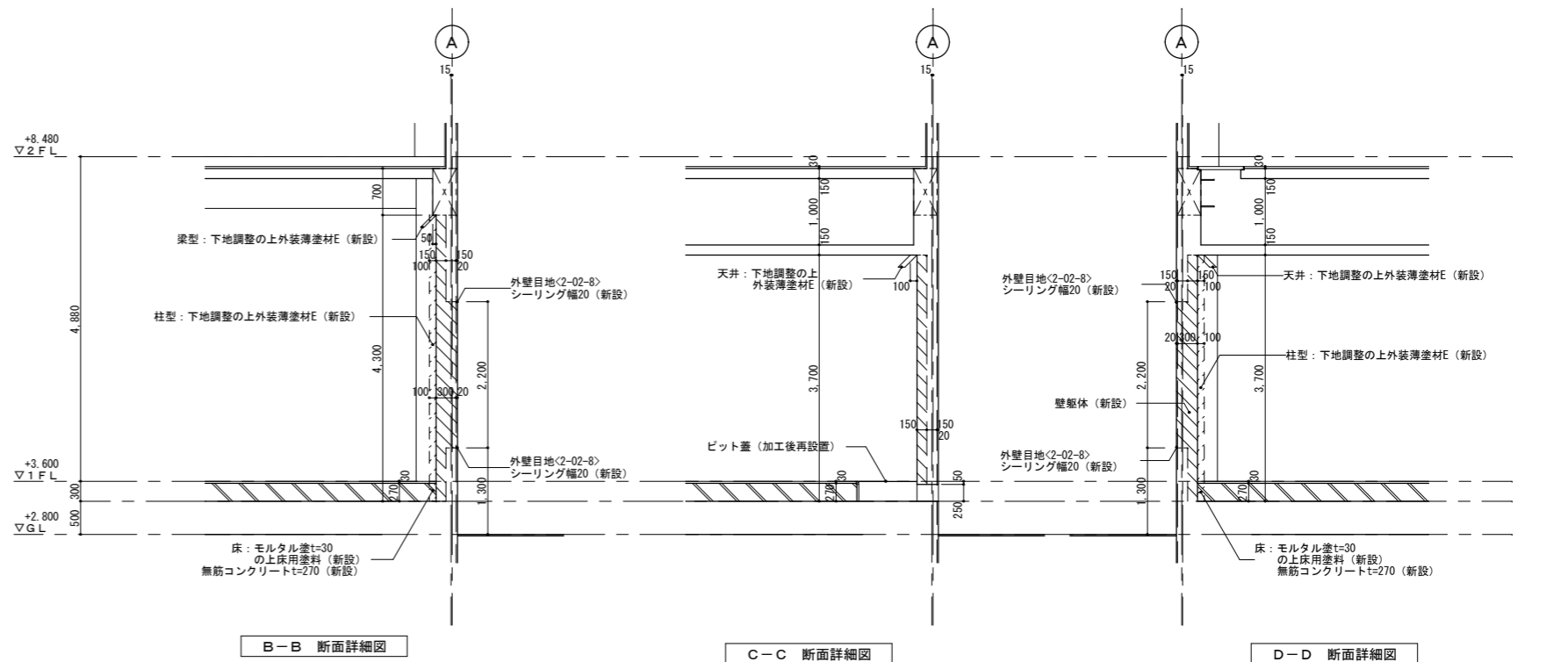
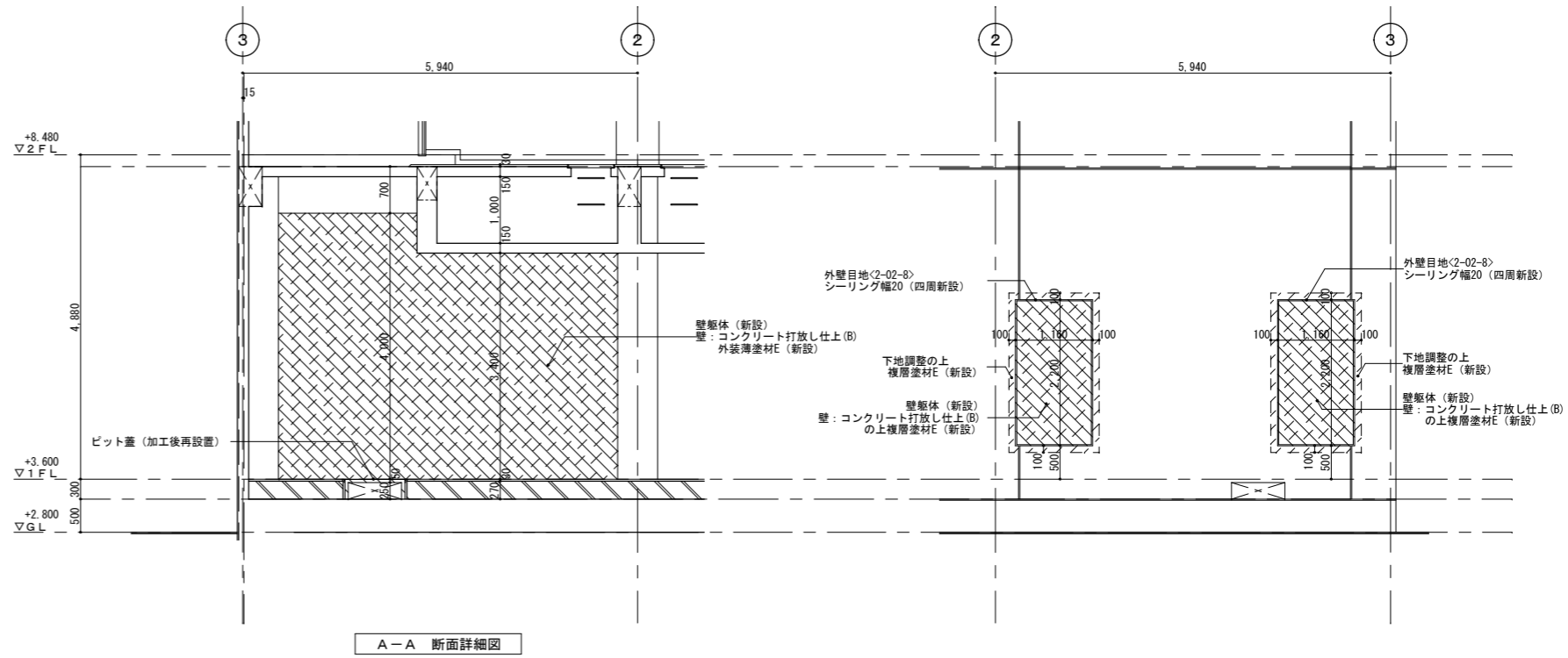
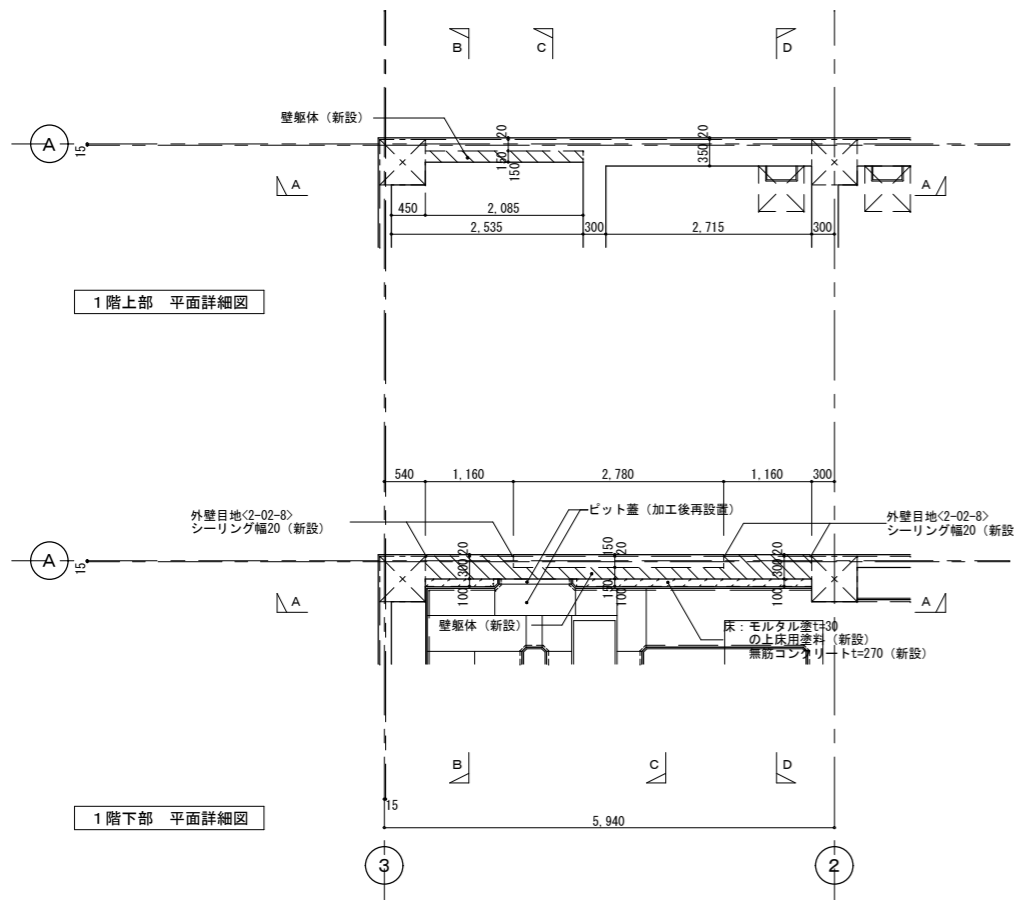


- 凡例
- RC躯体撤去範囲を示す。
  - 仕上・下地撤去範囲を示す。
  - カッター入部を示す。

1階 電気室	
床	軽量コンクリートt=270 モルタル塗t=30 床用塗料
幅木・腰	幅木： 腰：
壁・柱型	壁：外装薄塗材E 柱型：外装薄塗材E
梁型・天井	梁型：外装薄塗材E 天井：外装薄塗材E

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図(1)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-16/87

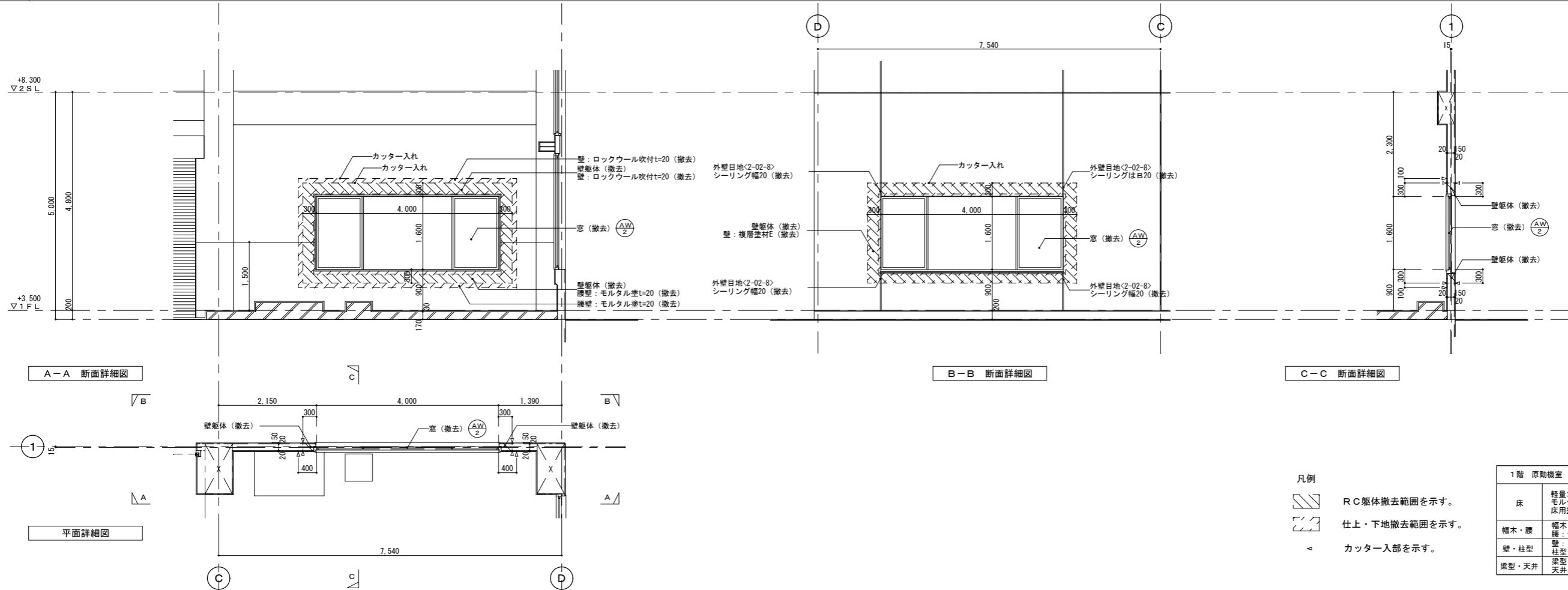


- 凡例
- R/C躯体新設範囲を示す。
  - 仕上・下地新設範囲を示す。

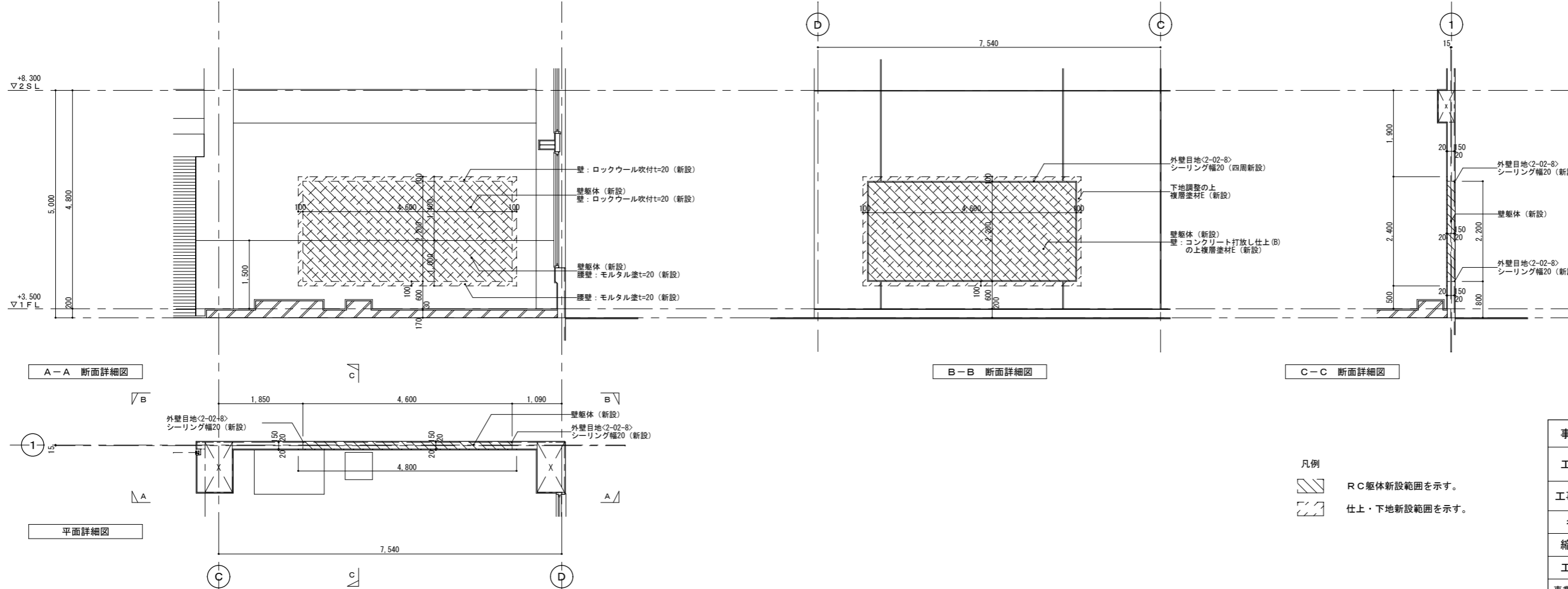
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図(2)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-17/87

1-A  
0 1F 1通りC~D間 改修前



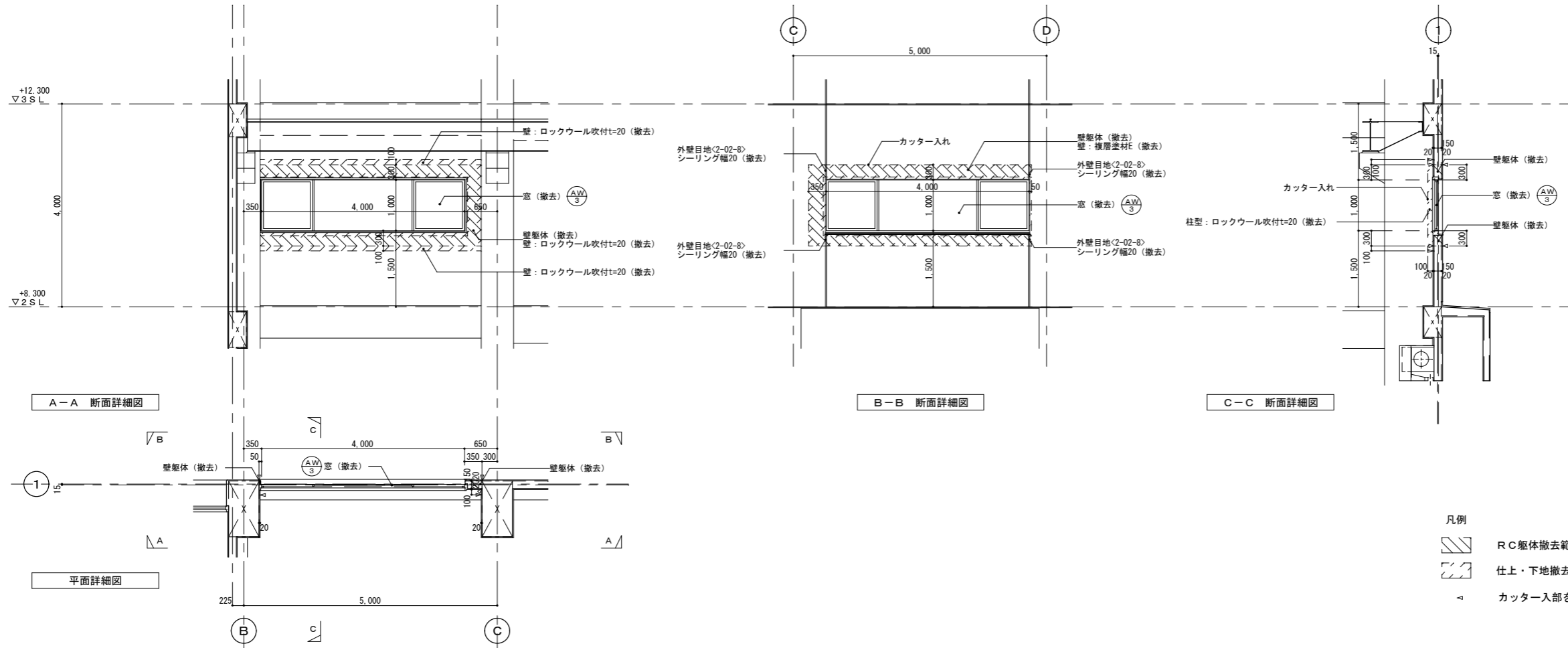
1-A  
N 1F 1通りC~D間 改修後



【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (3)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-18/87

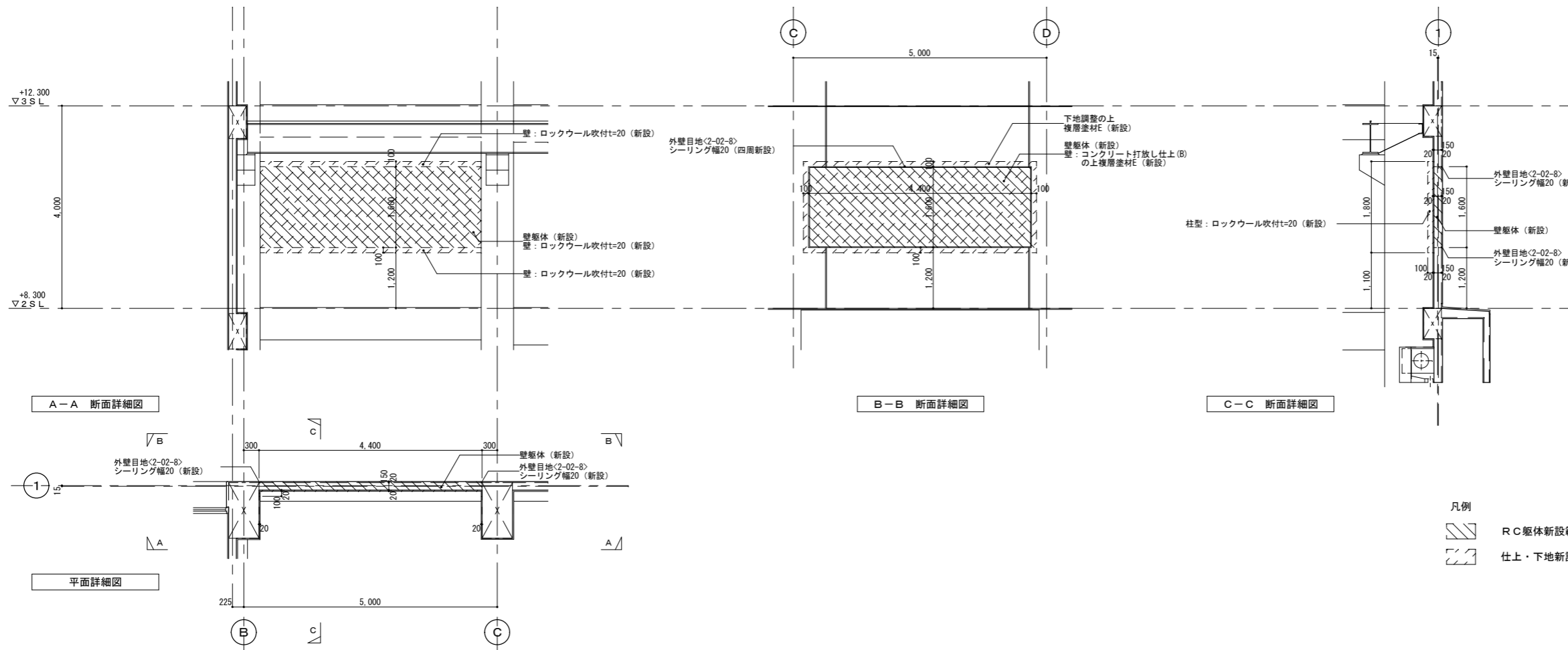
2-A  
0 2F 1通りB~C間 改修前



- 凡例
- RC躯体撤去範囲を示す。
  - 仕上・下地撤去範囲を示す。
  - カッター入部を示す。

1階 原動機室	
床	軽量コンクリート t=170 モルタル塗 t=30 床用塗料
幅木・腰	幅木: 腰:モルタル塗
壁・柱型	壁:ロックウール吹付 t=20 柱型:モルタル塗・ロックウール吹付 t=20
梁型・天井	梁型:ロックウール吹付 t=20 天井:ロックウール吹付 t=20

2-A  
N 2F 1通りB~C間 改修後

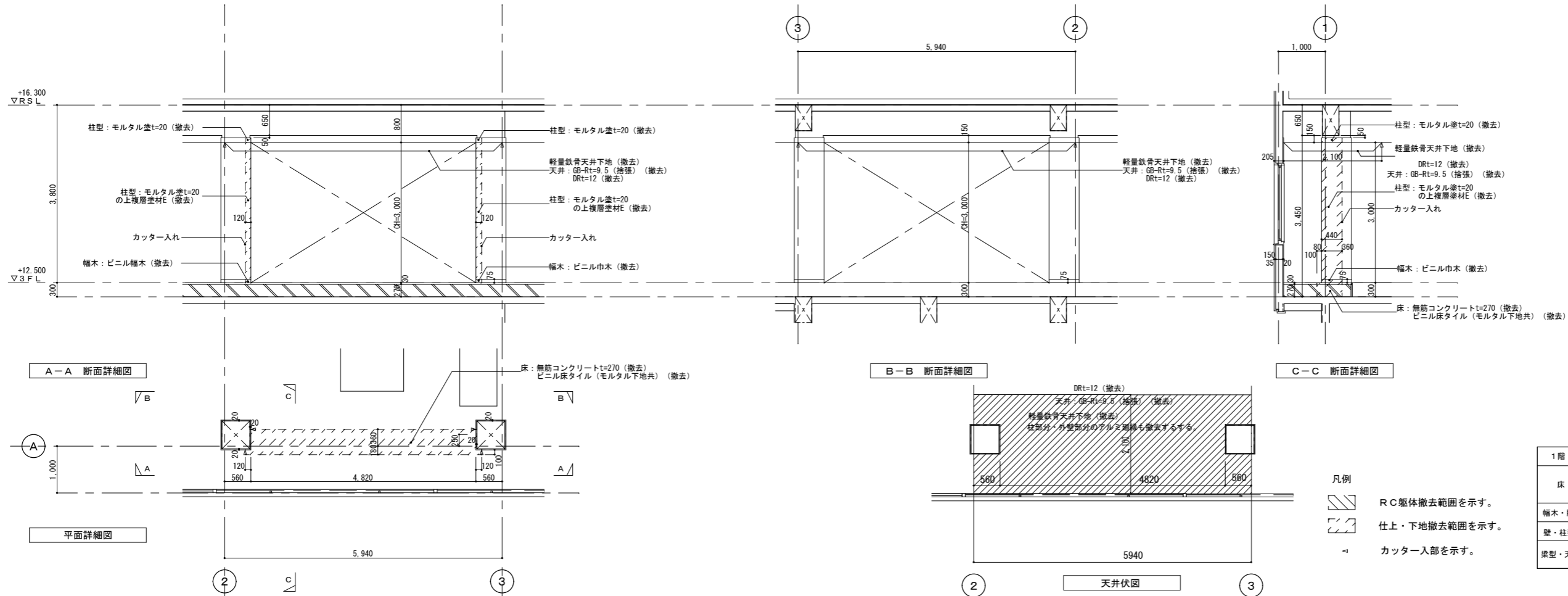


- 凡例
- RC躯体新設範囲を示す。
  - 仕上・下地新設範囲を示す。

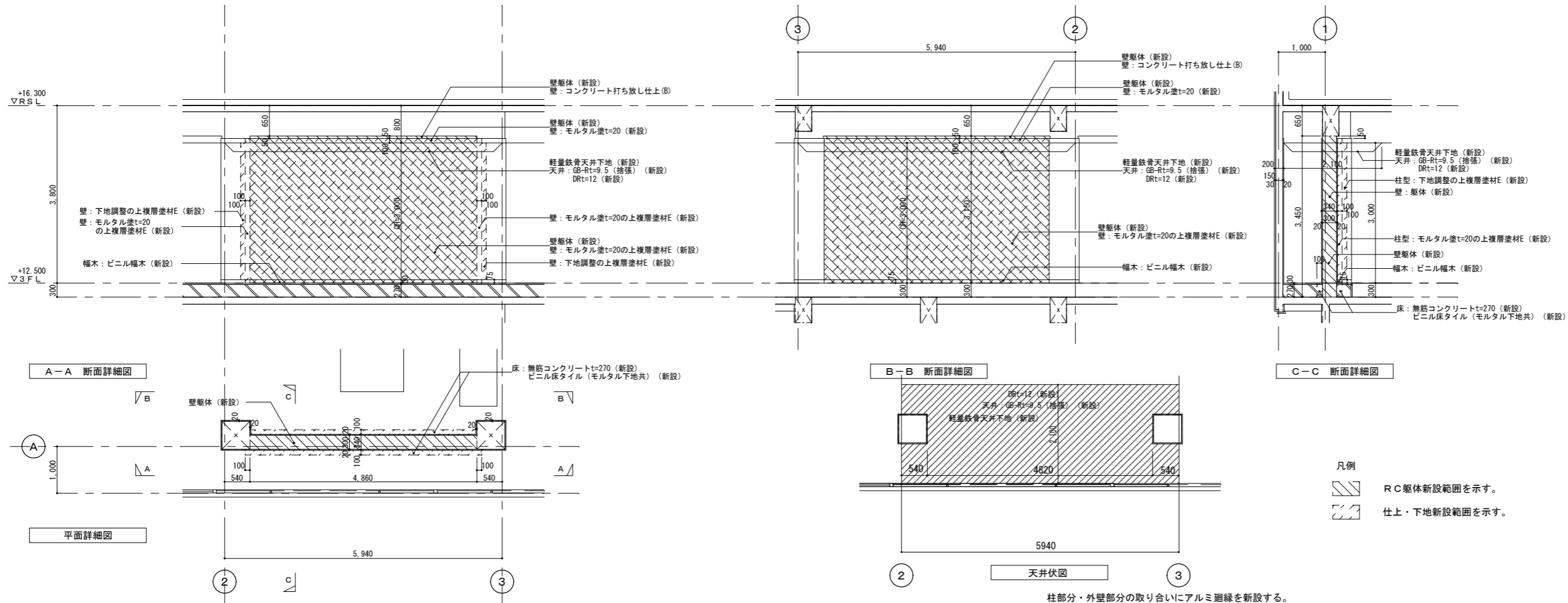
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図(4)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-19/87

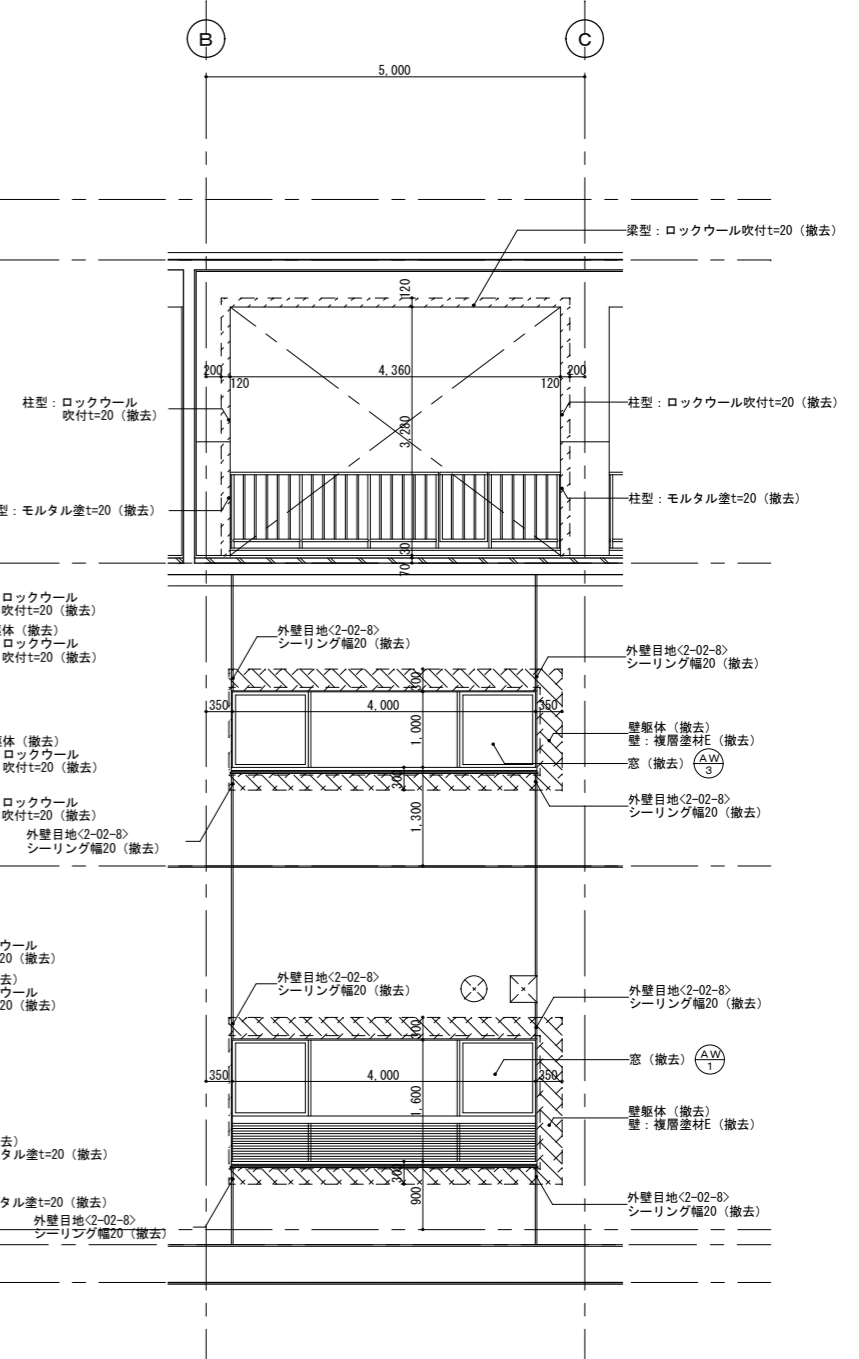
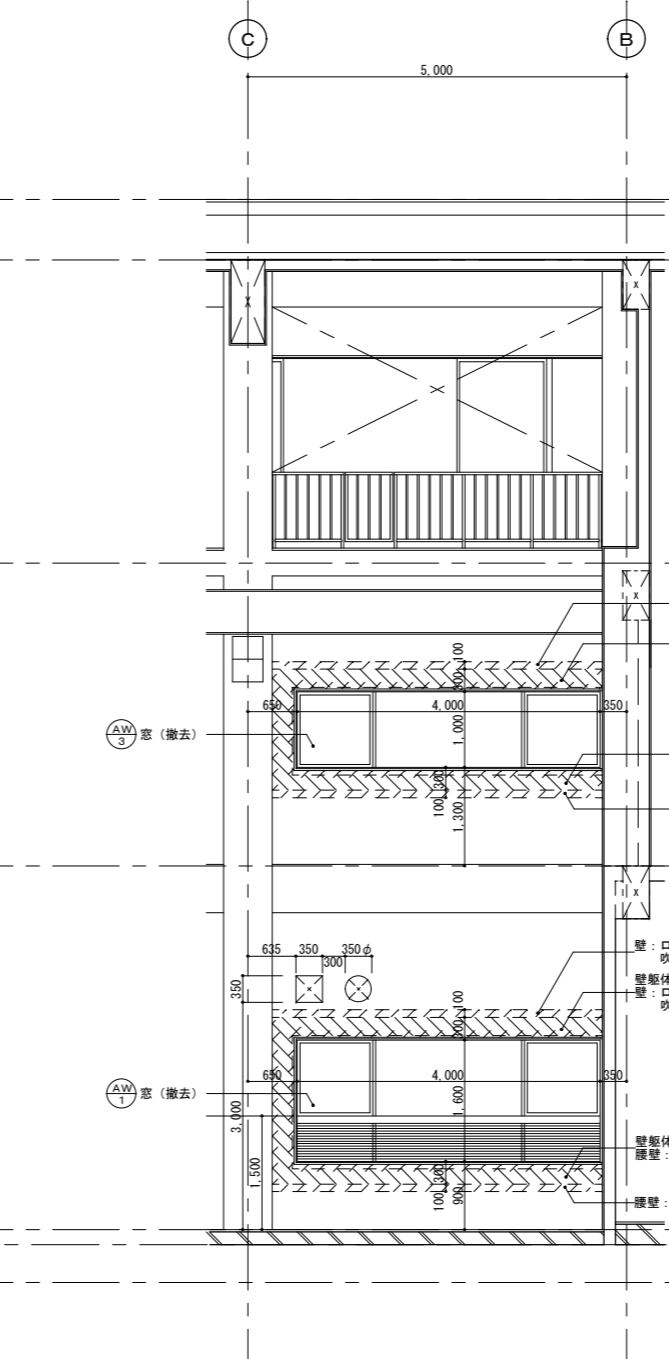
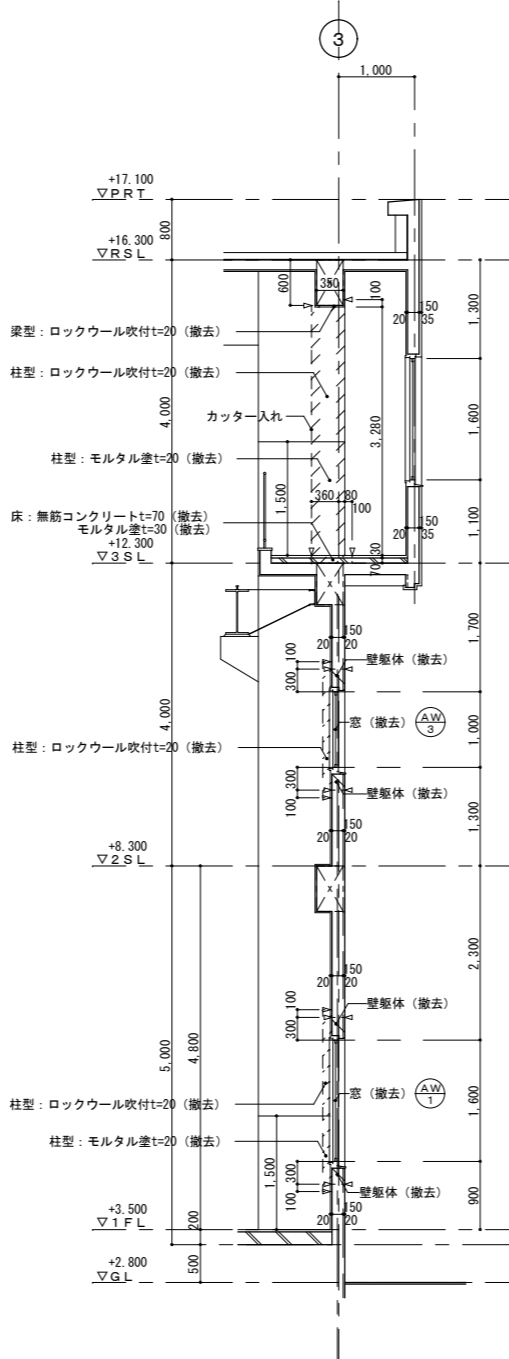
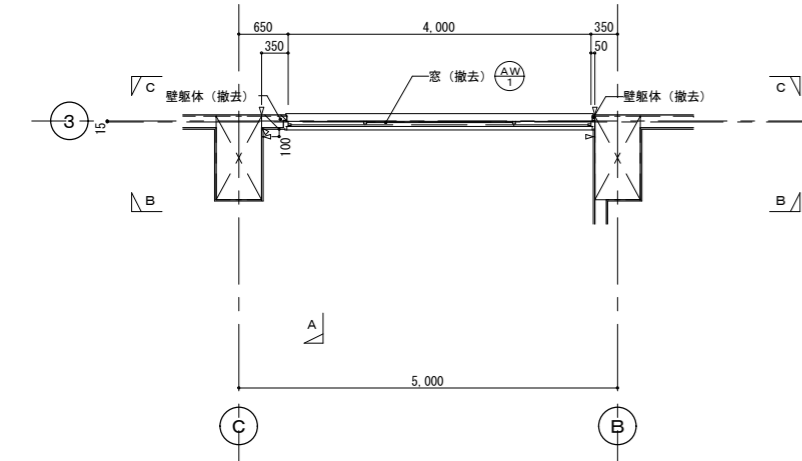
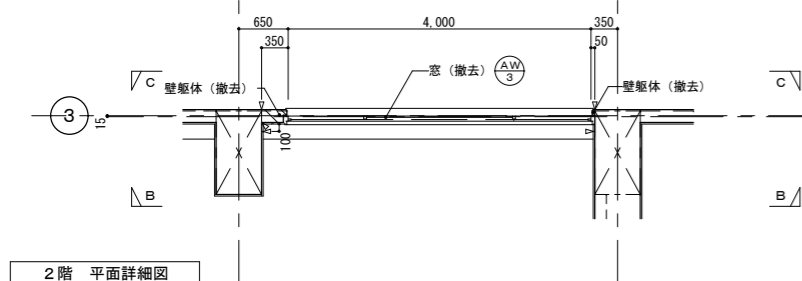
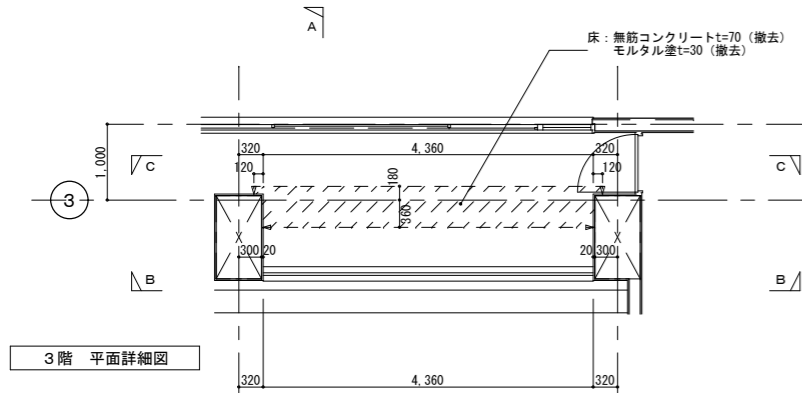
3-1  
0 3 F A通り2~3間 改修前



3-1  
N 3 F A通り2~3間 改修後



柱部分・外壁部分の取り合いにアルミ廻縁を新設する。

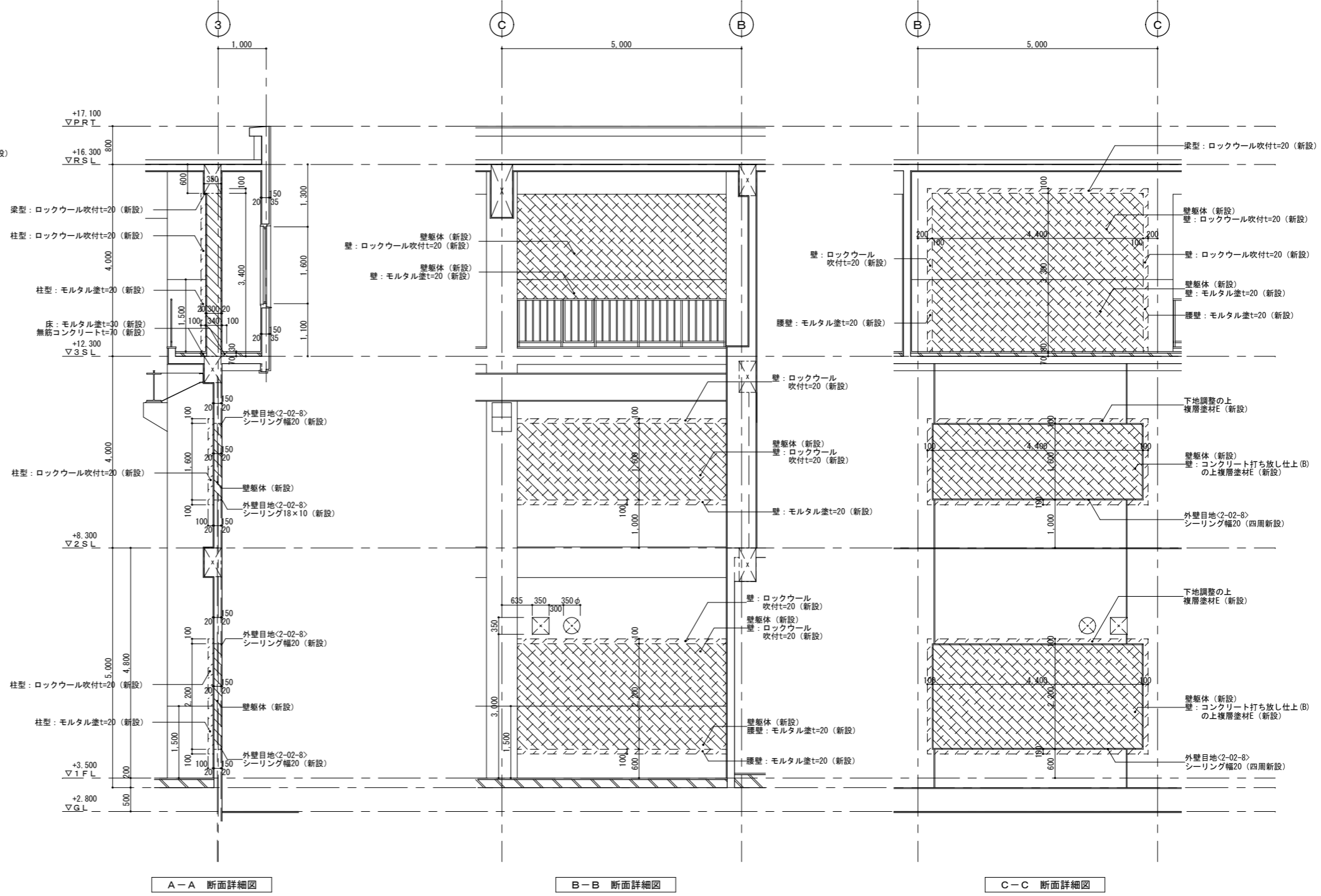
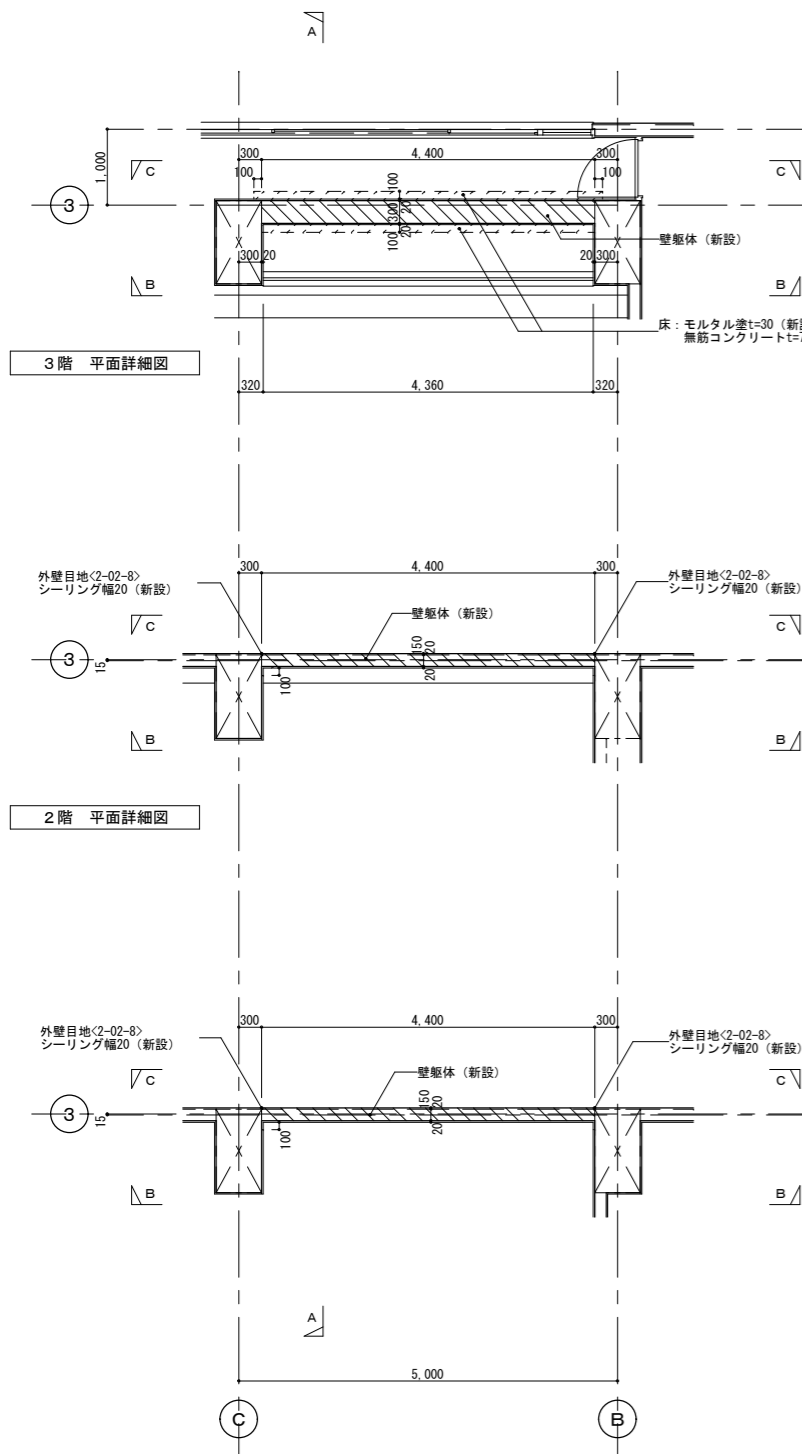


- 凡例
- RC躯体撤去範囲を示す。
  - 仕上・下地撤去範囲を示す。
  - カッター入部を示す。

1階 原動機室	
床	軽量コンクリート t = 170 モルタル塗 t = 30 床用塗料
幅木・腰	幅木: _____ 腰: モルタル塗
壁・柱型	壁: ロックウール吹付 t = 20 柱型: モルタル塗・ロックウール吹付 t = 20
梁型・天井	梁型: ロックウール吹付 t = 20 天井: ロックウール吹付 t = 20

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (6)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-21/87

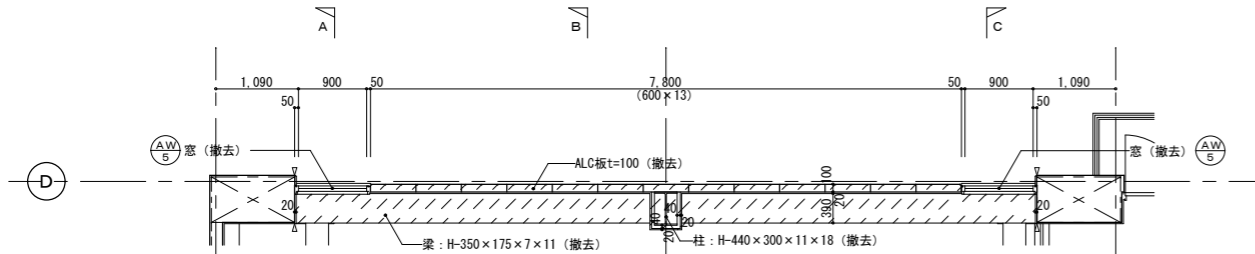


凡例  
 RC躯体新設範囲を示す。  
 仕上・下地新設範囲を示す。

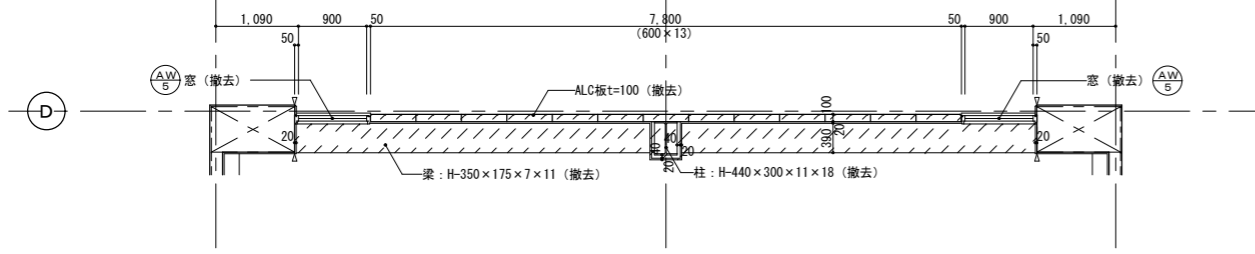
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図(7)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-22/87

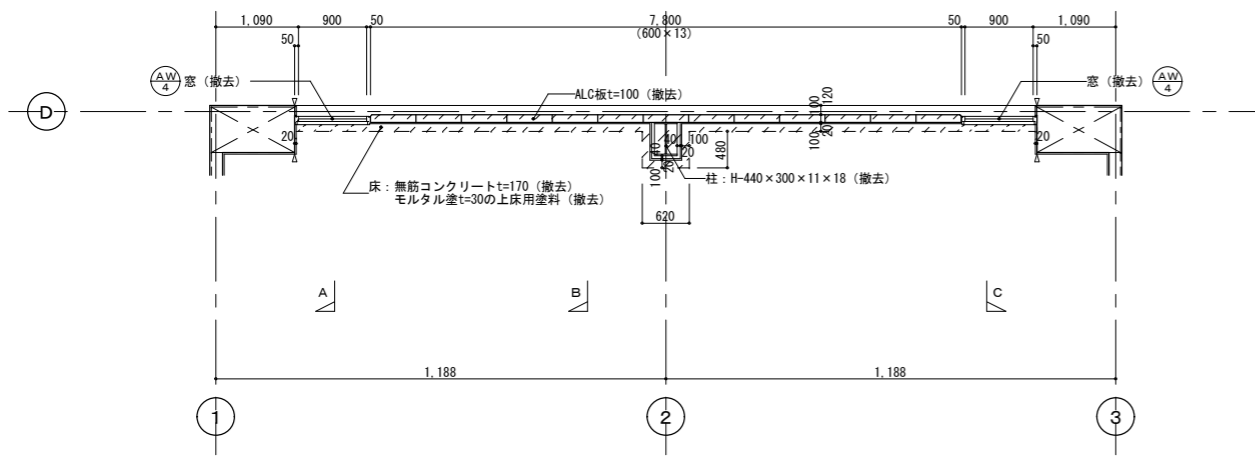




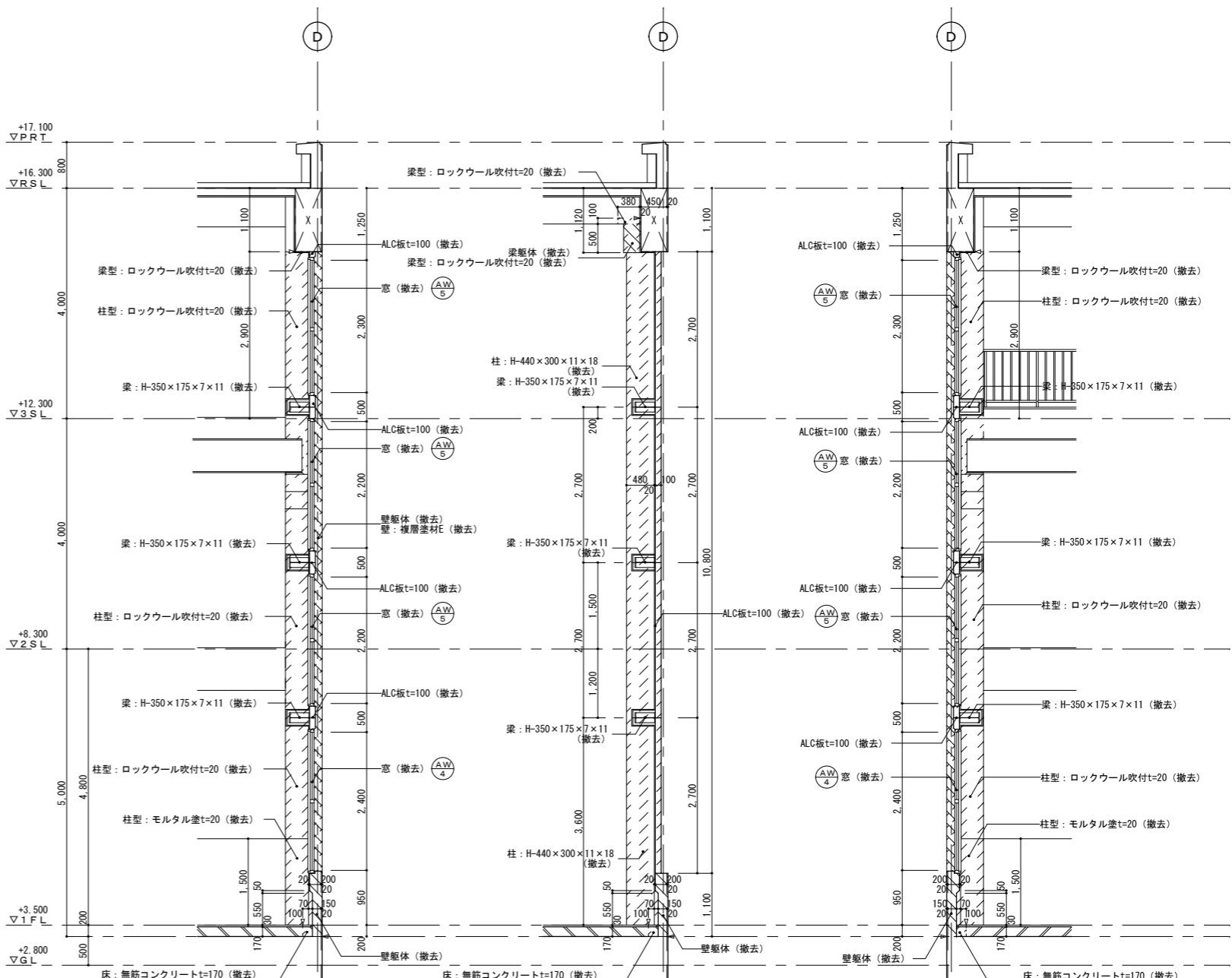
3階 平面詳細図



2階 平面詳細図



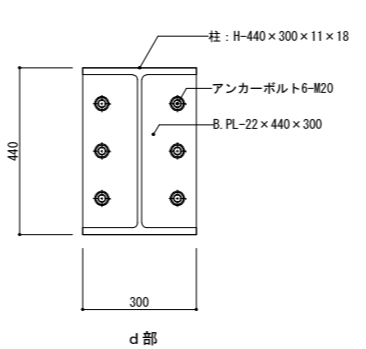
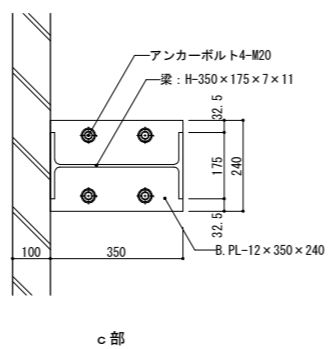
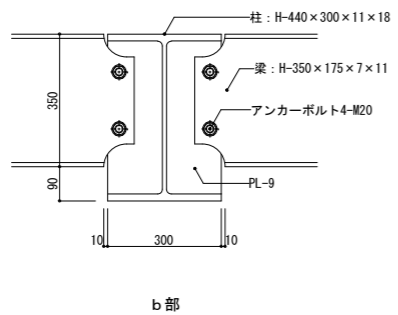
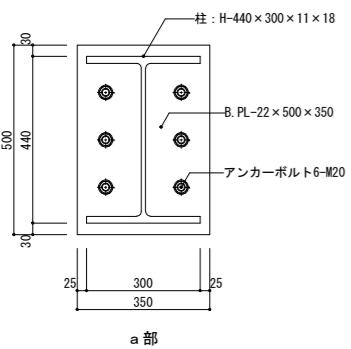
1階 平面詳細図



A-A 断面詳細図

B-B 断面詳細図

C-C 断面詳細図



鉄骨部 詳細図 1/10

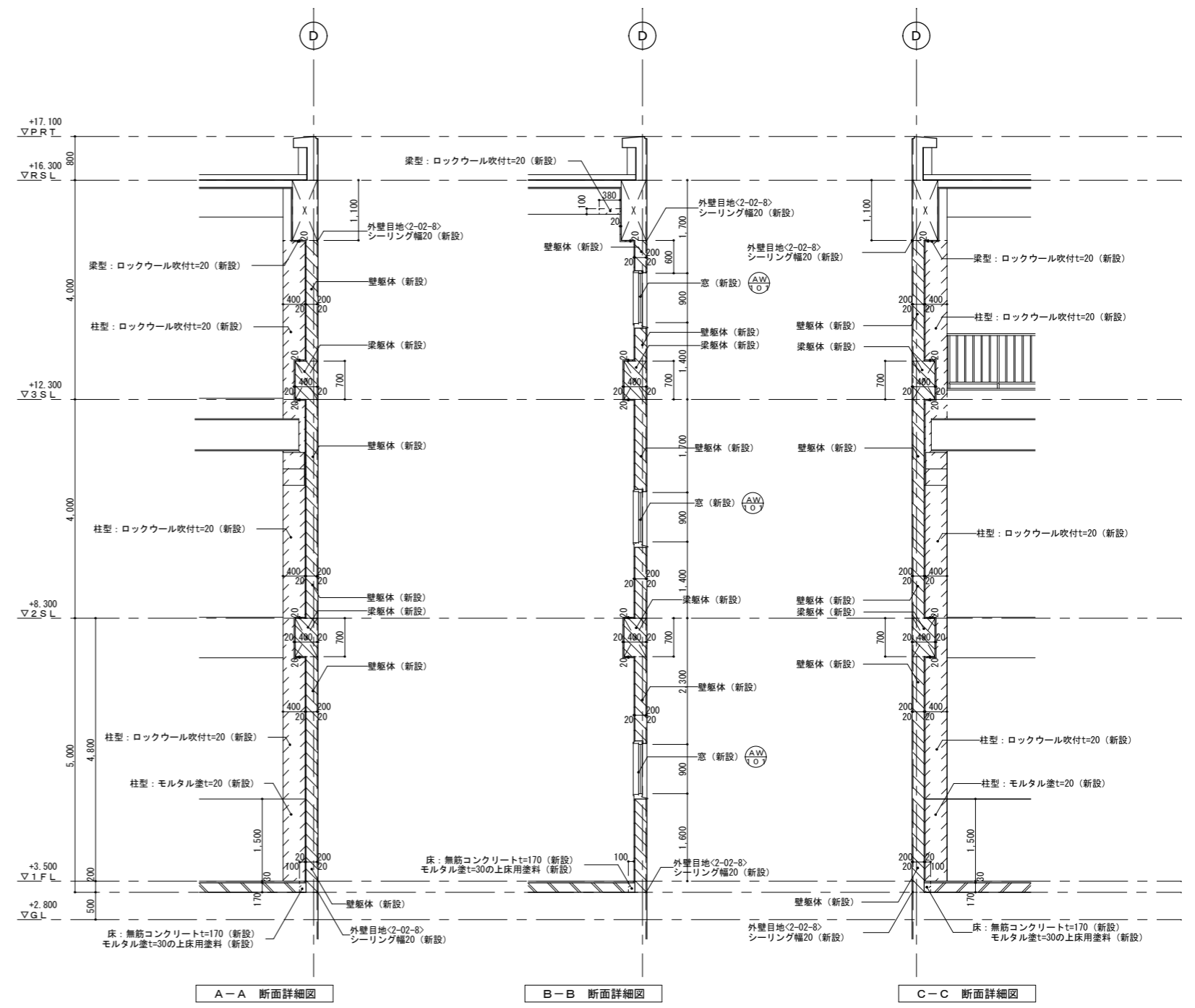
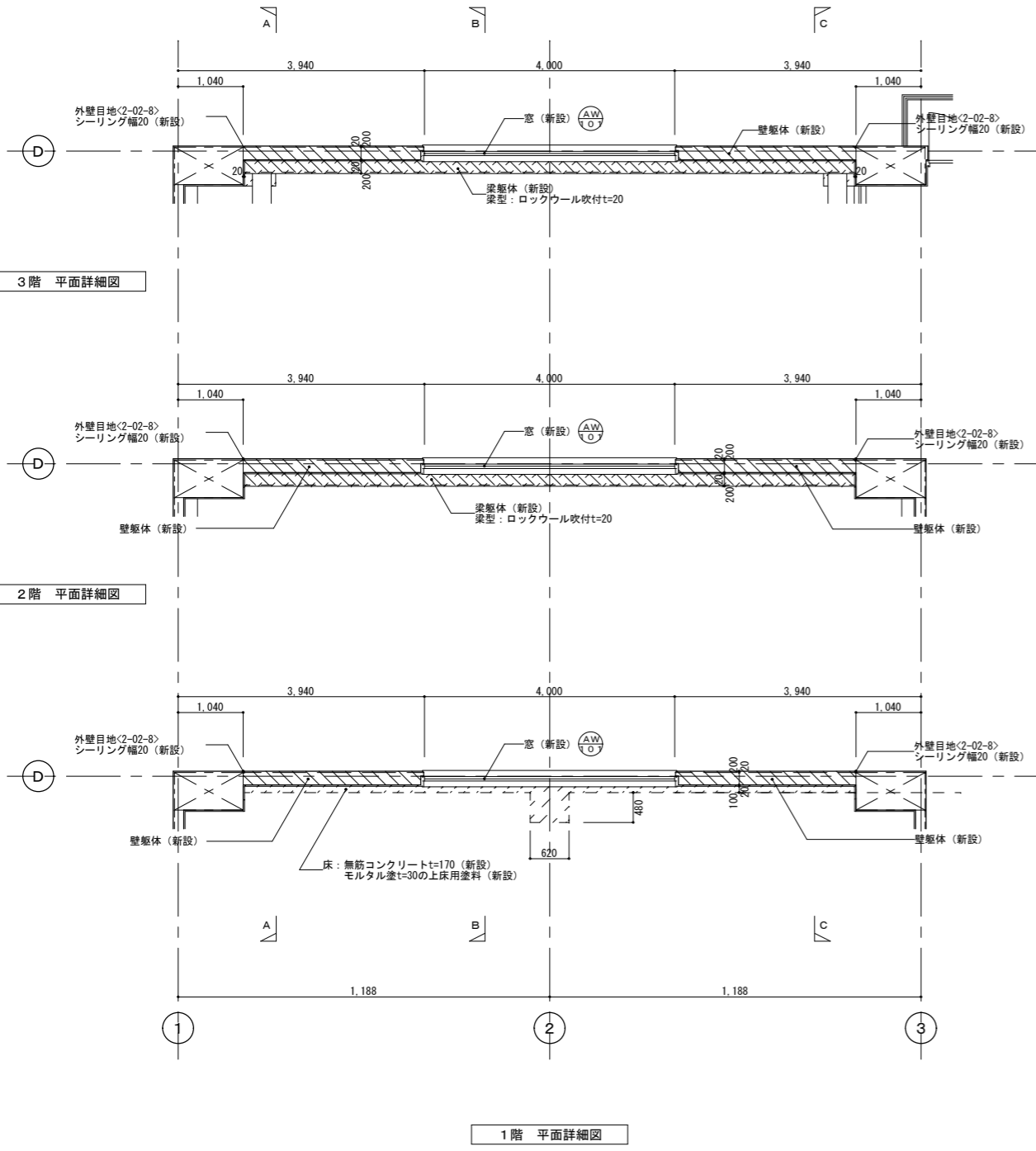
注記 図中表記材は全て撤去とする。

- 凡例
- RC躯体撤去範囲を示す。
  - 仕上・下地撤去範囲を示す。
  - カッター入部を示す。

1階 原動機室	
床	軽量コンクリートt=170 モルタル塗t=30 床用塗料
幅木・腰	幅木: 腰:モルタル塗
壁・柱型	壁:ロックウール吹付t=20 柱型:モルタル塗・ロックウール吹付t=20 ※鉄骨柱:ラスモルタルシートt=40 ロックウール吹付t=20
梁型・天井	梁型:ロックウール吹付t=20 天井:ロックウール吹付t=20 ※鉄骨梁:ラスモルタルシートt=40 ロックウール吹付t=20

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図(8)		
縮尺	S=1.50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-23/87



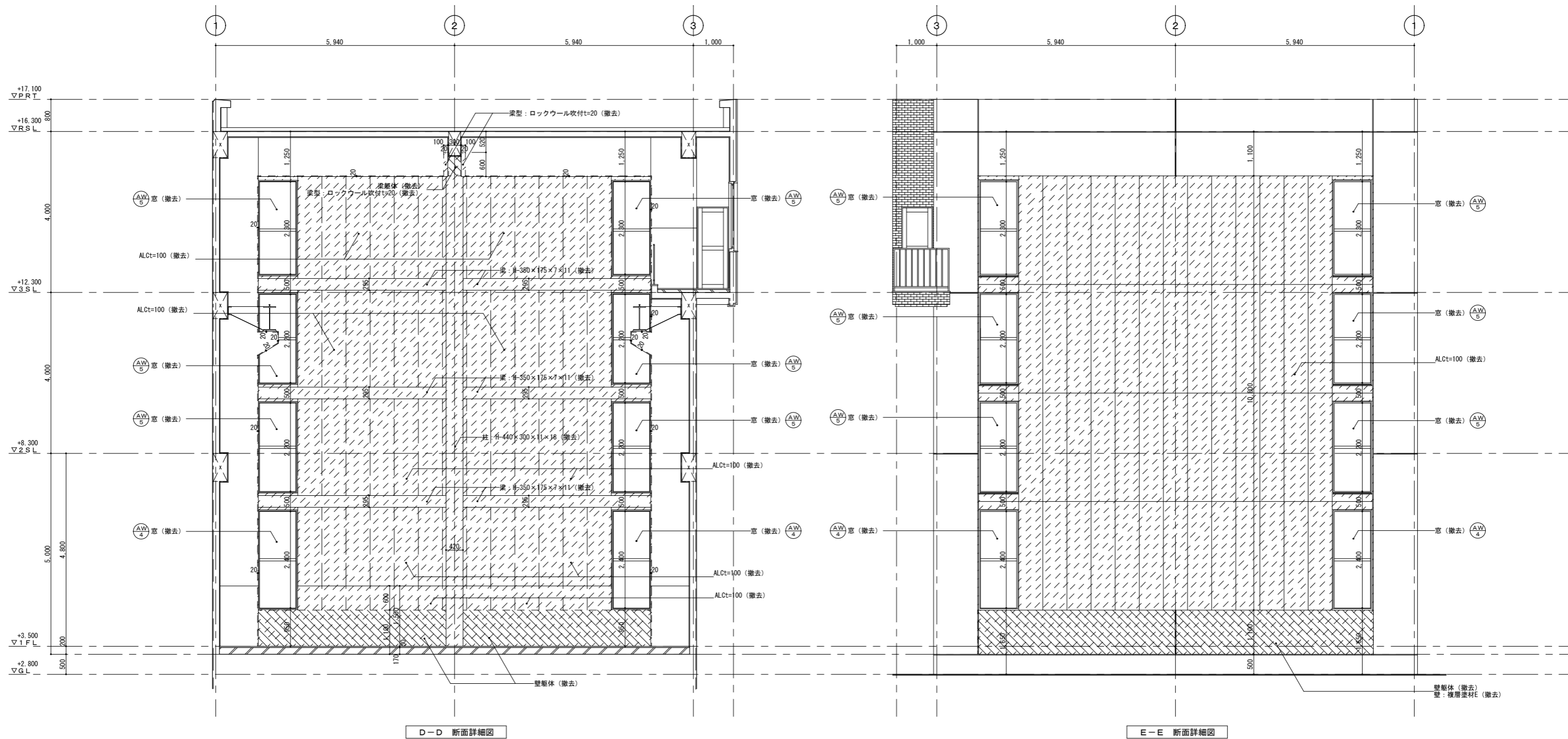
凡例

RC躯体新設範囲を示す。

仕上・下地新設範囲を示す。

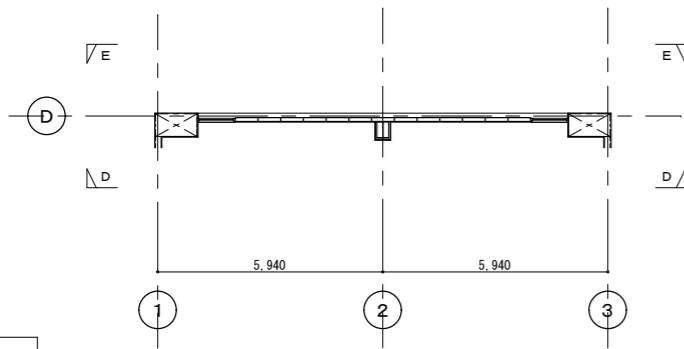
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図(9)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-24/87



D-D 断面詳細図

E-E 断面詳細図

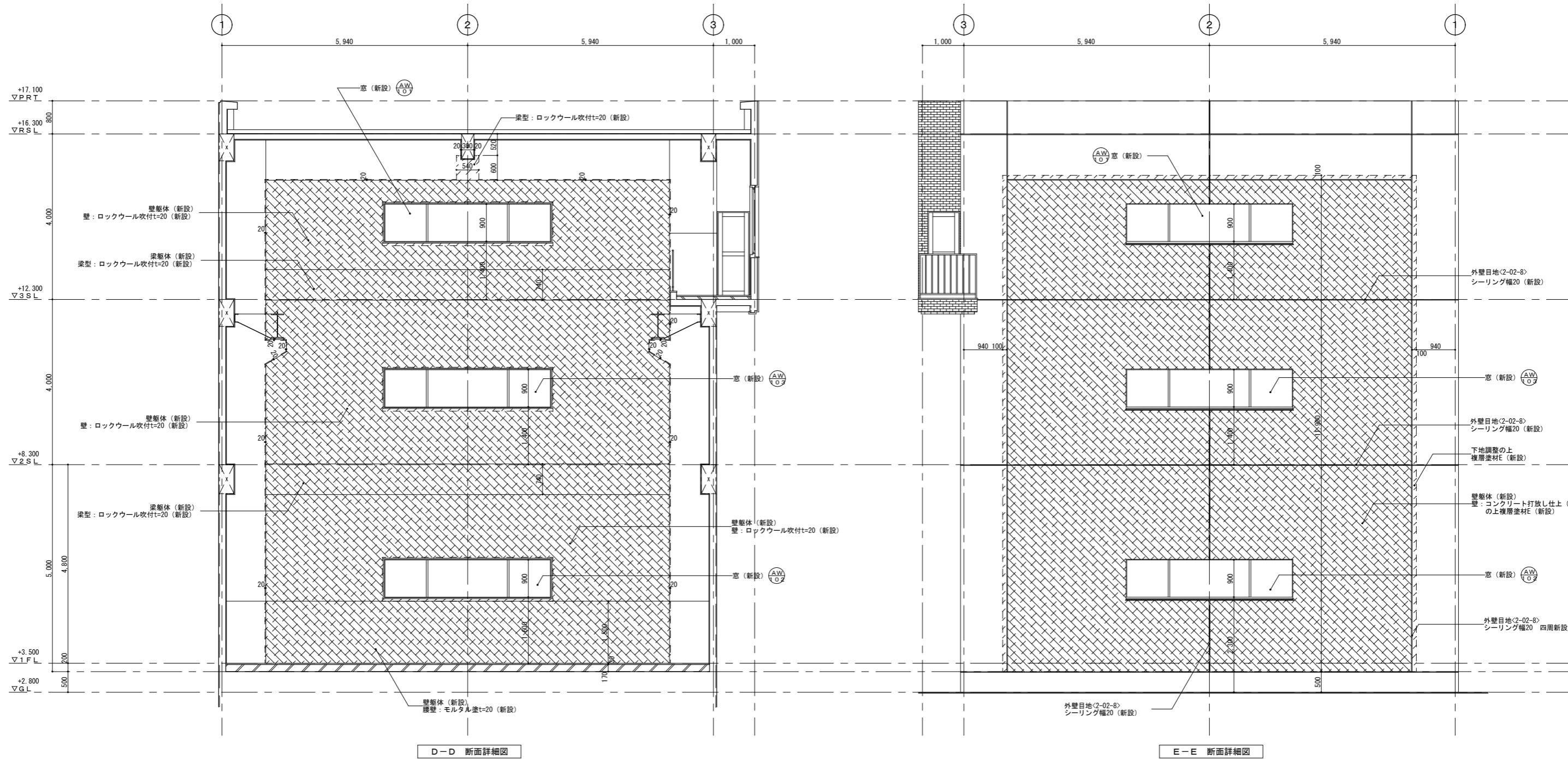


キープラン

- 凡例
- RC躯体撤去範囲を示す。
  - 仕上・下地撤去範囲を示す。
  - カッター入部を示す。

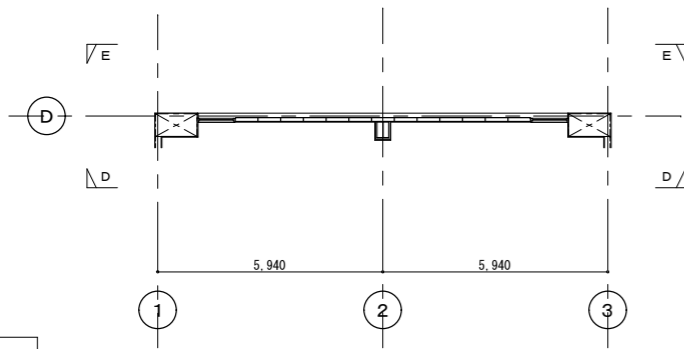
1階 原動機室	
床	軽量コンクリート t=170 モルタル塗 t=30 床用塗料
幅木・腰	幅木: — 腰: モルタル塗
壁・柱型	壁: ロックウール吹付 t=20 柱型: モルタル塗・ロックウール吹付 t=20 ※鉄骨柱: ラスモルタルシート t=40 ロックウール吹付 t=20
梁型・天井	梁型: ロックウール吹付 t=20 天井: ロックウール吹付 t=20 ※鉄骨梁: ラスモルタルシート t=40 ロックウール吹付 t=20

【雨水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図(10)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	A-25/87



D-D 断面詳細図

E-E 断面詳細図



キープラン

- 凡例
- RC躯体新設範囲を示す。
  - 仕上・下地新設範囲を示す。

【雨水ポンプ棟】

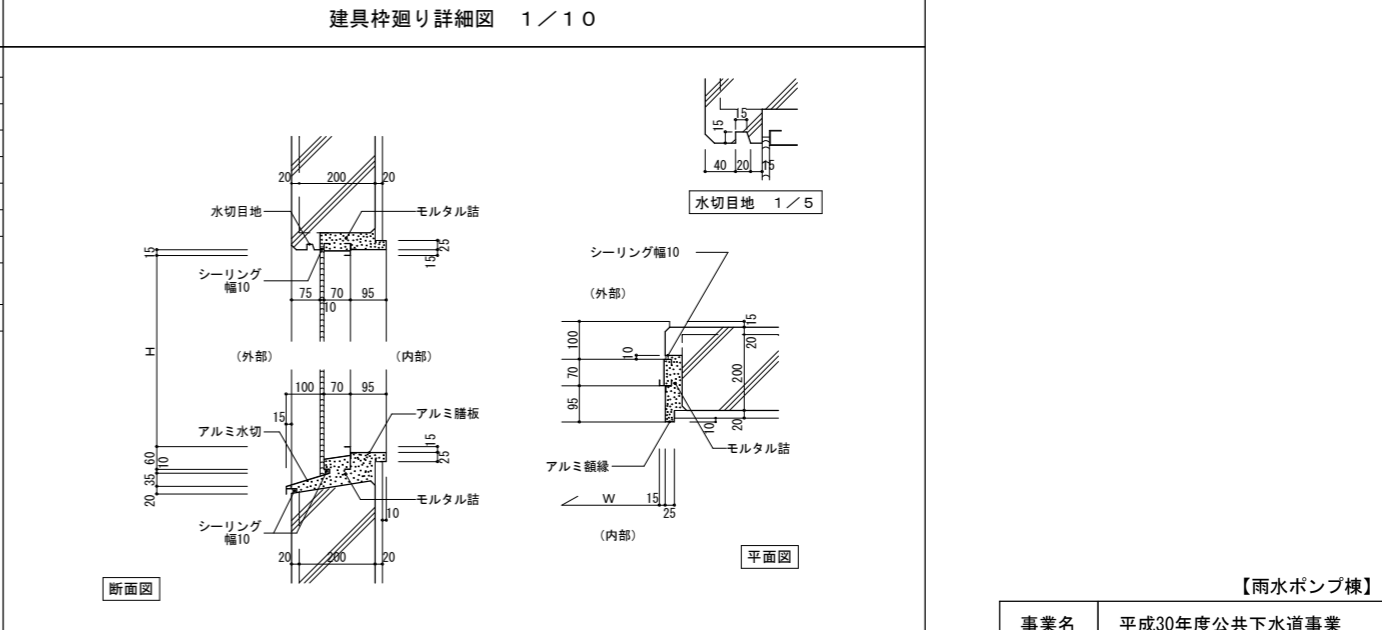
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図(11)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-26/87

改 修 前

符号・名称・個数	AW-1 中央FIX両袖片引き窓 (下部ガラリ) 撤去 (1)	AW-2 中央FIX両袖片引き窓 撤去 (1)	AW-3 FIX窓 撤去 (2)	AW-4 FIX窓 撤去 (2)	AW-5 FIX窓 撤去 (6)	AW-6 片開き窓 撤去 (2)
場所	1F 原動機室	1F 原動機室	2F 原動機室吹抜	1F 原動機室	2・3F 原動機室吹抜	1F 電気室
仕上 (枠共)						
建具	見込 (ランマ)	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による
	硝子 (ランマ)	N t = 6 . 8	N t = 6 . 8	N t = 6 . 8	N t = 6 . 8	N t = 6 . 8
	ガラリ	開口率30%				
建具枠	見込取合 番摺	70	70	70	70	70
枠記号	番摺 (水切) 記号					
建具金物						
その他						
形状・寸法						

改 修 後

符号・名称・個数	AW-101 FIX窓 新設 (3)	
場所	1F 2F 3F 原動機室	
仕上 (枠共)	B-2種	
建具	見込 (ランマ)	メーカー仕様による
	硝子 (ランマ)	N t = 6 . 8
	ガラリ	
建具枠	見込取合 番摺	70
枠記号	番摺 (水切) 記号	枠廻り詳細図による
建具金物	付属金物一式、三方アルミ顔縁 25×95、アルミ隠板 25×95、アルミ水切板 見込100	
その他		
形状・寸法		

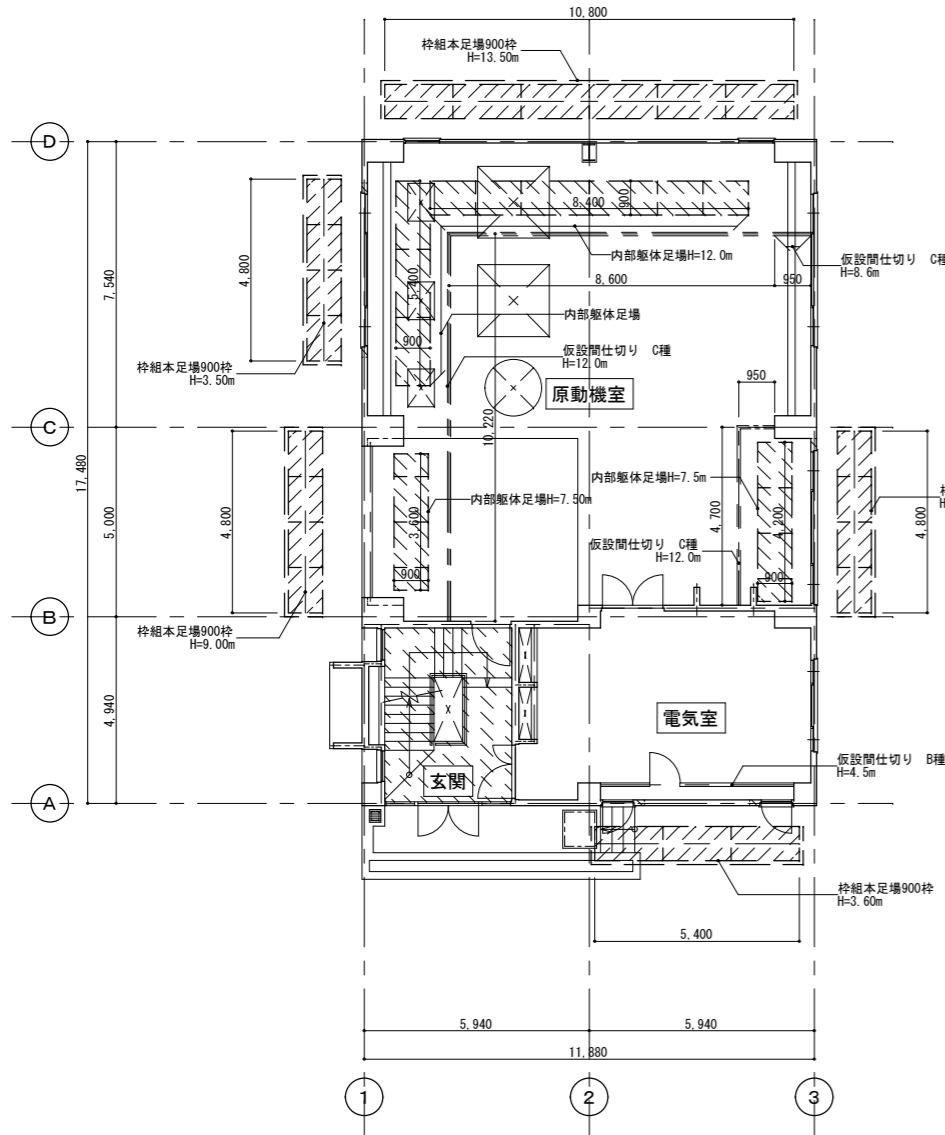


- 特記なき限り外部はシリンダ箱錠 (内部サムターン) とし内部は本締り付きモノロックとする。但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。
- バイススペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠 (特記なき限り同一キー) とする。(内部はサムターン付)
- 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。
- AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め (防火戸を除く) をつける。壁仕上げボード類の場合は床付とする。(但し、通行に支障のあるものは除く。)
- 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。
- アルミニウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。
- 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。
- 特記なき限り内部建具ガラリはI型とする。(枠廻り詳細による。)
- 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。
- 防火戸の位置は建具配置図による。
- 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行なわないものとする。
- 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。
- 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付とする。
- 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。

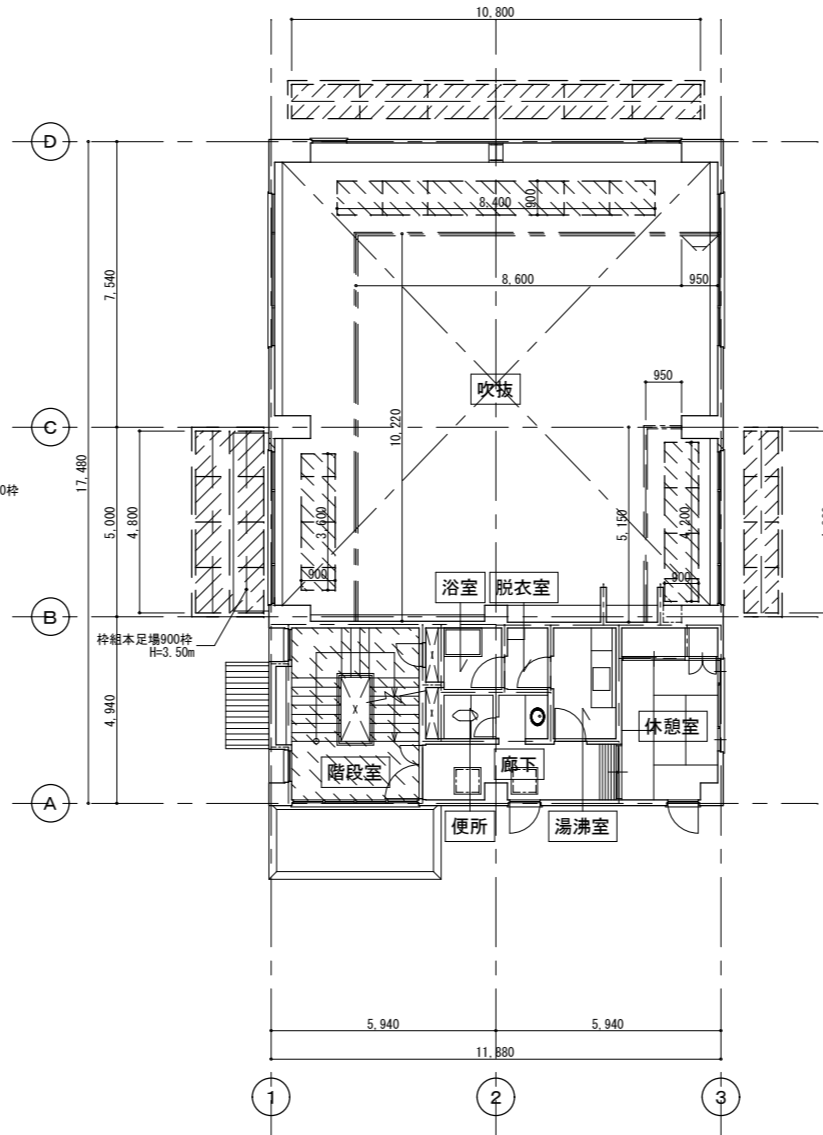
種別	戸	窓	ガラリ	遮断子	ふすま	シャッター	網戸
アルミニウム製	A	D	A	W	A	G	A
鋼製	S	D	S	W	S	G	S
鋼製軽量	L	D					L
ステンレス製	S	S	D	S	S	S	S
木製	W	D	W	W	G		
ガラス	F	型板ガラス	金	D	C	ドアクローザー	
ガラス	P	フロート板ガラス	物	A	H	オートヒンジ	
ガラス	N	網入型板ガラス	略	F	H	フロアヒンジ	
ガラス	NP	網入みがき板ガラス	号	P	H	ヒポットヒンジ	

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	建具表		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-27/87

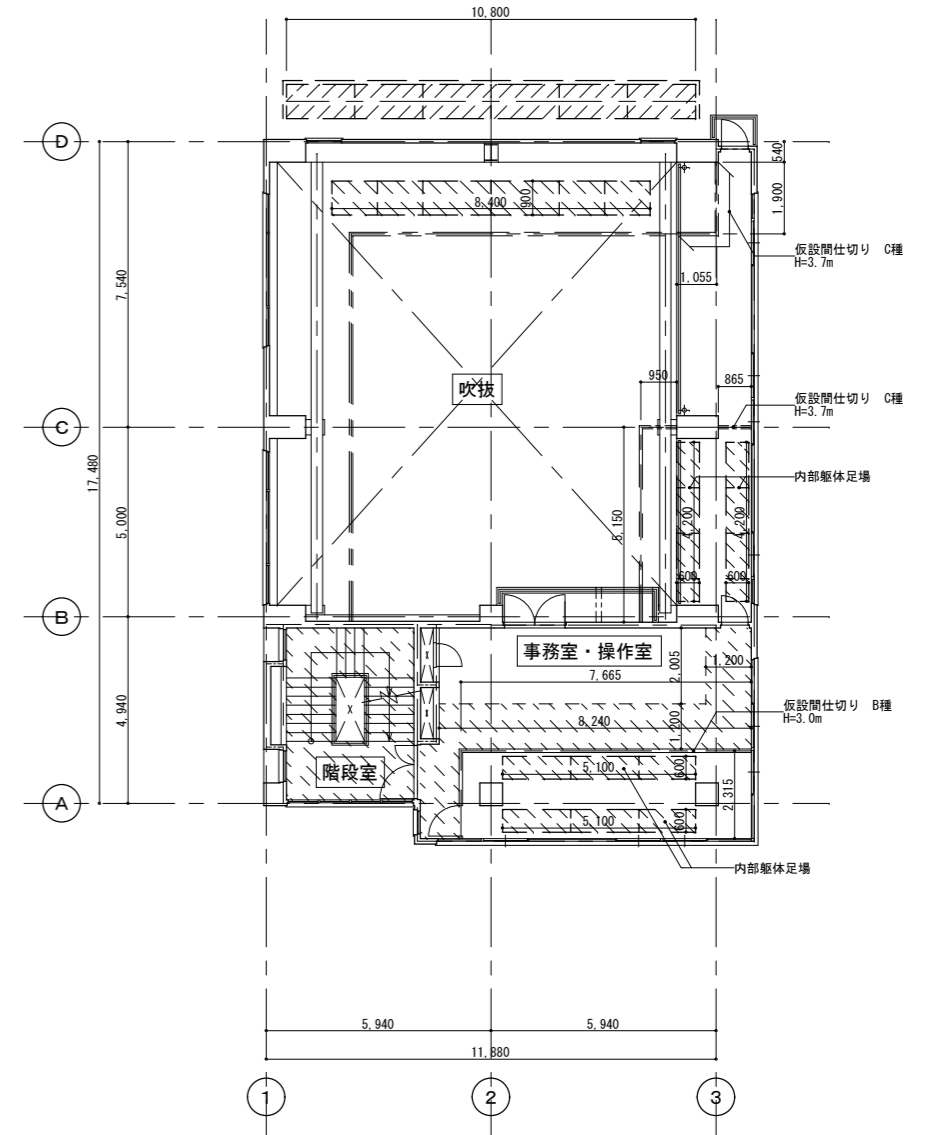
【雨水ポンプ棟】



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100



3階平面図 1/100

凡例

- 床養生シート敷
- 枠組本足場W900+壁養生シート
- 内部足場(躯体足場)  
特記なき限り、躯体足場：H=5.0未満とする。
- 仮設間仕切り B種(不燃)  
(軽量鉄骨壁下地+片面石こうボード)
- 仮設間仕切り C種  
(単管下地+壁養生シート)

注記 仮設間仕切り、足場等は現場監督員と調整のこと。  
 仮設間仕切りは気密性を確保するため、継目、床、天井部にテープを貼ること。  
 仮設間仕切り内施工スペースは床養生シート敷きとすること。  
 仮設間仕切りに設ける扉位置については、協議の上決定とする  
 特記なき限り仮設間仕切内の設備機器等はシートにより養生のこと。

外壁での足場の壁つなぎアンカー施工の際は、粉塵が飛散しないような工法で施工を行うこと。(D通りALC部分は除く)

参考図

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	仮設計画図		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-28/87

汚水ポン棟 仕上表		略号		外部付属物及び詳細番号		内部付属物及び詳細番号							
共通事項		略号		外部付属物及び詳細番号		内部付属物及び詳細番号							
<p>1. 外部仕上表及び内、外部付属物の適用分類、詳細番号は、○印のついたものを適用する。 仕上表に記載の詳細番号のうち、(例) 1-02-3は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官庁官庁室標準部監修)を示す。 2. 特記以外の木、鉄部の塗装はSOPとする。但し、和室廻りは除く。 3. 付属物のうち、窓名札、床点検口、掲示板、案内板、ビクトグラフ、階数表示板等は、平面図による。 4. 付属物のうち、カーテンボックス、ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口等は天井伏図による。 5. P F板、木毛板等打込み箇所は、別図による。 6. 内壁の見え掛りとなるP F板打込み部分は、GB厚12.5直張り(継目処理工法)とし、塗装は、その部屋の壁面と同様とする。 7. 壁のボード張りは水平方向に継手は設けない。 8. 天井仕上ボード張りのうち、GB(T)及びRB(下地GB共)は突付け張りとし、天井廻り縁は、アルミ製、天井付き目地とする。 9. 直接地業工事に接する内部床のコンクリート下地には、防湿層としてポリエチレンフィルム厚0.15の敷込みを行う。ただし、床仕上げがビニル床タイル、ビニル床シート及び合成樹脂塗床、床用塗料の場合とする。 10. 特記なき打直し仕上げの出隅部分は、面取りを行う。 11. 特記なき建築工事の梁型の打直し面及び塗装下地面の型枠種別は、梁底面C種、梁側面B種とする。</p>		<p>C コンクリート下地 CB コンクリートブロック下地 W 木造下地 S 軽量鉄骨下地 GB-R せつこうボード GB-N C 不燃積層せつこうボード(下地張り用) GB-D (T) 不燃積層せつこうボード(トラバーチン模様) GB-D (W) 不燃積層せつこうボード(木目模様) GB-S シージングせつこうボード GB-F 強化せつこうボード ケイカル板 けい酸カルシウム板(タイプ2) DR ロックウール化粧吸音板 トラバーチン模様 DR (凹凸) ロックウール化粧吸音板 凹凸模様 P F板 押出法ポリスチレンフォーム保温材 C (B) コンクリート下地(打直しB) C (C) コンクリート下地(打直しC) M モルタル 軽量収付 軽量骨材仕上塗材</p>		<p>複層塗材 (CE) ポリマーセメント系複層仕上塗材 複層塗材 (E) 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 複層塗材 (RE) 反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 複層塗材 (RS) 合成樹脂溶液系複層仕上塗材 CL クリヤラッカー塗り FE フタル酸樹脂エナメル塗り NAD アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り DP 耐候性塗料塗り EP-G つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り EP-G (水系) つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(屋内水系塗料塗り) EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗り EP-T 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り UC ウレタン樹脂ワニス塗り OS オイルステイン塗り SOP 合成樹脂調合ペイント塗り WP 木材保護塗料塗り コンクリート保護材 浸透性吸水防止剤+低汚染型アクリルシリコン樹脂カラークリヤー塗り</p>		<p>・屋上点検口 5-21-1に準ずる ・屋上管類貫通部 5-22-1 図示 ・クーリングタワー基礎 5-22-2 ・テレビアンテナ基礎 5-22-3 ・屋上換気塔 5-21-2 図示 ・煙突 図示 ・タラップ 8-31-1 8-31-2 背もたれ付 8-31-3 5-31.32.33 ・と い 5-32-1 5-33-1 ・ルーフドレイン 図示 ・トプライト 図示 ・E X P. J金物 既製品 ・手すり アルミ(図示) ステンレス(図示) スチール(図示) 図示 ・旗竿 図示 ・くつきマット 8-21-1・2・3</p>		<p>・くつ洗い流し 8-22-1 8-22-2 ・グレーチング 図示 既製品 ・電気用ハンドホール蓋 図示 ・文字板 図示 ・庁名板 図示 ・郵便受 図示 ・目地 図示 ・たてどい 図示 2-02-9.10 カラ-V P (GL-100まで) ステンレスハードコート仕上 ソケット付(既製品) (1 F L + 1 0 0 ヨリ上)</p>		<p>・流し台 6-11-1 ・フード 6-11-1・2 ・コンロ台 6-11-1 ・流し上部水切り 6-11-3 ・つり戸だな 6-11-1・5 ・水切りだな 6-11-1・5 ・脱衣箱 6-32-1 ・天井点検口 3-42-2 ・床点検口 既製品 ・便所へだて 既製品 6-22-1 ・肢体不自由者便所 6-23-1・2・3・4 ・便所手すり 6-23-1 ・トラフ 1-21-1 ・くつきマット 8-21-2 ・マンホール蓋 8-31-1 ・窓名札 8-31-2 ・ビクトグラフ 図示 ・背もたれ付 8-31-3 ・図示 ・手掛金物 図示 ・フック 図示 ・グレーチング 図示 ・浴室まわり 6-31-1</p>		<p>・カーテンボックス 鋼製 3-31-1.2 3-32-5.6.7 ・アルミ製 図示 既製品 ・アルミ製 図示 ・アルミ 図示 ・階段手すり アルミ 7-12-6 ・断熱材打込み 7-01-1 7-01-2 ・押入 6-46-1 ・ホイストレール 図示(溶融亜鉛メッキ) ・クレンガーダー 図示(溶融亜鉛メッキ) ・図示 ・出入口 図示 ・マンホール蓋 図示 ・マンホール蓋 8-43-1 ・窓名札 8-44-1 ・ビクトグラフ 8-43-1 ・庁舎案内板、各階案内板 8-43-1 ・図示 ・下足箱 図示 ・丸環 図示 ・図示</p>	

外部仕上表 凡例 今回改修対象箇所を示す。

床		幅木・腰		外壁		屋根		バルコニー		庇・フード上端		庇・フードはな		庇・フード軒天		備考				
下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	
改修前	C [ポーチ]モルタル塗	1-01-1	F C	[幅木]コンクリート打直し(B)	2-02-11	D C	[一般]コンクリート打直し(B)の上複層塗材E	2-02-11	D E	C [屋根1・2]無筋コンクリートt=70直均し仕上ポリエチレンフィルムt=0.15アスファルト防水(A-1)コンクリート直均し仕上	F	C [玄関庇]防水モルタル塗	F C	[玄関庇]コンクリート打直し(B)の上複層塗材E	2-02-11	F C	[玄関庇]コンクリート打直し(C)の上複層塗材E	3-01-11	F	ルーフドレイン: 鋼鉄製 φ100 たてどい: 配管用鋼管 φ100
改修後	C [ポーチ]モルタル塗	1-01-1	f G	[幅木]コンクリート打直し(B)	2-02-11	d C	[一般]コンクリート打直し(B)の上複層塗材E	2-02-11	d	C [屋根1・2]無筋コンクリートt=70直均し仕上ポリエチレンフィルムt=0.15アスファルト防水(A-1)コンクリート直均し仕上	f	C [玄関庇]防水モルタル塗	f C	[玄関庇]コンクリート打直し(B)の上複層塗材E	2-02-11	f C	[玄関庇]コンクリート打直し(C)の上複層塗材E	3-01-11	f	ルーフドレイン: 鋼鉄製 φ100 たてどい: 配管用鋼管 φ100

内部仕上表

階	室名	床				幅木				腰壁				壁				天井				備考							
		下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	柱型仕上	詳細番号		改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容		
1F	ホッパー室 車庫入口	改修前	C	防水モルタル塗t=40	1-01-1	B	C	防水モルタル塗	100	2-11-7	B					C	モルタル塗t=25 VP	2-02-12	B/D	幅木・壁に同じ	2-02-7	B	C	木毛セメント板t=25打込 パーライト吹付t=10	F	パーライト吹付t=10	3610	B	
		改修後	C	防水モルタル塗t=40	1-01-1	b	C	防水モルタル塗	100	2-11-7	b					C	モルタル塗t=25 EP-G 軽量収付t=10	2-02-12 2-02-7	b/d	幅木・壁に同じ	2-02-7 2-02-12 2-11-7	b	C	木毛セメント板t=25打込 パーライト吹付t=10	f	軽量収付t=10	3610	b	
	汚水室	改修前	C	無筋コンクリートt=70 モルタル塗t=30 床用塗料	1-01-1	F	C	防水モルタル塗	100	2-11-7	B					C	モルタル塗t=25 VP	2-02-12	B/D	幅木・壁に同じ	2-02-7	B	C	木毛セメント板t=25打込 パーライト吹付t=10	F	パーライト吹付t=10	3610	B	
		改修後	C	無筋コンクリートt=70 モルタル塗t=30 床用塗料	1-01-1	f	C	防水モルタル塗	100	2-11-7	b					C	モルタル塗t=25 EP-G 軽量収付t=10	2-02-12 2-02-7	b/d	幅木・壁に同じ	2-02-7 2-02-12 2-11-7	b	C	木毛セメント板t=25打込 パーライト吹付t=10	f	軽量収付t=10	3610	b	
階段	階段	改修前	C	防水モルタル塗t=30 床用塗料	1-01-1	F	C	防水モルタル塗	50	2-11-7	F				C	モルタル塗t=25 VP	2-02-12	F	幅木・壁に同じ	2-02-7	F	C	木毛セメント板t=25打込 パーライト吹付t=10	F	パーライト吹付t=10	3610	F	手摺:SGPφ40, 手摺子:SGPφ20, 段鼻:ステンレスノンスリップ	
		改修後	C	防水モルタル塗t=30 床用塗料	1-01-1	f	C	防水モルタル塗	50	2-11-7	f				C	モルタル塗t=25 EP-G	2-02-12	f	幅木・壁に同じ	2-02-7	f	C	木毛セメント板t=25打込 パーライト吹付t=10	F	パーライト吹付t=10	3610	f	手摺:SGPφ40, 手摺子:SGPφ20, 段鼻:ステンレスノンスリップ	
2F	脱臭機室 換気室	改修前	C	無筋コンクリートt=170 モルタル塗t=30 床用塗料	1-01-1	F	C	防水モルタル塗	100	2-11-7	F				C	モルタル塗t=25 VP	2-02-12	B/D	幅木・壁に同じ	2-02-7	F	C	木毛セメント板t=25打込 パーライト吹付t=10	F	パーライト吹付t=10	3610	F		
		改修後	C	無筋コンクリートt=170 モルタル塗t=30 床用塗料	1-01-1	f	C	防水モルタル塗	100	2-11-7	f				C	モルタル塗t=25 EP-G 軽量収付t=10	2-02-12 2-02-7	b/d	幅木・壁に同じ	2-02-7 2-02-12 2-11-7	f	C	木毛セメント板t=25打込 パーライト吹付t=10	F	パーライト吹付t=10	3610	f		

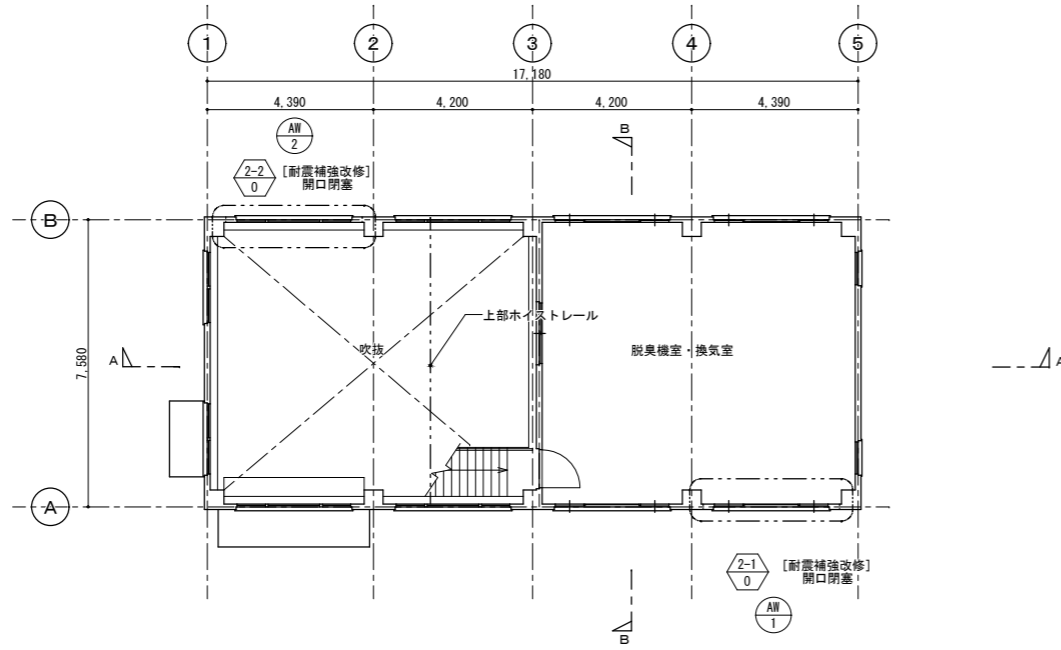
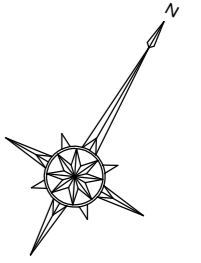
凡例 今回改修対象箇所を示す。

仕上材料・厚さ	材料名	種別	壁(m/m)	天井(m/m)	備考	材料名	種別	壁(m/m)	天井(m/m)	備考	工事区分略号	改修内容			
												改修前	改修後		
GB-R	仕上	12.5	12.5	NM-8619	けい酸カルシウム板(タイプ2)	12	10	NM-8578	<> (C)	: 土木工事	改修前	A: 仕上撤去	a: 仕上新設		
												<> (AM)	: 建築機械設備工事	B: 図示の仕上撤去	b: 図示の仕上新設
	下地	12.5	NM-8613	壁紙	25	25	NM-8606	<> (AE)	: 建築電気設備工事	D: 図示の下地共撤去		c: 下地共新設	改修後	e: 図示の塗装塗り替え	e: 図示の塗装塗り替え
														<> (PE)	: プラント機械設備工事
	GB(N)	下地	9.5	9.5	又は同等	グラスウール吸音材				<> (PM)		: プラント電気設備工事		f: 既存のまま	f: 既存のまま
GB(W)		12.5	12.5		ビニルクロス				<> (PE)	: プラント電気設備工事					
DR		12	12		EP・EP-G										

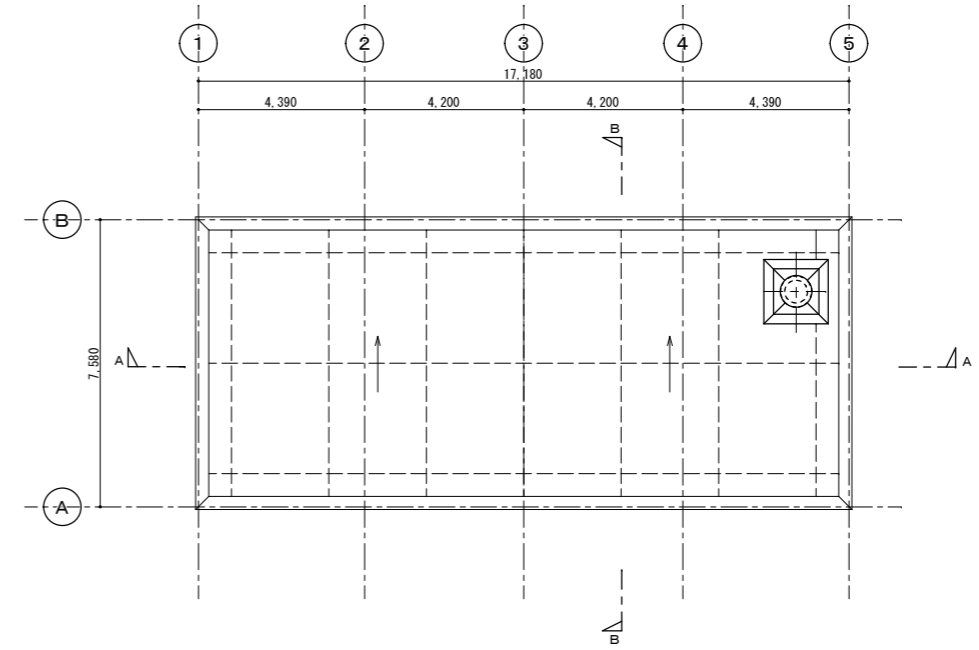
【汚水ポン棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	仕上表		
縮尺	-	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	A-29/87

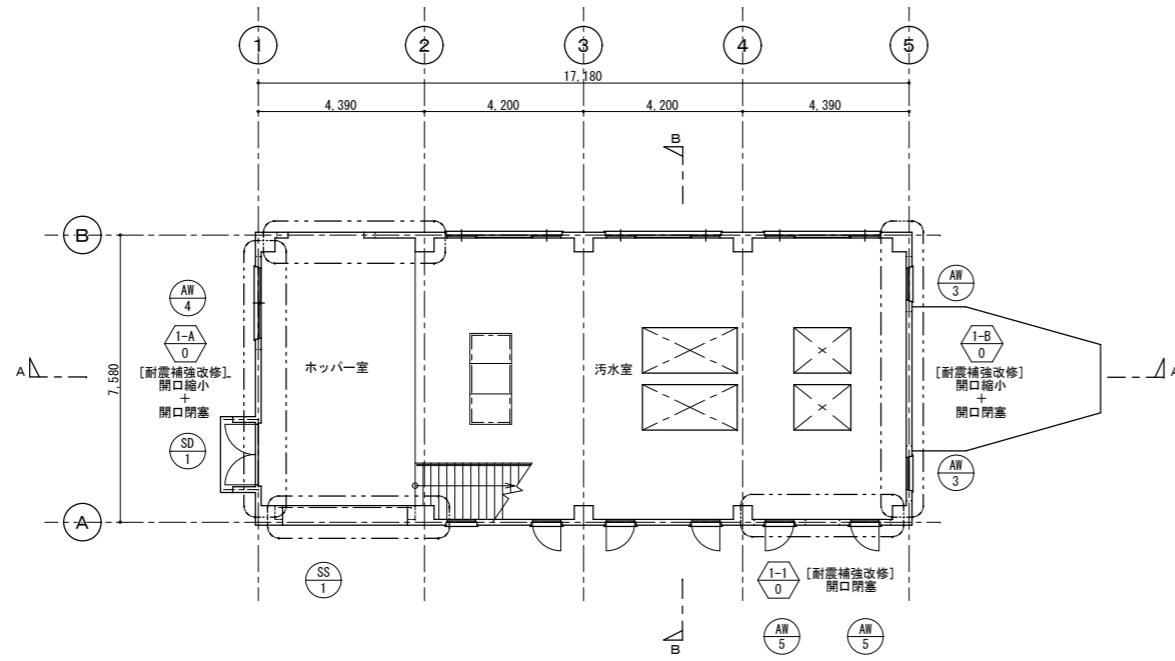




2階平面図 1/100



屋根伏図 1/100

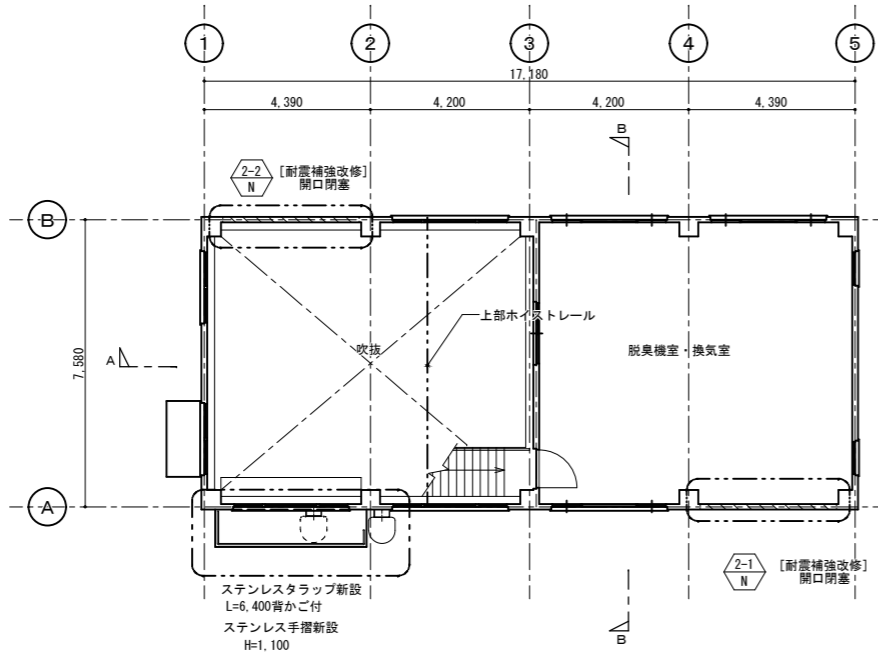
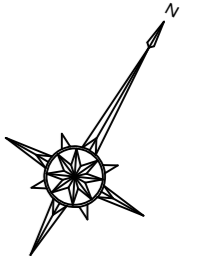


1階平面図 1/100

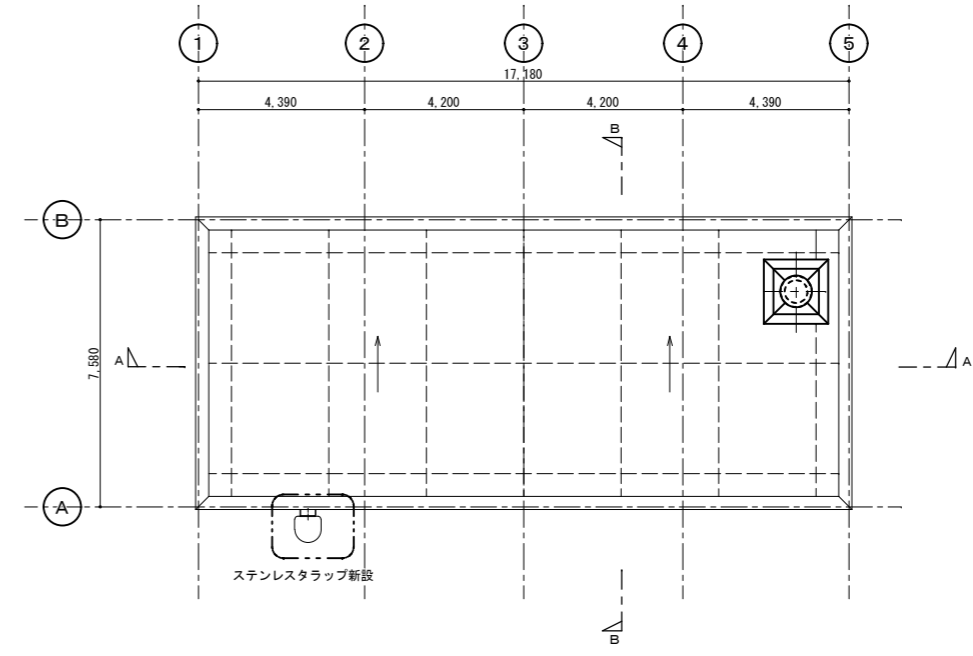
- 凡 例
- 撤去建具を示す。
  - ◇ 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
  - ▨ RC躯体撤去範囲を示す。
  - △ 雑詳細図番号を示す。

【汚水ポンプ棟】

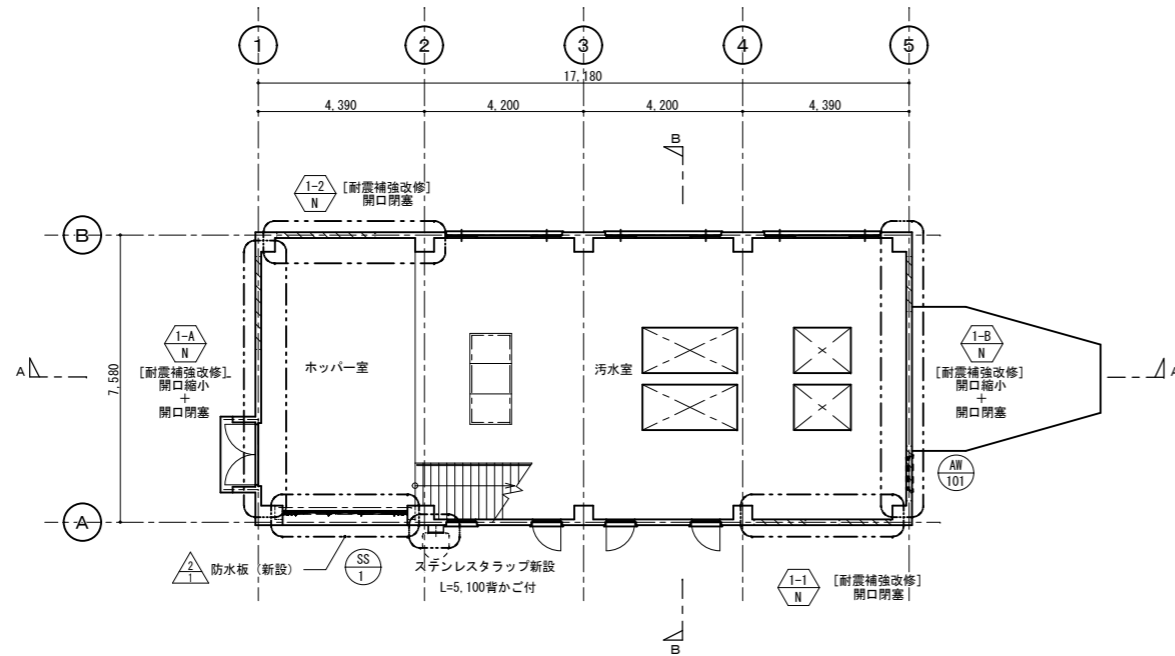
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-30/87



2階平面図 1/100



屋根伏図 1/100

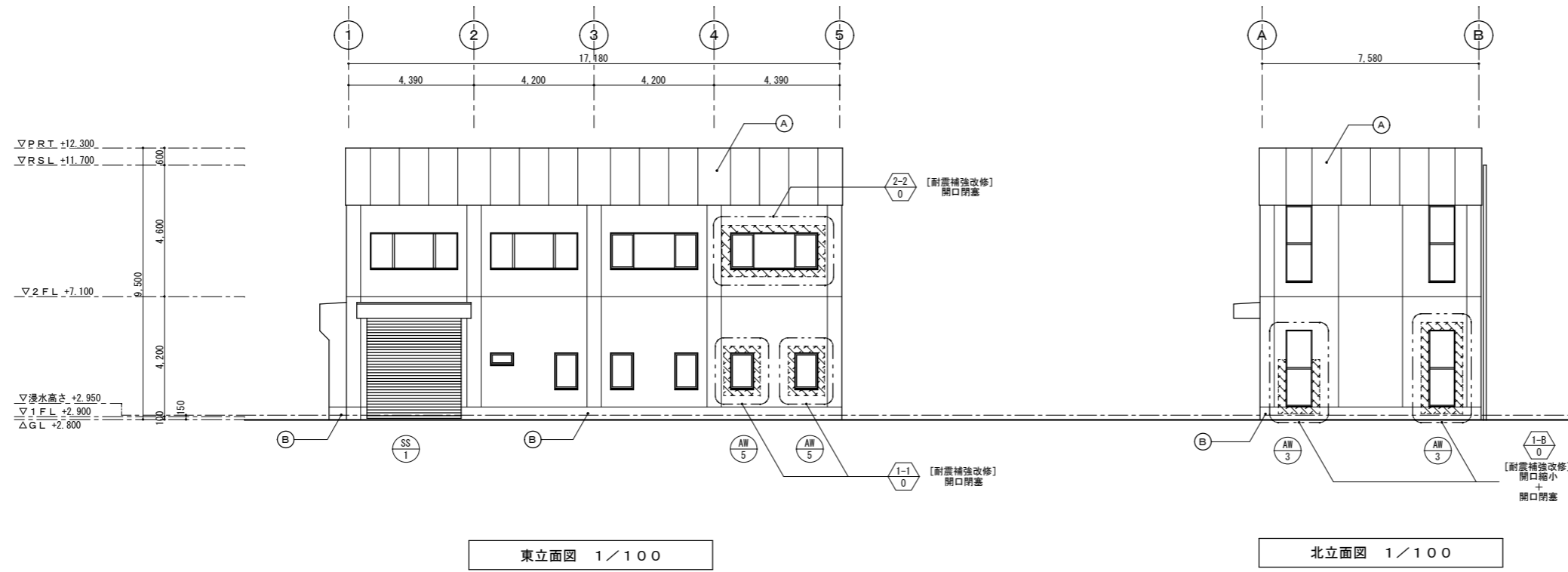


1階平面図 1/100

- 凡 例
- 新設建具を示す。
  - ⬡ 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
  - ▨ RC躯体新設範囲を示す。
  - △ 雑詳細図番号を示す。

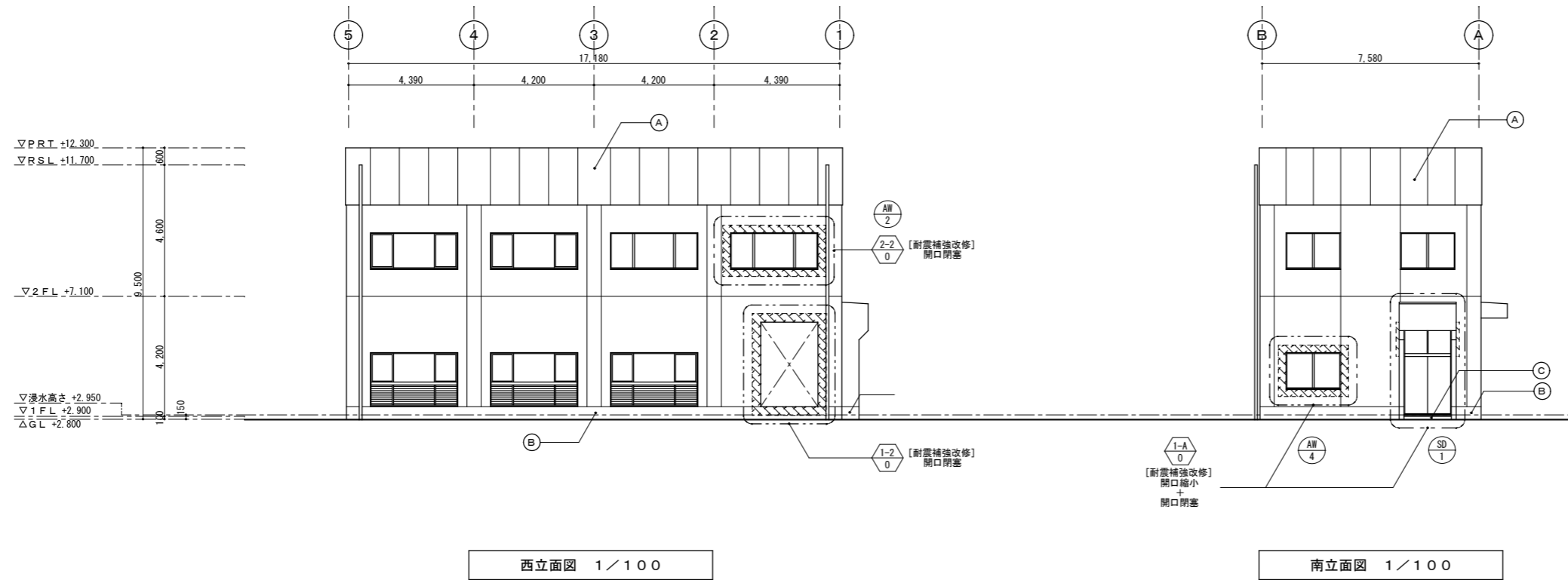
【汚水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-31/87

改 修 前



東立面図 1/100

北立面図 1/100



西立面図 1/100

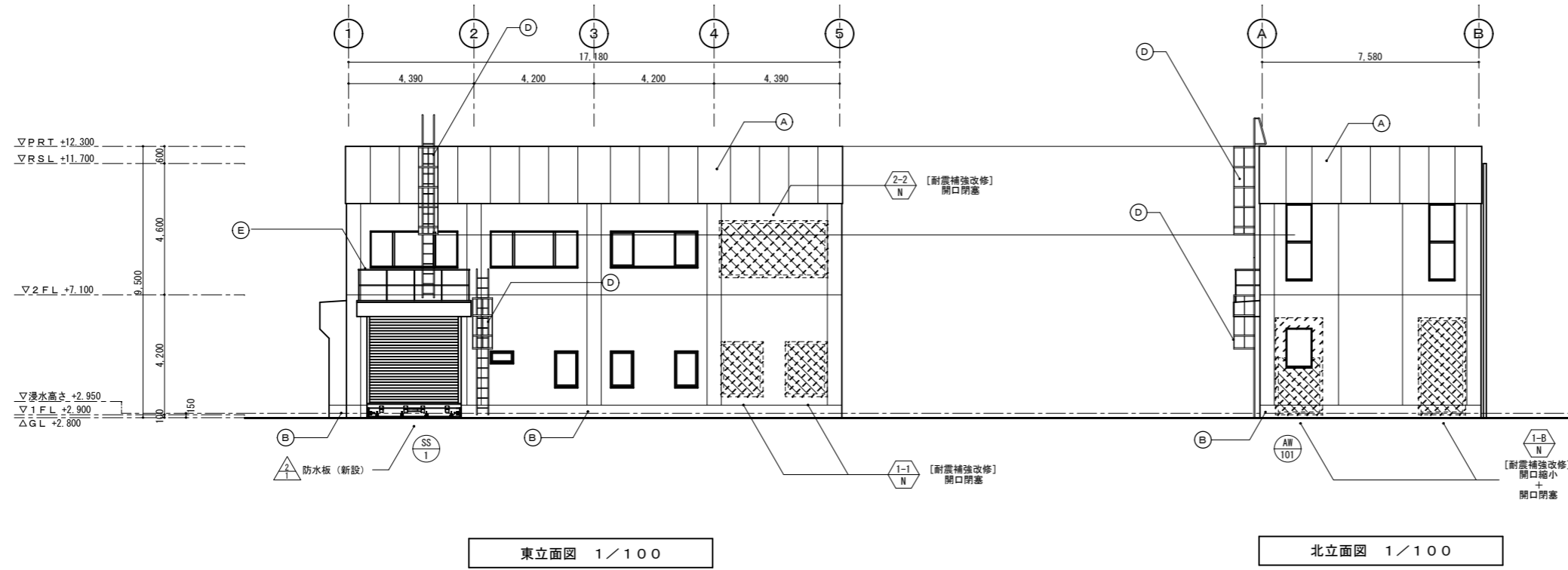
南立面図 1/100

- 凡 例
- 撤去建具を示す。
  - ⬡ 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
  - ▨ RC躯体撤去範囲を示す。  
(仕上げ下地調整材にアスベストが含有されています)  
仕上・下地撤去範囲を示す。  
(仕上げ下地調整材にアスベストが含有されています)
- 注 記 (特記なき限り)  
下記仕上以外はコンクリート打放し (B) の上複層塗材 E とする。

Ⓐ	コンクリート打放し (A)
Ⓑ	コンクリート打放し (B)
Ⓒ	モルタル塗

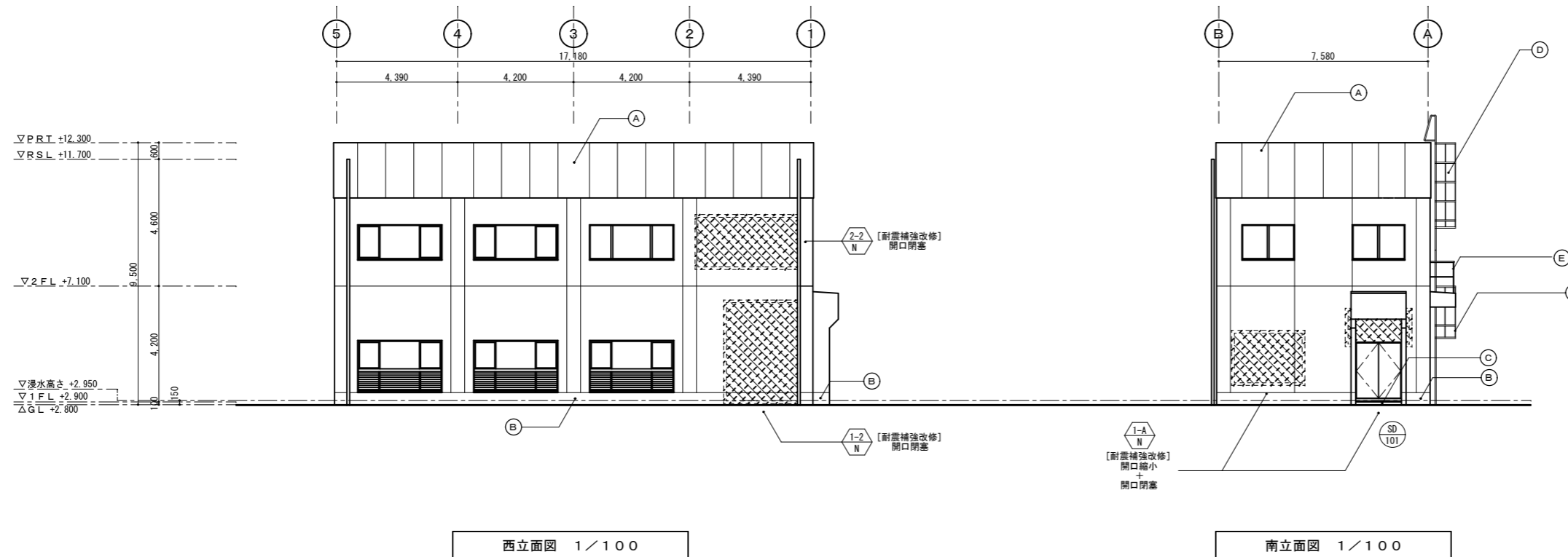
【汚水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	立面図 (1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-32/87

改 修 後



東立面図 1/100

北立面図 1/100



西立面図 1/100

南立面図 1/100

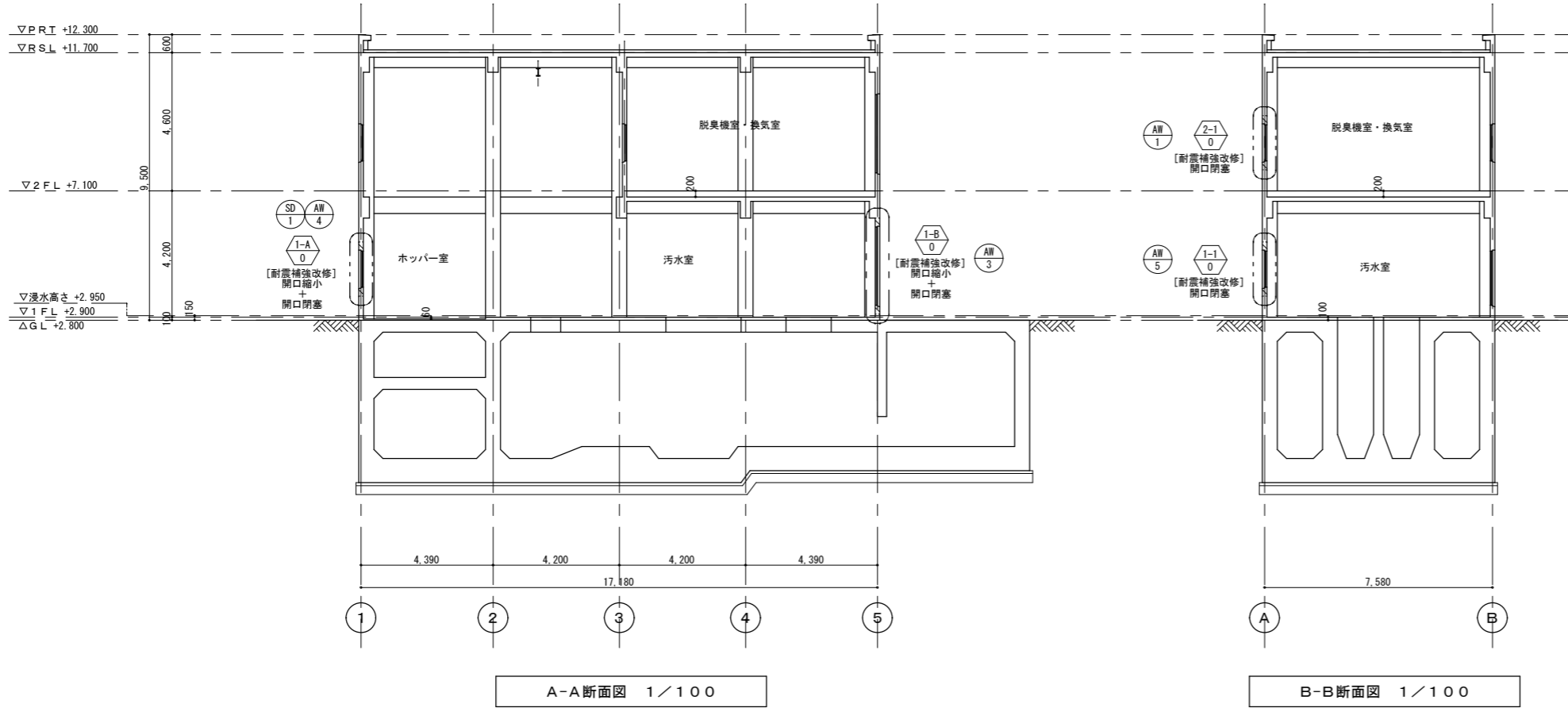
凡 例

- 新設建具を示す。
  - ⬡ 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
  - ▨ RC躯体新設範囲を示す。
  - ▨ 仕上・下地新設範囲を示す。
- 注 記 (特記なき限り)  
下記仕上以外はコンクリート打放し (B) の上複層塗材 E とする。

○ A	コンクリート打放し (A)
○ B	コンクリート打放し (B)
○ C	モルタル塗
○ D	ステンレスタラップ SUS304 背かご付
○ E	ステンレス手摺 手摺: SUS304Φ32支柱Φ25

【汚水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	立面図 (2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-33/87

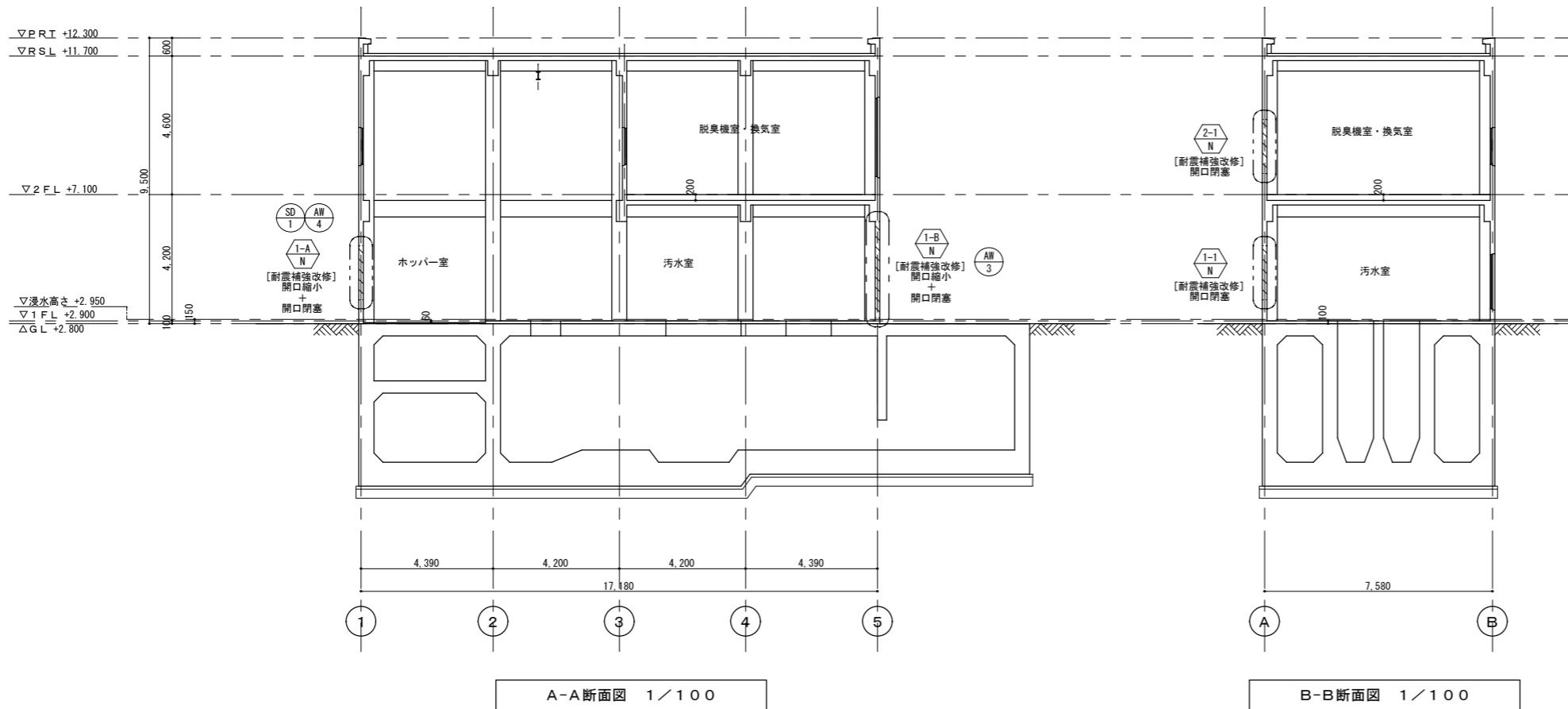
改 修 前



凡 例

- 撤去建具を示す。
- 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
- RC躯体撤去範囲を示す。

改 修 後

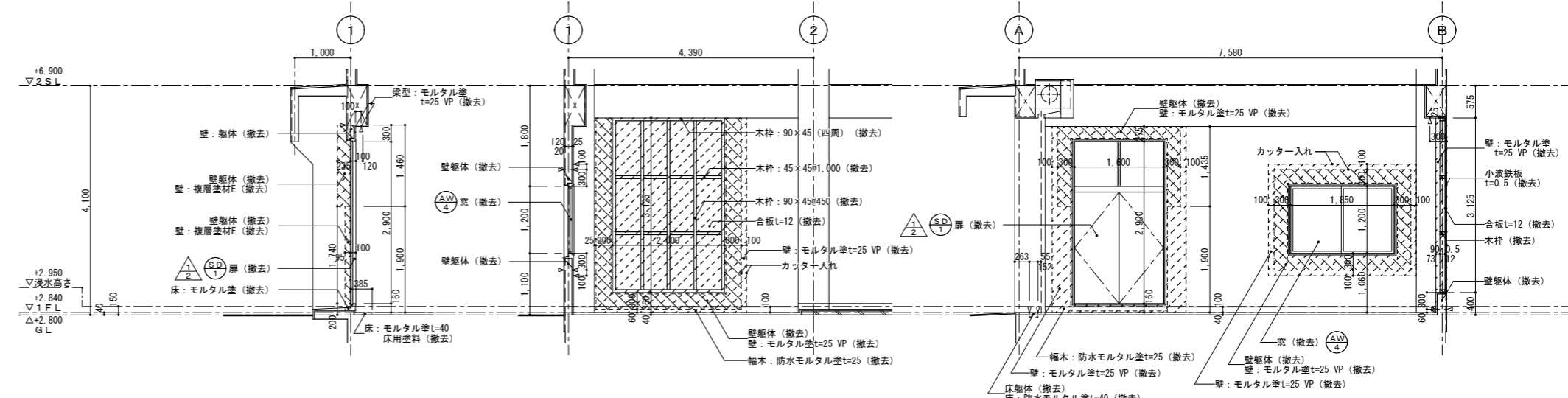


凡 例

- 新設建具を示す。
- 耐震補強箇所の部分詳細図番号を示す。
- RC躯体新設範囲を示す。

【汚水ポンプ棟】

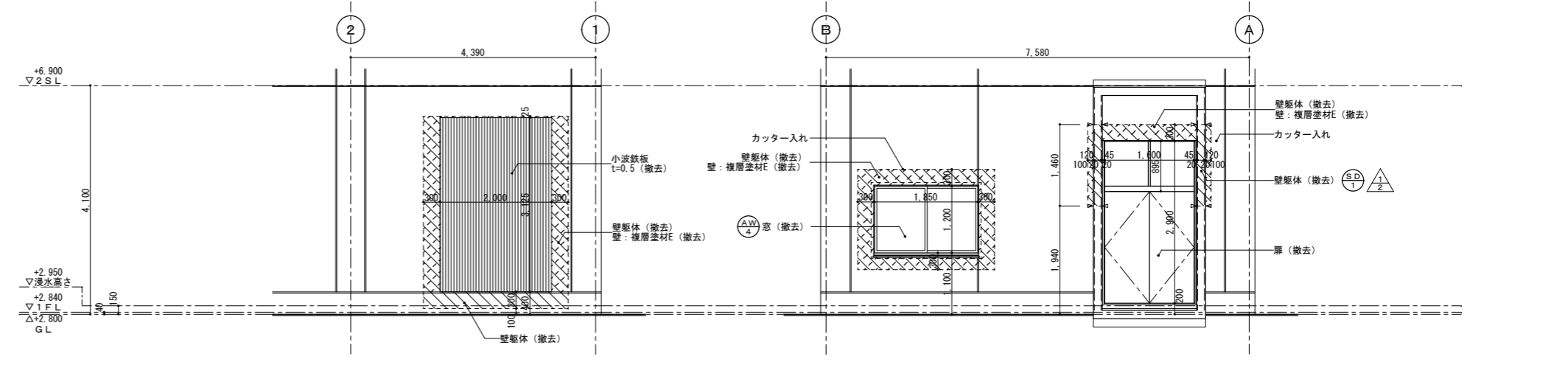
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	断面図		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-34/87



A-A 断面詳細図

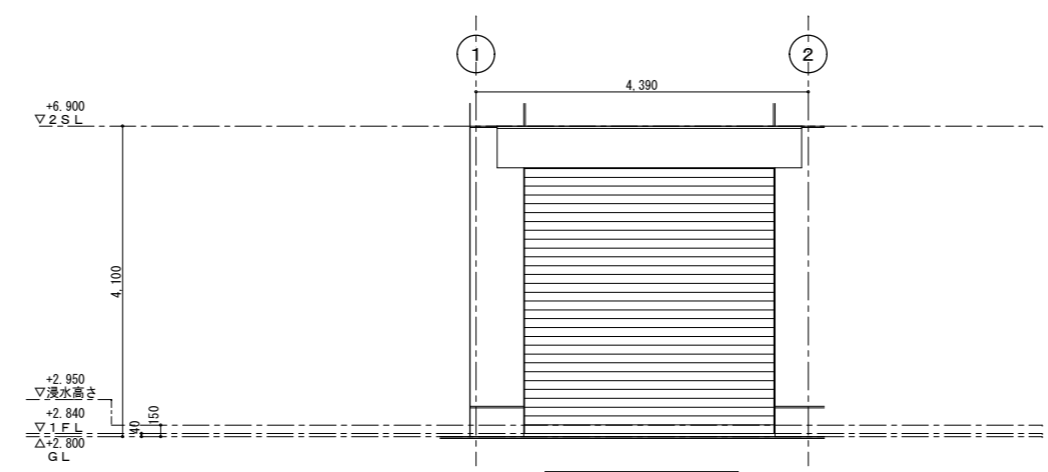
B-B 断面詳細図

C-C 断面詳細図

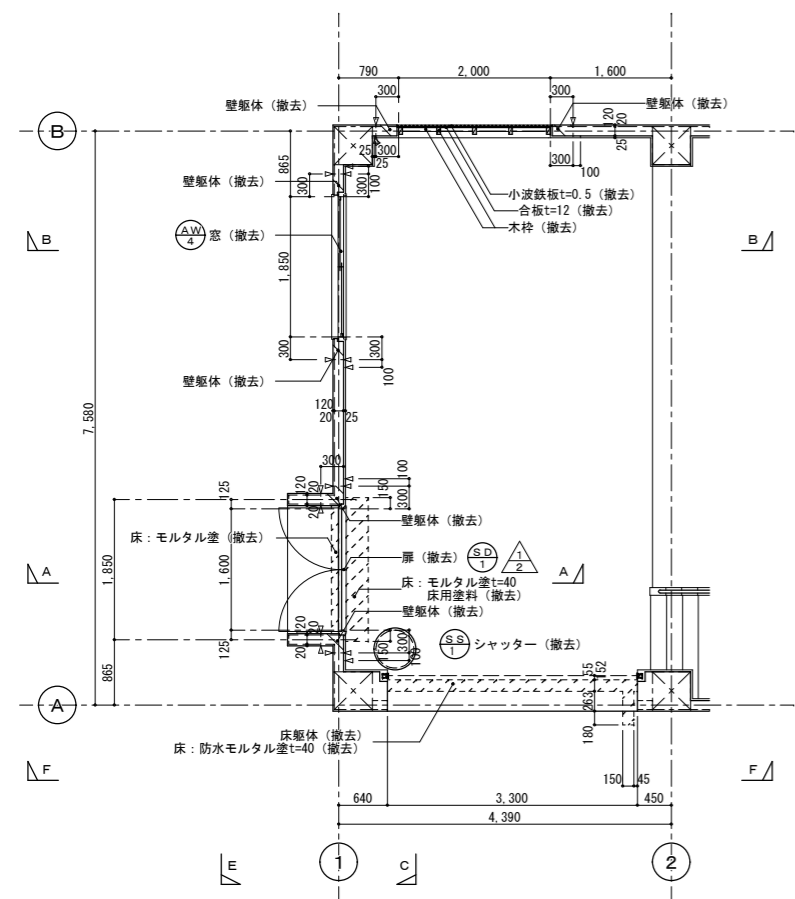


D-D 断面詳細図

E-E 断面詳細図



F-F 断面図 1/50



1階 平面詳細図

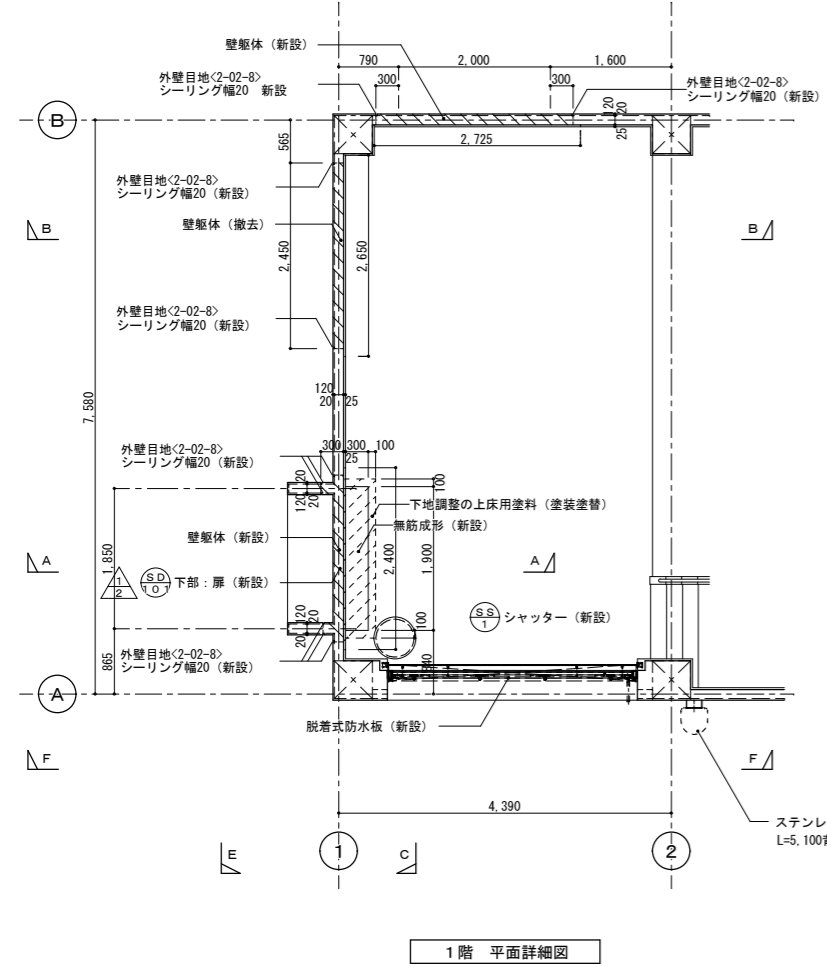
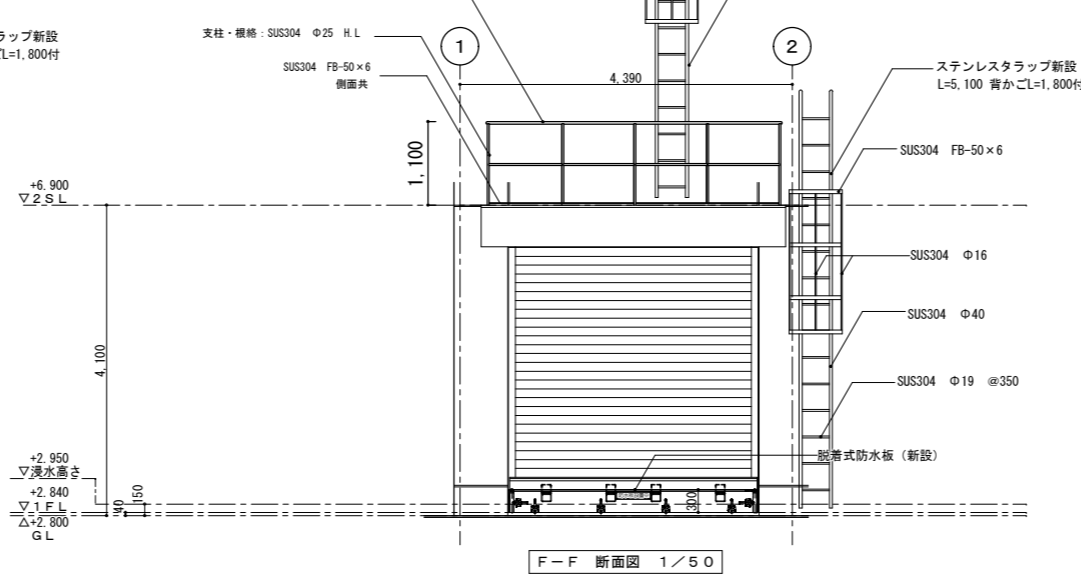
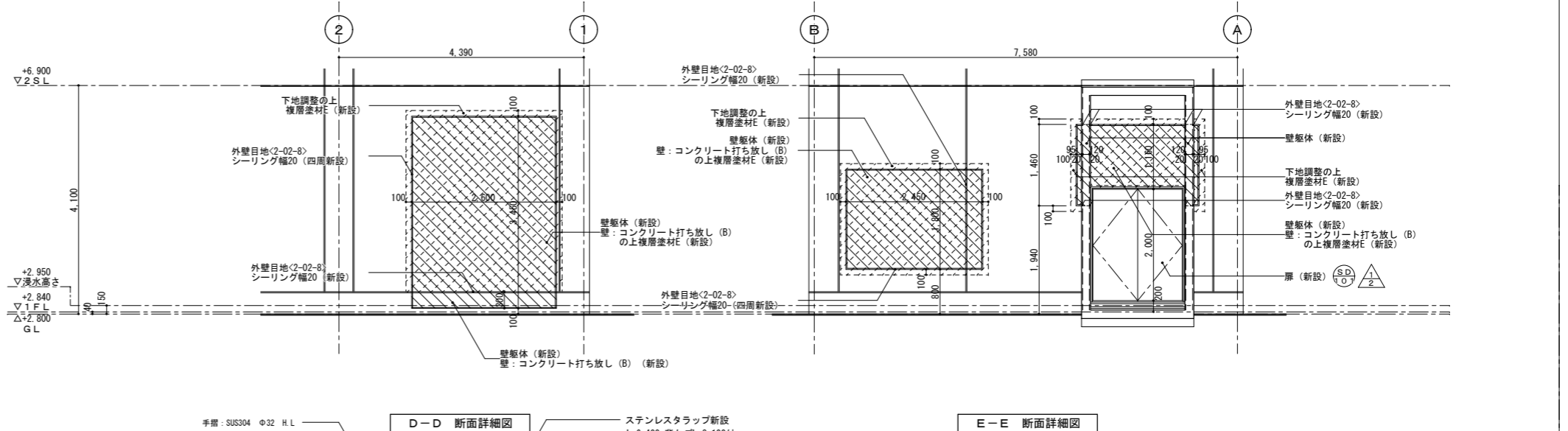
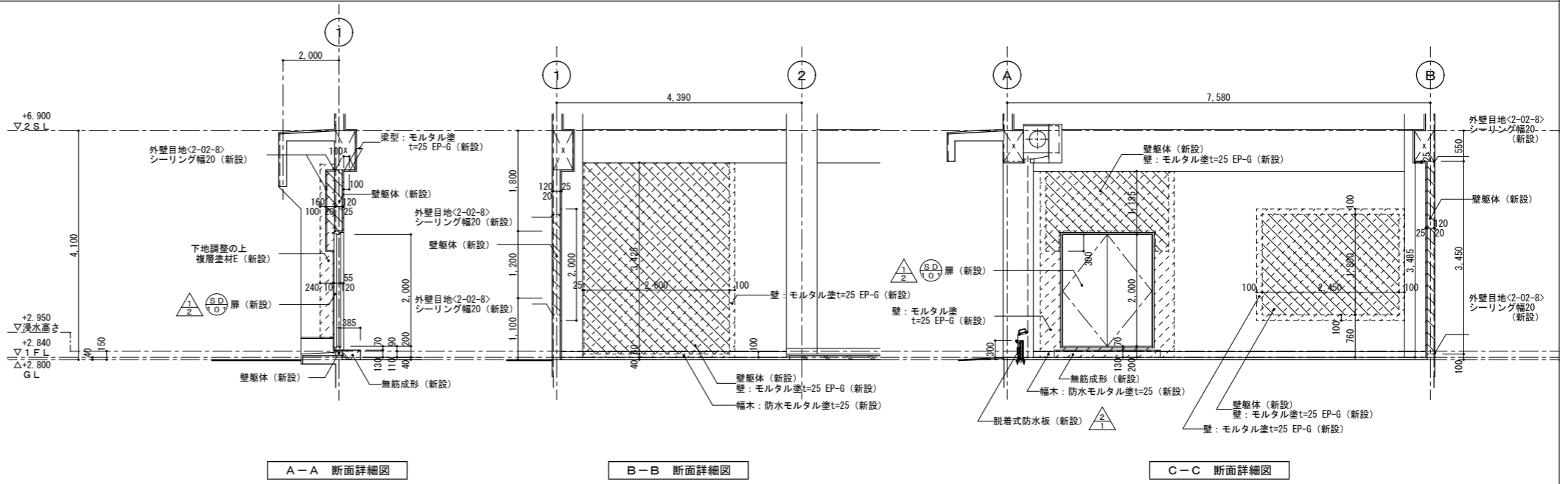
凡例

- R C躯体撤去範囲を示す。
- 仕上・下地撤去範囲を示す。
- カッター入部を示す。

1階 原動機室	
床	軽量コンクリートt=170 モルタル塗 t=30 床用塗料
巾木・壁	巾木: — 壁: モルタル塗
壁・柱型	壁: ロックウール吹付 t=20 柱型: モルタル塗・ロックウール吹付 t=20
梁型・天井	梁型: ロックウール吹付 t=20 天井: ロックウール吹付 t=20

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事
工事場所	四日市市尾上町 地内
名称	部分詳細図 (1)
縮尺	S=1:50 設計年月日 平成30年1月
工種	設計者 オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市 図面番号 A-35/87

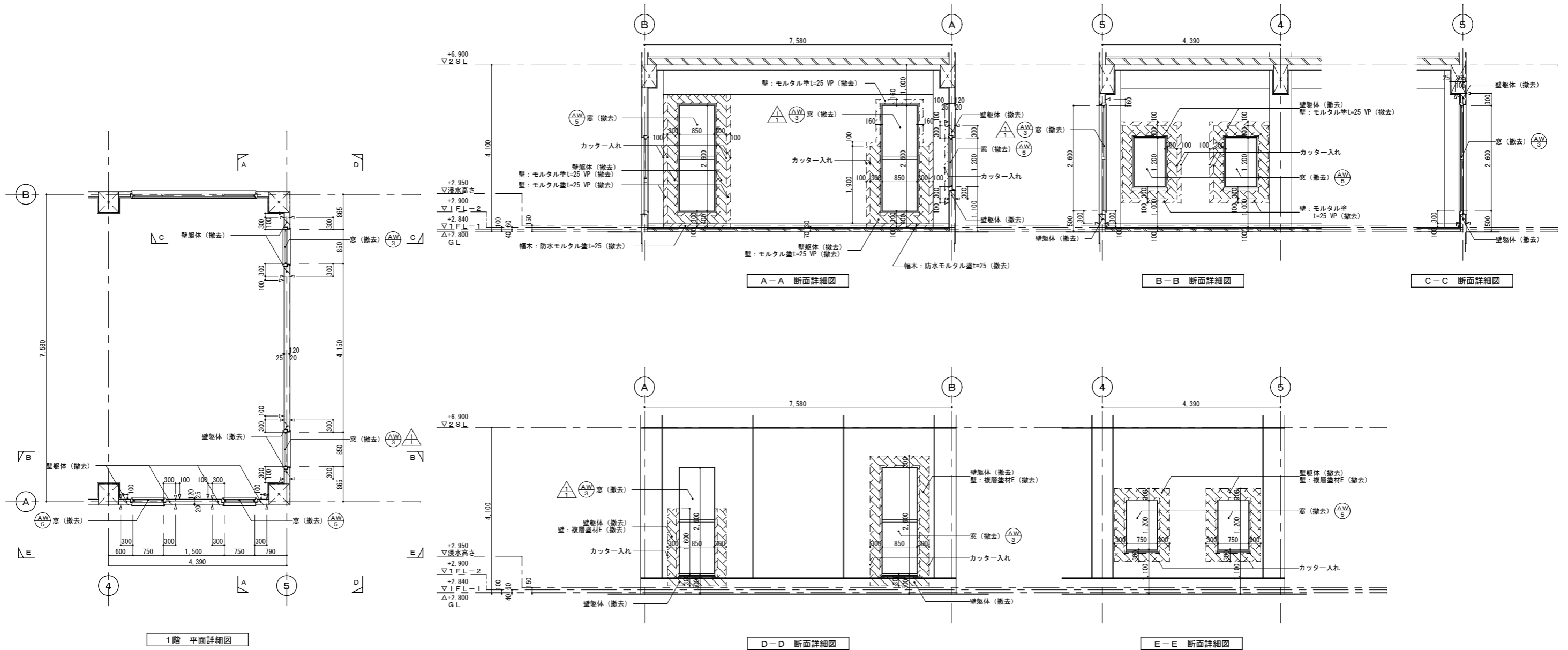


- 凡例
- RC躯体新設範囲を示す。
  - 仕上・下地新設範囲を示す。
  - 雑詳細図番号を示す。

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (2)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-36/87





1階 平面詳細図

A-A 断面詳細図

B-B 断面詳細図

C-C 断面詳細図

D-D 断面詳細図

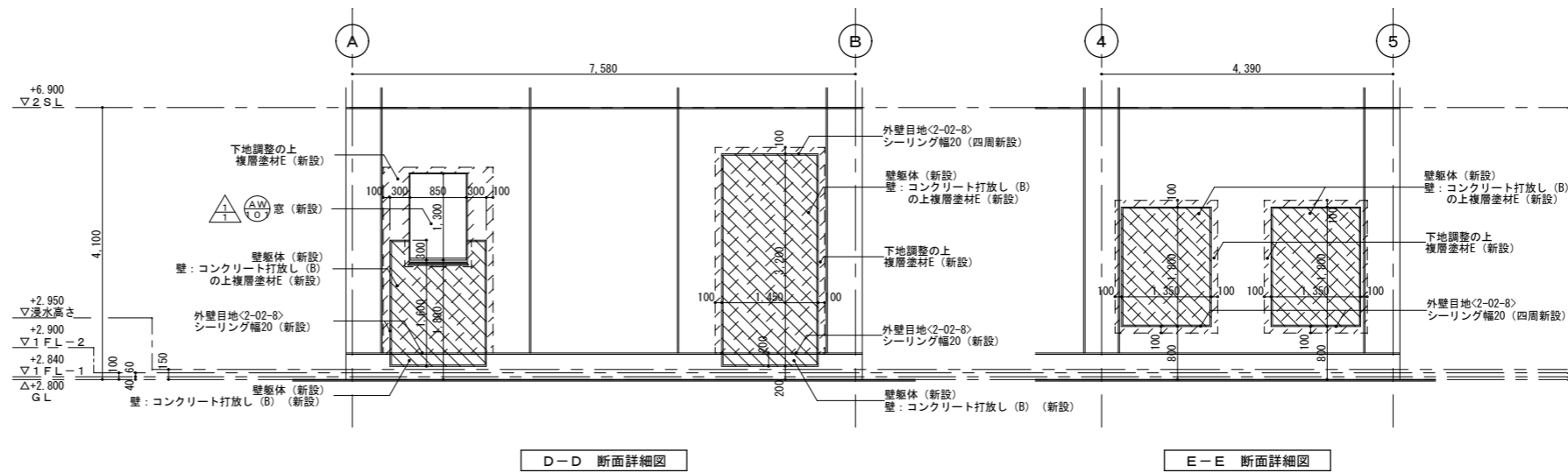
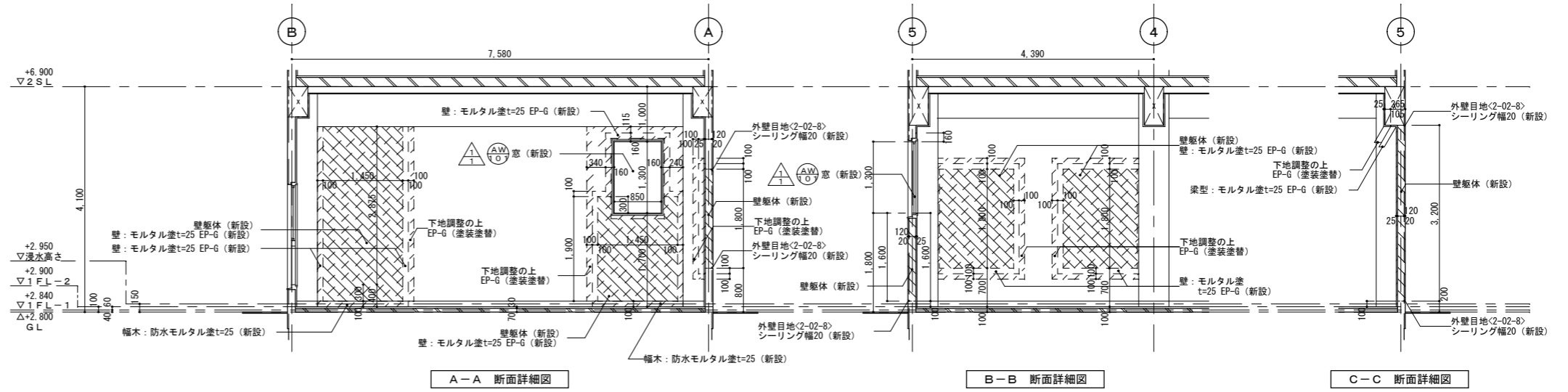
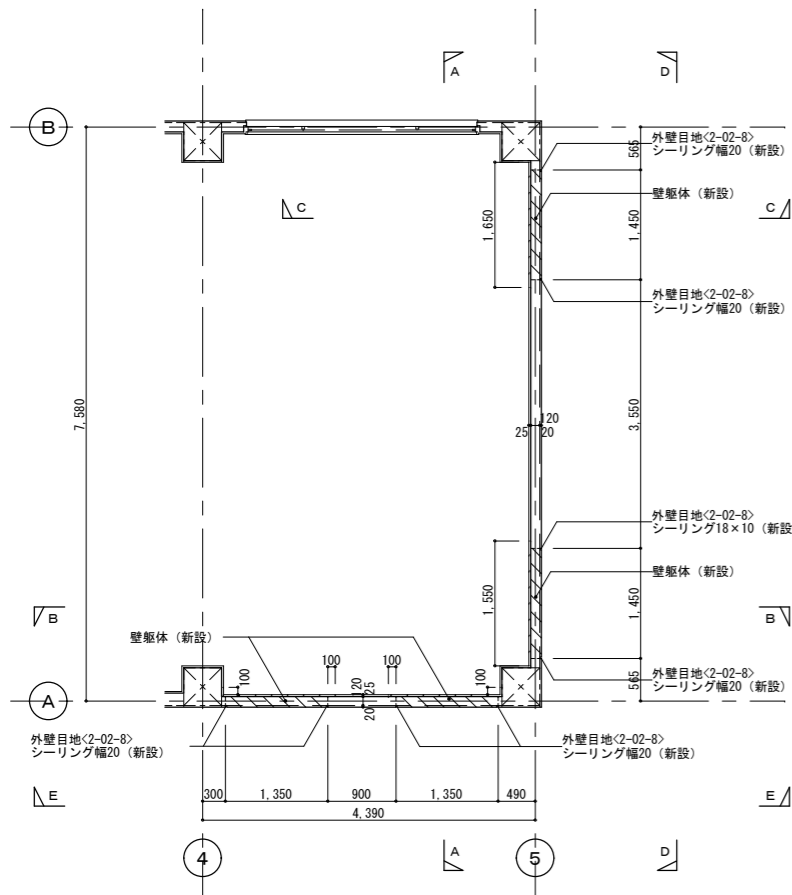
E-E 断面詳細図

- 凡例
- 撤去建具を示す。
  - RC躯体撤去範囲を示す。
  - 仕上・下地撤去範囲を示す。
  - カッター入部を示す。

1階 ホッパー室(車搬入口)・汚水室	
床	軽量コンクリート t=70 防水モルタル塗 t=30 表面硬化剤仕上 一部: 防水モルタル塗 t=30 表面硬化剤仕上
巾木・腰	巾木: 防水モルタル塗 t=25 腰:
壁・柱型	壁: モルタル塗 t=25 VP 柱型: モルタル塗 t=25 VP
梁型・天井	梁型: モルタル塗 t=25 VP 天井: パーライト吹付 t=10

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図(3)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	A-37/87

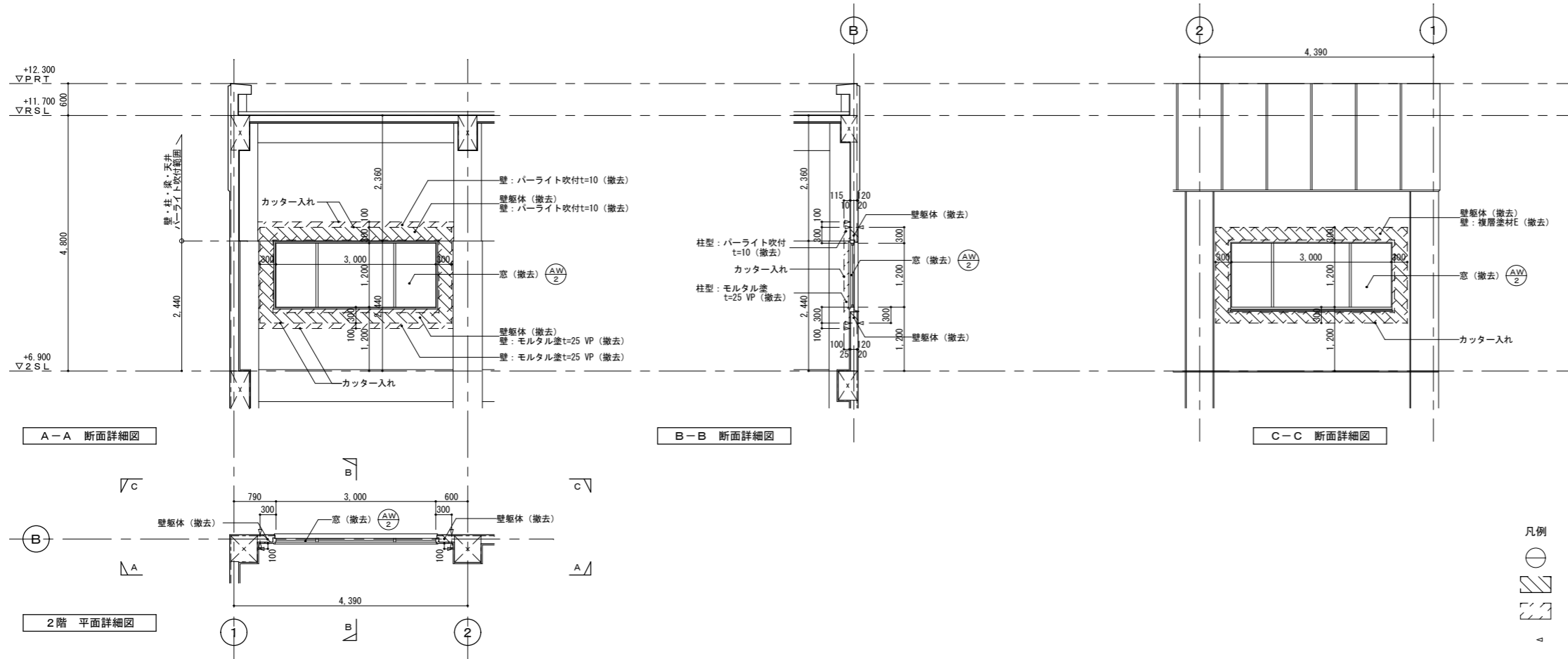


- 凡例
- RC躯体新設範囲を示す。
  - 仕上・下地新設範囲を示す。
  - 雑詳細図番号を示す。

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (4)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-38/87

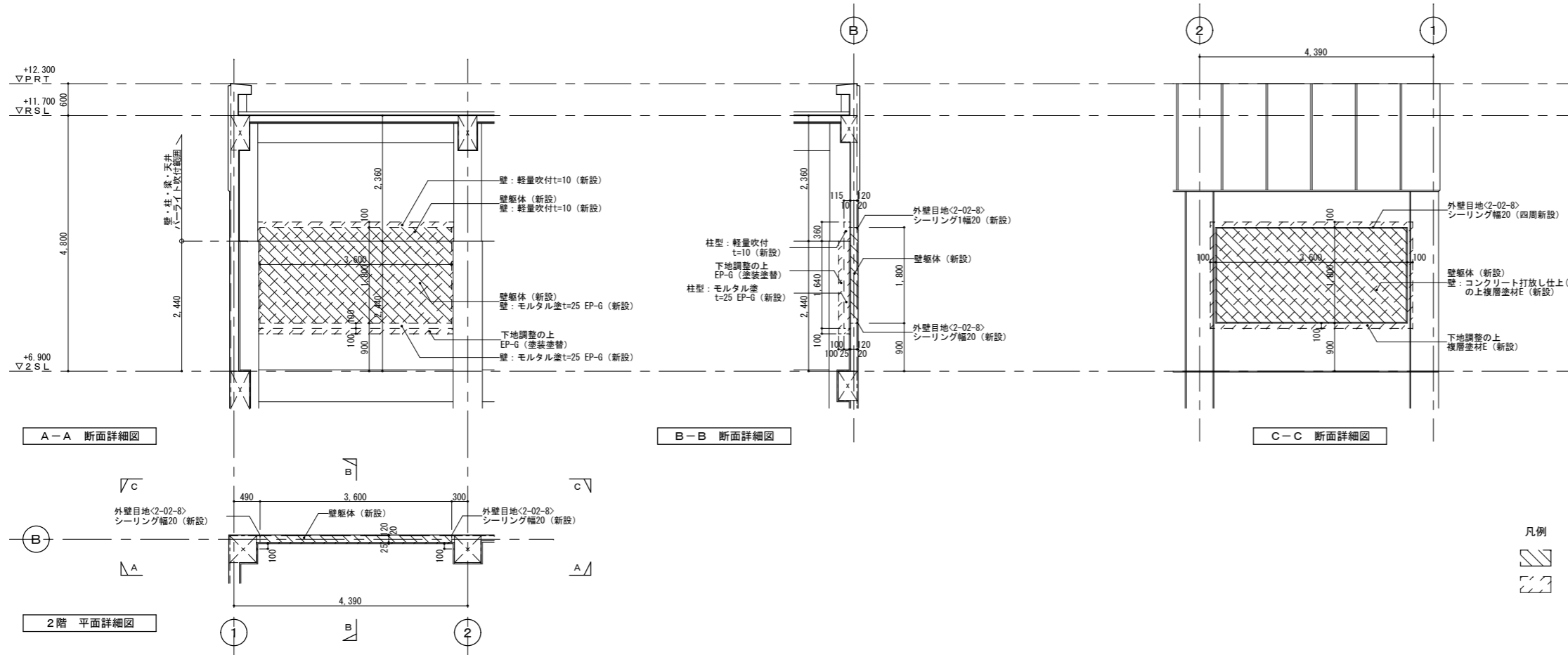
2-2  
0 2F B通り1~2間 改修前



- 凡例
- 撤去建具を示す。
  - R C躯体撤去範囲を示す。
  - 仕上・下地撤去範囲を示す。
  - カッター入部を示す。

2階 ホッパー室 (車搬入口)・汚水室 吹抜	
床	
巾木・腰	巾木: _____ 腰: _____
壁・柱型	壁: モルタル塗 t=25 VP 一部: パーライト吹付 t=10 柱型: モルタル塗 t=25 VP 一部: パーライト吹付 t=10
梁型・天井	梁型: パーライト吹付 t=10 一部: モルタル塗 t=25 VP 天井: P F 板 t=18 打込パーライト吹付 t=10

2-2  
N 2F B通り1~2間 改修後

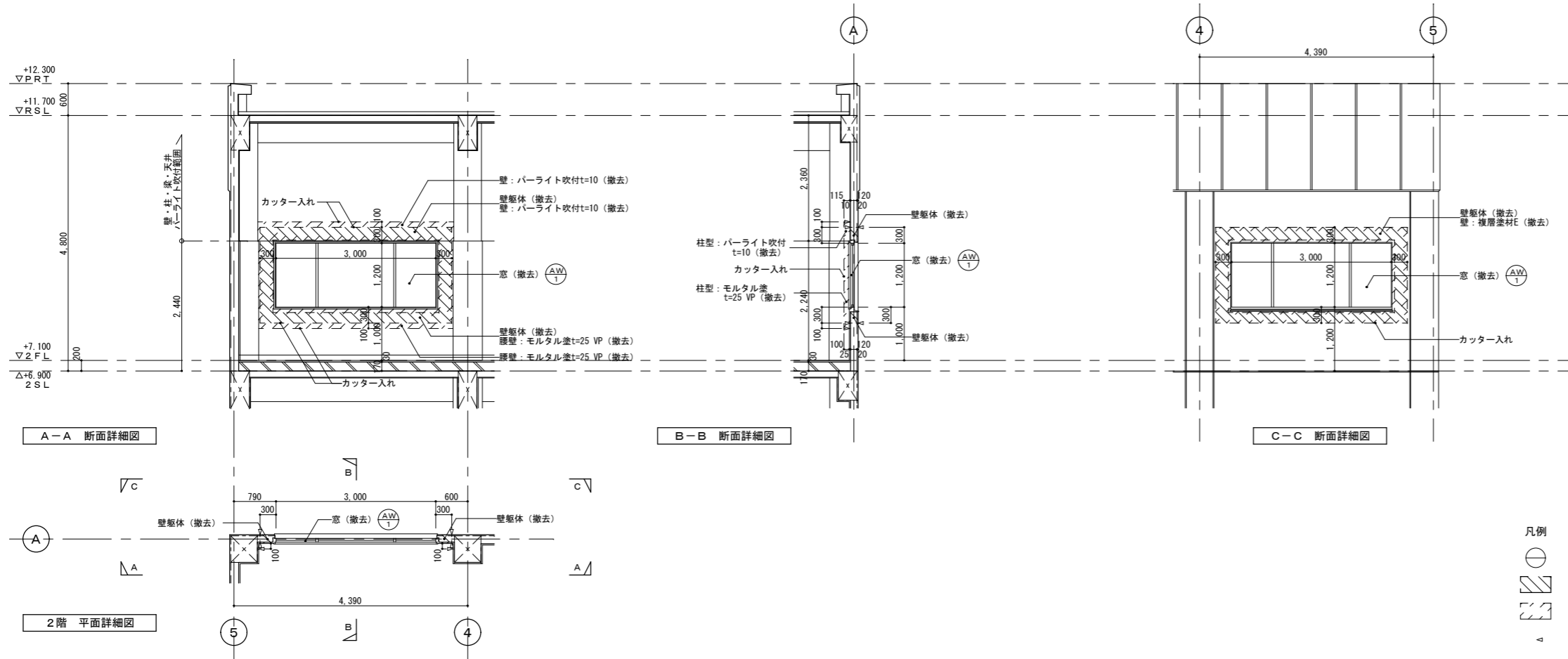


- 凡例
- R C躯体新設範囲を示す。
  - 仕上・下地新設範囲を示す。

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (5)		
縮尺	S=1.50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-39/87

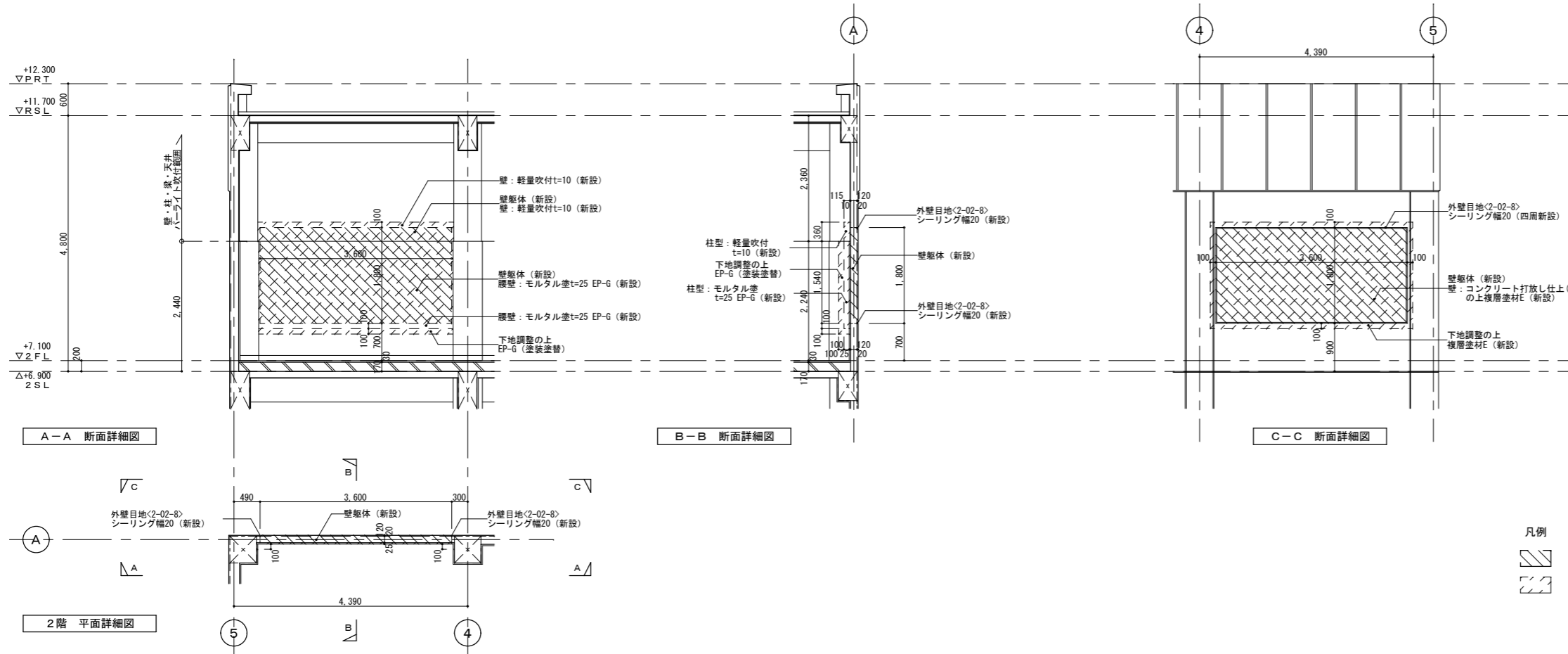
2-1  
0 2 F A通り4~5間 改修前



- 凡例
- 撤去建具を示す。
  - ▨ R C躯体撤去範囲を示す。
  - ▧ 仕上・下地撤去範囲を示す。
  - ◁ カッター入部を示す。

2階 脱臭機室・換気室	
床	軽量コンクリート t=170 防水モルタル塗 t=30 表面硬化剤仕上
巾木・腰	巾木：防水モルタル塗 t=25 腰：モルタル塗 t=25 VP 一部：パーライト吹付 t=10
壁・柱型	柱型：モルタル塗 t=25 VP 一部：パーライト吹付 t=10
梁型・天井	梁型：パーライト吹付 t=10 天井：PF板 t=18打込パーライト吹付 t=10

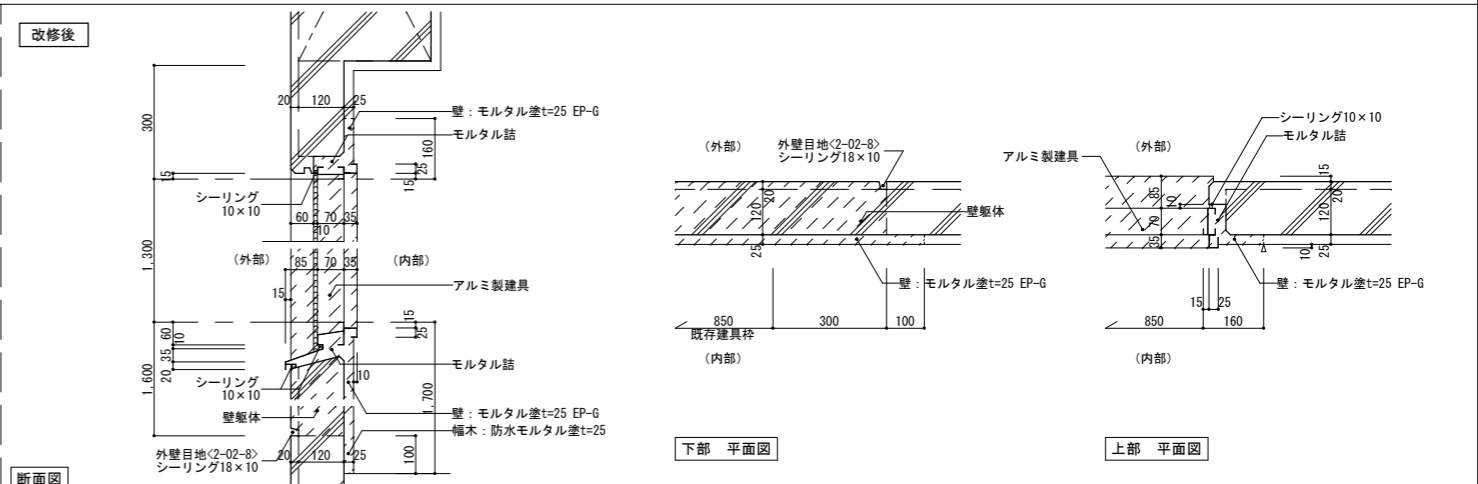
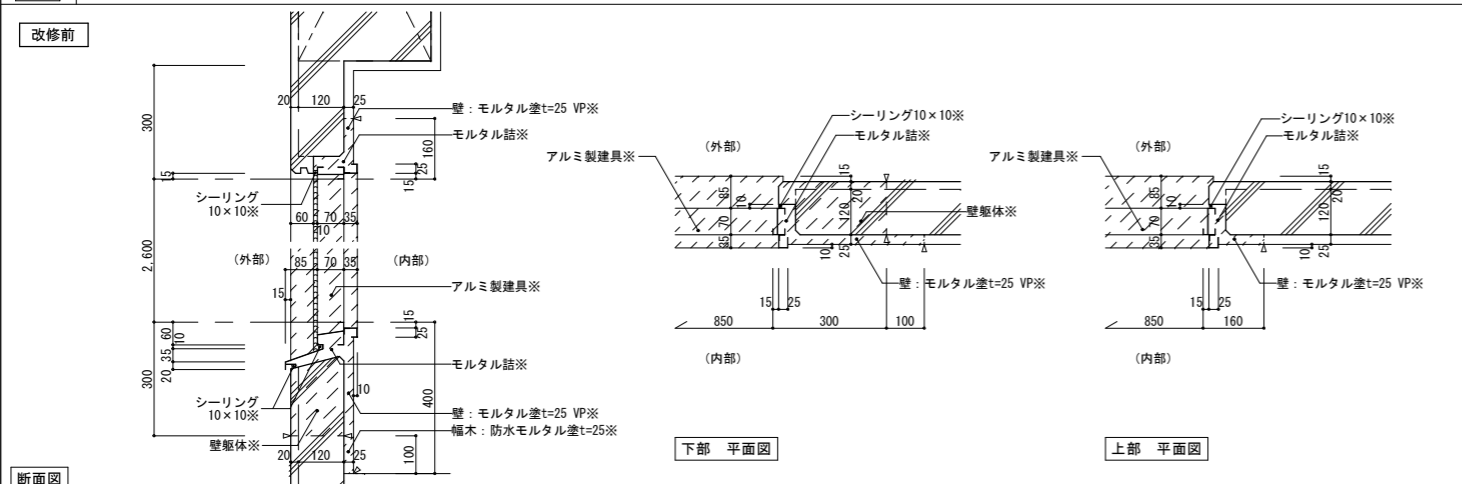
2-1  
N 2 F A通り4~5間 改修後



- 凡例
- ▨ R C躯体新設範囲を示す。
  - ▧ 仕上・下地新設範囲を示す。

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	部分詳細図 (6)		
縮尺	S=1.50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-40/87



**断面図**

注記 ※印は、撤去部を示す。 収まり・大きさは、現場にて再度計測の上チェックの事。

印は、撤去部を示す。

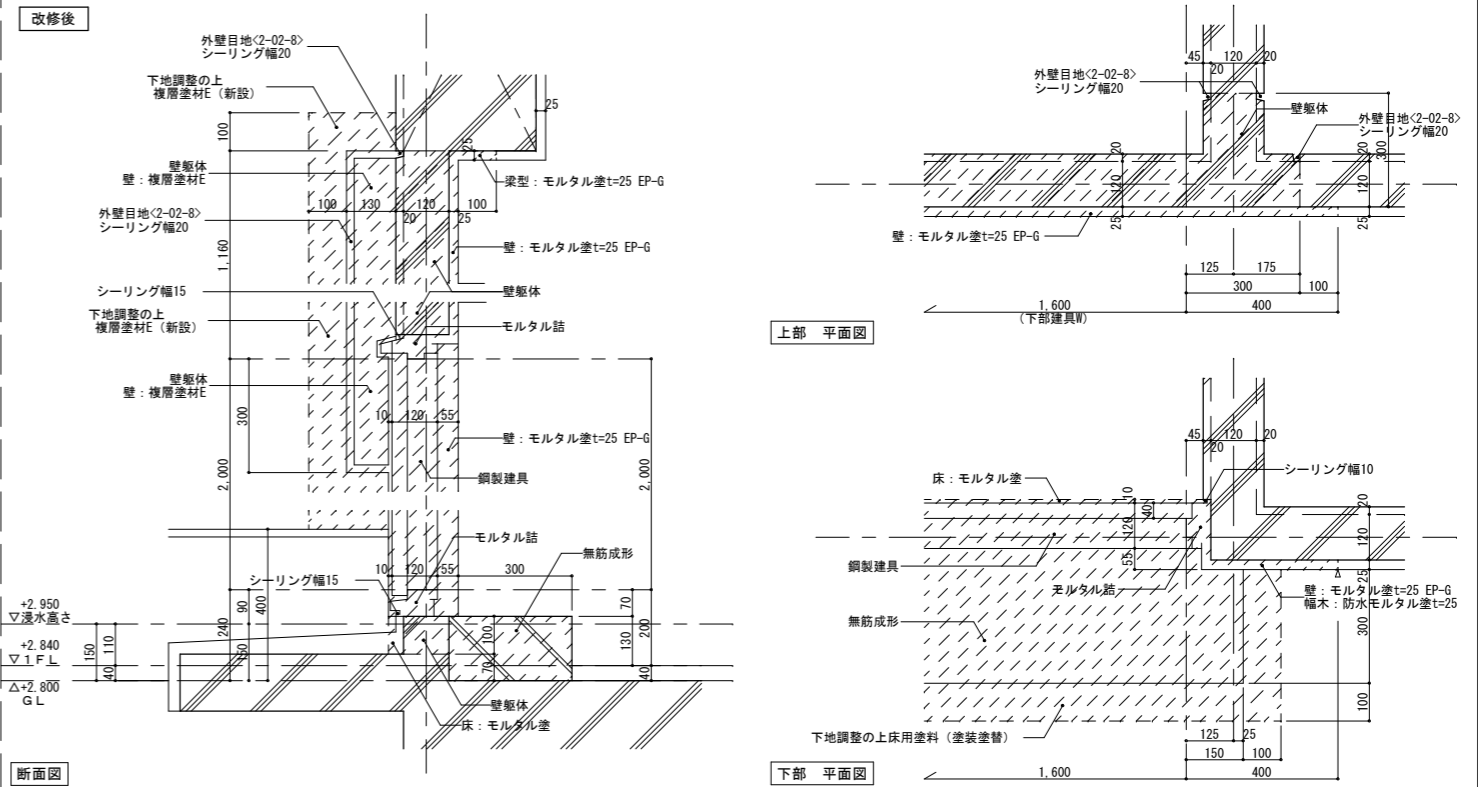
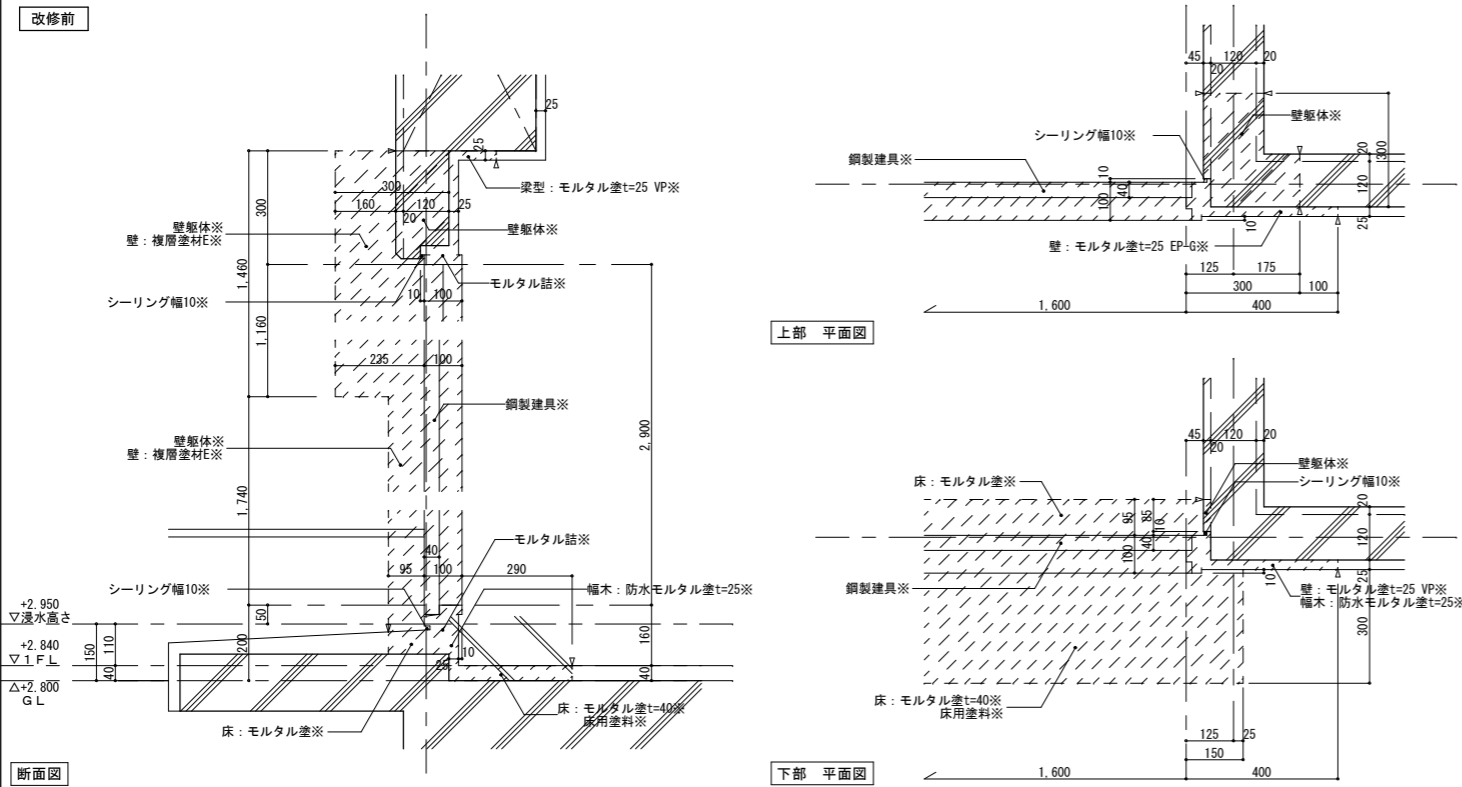
撤去部周囲は、カッター入れの事。

**断面図**

注記 図中表記材は、全て新設部を示す。

印は、新設部を示す。

収まり・大きさは、現場にて再度計測の上チェックの事。



**断面図**

注記 ※印は、撤去部を示す。 収まり・大きさは、現場にて再度計測の上チェックの事。

印は、撤去部を示す。

撤去部周囲は、カッター入れの事。

**断面図**

注記 図中表記材は、全て新設部を示す。

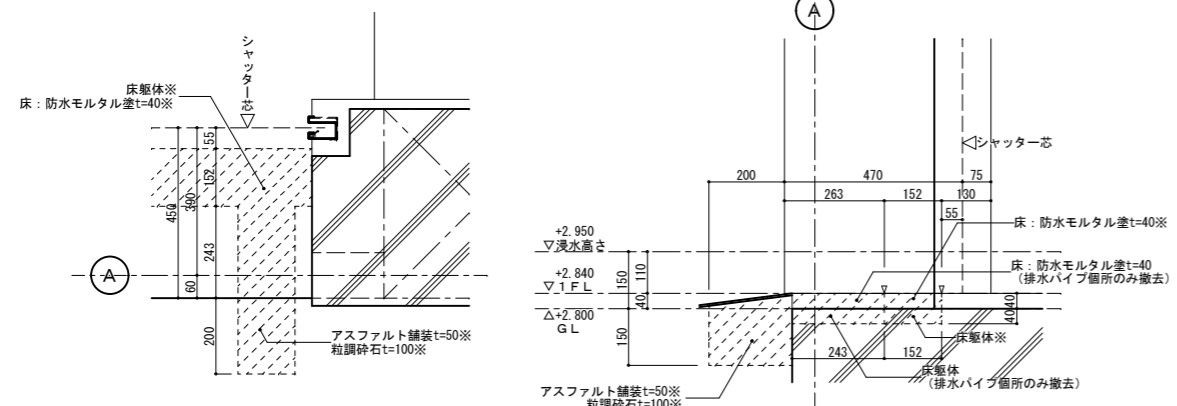
印は、新設部を示す。

収まり・大きさは、現場にて再度計測の上チェックの事。

**【汚水ポンプ棟】**

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	雑詳細図(1)		
縮尺	S=1:10	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-41/87

改修前

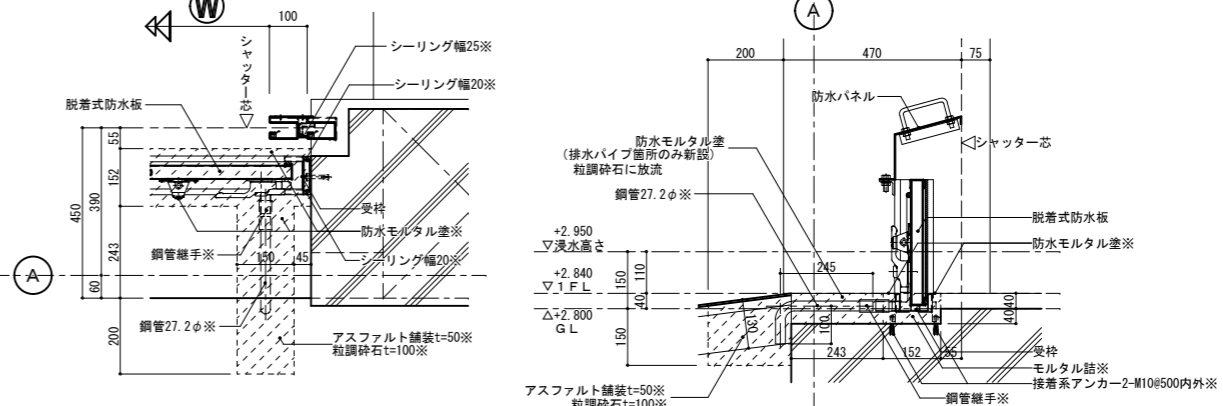


平面図 1/50

a部 詳細図 1/10

b部 詳細図 1/10

改修後



a部 詳細図 1/10

b部 詳細図 1/10

注記 ※印は、撤去部を示す。 収まり・大きさは、現場にて再度計測の上チェックの事。  
 印は、撤去部を示す。  
 撤去部周囲は、カッター入れの事。

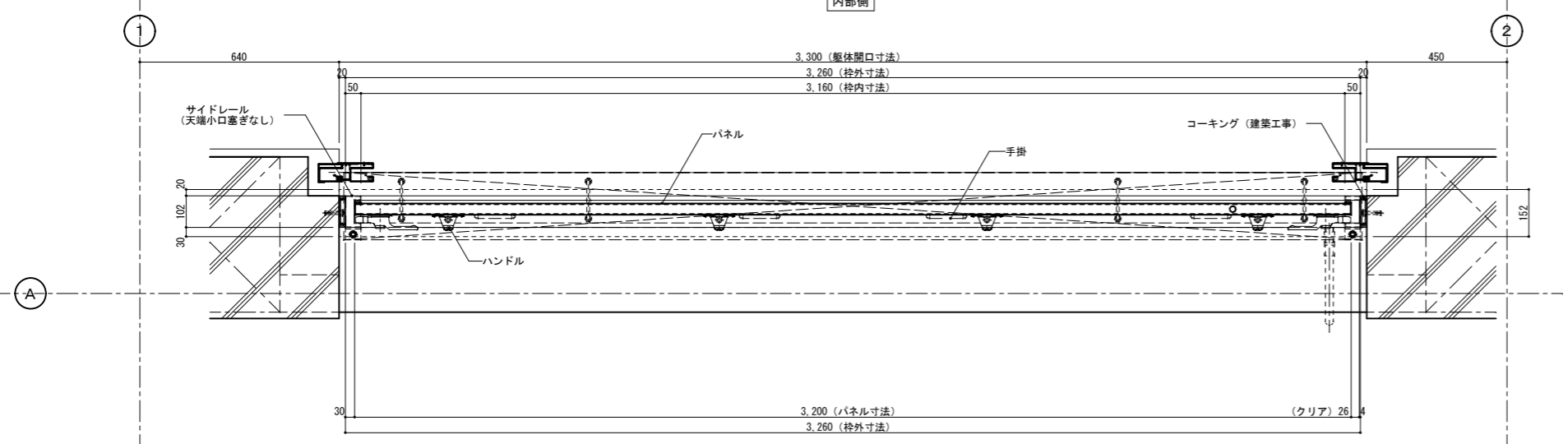
注記 図中表記材は、全て新設部を示す。 ※印表記材は建築工事とする。  
 印は、新設部を示す。  
 収まり・大きさは、現場にて再度計測の上チェックの事。

脱着式防水板仕様

※ 防水板仕様

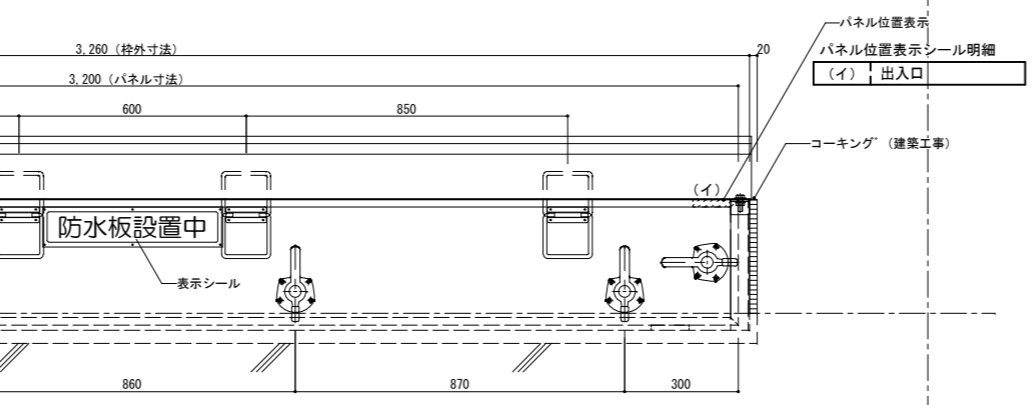
型式	脱着式(外縁・露出枠・下枠有り)
止水高さ	H=300
パネル	3,200×32×331 (≒26kg/枚) 中空アルミ合金押出型材 (A6063S-T5) 陽極酸化塗装複合皮膜 (A2種)
サイドレール	SUS304 PL-2.0 HL
止水ゴム	ネオプレンゴム
ハンドル	亜鉛合金製 (ZDC2)
手掛	SUS RB-10φ
表示シール	黄色地下黒文字 (丸ゴシック)
位置表示	プリントシール貼り (文言打合せの上決定)
ボトムレール	SUS304 PL-2.0 HL (分割) カサアゲ: SUS304 PL-2.0×100×25 H=14
蓋	SUS304 PL-3.0t (ボルカプレート電解研磨) ステンレス把手付 70×45×1,200 (1枚, ≒5kg/枚), 70×45×1,011 (2枚, ≒4kg/枚)
雨除けパネル	SUS PL-2.0 HL
備考	止水性能 0.02m <sup>3</sup> /h・m <sup>2</sup> 以下 (単位面積当たり) 「防水板が固定される構造体 (建具等) の強度を別途確認願います。」

内部側



防水板 (装着時) 平面図 1/10

水圧方向  
外部側



防水板正面姿図 1/10

注記 上記作図は参考図であり、各材等、仕様はメーカー仕様とする。

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	雑詳細図 (2)		
縮尺	図示	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-42/87

改 修 前

符号・名称・個数	SD-1 両開きフラッシュ戸 撤去(1)	SS-1 スチールシャッター(電動) 撤去(1)	AW-1 中央FIX両袖引き窓 撤去(1)	AW-2 FIX窓 撤去(1)	AW-3 FIX窓 撤去(2)	AW-4 引き違い窓 撤去(1)
場所	1F ホッパー室	1F ホッパー室	2F 脱臭機室・換気室	2F ホッパー室吹抜	1F 汚水室	1F ホッパー室
仕上(枠共)		スラット:PL-1.6メラミン樹脂焼付、ケース:SOP				
建具	見込(ランマ)	40	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による
	硝子(ランマ)	(熱線吸収ガラスt=6)	熱線吸収ガラスt=6	熱線吸収ガラスt=6	熱線吸収ガラスt=6	熱線吸収ガラスt=6
	ガラリ					
建具枠	見込取合 番摺	100	70	70	70	70
枠記号 番摺(水切)記号						
建具金物						
その他		(スラット)スチール1.6mm、メラミン焼付	カバー工法済			
形状・寸法						
符号・名称・個数	AW-5 片開き窓 撤去(2)					
場所	1F 汚水室					
仕上(枠共)						
建具	見込(ランマ)	メーカー仕様による				
	硝子(ランマ)	熱線吸収ガラスt=6				
	ガラリ					
建具枠	見込取合 番摺	70				
枠記号 番摺(水切)記号						
建具金物						
その他						
形状・寸法						

改 修 後

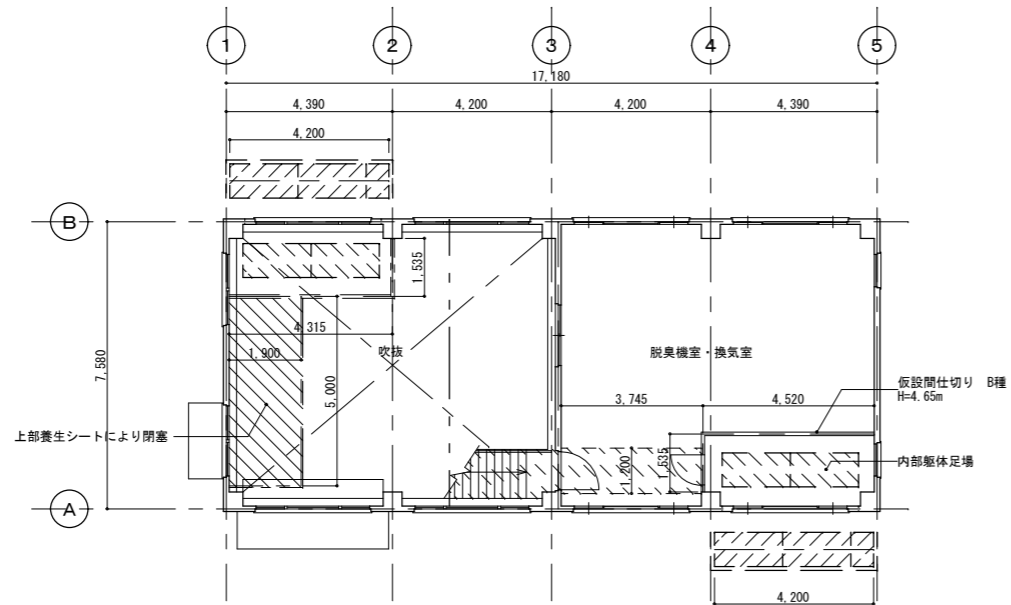
符号・名称・個数	SD-101 両開きフラッシュ戸 新設(1)		AW-101 FIX窓 新設(1)	SS-1 スチールシャッター(電動) 新設(1)	
場所	1F ホッパー室		1F 汚水室	1F ホッパー室	
仕上(枠共)	DP		B-2種	スラット:PL-1.6メラミン樹脂焼付、ケース:SOP	
建具	見込(ランマ)	40	メーカー仕様による		
	硝子(ランマ)		アルミハネルt=6		
	ガラリ				
建具枠	見込取合 番摺	120	70		
枠記号 番摺(水切)記号	<4-44-2>、雑詳細図による		雑詳細図による		
建具金物	丁番、戸当り、DC、フランス落し、シリンドラ箱錠(レバーハンドル)		付属金物一式、三方アルミ縦線25x35、アルミ扉板25x35、アルミ水切板 見込85	障害物検知装置	
その他	外部簡易気密戸			ガイドレール:SUS304-H.L 既設レールに溶接、押釦再使用	
形状・寸法					

- 共通事項
- 特記なき限り外部はシリンダ箱錠(内部サムターン)とし内部は本締り付きモノロックとする。但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。
  - パイプスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠(特記なき限り同一キー)とする。(内部はサムターン付)
  - 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。
  - AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め(防火戸を除く)をつける。壁仕上げボード類等の場合は床付とする。(但し、通行に支障のあるものは除く。)
  - 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。
  - アルミニウム製の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。
  - 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。
  - 特記なき限り内部建具ガラリはI型とする。(枠廻り詳細による。)
  - 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。
  - 防火戸の位置は建具配置図による。
  - 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行なわないものとする。
  - 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。
  - 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付とする。
  - 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。

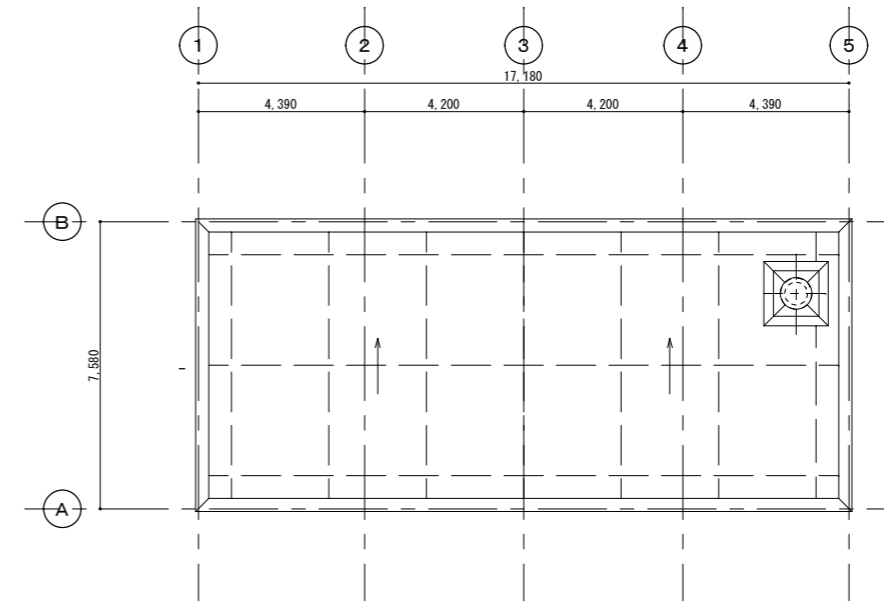
種別	戸	窓	ガラリ	紙障子	ふすま	シャッター	網戸
アルミニウム製	A D A W A G	A O D				A S a W	
鋼製	S D S W S G	S O D				S S	
鋼製軽量	L D					L S	
ステンレス製	S S D S S W S S G					S S S	
木製	W D W W W G			P	H		
F	型板ガラス	金	D C	ドアクローザー			
P	フロート板ガラス	物	A H	オートヒンジ			
N	網入型板ガラス	略	F H	フロアヒンジ			
NP	網入みがき板ガラス	号	P H	ヒポットヒンジ			

【汚水ポンプ棟】

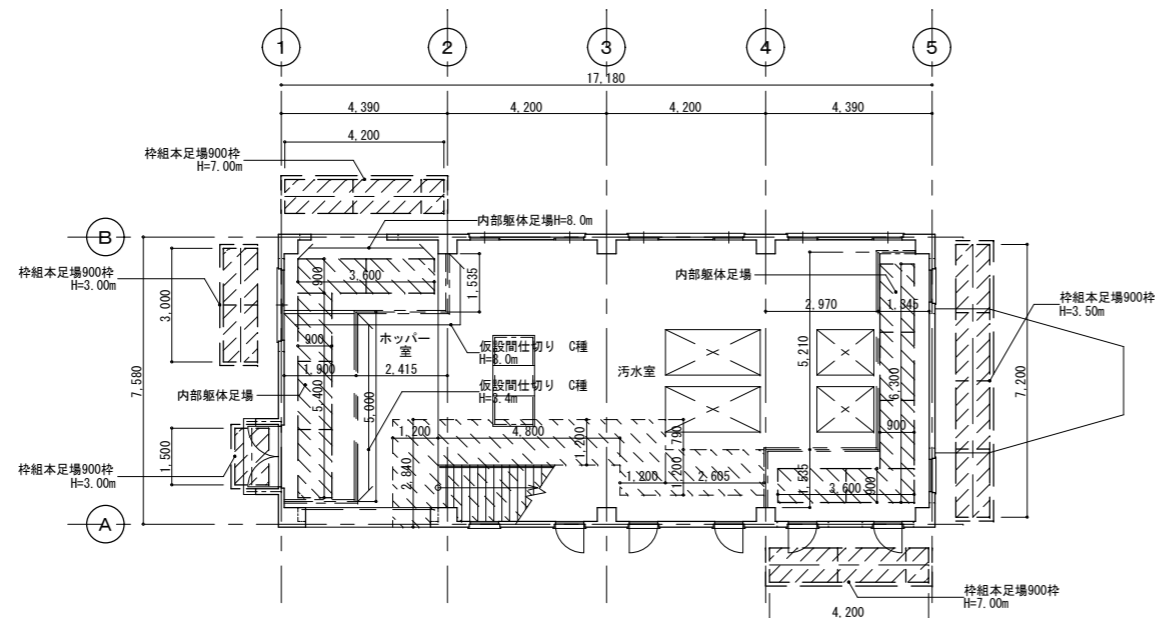
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	建具表		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-43/87



2階平面図 1/100



屋根伏図 1/100



1階平面図 1/100

凡例

- 床養生シート敷
- 枠組本足場W900+壁養生シート
- 内部足場(躯体足場)  
特記なき限り、躯体足場：H=5.0未満とする。
- 仮設間仕切り壁 B種(不燃)  
(軽量鉄骨壁下地+片面石こうボード)
- 仮設間仕切り壁 C種  
(単管下地+壁養生シート)

注記 仮設間仕切り、足場等は現場監督員と調整のこと。  
 仮設間仕切りは気密性を確保するため、継目、床、天井部にテープを貼ること。  
 仮設間仕切り内施工スペースは床養生シート敷きとすること。  
 仮設間仕切りに設ける扉位置については、協議の上決定とする。  
 特記なき限り仮設間仕切内の設備機器等はシートにより養生のこと。  
 外壁での足場の壁つなぎアンカー施工の際は、粉塵が飛散しないような工法で施工を行うこと。

参考図

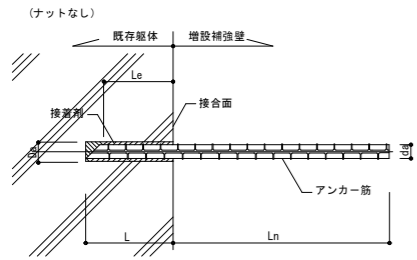
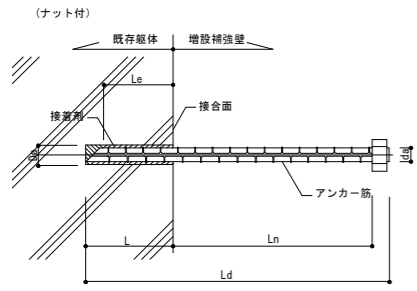
【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	仮設計画図		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	A-44/87



あと施工アンカー

(1) 接着系アンカー



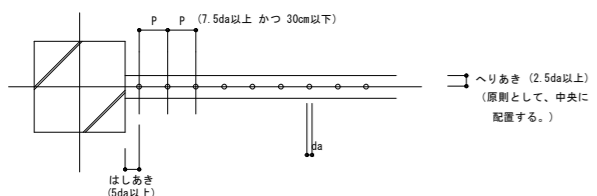
L : コンクリートの穿孔深さ、または接着系アンカーの埋め込み長さ  
 Le : アンカーの有効埋め込み長さ  
 Ld : アンカー筋の全長  
 Ln : 有効定着長さ  
 Da : 既存コンクリート躯体への穿孔径  
 da : アンカー軸部の直径、アンカー筋の呼び名

アンカー関係共通事項	
接着系アンカーの有効埋め込み長さ	一般部 : $Le=7da$ 開口補強筋 : $Le=10da$
接着系アンカーの有効定着長さ	一般部 : $Ln=20da$ 開口補強筋 : $Ln=L+5da$ (=補強筋との継手長さ+クリップ)
アンカー筋形状	ナット付き異形棒鋼(開口補強筋用はナットなし)とし、ナットからねじ山が2山以上でること。 また、先端形状は45°カットとする。

施工確認試験荷重 (終局引張強度)		終局せん断強度
アンカー筋呼び名 (da)	荷重 (kN)	荷重 (kN)
D13 (7da)	31.3	26.2
D13 (10da)	37.5	26.2
D16 (7da)	47.5	41.1
D19 (10da)	74.9	69.3
D22 (10da)	133.5	93.5

- 上記荷重は終局引張強度のため、引張試験はその強度の2/3以上とする。条件変更等がある場合は、耐震改修設計指針(日本建築防災協会)により算出のこと。上記に示す箇所以外とするときは、別途確認強度を算出すること。
- 国土交通省「あと施工アンカー・連続繊維補強設計・施工指針」(平成18年7月)による。
- 上記試験荷重はコーン破壊面積の欠損は考慮していない。打設位置でコーン破壊面積が欠損する場合は監督職員の指示により別途検討を行う。

(2) あと施工アンカーの位置と間隔



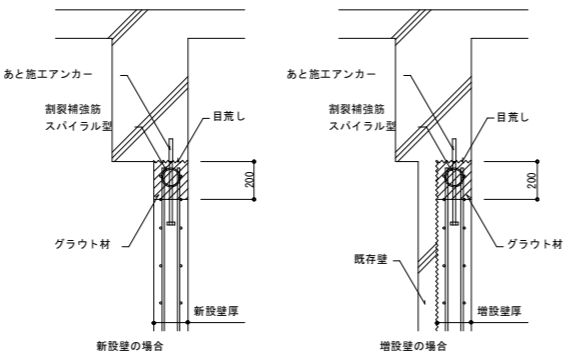
割裂補強筋配筋要領

- 割裂補強筋は、改修壁の柱・梁に接する面全てに配置する。
- 割裂補強筋は、スパイラル型とし、ピッチ、スパイラル径は下記による。
- 継手は、2巻以上の重ねとする。

壁厚	スパイラル径	割裂補強筋	備考
150	50φ	6φ#50	
200	100φ	6φ#50	
250	150φ	6φ#50	
300	200φ	9φ#50	
350	250φ	9φ#50	
400	300φ	9φ#50	

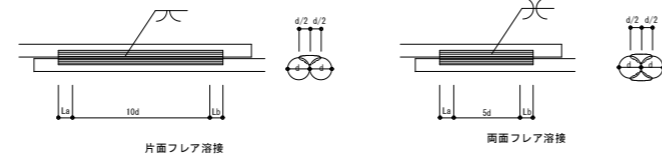
新設・増設壁上部グラウト要領

- 特記なき新設・増設壁上部は、グラウトを行う。

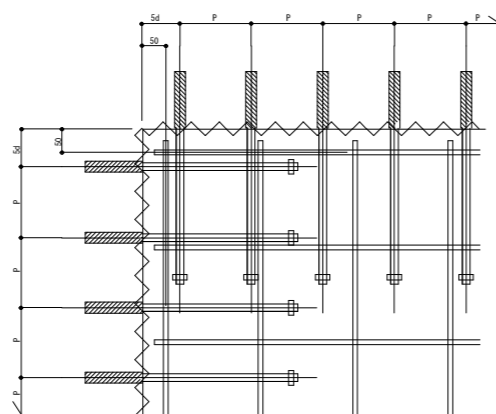


鉄筋フレア溶接要領

- 特記なき鉄筋のフレア溶接は、下図の片面または両面とする。
- 鉄筋のフレア溶接の溶接長さは、ビードの始点(La)及び、クレータ(Lb)を除いた部分の長さとする。但し、La及びLbは2d以上とする。



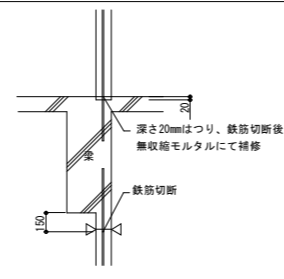
アンカー筋ピッチ標準



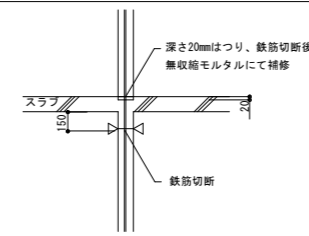
既存壁等撤去要領図 S=1/30

注記) 特記なき壁等の撤去は下図による。  
 注記) <印は、コンクリートカッター位置を示し、カッター深さ30とする。  
 注記) 鉄筋切断部には、錆止め塗装を行う。  
 注記) 鉄筋はつり出しは、特記による。

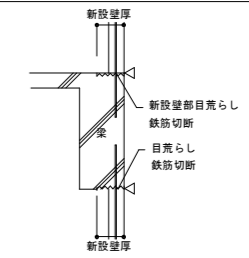
撤去壁-梁 取合部 (撤去のみの場合)



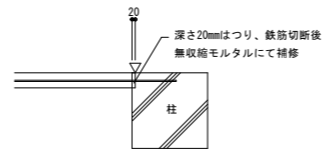
撤去壁-スラブ 取合部



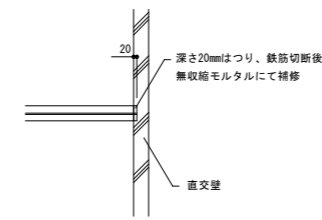
撤去壁-梁 取合部 (壁を新設する場合)



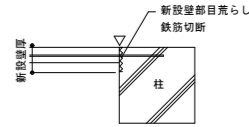
撤去壁-柱 取合部 (撤去のみの場合)



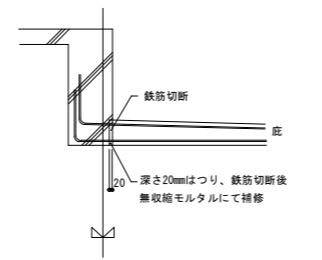
撤去壁-直交壁 取合部



撤去壁-柱 取合部 (壁を新設する場合)



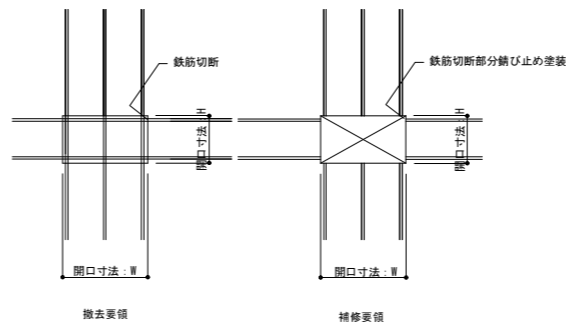
撤去底-梁 取合部



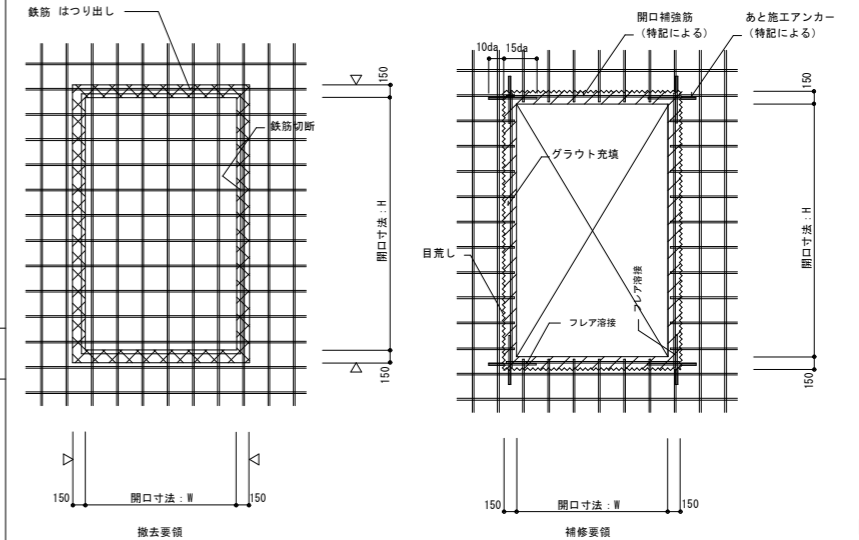
新設壁開口配筋要領図

- 床・壁にコア抜きにより先導孔を開ける。
- 各開口寸法に合わせ、コンクリートカッター及び、はつり出しにより開口部を開ける。
- 小開口部は切断面の補修(錆び止め塗装)を施す。大開口部はあと施工アンカーにより、開口補強筋を設ける。開口補強筋を取り付けた後、内型枠に合わせグラウト材を充填する。

○小開口部 適用は特記による。



○大開口部 適用は特記による。



注記) <印は、コンクリートカッター位置を示し、カッター深さ30

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	特記仕様書(1)		
縮尺	NONE	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	S-1/87

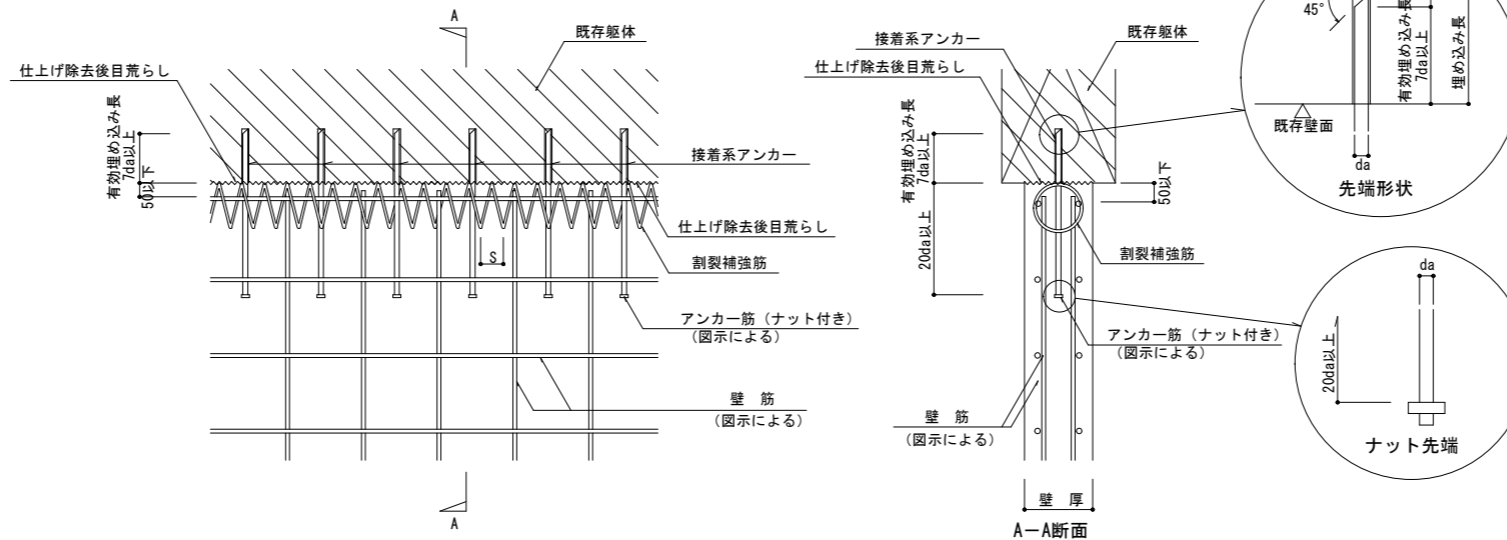
一般仕様

1. 使用材料

コンクリート	Fc=24N/mm <sup>2</sup>	スラブ18
無収縮グラウト材	Fm=30N/mm <sup>2</sup> 以上	
無筋コンクリート	Fc=18N/mm <sup>2</sup>	スラブ15
鉄筋	JIS G 3112 SD295A (D16以下) JIS G 3112 SD345 (D19以上) JIS G 3112 SR235 (割裂補強筋)	
アンカー筋	JIS G 3112 SD295A (D16以下) JIS G 3112 SD345 (D19以上)	
接着系アンカー	有機系カプセル型アンカー	
シャコネクター	有機系カプセル型アンカー SD295A(D10) [増し壁の場合に使用する]	

割裂補強筋配筋要領図 1/10

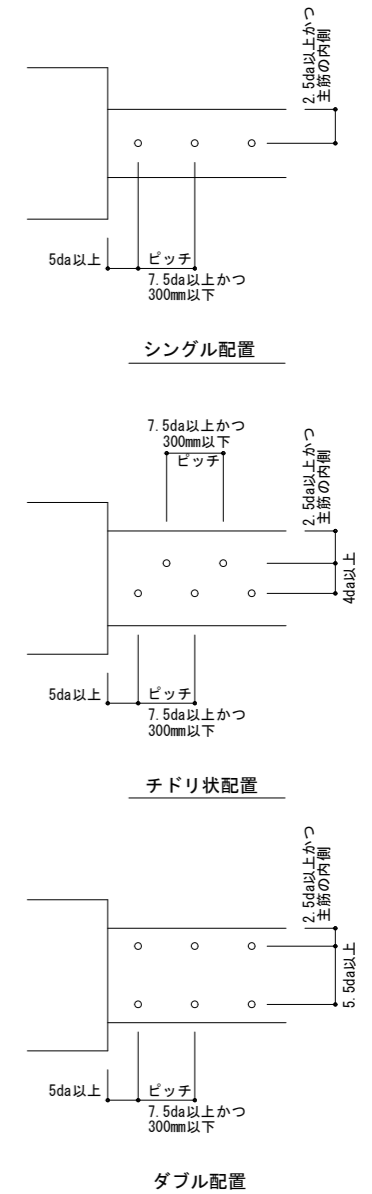
- ※1 daは鉄筋呼び径
- ※2 開口補強筋に接着系アンカーを用いる場合の有効埋め込み長は10da以上とする



注記) 特記なき壁等の除去は下図による。

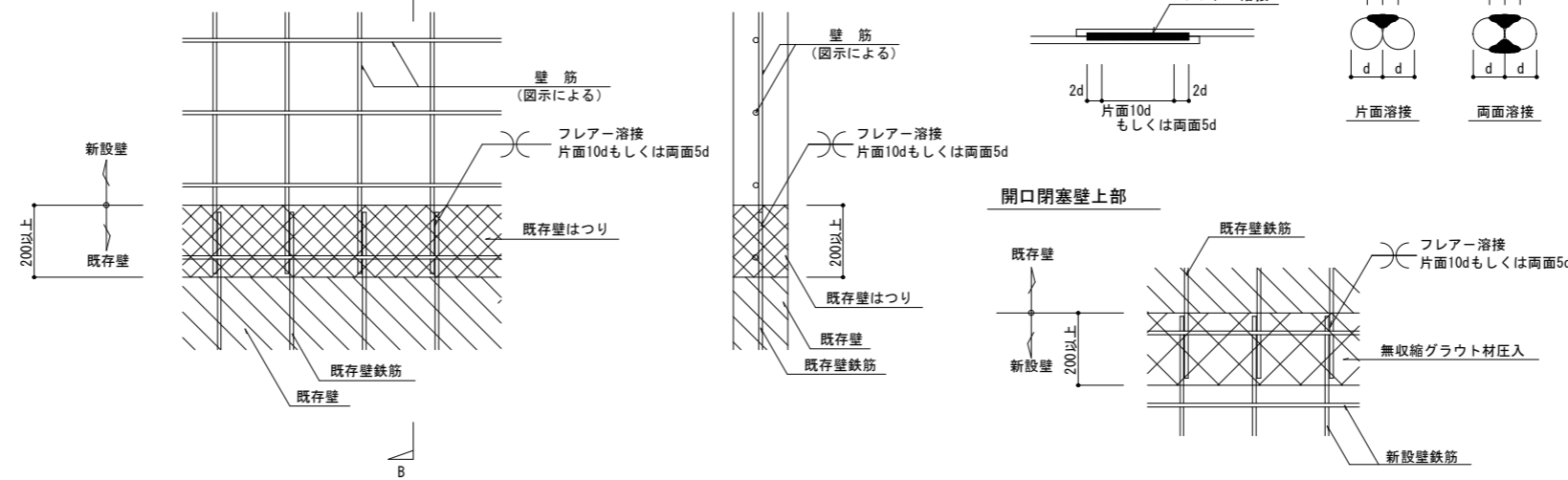
後施工アンカーの間隔 1/10

- ※ daは鉄筋呼び径



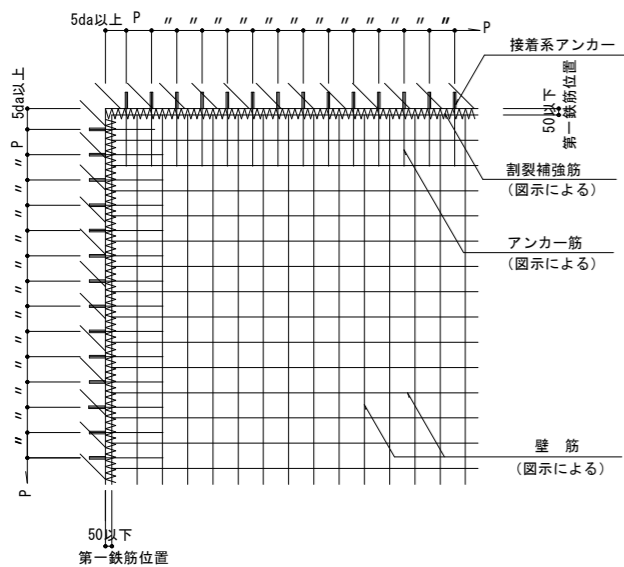
既存壁鉄筋利用時配筋要領図 1/10

- ※1 dは鉄筋呼び径を示す。
- ※2 開口閉塞時の壁頭は、新設壁上部同様に約20cmの範囲はグラウトモルタルを注入する。



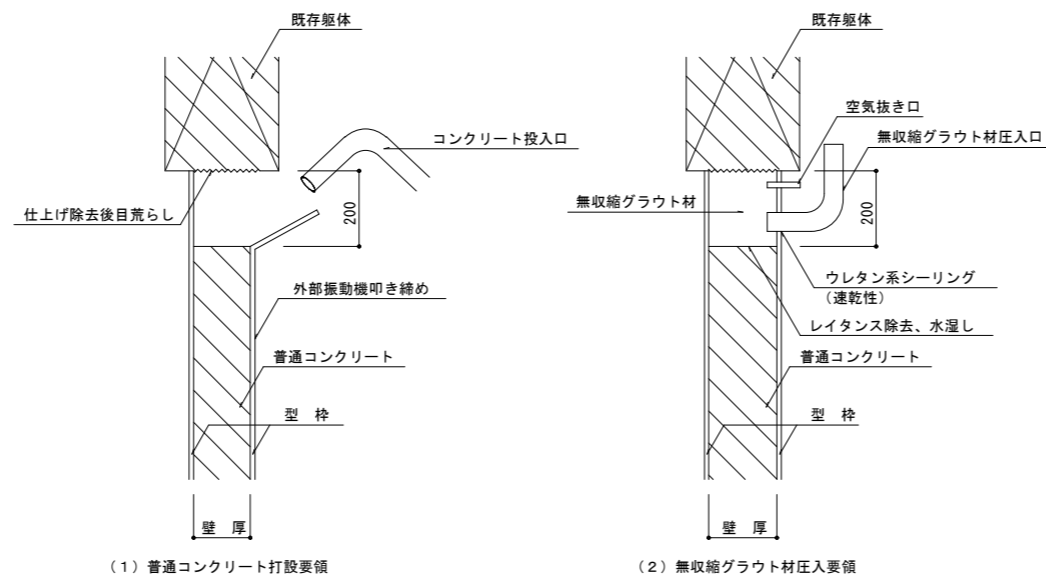
増設壁配筋要領図 1/30

- ※ Pは図示による。

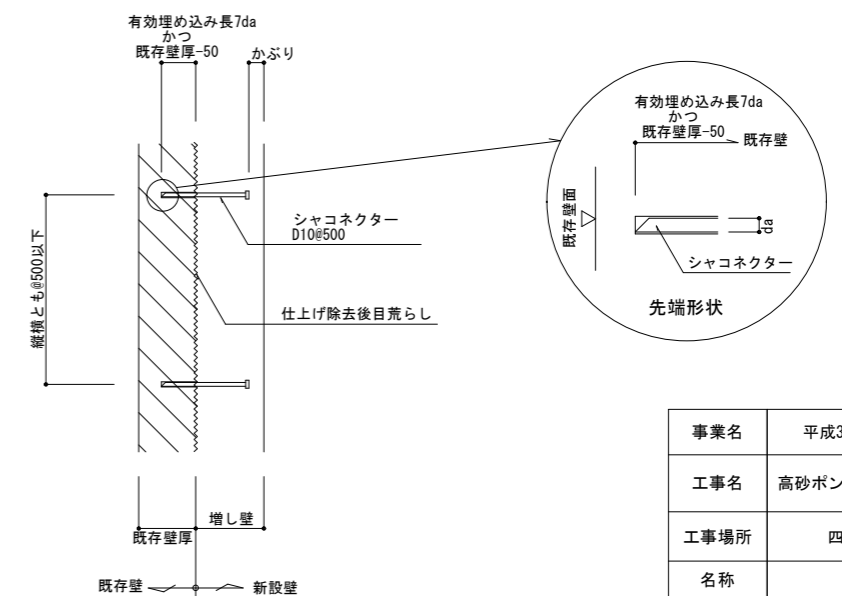


コンクリート及び無収縮グラウト材圧入要領図 1/10

- (1) 普通コンクリート打設後、(2) 無収縮グラウト材を圧入する。

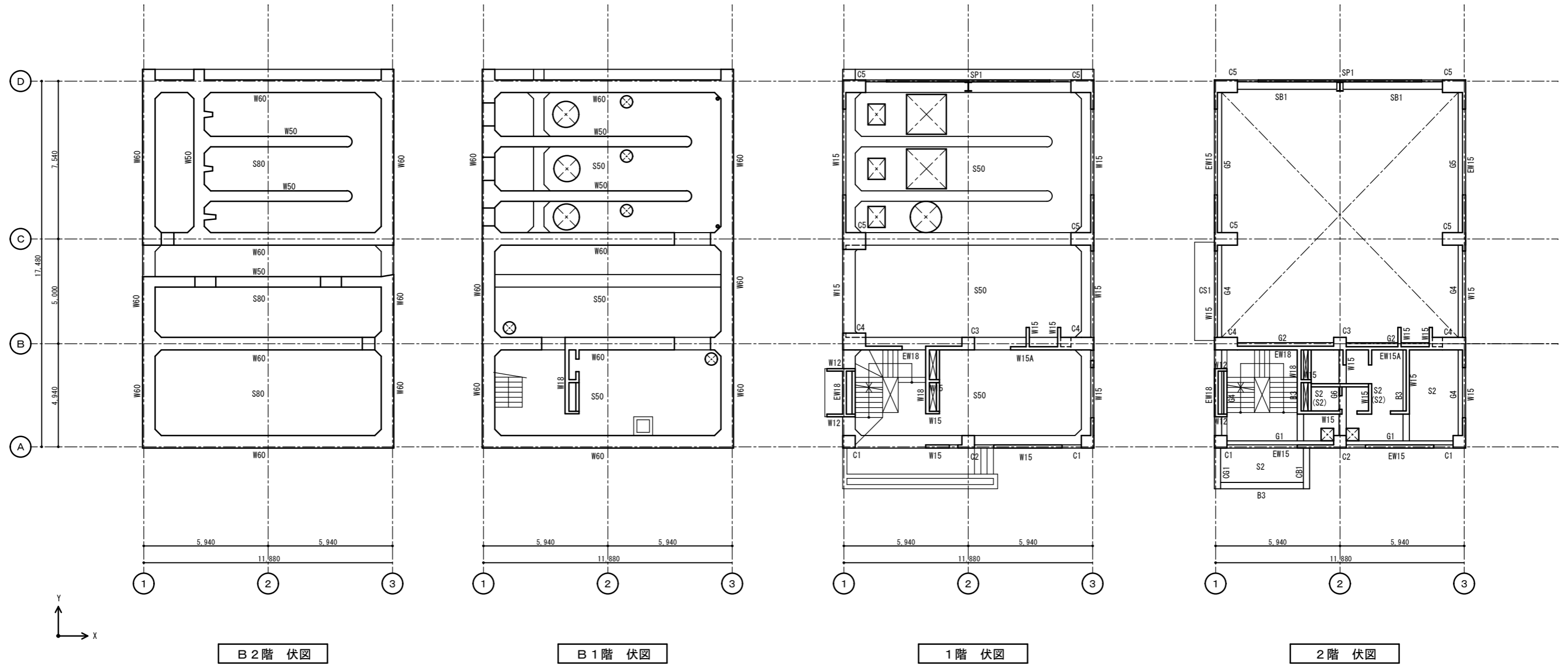


シャコネクター要領図 1/10



【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	特記仕様書(2)		
縮尺	NONE	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	S-2/87



B 2 階 伏 図

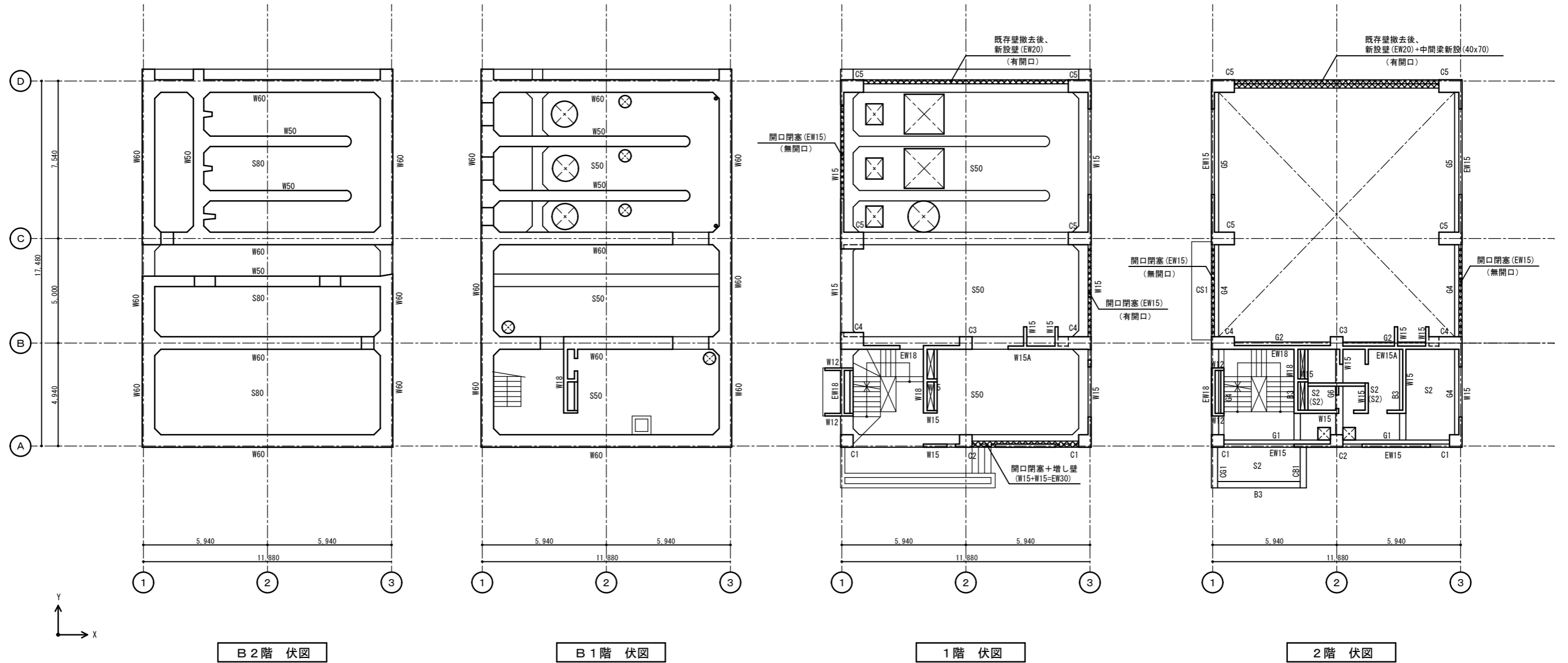
B 1 階 伏 図

1 階 伏 図

2 階 伏 図

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修前伏図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-3/87



B 2階 伏図

改修なし

B 1階 伏図

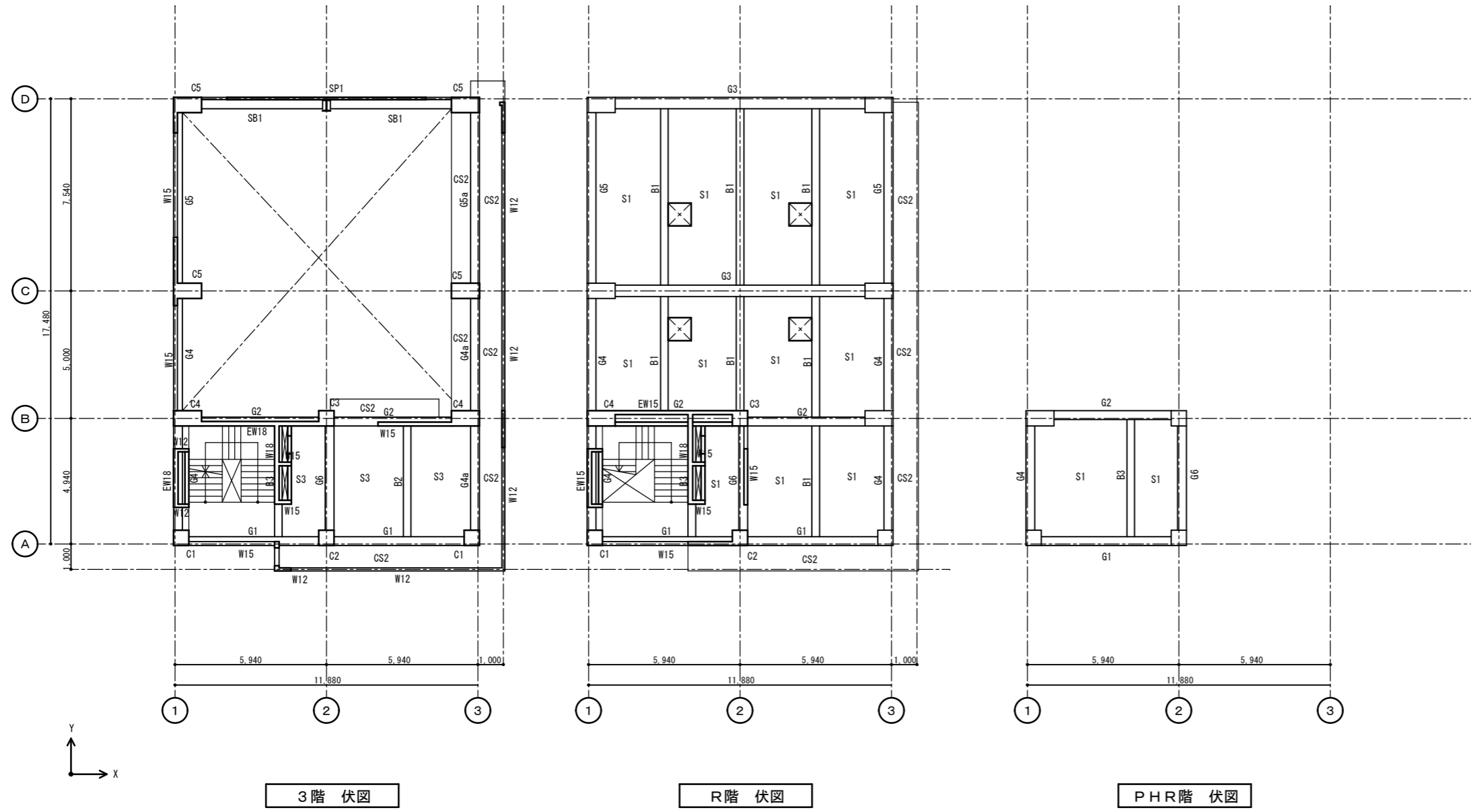
改修なし

1階 伏図

2階 伏図

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修後伏図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-4/87



3階 伏図

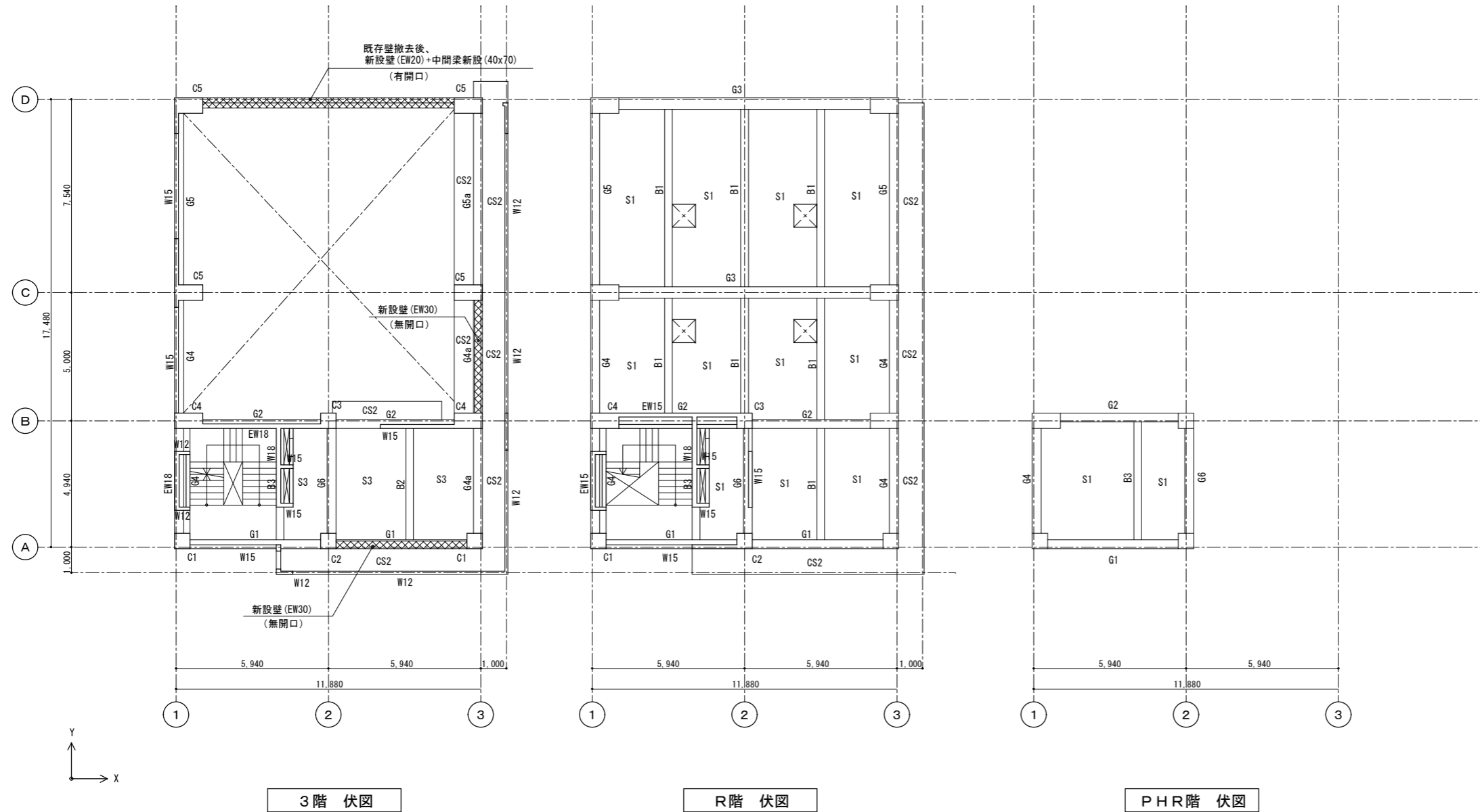
R階 伏図

PHR階 伏図

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修前伏図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-5/87

改 修 後



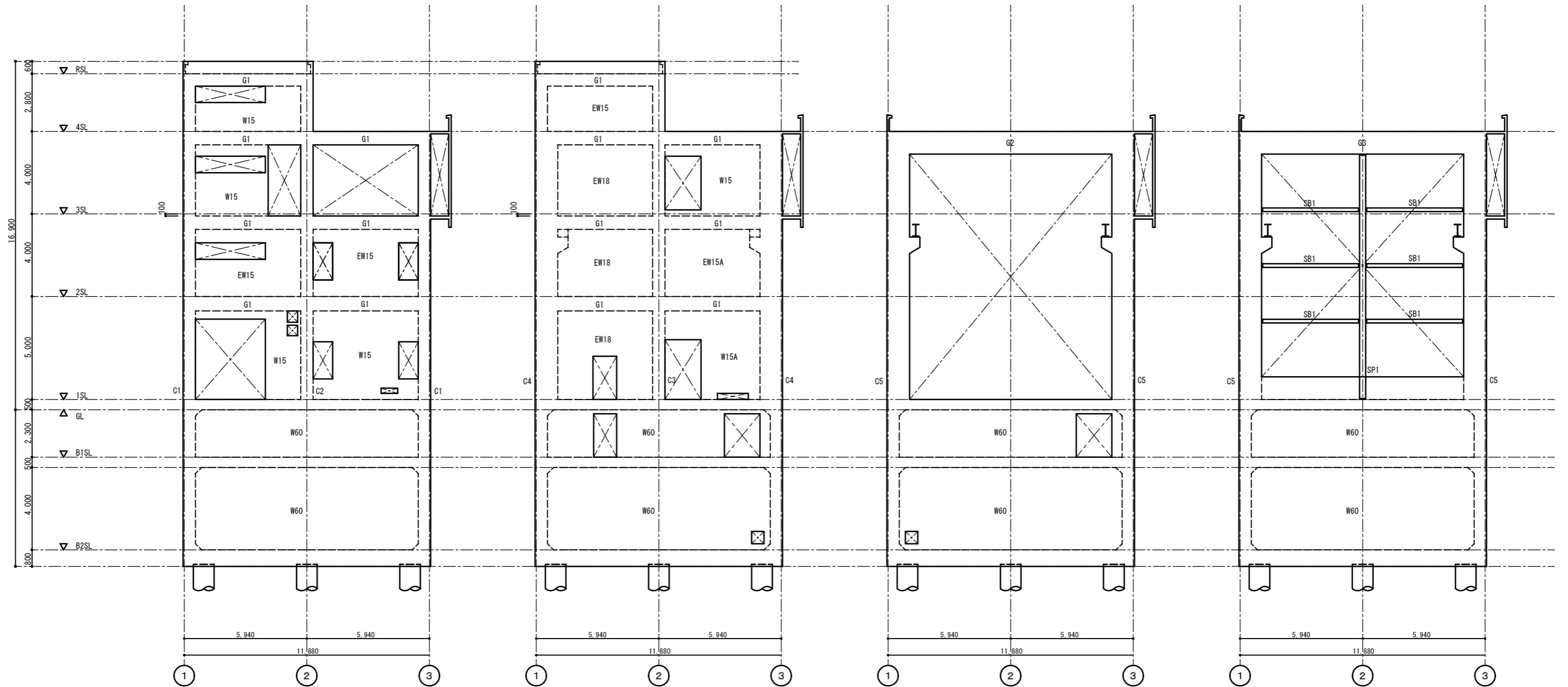
改修なし

改修なし

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修後伏図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-6/87

改 修 前



A通 軸組図

B通 軸組図

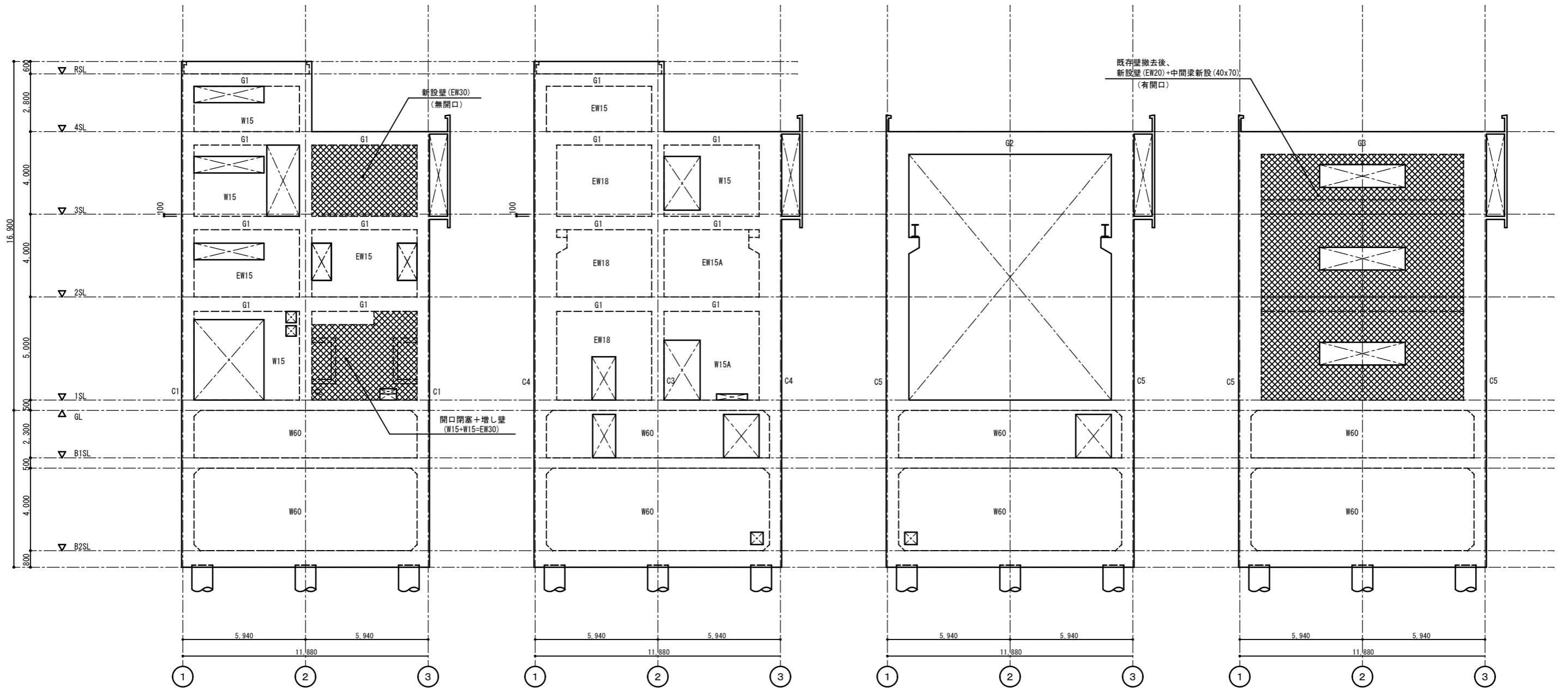
C通 軸組図

D通 軸組図

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修前軸組図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-7/87

改 修 後



A通 軸組図

B通 軸組図

改修なし

C通 軸組図

改修なし

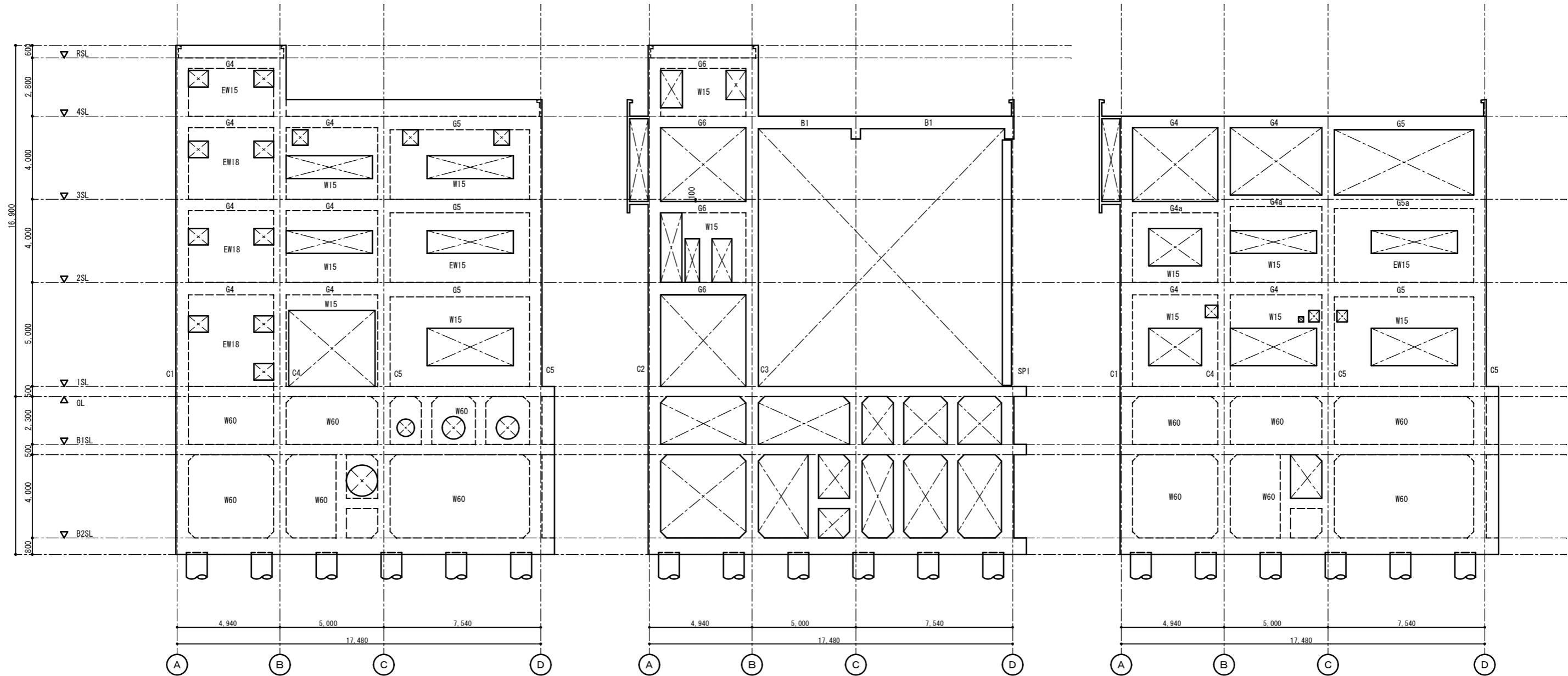
D通 軸組図

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修後軸組図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-8/87



改 修 前



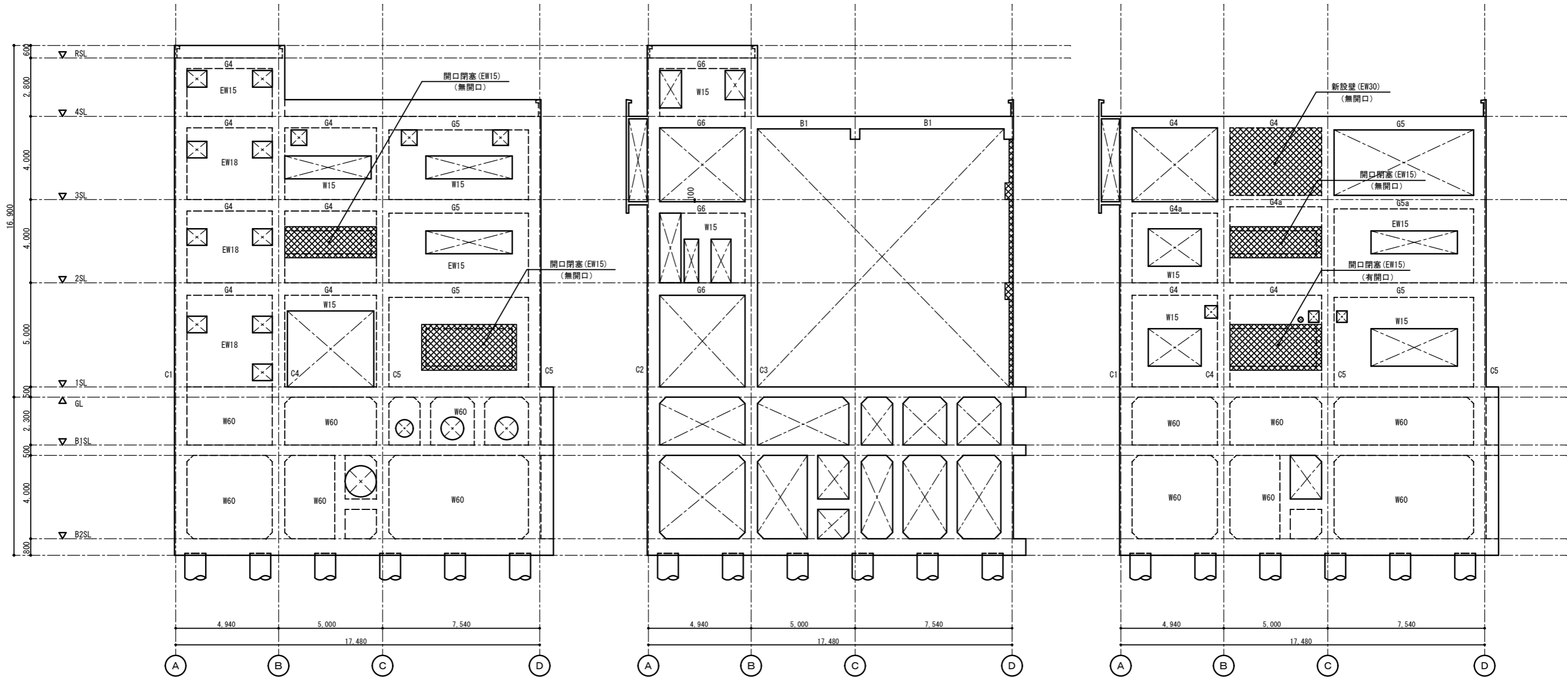
1通 軸組図

2通 軸組図

3通 軸組図

【雨水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修前軸組図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-9/87

改 修 後



1通 軸組図

2通 軸組図

3通 軸組図

改修なし

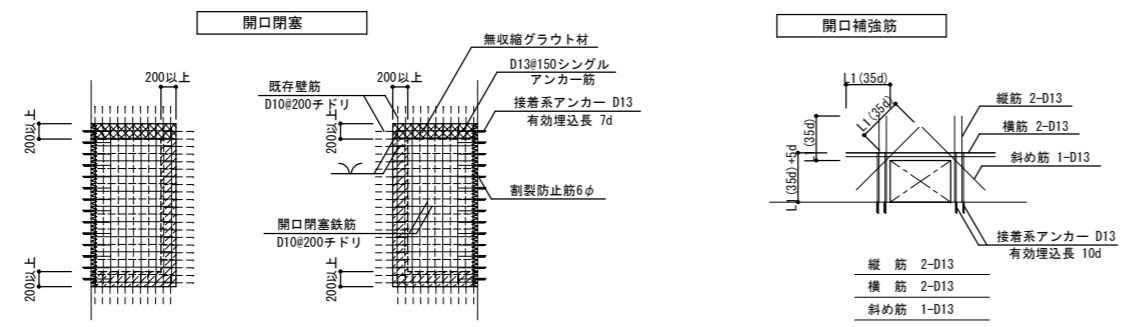
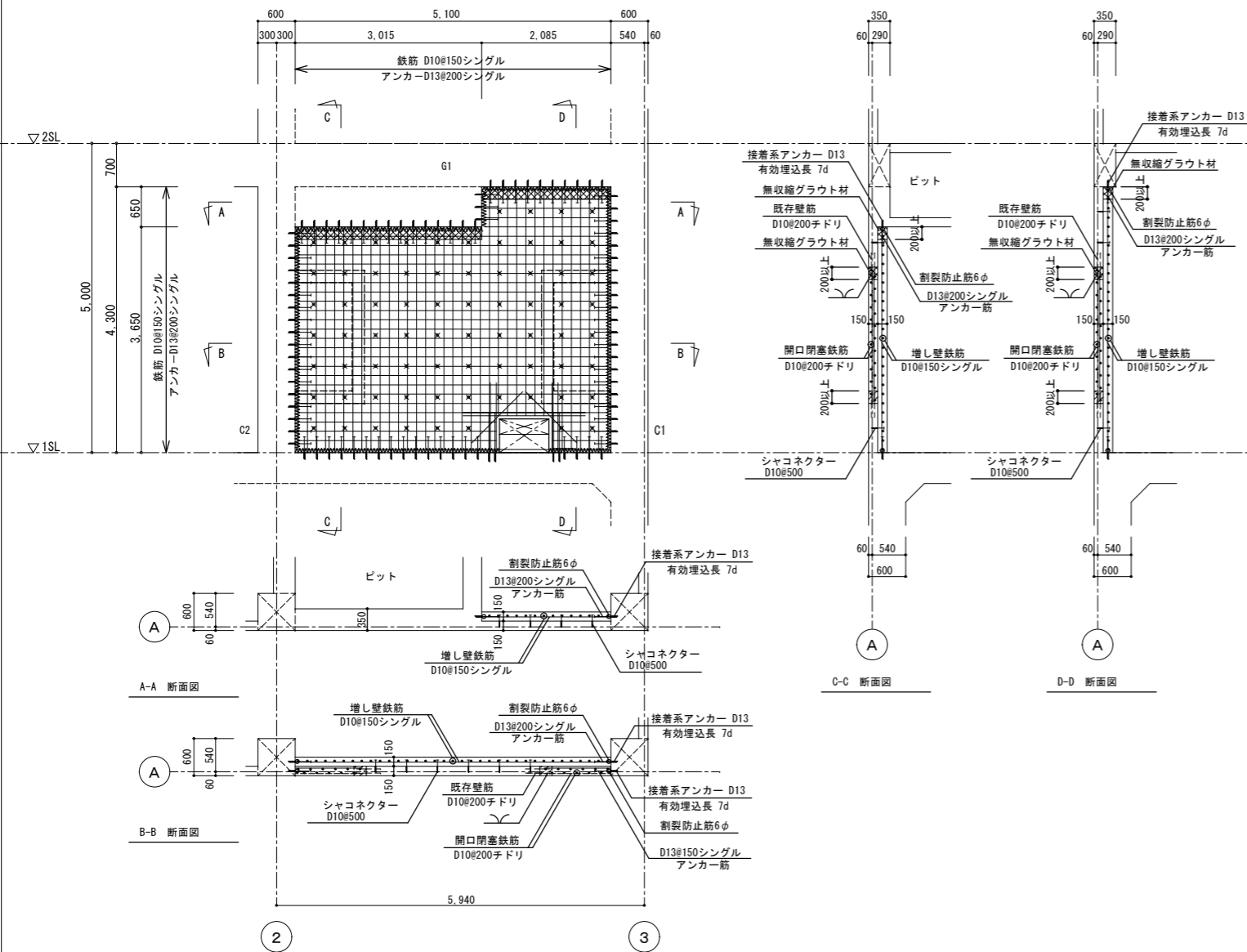
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修後軸組図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-10/87

1階 A通×2-3間 (開口閉塞+増し壁)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。  
 ・はつり範囲は、意匠図による。  
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。  
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

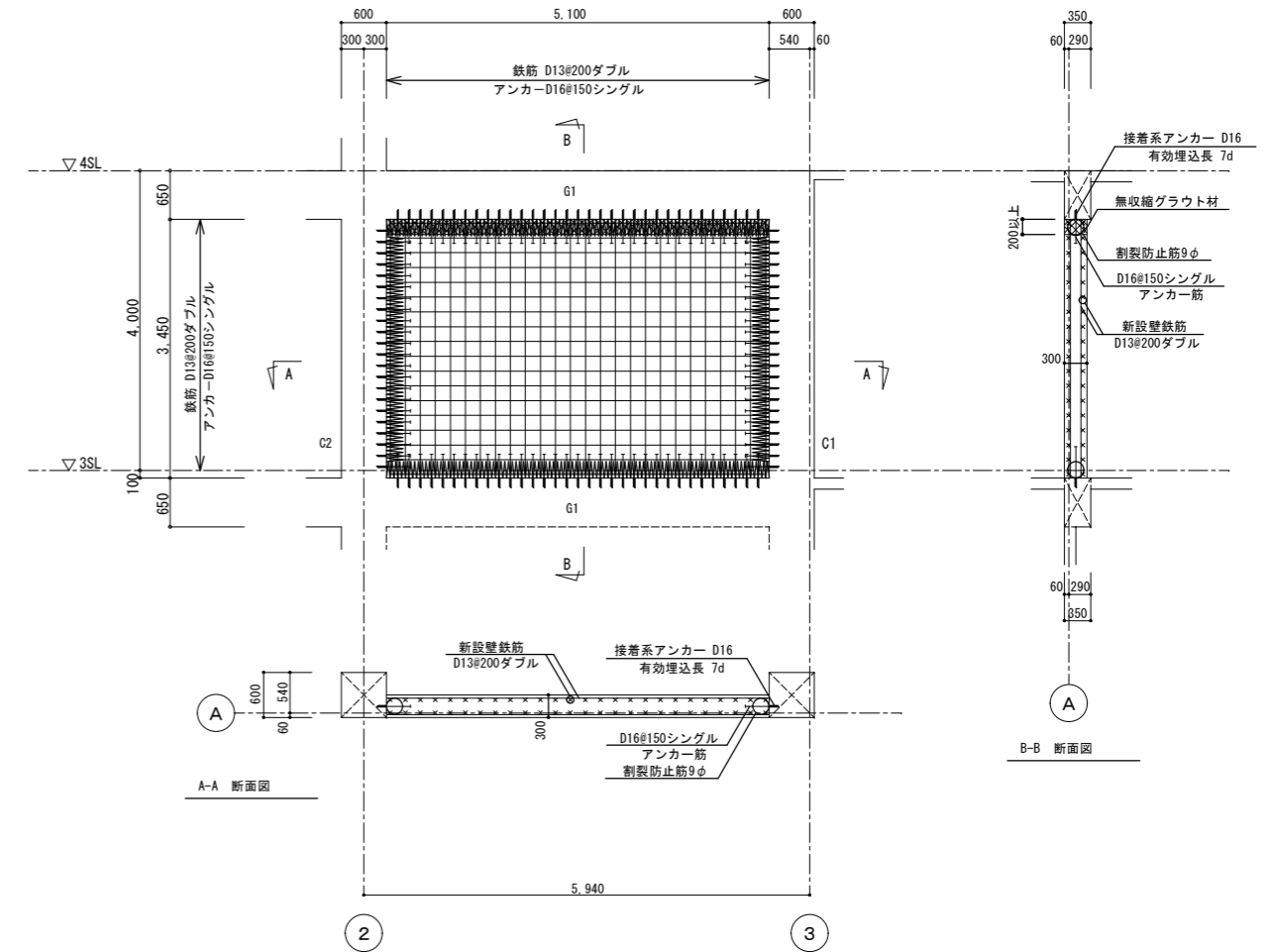
使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm <sup>2</sup> )
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm <sup>2</sup> )
鉄筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
シャコネクター	SD295A (D10)



3階 A通×2-3間 (新設壁)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。  
 ・はつり範囲は、意匠図による。  
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。

使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm <sup>2</sup> )
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm <sup>2</sup> )
鉄筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
シャコネクター	SD295A (D10)



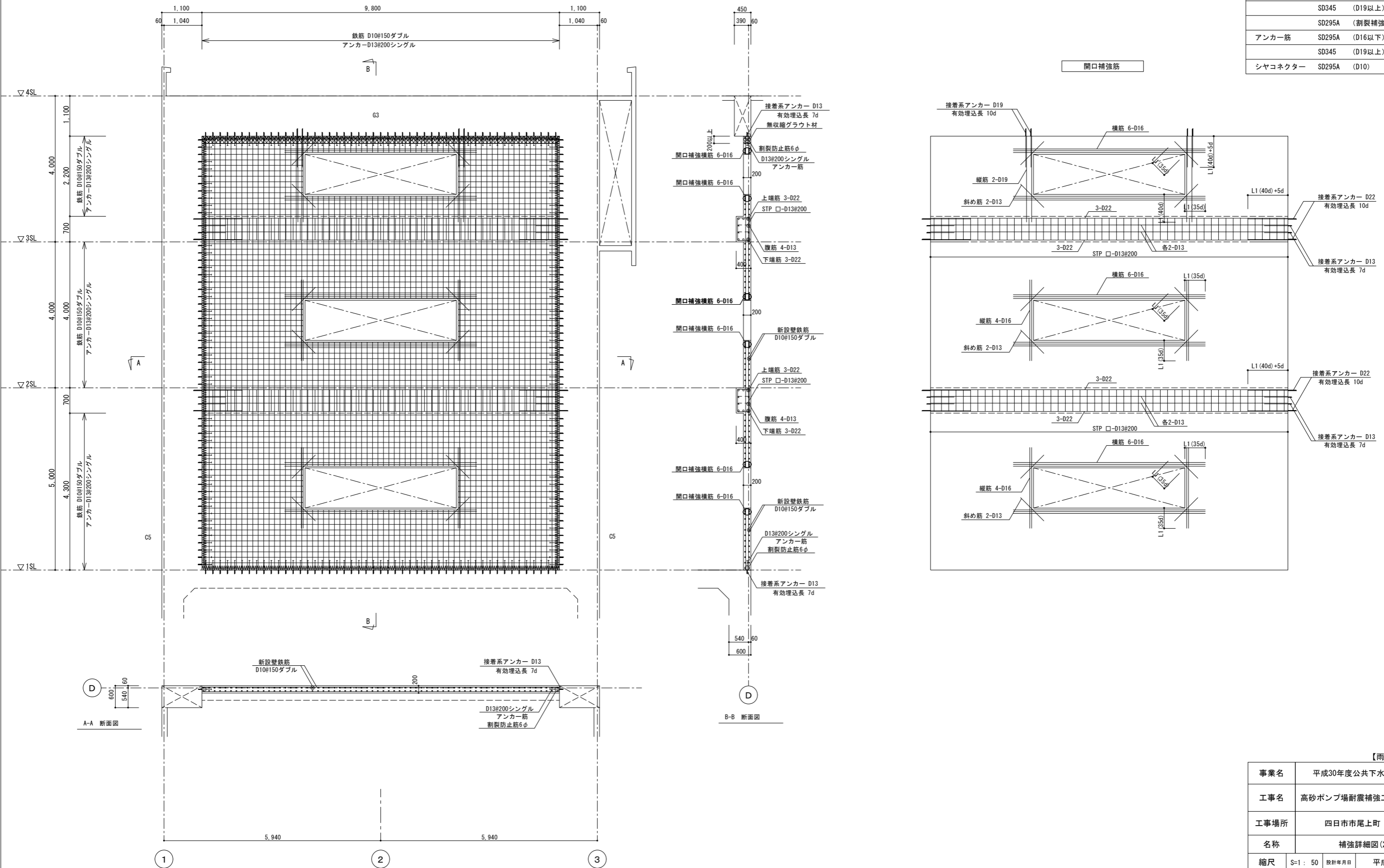
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強詳細図(1)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-11/87

1 ~ 3 階 D 通 × 1 - 3 間 (新設壁)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。  
 ・はつり範囲は、意匠図による。  
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。

使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm <sup>2</sup> )
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm <sup>2</sup> )
鉄筋	SD295A (D16以下)
	SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下)
	SD345 (D19以上)
シヤコネクター	SD295A (D10)



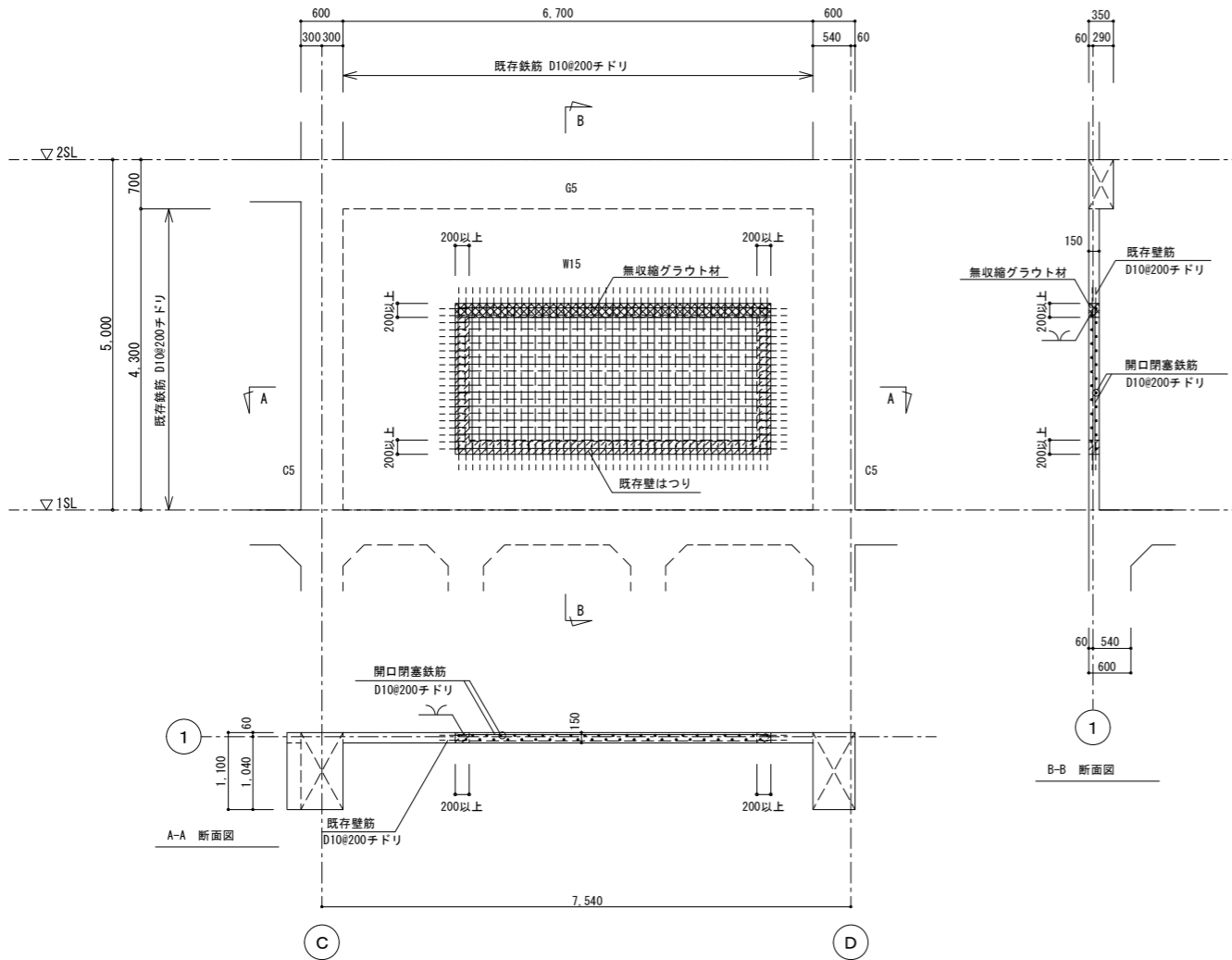
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強詳細図(2)		
縮尺	S=1 : 50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-12/87

1階 1通×C-D間（開口閉塞）

- 註）・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。  
 ・はつり範囲は、意匠図による。  
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。  
 ・フレア溶接長は、D10（片面100mmまたは両面50mm）とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

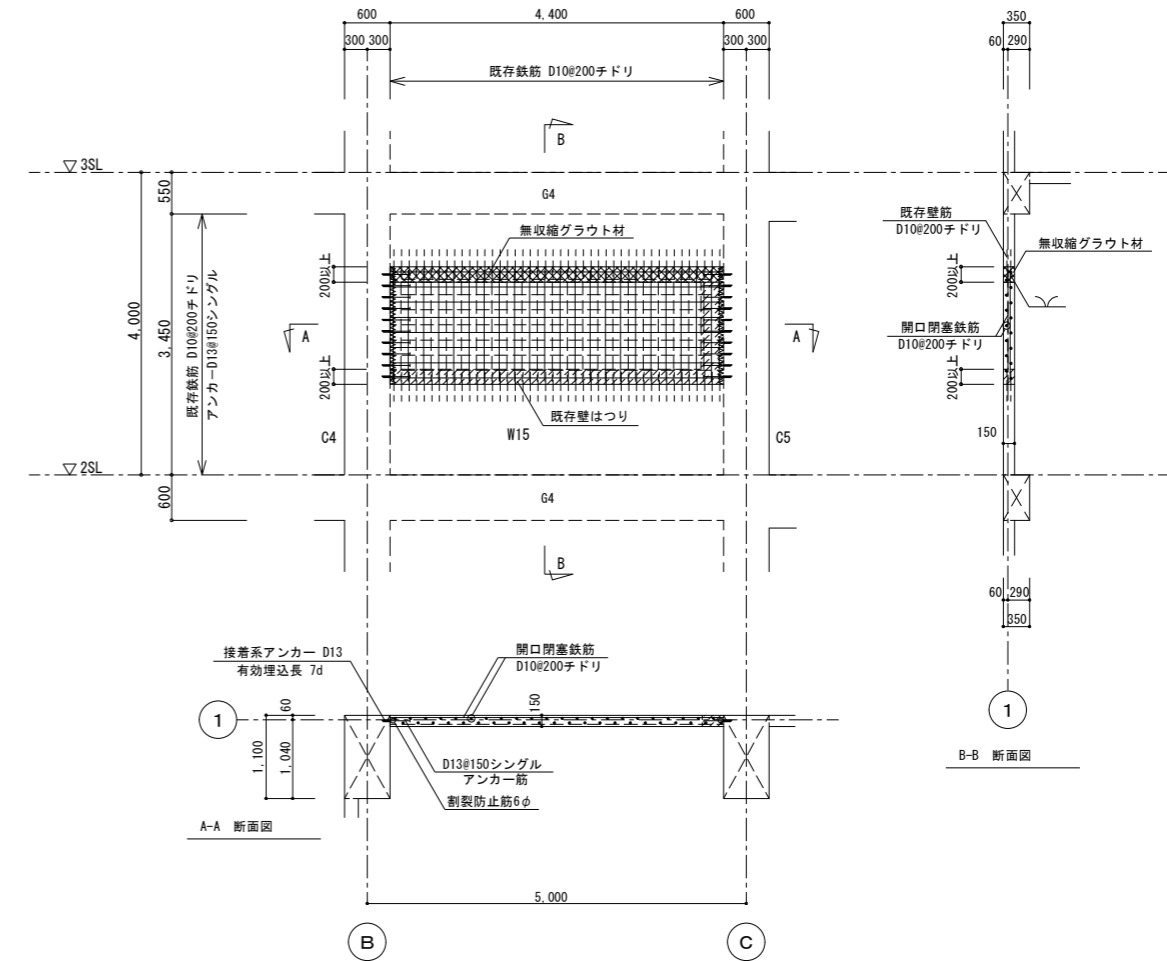
使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm <sup>2</sup> )
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm <sup>2</sup> )
鉄筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
シヤコネクター	SD295A (D10)



2階 1通×B-C間（開口閉塞）

- 註）・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。  
 ・はつり範囲は、意匠図による。  
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。  
 ・フレア溶接長は、D10（片面100mmまたは両面50mm）とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm <sup>2</sup> )
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm <sup>2</sup> )
鉄筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下) SD345 (D19以上)
シヤコネクター	SD295A (D10)



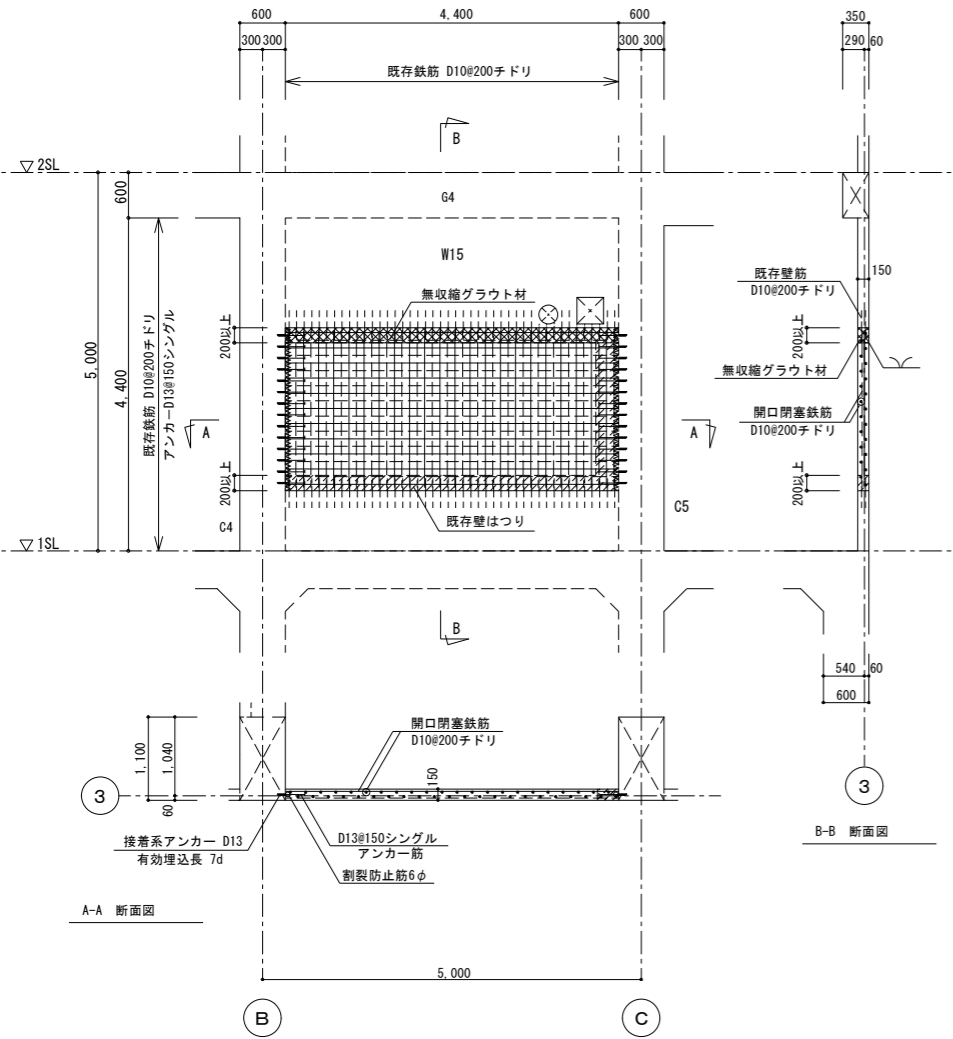
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強詳細図(3)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-13/87

1階 3通×B-C間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。  
 ・はつり範囲は、意匠図による。  
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。  
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ピード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

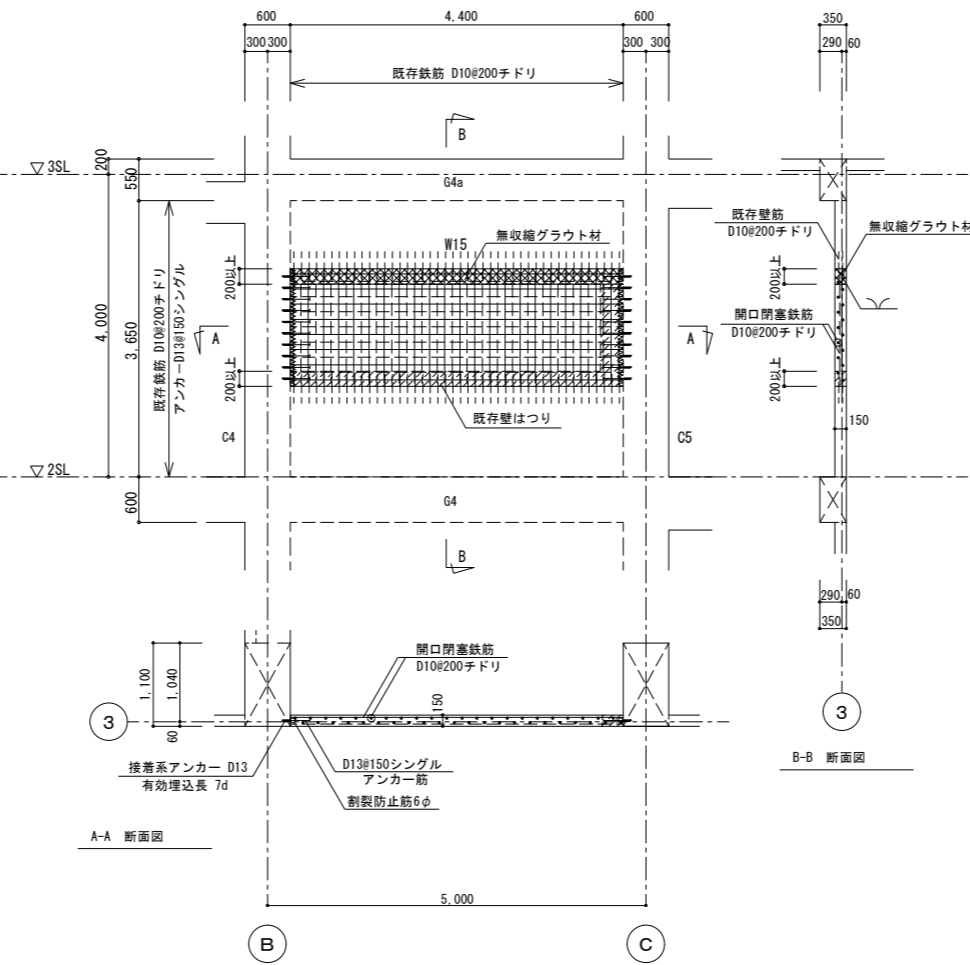
使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm <sup>2</sup> )
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm <sup>2</sup> )
鉄筋	SD295A (D16以下)
	SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下)
	SD345 (D19以上)
シヤコネクター	SD295A (D10)



2階 3通×B-C間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。  
 ・はつり範囲は、意匠図による。  
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。  
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ピード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

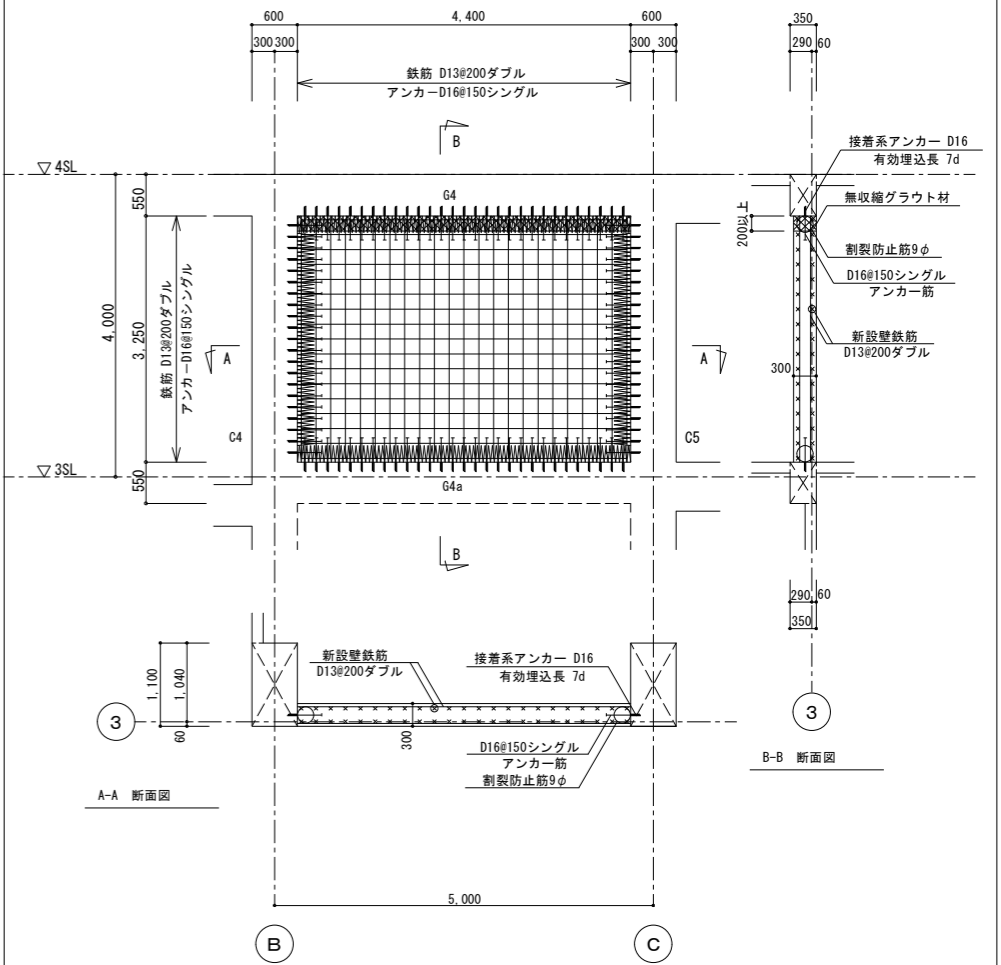
使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm <sup>2</sup> )
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm <sup>2</sup> )
鉄筋	SD295A (D16以下)
	SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下)
	SD345 (D19以上)
シヤコネクター	SD295A (D10)



3階 3通×B-C間 (新設壁)

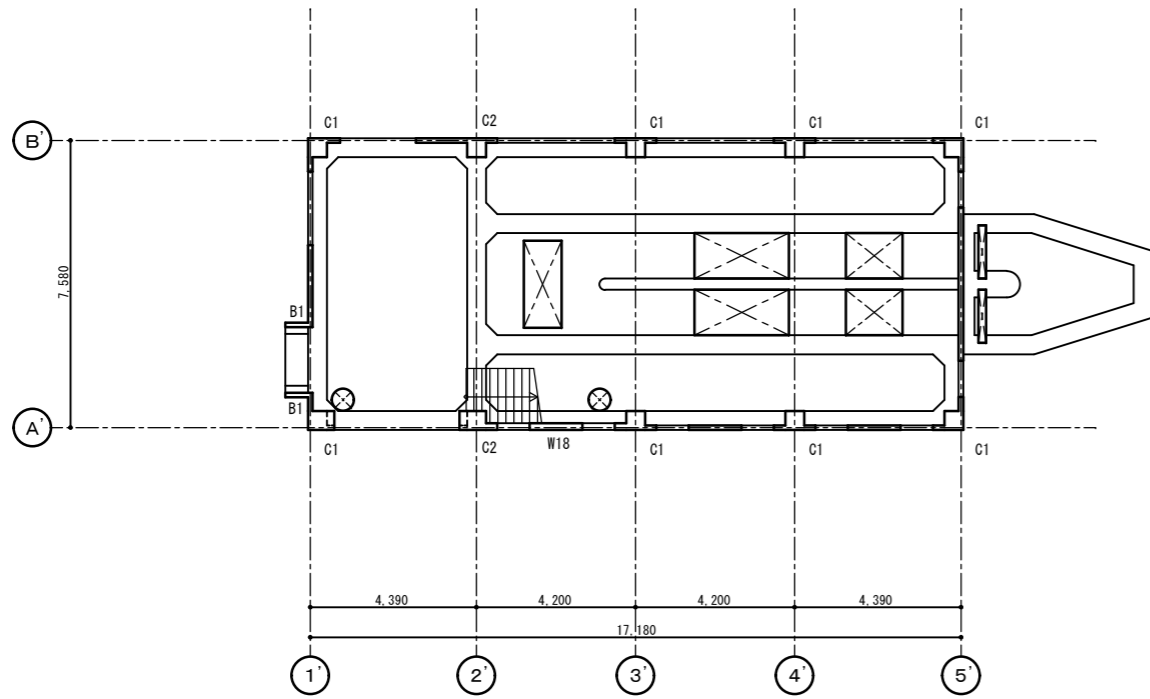
- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。  
 ・はつり範囲は、意匠図による。  
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督職員と協議の上、行う。

使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm <sup>2</sup> )
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm <sup>2</sup> )
鉄筋	SD295A (D16以下)
	SD345 (D19以上)
	SD295A (割裂補強筋)
アンカー筋	SD295A (D16以下)
	SD345 (D19以上)
シヤコネクター	SD295A (D10)

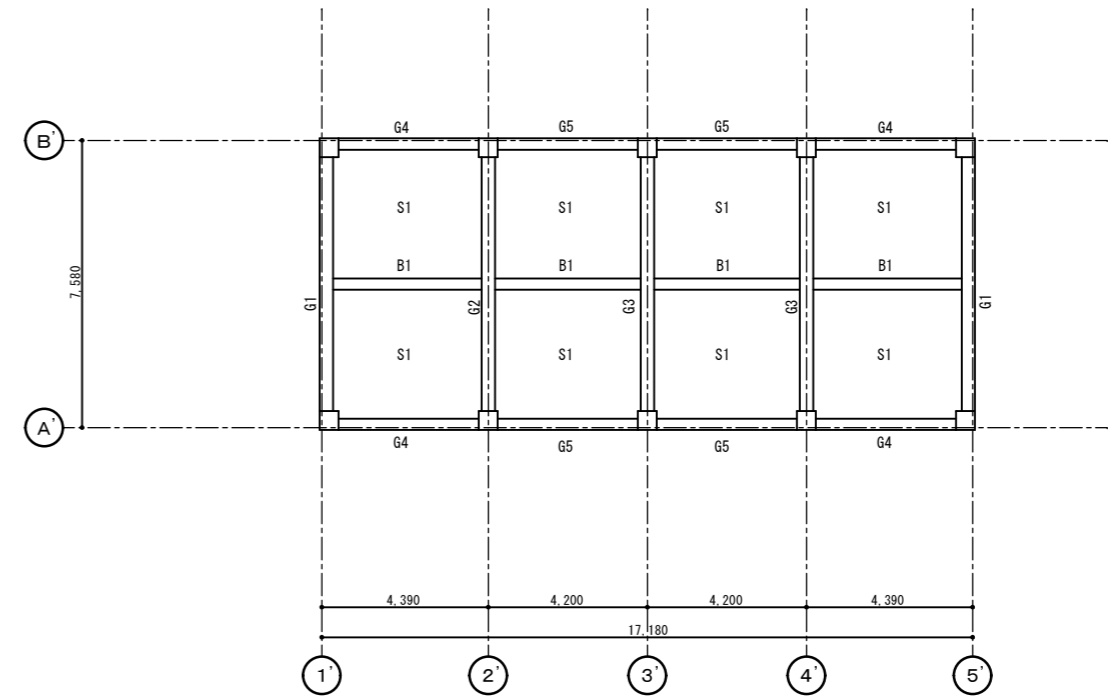


【雨水ポンプ棟】

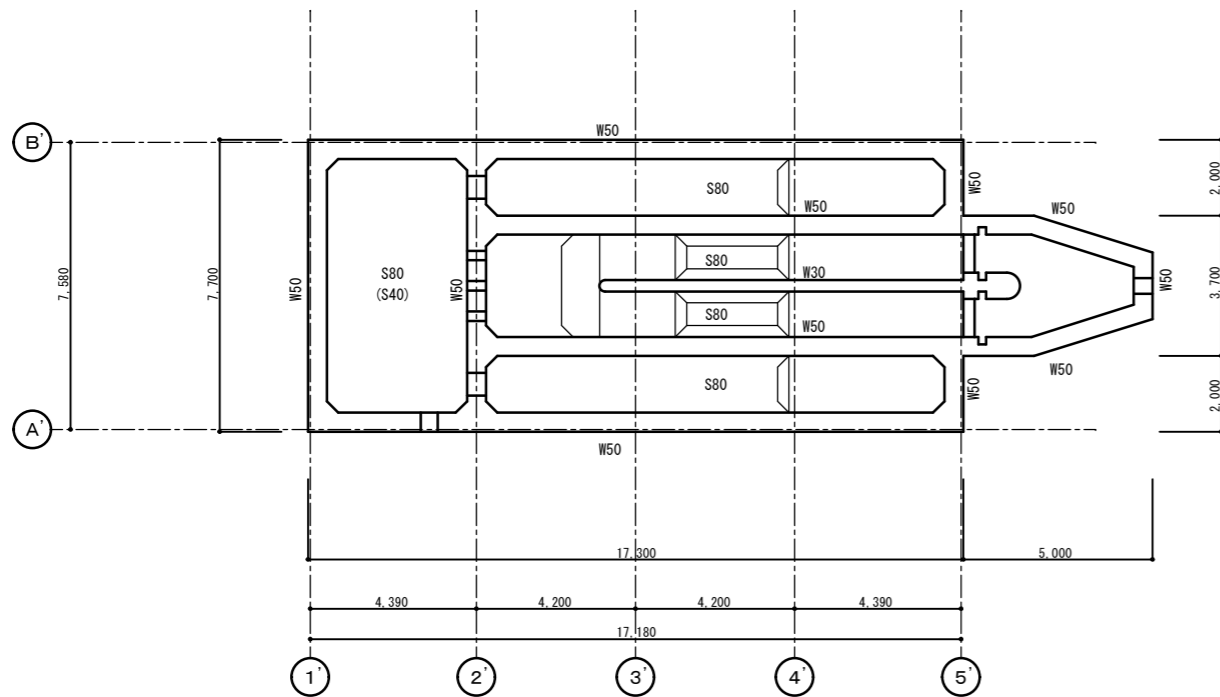
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強詳細図(4)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-14/87



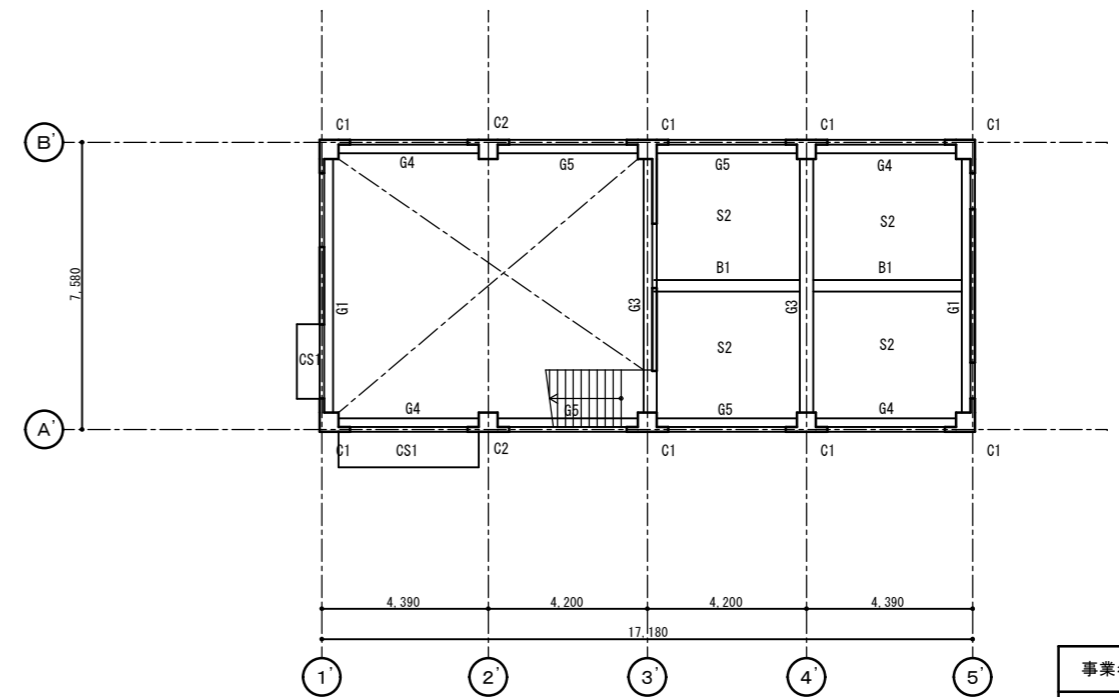
1階 伏図  
特記なき限り、壁はW12



R階 伏図



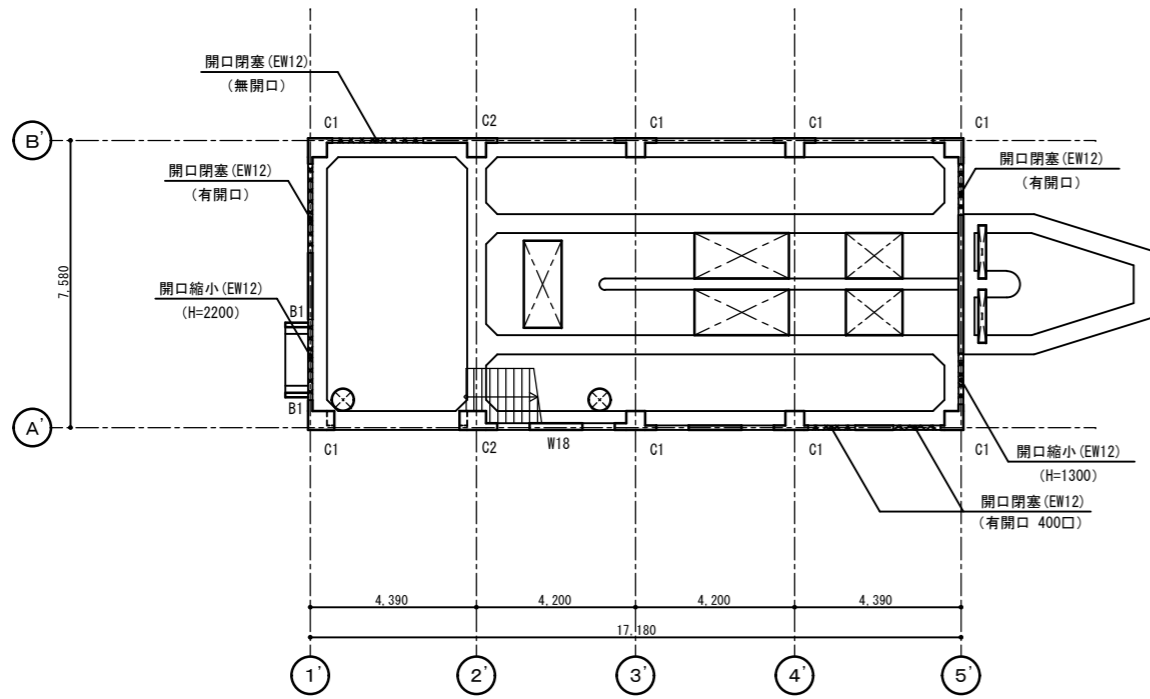
B1階 伏図



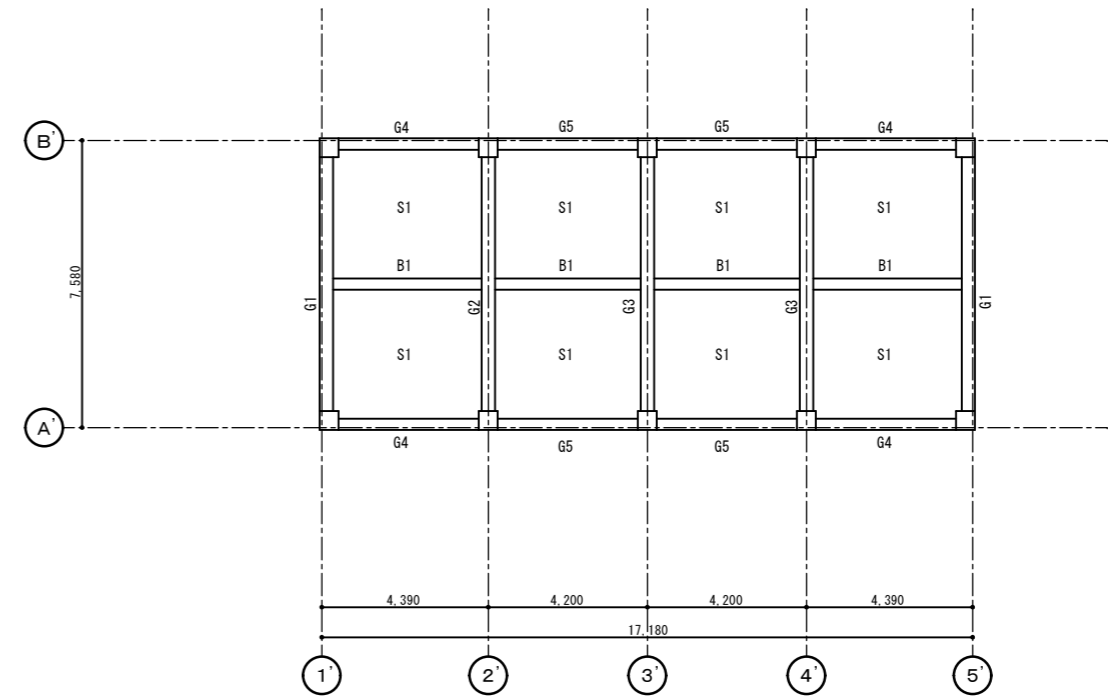
2階 伏図  
特記なき限り、壁はW12



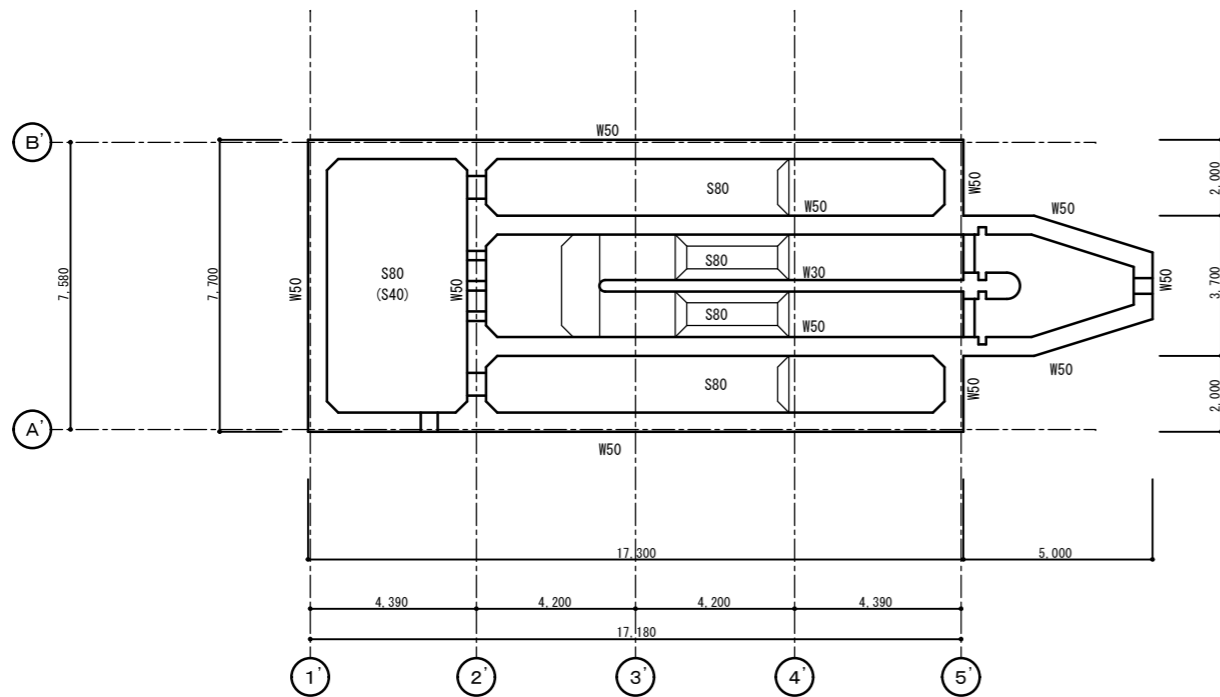
【汚水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修前伏図		
縮尺	S=1 : 100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-15/87



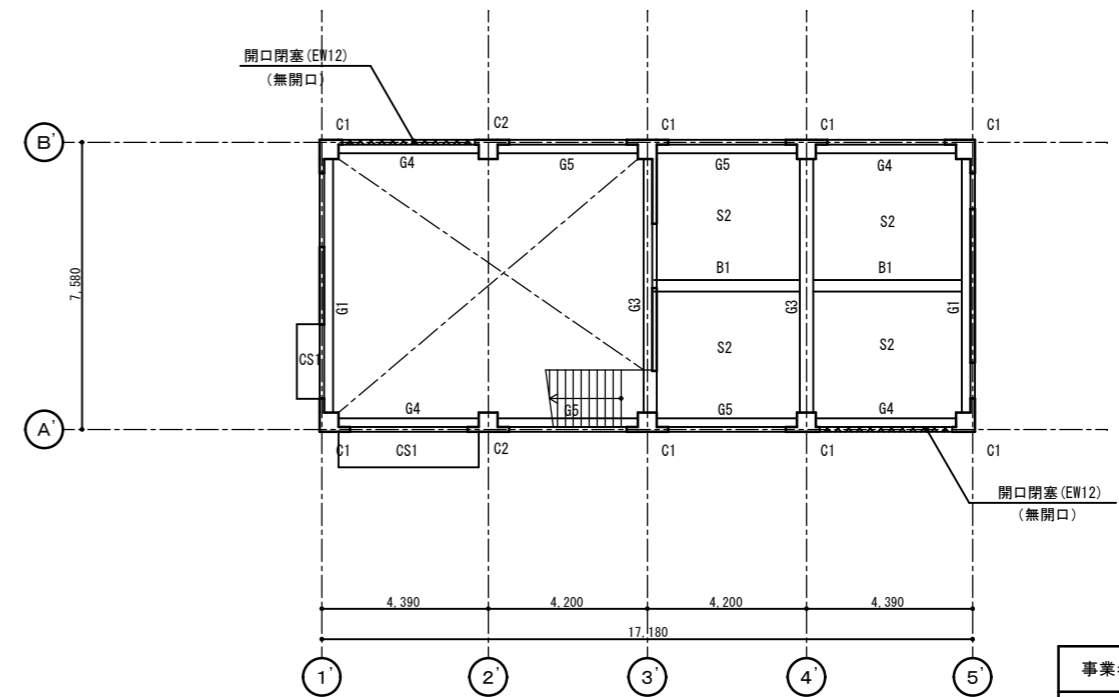
1階 伏図  
特記なき限り、壁はW12



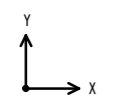
R階 伏図  
改修なし



B1階 伏図  
改修なし

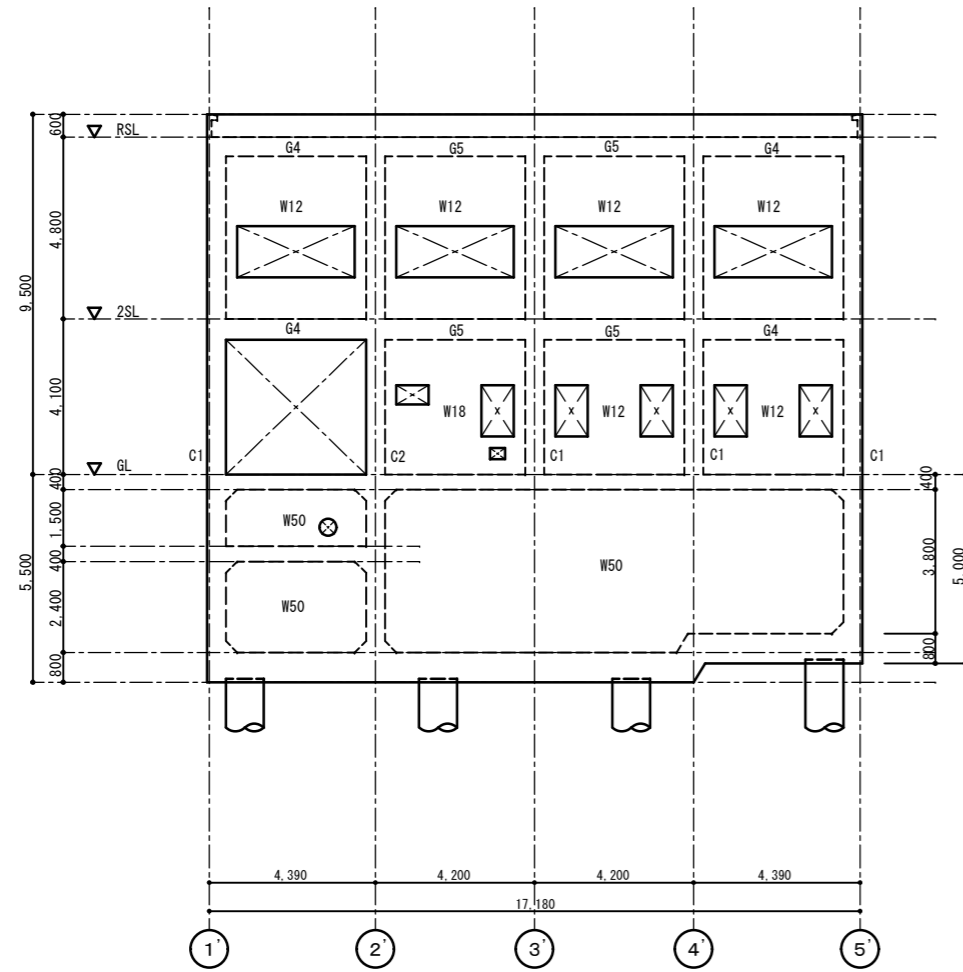


2階 伏図  
特記なき限り、壁はW12

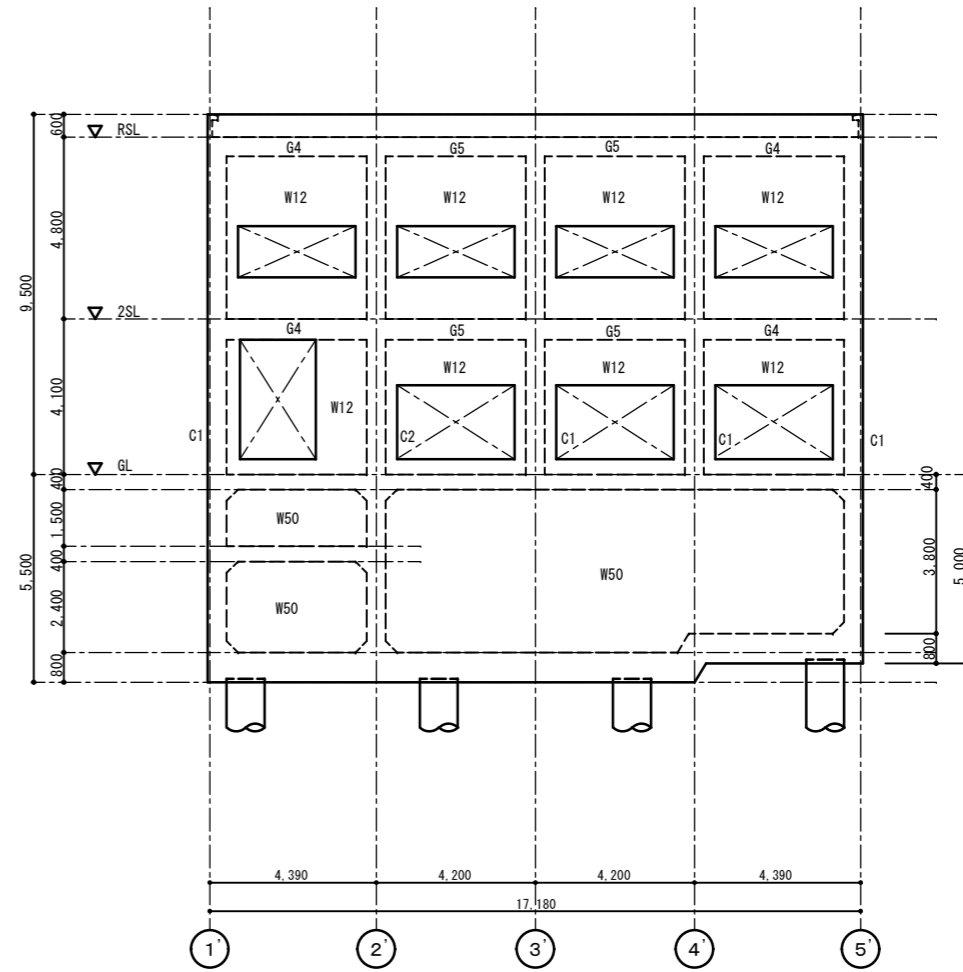


【汚水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修後伏図		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-16/87





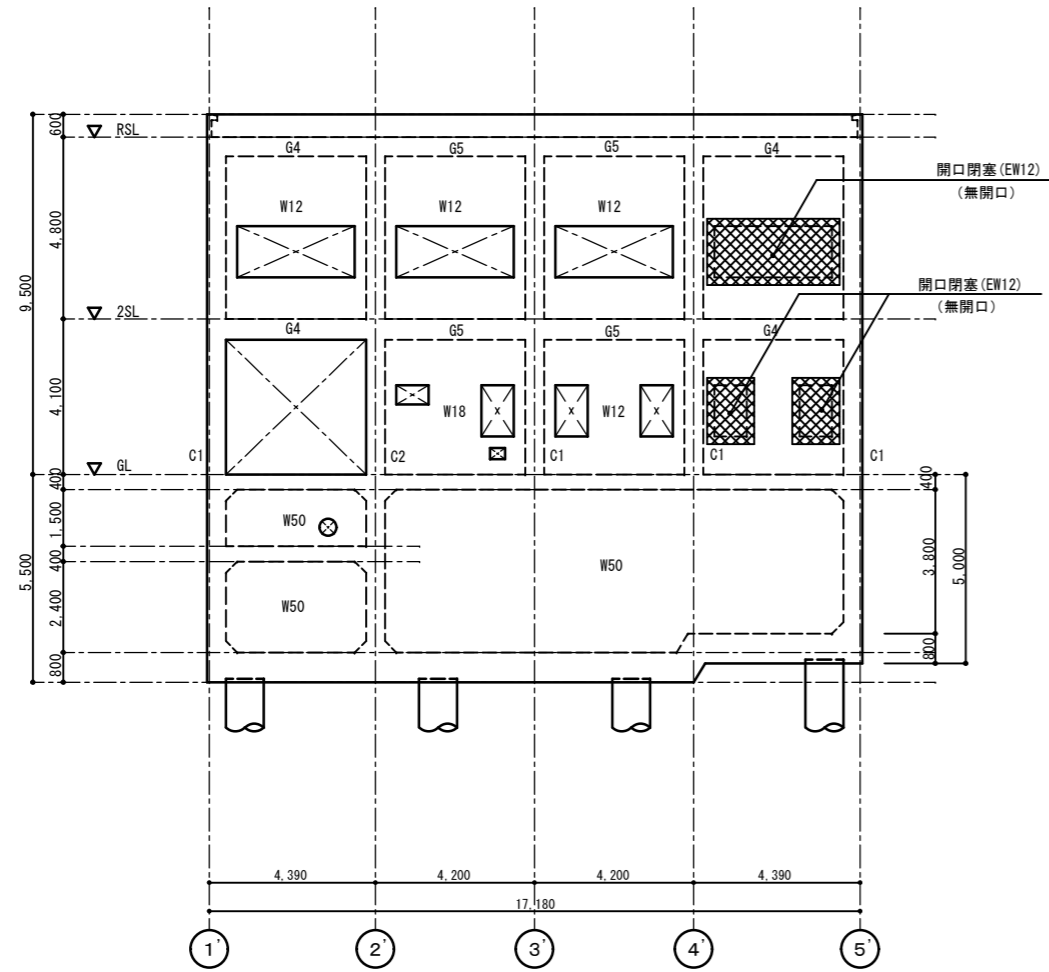
A'通 軸組図



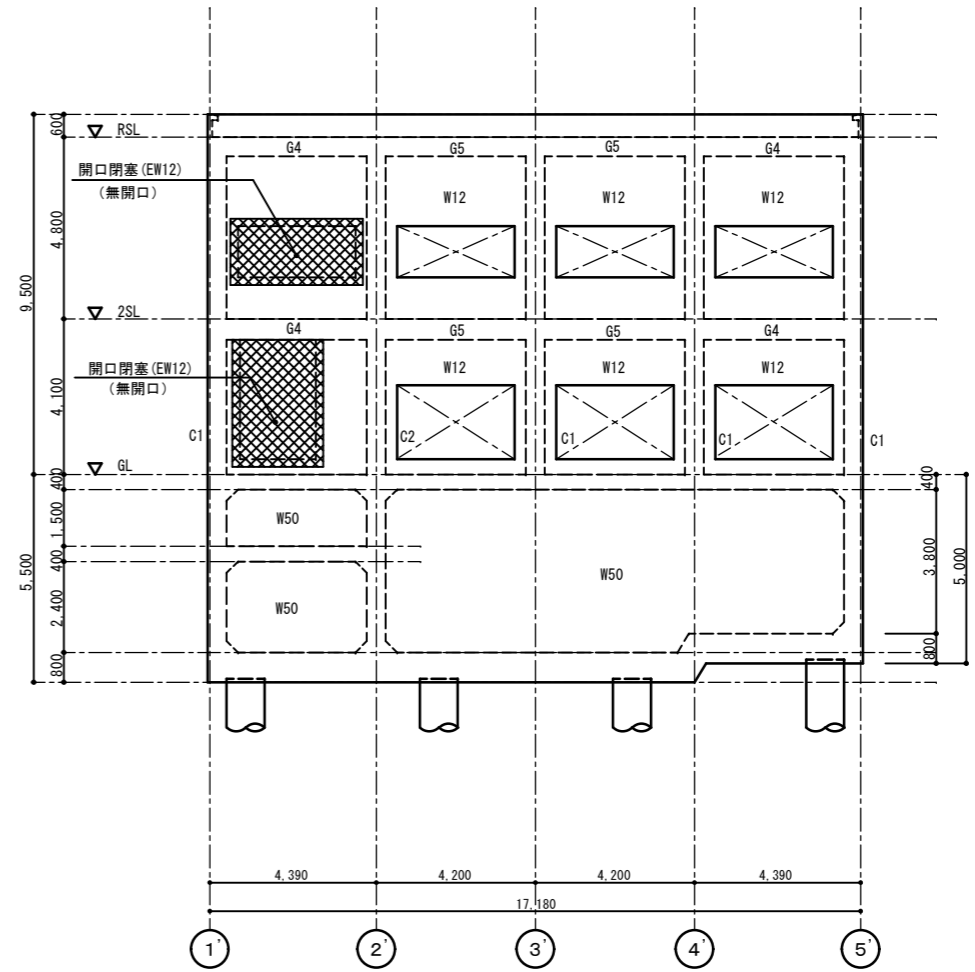
B'通 軸組図

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修前軸組図(1)		
縮尺	S=1 : 100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-17/87



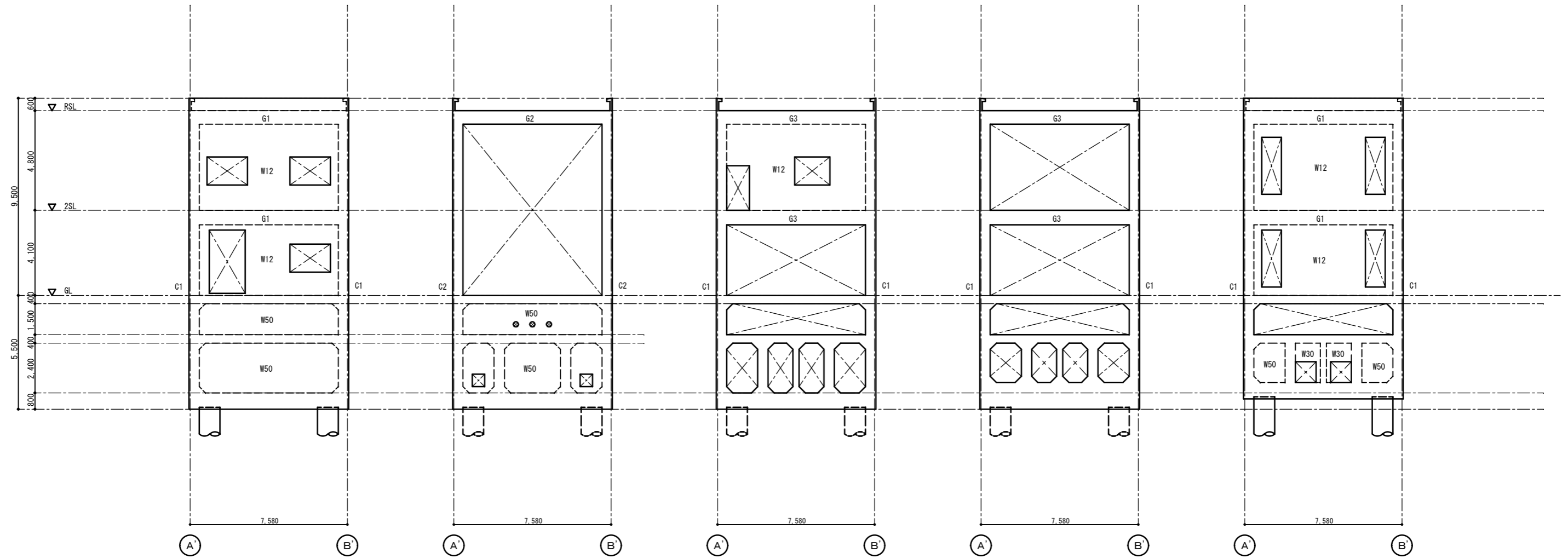
A'通 軸組図



B'通 軸組図

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修後軸組図(1)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-18/87



1'通 軸組図

2'通 軸組図

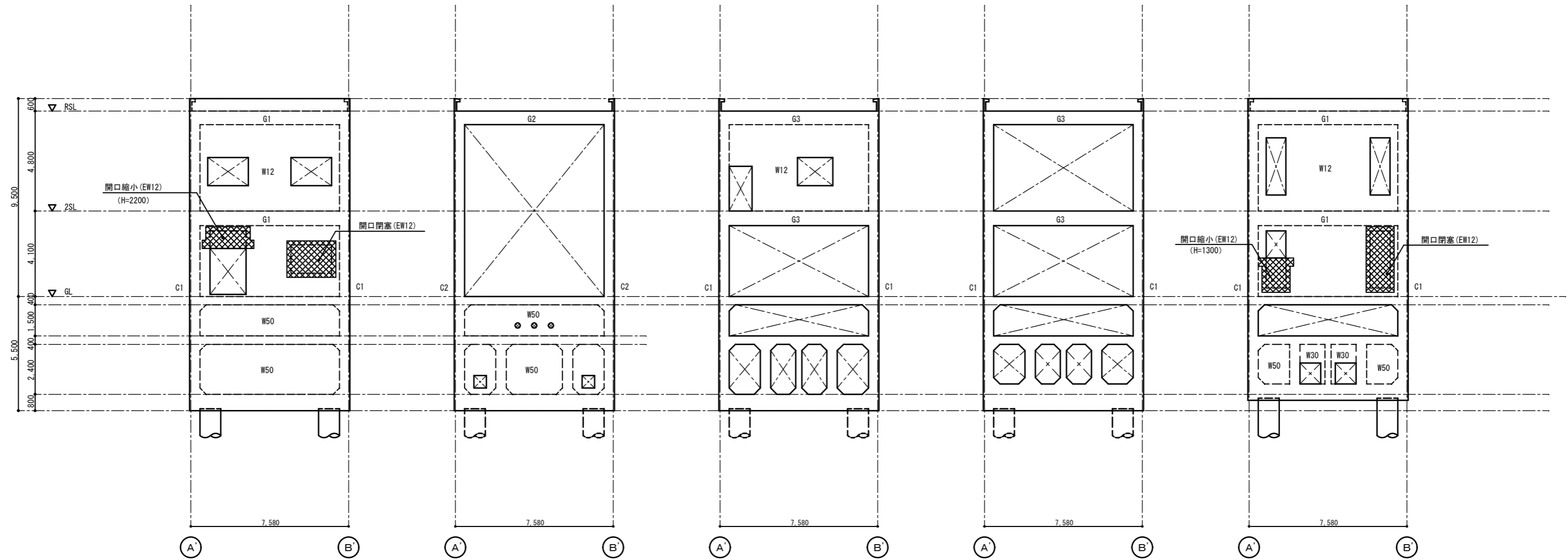
3'通 軸組図

4'通 軸組図

5'通 軸組図

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修前軸組図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-19/87



1'通 軸組図

2'通 軸組図

改修なし

3'通 軸組図

改修なし

4'通 軸組図

改修なし

5'通 軸組図

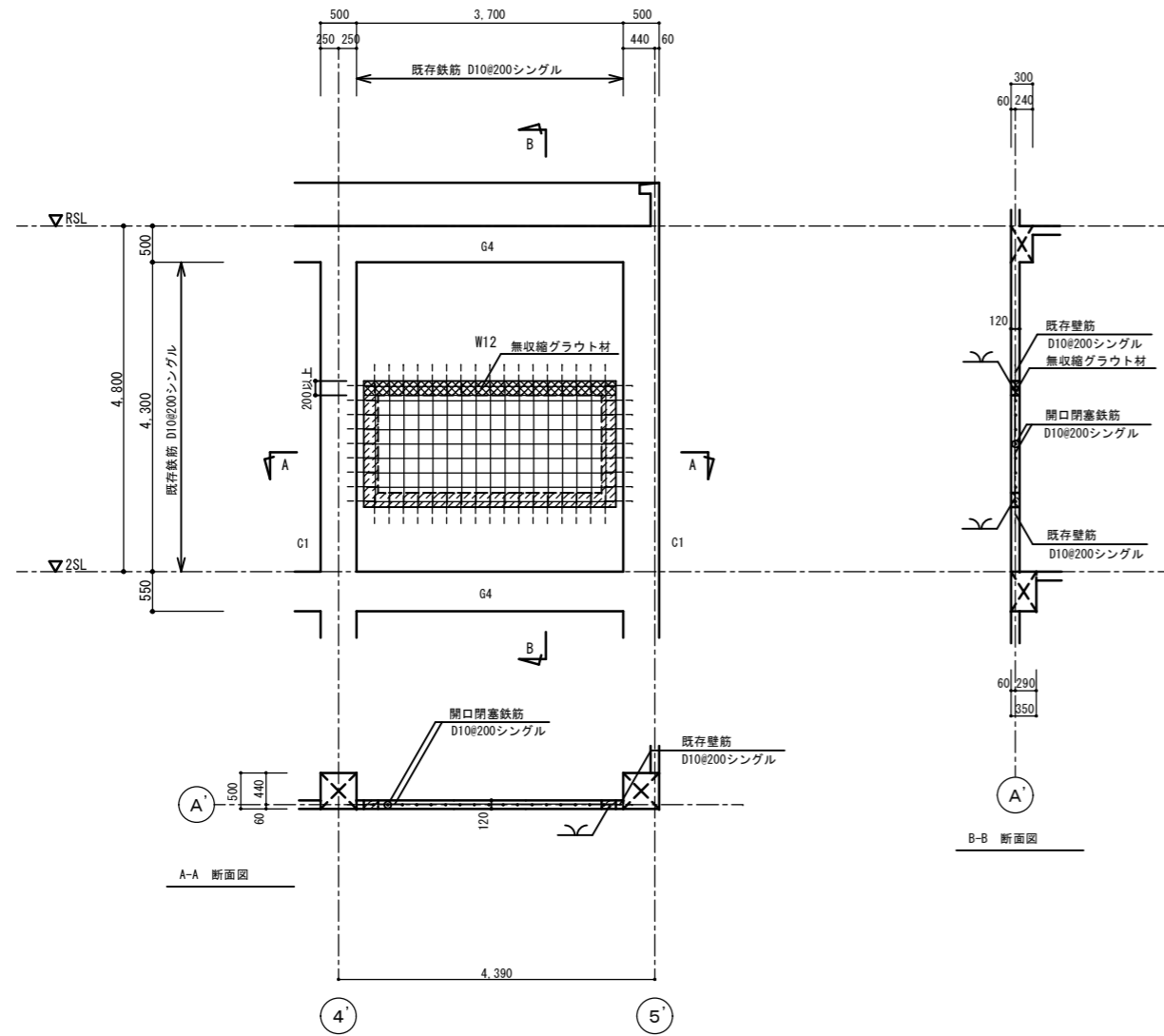
【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強案内図 改修後軸組図(2)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-20/87

2階 A'通 × 4' - 5'間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。  
 ・はつり範囲は、意匠図による。  
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督員と協議の上、行う。  
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

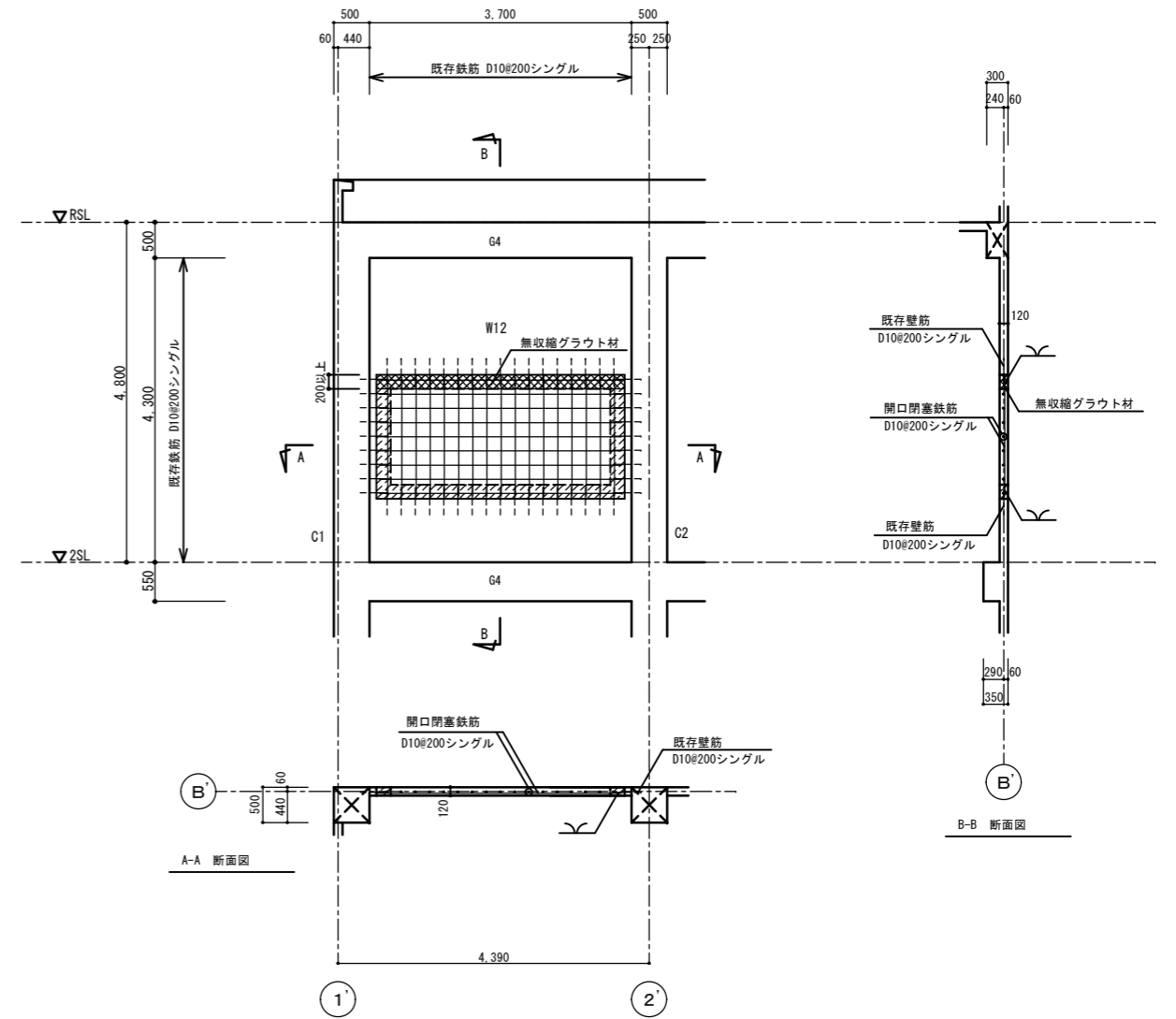
使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm <sup>2</sup> )
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm <sup>2</sup> )
鉄筋	SD295A (D16以下)



2階 B'通 × 1' - 2'間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。  
 ・はつり範囲は、意匠図による。  
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督員と協議の上、行う。  
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm <sup>2</sup> )
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm <sup>2</sup> )
鉄筋	SD295A (D16以下)



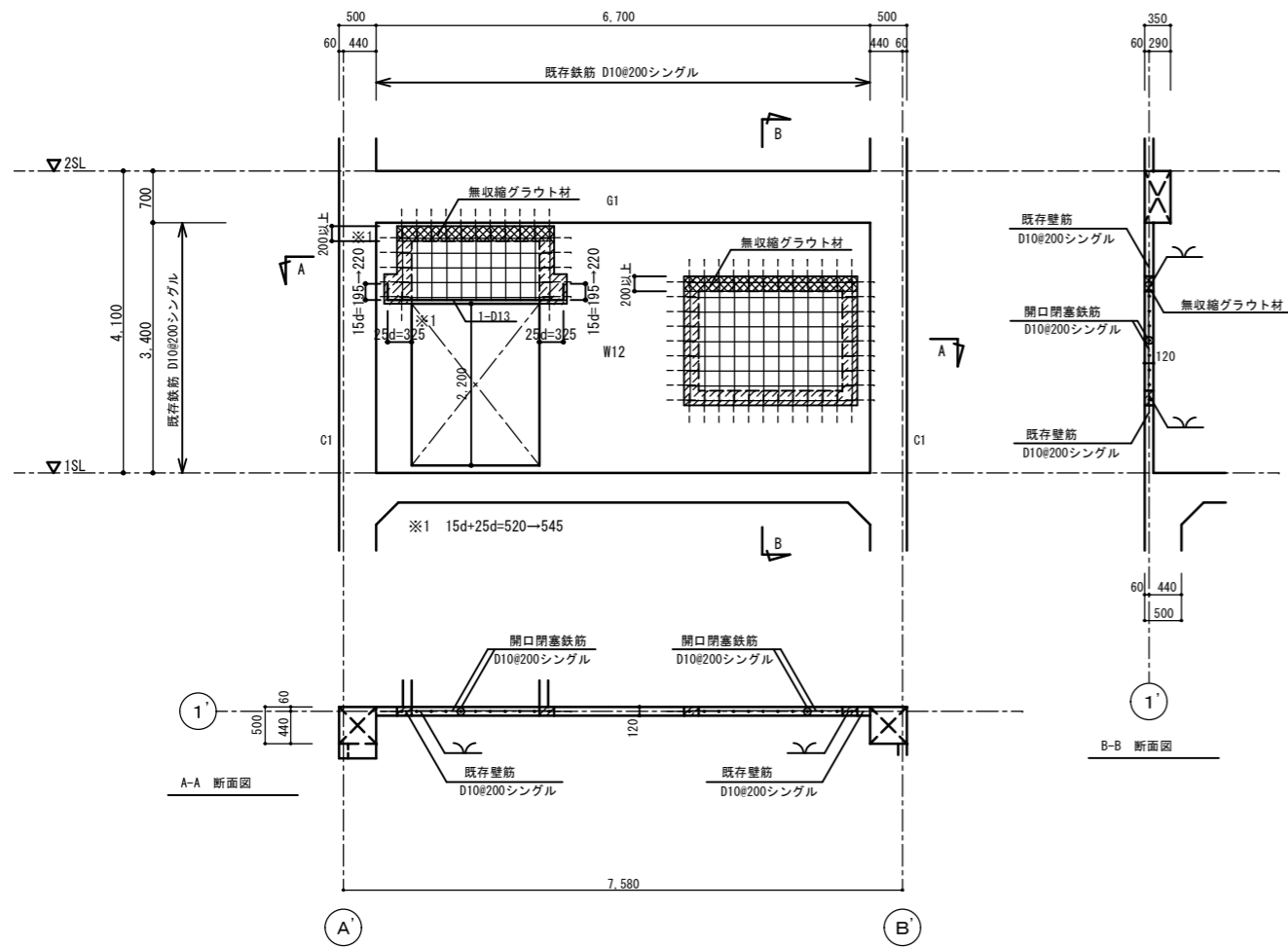
【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強詳細図(1)		
縮尺	S=1 : 50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-21/87

1階 1'通 × A'-B'間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。  
 ・はつり範囲は、意匠図による。  
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督員と協議の上、行う。  
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

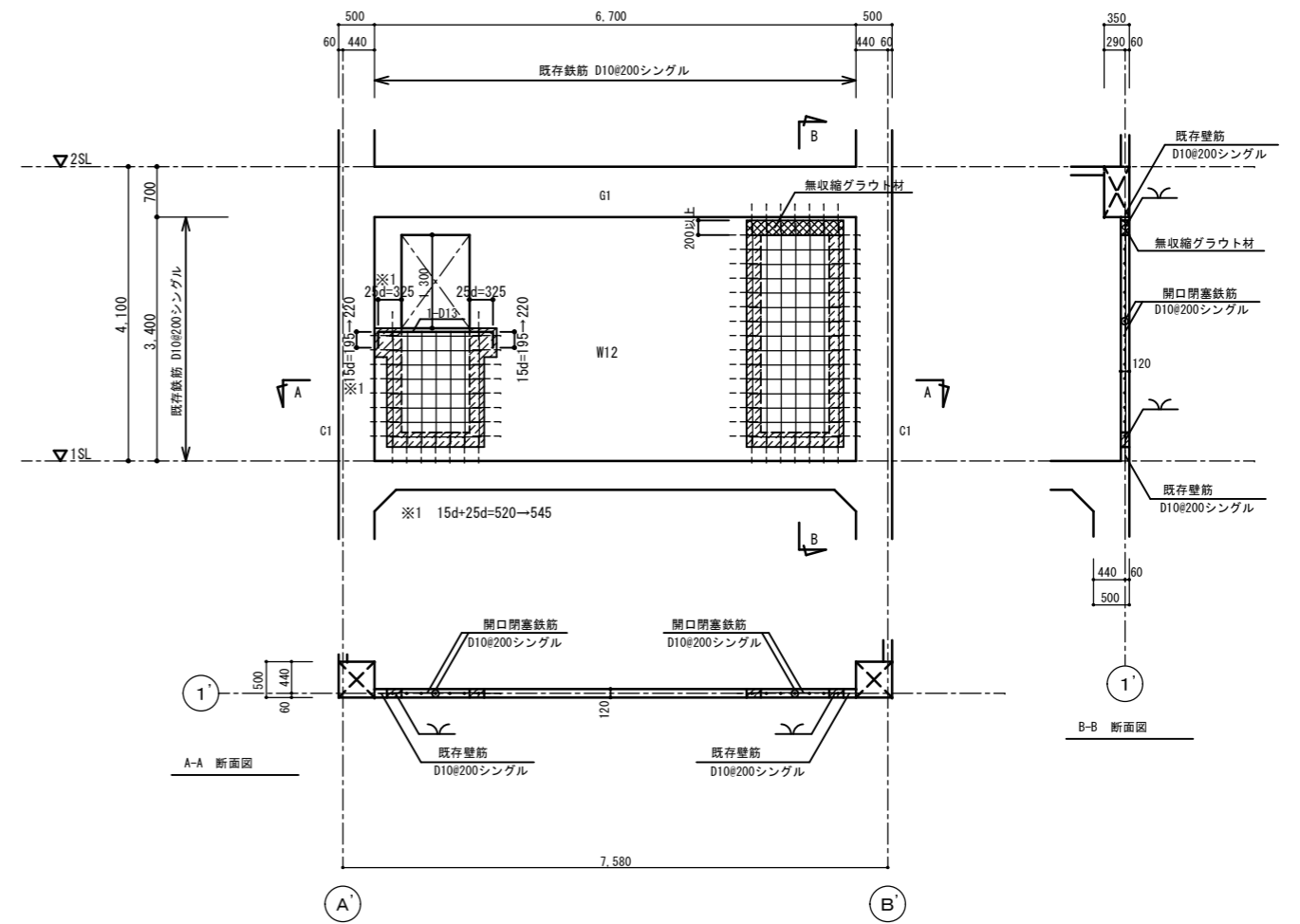
使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm <sup>2</sup> )
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm <sup>2</sup> )
鉄筋	SD295A (D16以下)



1階 5'通 × A'-B'間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。  
 ・はつり範囲は、意匠図による。  
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督員と協議の上、行う。  
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm <sup>2</sup> )
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm <sup>2</sup> )
鉄筋	SD295A (D16以下)



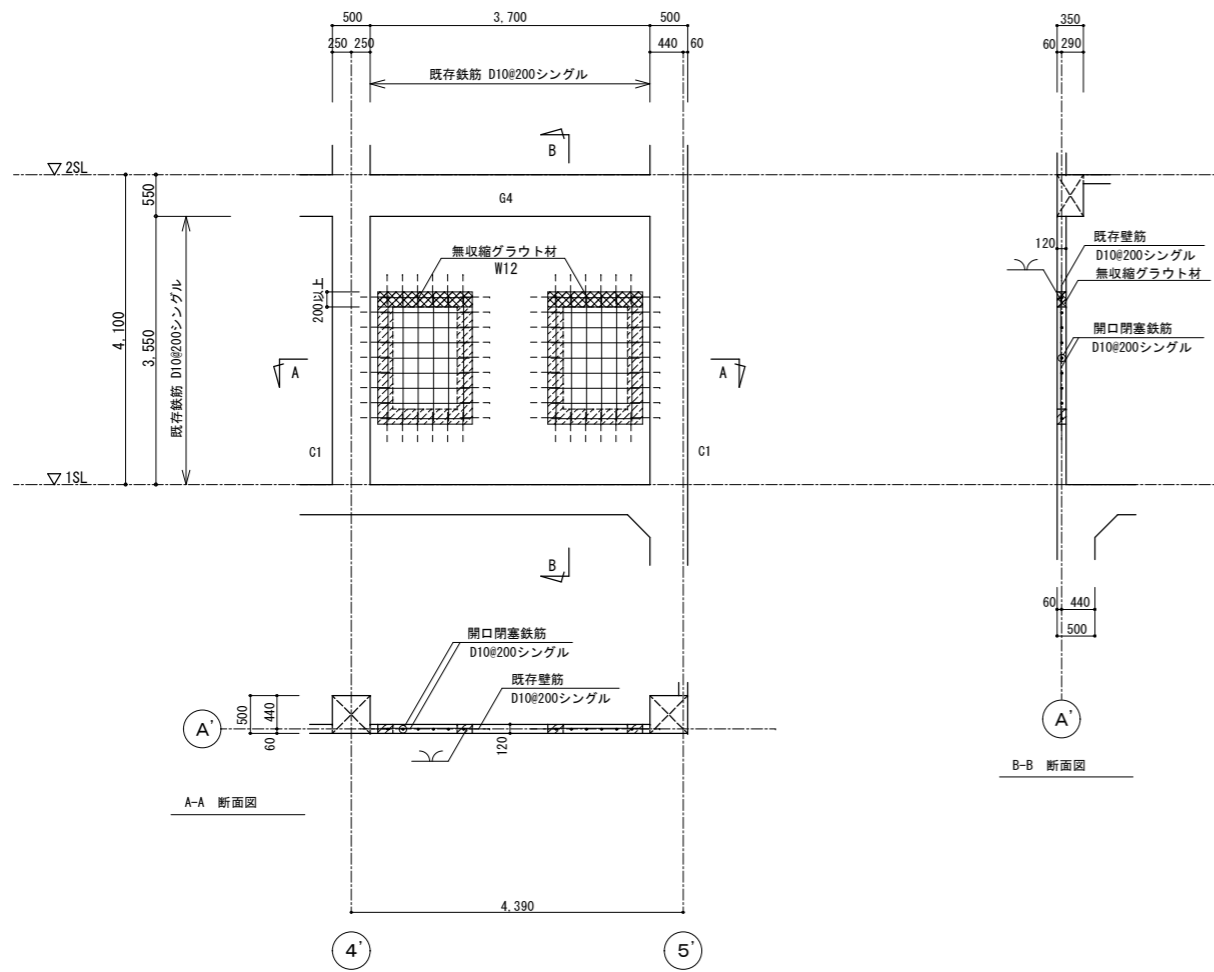
【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強詳細図(2)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-22/87

1階 A'通 × 4' - 5'間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。  
 ・はつり範囲は、意匠図による。  
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督員と協議の上、行う。  
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

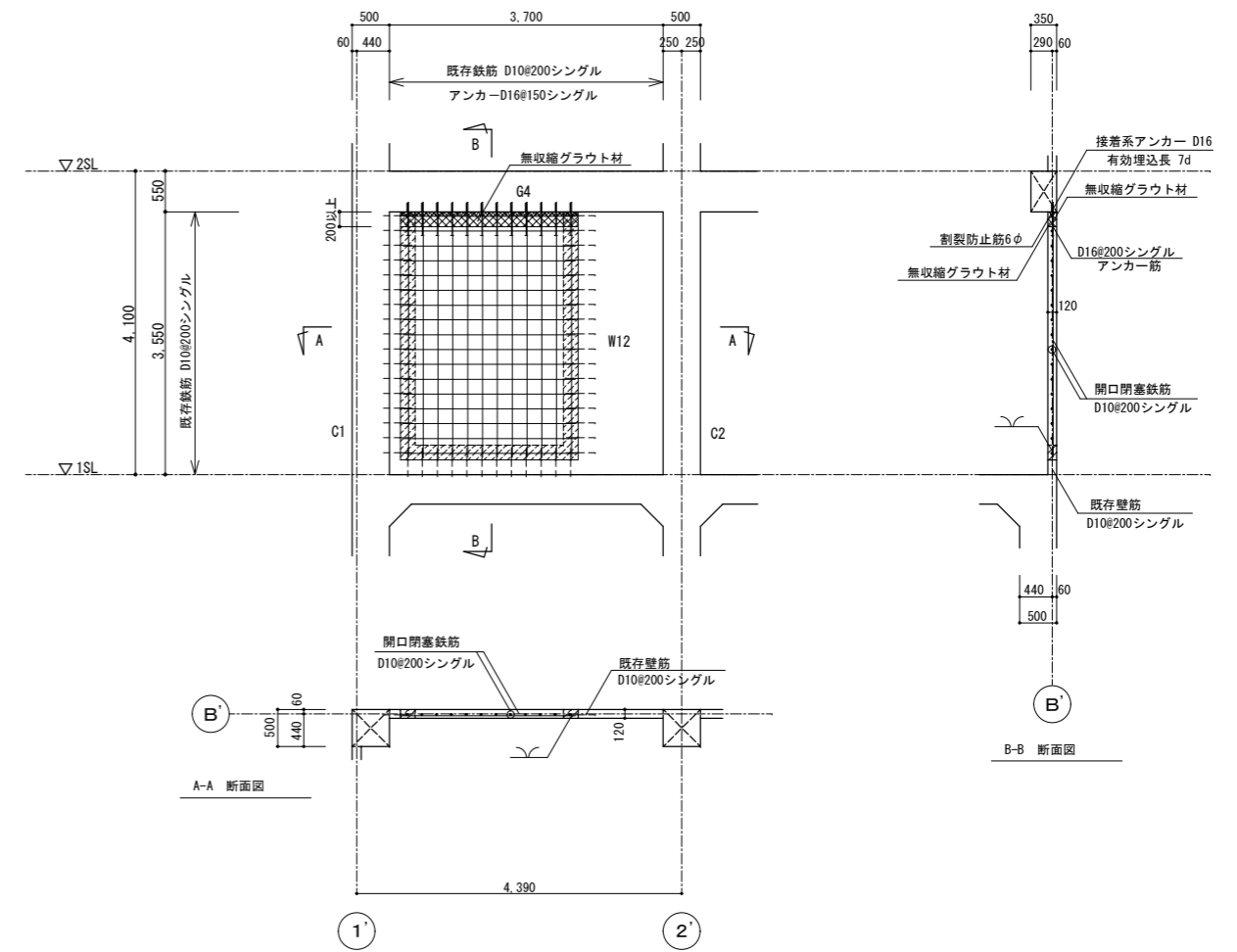
使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm <sup>2</sup> )
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm <sup>2</sup> )
鉄筋	SD295A (D16以下)



1階 B'通 × 1' - 2'間 (開口閉塞)

- 註) ・改修部の寸法は、現場測量後決定すること。  
 ・はつり範囲は、意匠図による。  
 ・鉄筋切断については、状況を確認後、監督員と協議の上、行う。  
 ・フレア溶接長は、D10(片面100mmまたは両面50mm)とする。ただし、ビード始点及びクレーターを除いた溶接長とする。

使用材料	
コンクリート	Fc=24 (N/mm <sup>2</sup> )
無収縮グラウト材	Fc=30以上 (N/mm <sup>2</sup> )
鉄筋	SD295A (D16以下)
アンカー筋	SD295A (D16以下)



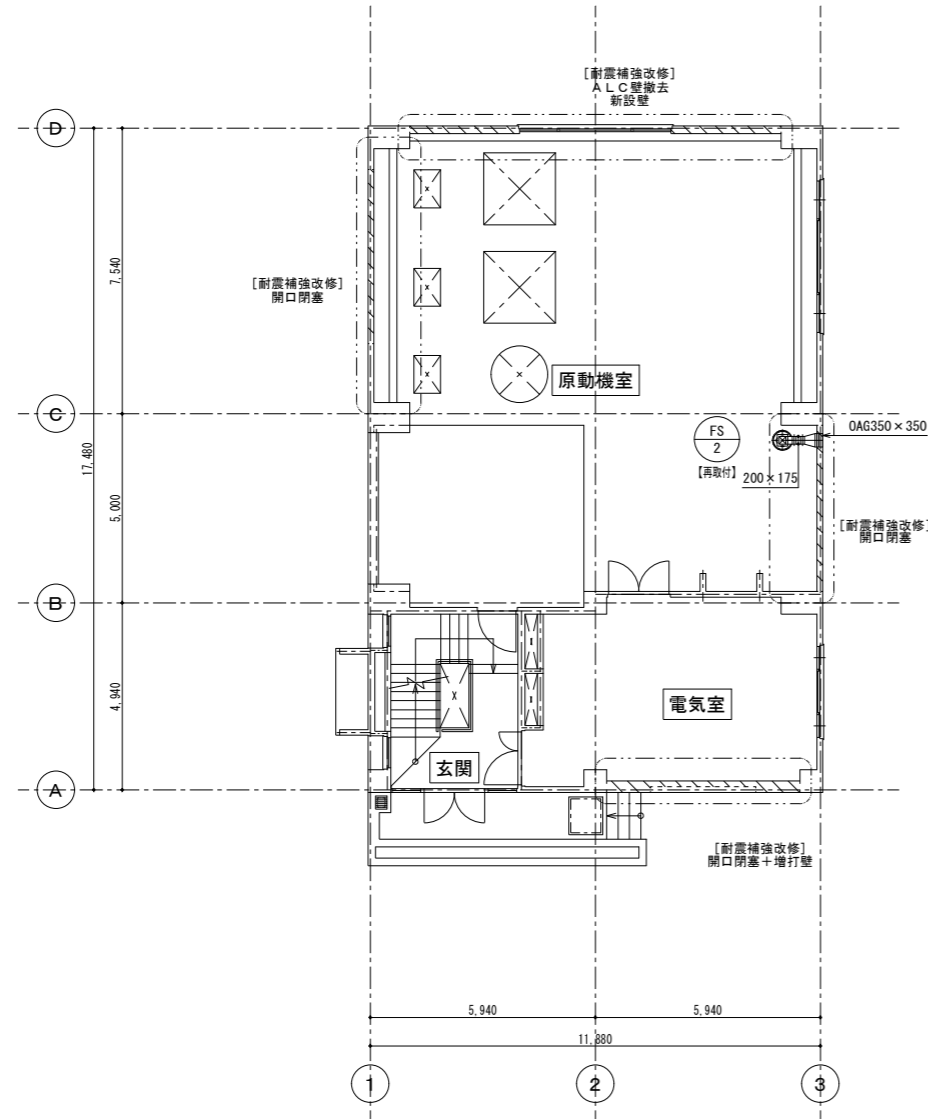
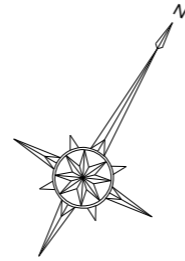
【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	補強詳細図(3)		
縮尺	S=1 : 50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	S-23/87





項目	特記事項	・空気調和設備(2)		<現場代理人に関する事項> 工場製作期間中等に現場代理人の常駐を解除する場合は、その期間に応じた経費の減額変更を行う。																																																																																										
・一般共通事項(2)																																																																																														
1 保険及び保証	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設工事保険（管理財物担保特約に加入）（保証証の写しを提出）</li> <li>請負業者賠償責任保険（保証証の写しを提出）</li> </ul> 保険期間は工事期間を原則とする。（必要に応じて延長するものとする。） 下記の制度について加入すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>法定外労災補償制度（加入証明書書の写しを提出）</li> <li>建設業退職金共済制度（掛金収納書を提出）</li> </ul> 共済証紙購入額 請負額の0.5/1000以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。 ※2 契約変更により工事価格が上昇した場合は、不足分を追加購入すること。	1 パッケージ型 空気調和機	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷媒能力は、JIS B 8615 による表示とする。</li> <li>冷媒管は、製造者の標準仕様による。ただし、断熱材被覆銅管の断熱材厚さは、液管を10mm以上、ガス管を20mm以上とする。</li> <li>ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱材厚さは8mmとしてよい。</li> </ul> 屋外露出部分は（ステンレス鋼板・青色亜鉛鉄板・合成樹脂板カバー）によるラッキングを行い、保温材にて覆形を行う。 屋内露出部分は（ステンレス鋼板・青色亜鉛鉄板・合成樹脂板カバー）によるラッキングを行い、保温材にて覆形を行う。 冷媒管の配管試験は24時間メカ-接受圧力で行う 冷媒管の立管の固定は、垂直方向に5m以上ある場合、銅管から直接1箇所以上固定すること。																																																																																											
2 建設共済等		2 ばい煙濃度計 3 ばいじん濃度計	<ul style="list-style-type: none"> <li>設ける</li> <li>設けない</li> <li>設けない</li> <li>設ける（口径80φ以上）</li> </ul>																																																																																											
3 工事実績情報の登録	工事請負金額500万円以上の工事は、工事実績情報サービス(DORINS)に登録すること。	4 チャンバー等	<ul style="list-style-type: none"> <li>本体は（ ・ アスファルト ・ モルタル ・ エポキシ樹脂）により保護を行う。</li> </ul>																																																																																											
4 施工体制台帳の提出	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、施工体制台帳の写しを提出のこと。なお、営業業者についても記載すべき下請負人の範囲に含むものとする。	5 吹出口・吸込口 6 保温・塗装	<ul style="list-style-type: none"> <li>空気調和機の吸い込み側及び吐出側に接続するチャンバーの板厚は、1.2mm 以上とする。</li> <li>図示されたチャンバーには、寸法（ ・ 400 x 500H ・ 500 x 600H）の点検口を設ける。</li> <li>内張りを実施するチャンバー等の表示寸法は、外形寸法とする。</li> <li>アネモ形吹出口接続用ボックスは、吹出口のネック径200mm以下は、400 x 400 x 250H、200mmを超えるものは、500 x 500 x 300Hとする。</li> <li>鋼製 ・ アルミニウム製 ・ 木製</li> <li>外気取り入れダクトのうち暖房室、浴室及び厨房内を通るダクトは保温を行う</li> <li>隠ぺいダクトのフランジ部（補強を含む）は厚さ 25 mmの保温材を重ね巻きを行うか、隠ぺい部の保温厚さをフランジ高さ+10 mm以上とする。</li> </ul>																																																																																											
⑤ 資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	資材購入及び工事の一部を下請業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、できる限り市内業者を優先させること。	7 瞬間流量計	<ul style="list-style-type: none"> <li>設ける（検出部と指示部一体形） ・ 設けない</li> <li>取付箇所は、（ ・ ユニット形空気調和機 ・ 冷水ポンプ</li> <li>・ 冷却水ポンプ ・ ヘッダーの各送り管 ・ ヘッダーの各送り管）とする。</li> <li>・ 瞬間流量計を設けない場合は、ビトー管式流量計用タッピングのみを設ける。</li> <li>取付箇所は前記による。</li> </ul>																																																																																											
6 監督員事務所		8 圧力計・温度計	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">計器取付箇所（○印の箇所）</th> <th rowspan="2">温度計の種類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">機器入口側</th> <th colspan="2">機器出口側</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>圧力計</th> <th>温度計</th> <th>圧力計</th> <th>温度計</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">冷凍機</td> <td>冷却水</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>ガード付 L形又は円形</td> </tr> <tr> <td>冷水</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直吹き吸収式 冷温水機</td> <td>冷却水</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>ガード付 L形又は円形</td> </tr> <tr> <td>冷温水</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">パッケージ形 空気調和機</td> <td>冷却水</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>ガード付 L形又は円形</td> </tr> <tr> <td>温水</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>ブルドン管式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">空気調和機</td> <td>冷却水</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>L形又は円形</td> </tr> <tr> <td>チャンバ</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>ブルドン管式</td> </tr> <tr> <td>温風暖房機</td> <td>チャンバ</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>ブルドン管式</td> </tr> <tr> <td>温水ボイラ</td> <td>温水</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>L形又は円形</td> </tr> <tr> <td>管寄せ</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>L形又は円形</td> </tr> </tbody> </table>	機器名		計器取付箇所（○印の箇所）				温度計の種類	機器入口側		機器出口側				圧力計	温度計	圧力計	温度計		冷凍機	冷却水	○	○	○	○	ガード付 L形又は円形	冷水	○	○	○	○		直吹き吸収式 冷温水機	冷却水	○	○	○	○	ガード付 L形又は円形	冷温水	○	○	○	○		パッケージ形 空気調和機	冷却水	○	○	○	○	ガード付 L形又は円形	温水	○	○	○	○	ブルドン管式	空気調和機	冷却水	○	○	○	○	L形又は円形	チャンバ			○	○	ブルドン管式	温風暖房機	チャンバ		○		○	ブルドン管式	温水ボイラ	温水		○			L形又は円形	管寄せ			○			L形又は円形
機器名		計器取付箇所（○印の箇所）				温度計の種類																																																																																								
		機器入口側		機器出口側																																																																																										
		圧力計	温度計	圧力計	温度計																																																																																									
冷凍機	冷却水	○	○	○	○	ガード付 L形又は円形																																																																																								
	冷水	○	○	○	○																																																																																									
直吹き吸収式 冷温水機	冷却水	○	○	○	○	ガード付 L形又は円形																																																																																								
	冷温水	○	○	○	○																																																																																									
パッケージ形 空気調和機	冷却水	○	○	○	○	ガード付 L形又は円形																																																																																								
	温水	○	○	○	○	ブルドン管式																																																																																								
空気調和機	冷却水	○	○	○	○	L形又は円形																																																																																								
	チャンバ			○	○	ブルドン管式																																																																																								
温風暖房機	チャンバ		○		○	ブルドン管式																																																																																								
温水ボイラ	温水		○			L形又は円形																																																																																								
管寄せ			○			L形又は円形																																																																																								
8 産業廃棄物税	本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が本工事により生じた産業廃棄物税が課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物納税証明書等と添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求する事ができる。	9 機器基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポンプ 基礎施工要領(四) ・ 標準基礎 ・ 防振基礎</li> <li>遠心冷凍機 基礎施工要領(二) ・ 標準基礎</li> <li>往復動冷凍機 基礎施工要領(二) ・ 標準基礎</li> <li>パッケージ形 空気調和機 基礎施工要領(三) ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 ・ 既製品基礎</li> <li>ユニット形 空気調和機 基礎施工要領(三) ・ 標準基礎 ・ 防振基礎</li> <li>遠心送風機 基礎施工要領(四) ・ 標準基礎 ・ 防振基礎</li> <li>・ 防振基礎は市販の防振装置を使用してよい。</li> </ul>																																																																																											
9 電気保安技術者の適用		10 形鋼振れ止め	ダクトに形鋼振れ止め支持を行う。図面に特記なき場合、支持部材選定表による。																																																																																											
⑩ 工事記録	工事記録は以下を行うこと。 ○工事写真 埋設部、いんべい部 施工工程材料の使用区分 完成写真 ※工事の各記録写真については、デジタル画像にて整備編集を行うように努めること。 ○工事日報、納品伝票 工事日報、納品伝票等の写しは監督員が提出を求めた場合に提出すること。 監督員の指示により下記のものも提出する。 ○ 工事完成図（竣工図（修正済みの設計図）+施工図） ○ 完成図 CADデータ P D Fデータ（C D R） ○ 完成図（A 4版に製本したもの） ○ 完成図（様ごとに、建築・機械・電気をまとめて二つ折り製本したもの、3部） ○ 工事写真（紙、C D R） ○ 保全に関する資料等	11 吊機等の振れ止め	室内機器等の吊り用ボルトには、ダブルナットで固定し、ボルト長さが1000mm以上の場合には、振れ止めを施す。																																																																																											
⑪ 完成時の提出図書		・ 基礎施工要領(四) ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 ・ 基礎施工要領(二) ・ 標準基礎 ・ 基礎施工要領(二) ・ 標準基礎 ・ 基礎施工要領(三) ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 ・ 既製品基礎 ・ 基礎施工要領(三) ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 ・ 基礎施工要領(四) ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 ・ 防振基礎は市販の防振装置を使用してよい。																																																																																												
12 防振吊り金物及 防振支持金物	次の配管には、防振吊り金物（ ・ シングル ・ ダブル）又は、防振支持金物を設ける。ただし、屋外及び地下ビットを除く。 ・ 口径 50A以上の配管（ ・ 冷温水 ・ 冷却水 ・ 揚水） ・ 次に示す配管	・ し尿浄化槽設備工事																																																																																												
13 管溶接部の検査	標準仕様書第2編 2.5.16.12 の溶接部の非破壊検査の適用 ・ 不要 ・ 要	1 処理種別及び構造 ・ 合併処理（ ・ 接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式） ・ 回転接触方式 2 処理能力 処理対象人員 人 容量 m <sup>3</sup> /日 3 本体構造 ・ コンクリート製（ ・ 現場施工形 ・ ユニット形） ・ FRP製 4 放流水質 BOD mg/L以下 5 マンホールふた ・ 製造者標準品 ・ MHA ・ MHB 6 臭突 立上り部はコンクリートにて 500H まで根巻きをする。 7 スラブ負荷重 ・ 土圧のみ ・ 200kgf/m <sup>2</sup> ・ 350kgf/m <sup>2</sup> ・ 800kgf/m <sup>2</sup> 8 排水方式 ・ 自然流下 ・ ポンプ排水 （ポンプ槽内径 mm、GLよりの深さ m以上 ただし深さが 1.2m以上の場合はトラップ付とする。） ・ 不要 ・ 要（ 別途工事 本工事） ・ 独立設置形（ ・ 地上式 ・ 地下式） ・ 槽と一体形 9 送風機室 10 消毒剤 11 槽内にある銅管類の防食 ・ タールエポキシ樹脂塗料3回塗りを行う。 ・ 土中埋設の銅管類に準じた防錆処理を行う。																																																																																												
14 鋼鉄製弁類	ライニング弁類の使用範囲 ・ 標準仕様書による ・ 使用しない	19 施工図等の取扱い 施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。																																																																																												
15 防振継手	・ 合成ゴム製 ・ ベローズ形	20 既設との取合い 21 スリーブ 22 管の支持 23 塗装 本工事に伴う既存の天井及び壁等の軽微な加工改修は本工事とする。 ・ 亜鉛鉄板 ・ 紙チューブ ・ つば付銅管 ・ 塩化ビニル管 屋内埋設配管についても、通常の配管支持方法に準じて行う。 ・ 下記の保温を施さない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ・ 機械室 ・ 倉庫 ・ 電気室																																																																																												
16 可換継手	・ 合成ゴム製 ・ ベローズ形	24 施工条件 監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。 1.施工可能日 ・ 土、日曜日、祝日施工有り ・ 指定なし ・ その他（ ） 2.施工可能時間帯 ・ 指定有り（ 時～ 時） ・ 指定なし																																																																																												
17 管の防食	保温を施さない銅管類で、コンクリート埋込み部及びコンクリート壁等の貫通部は、プラスチックテープ巻き 1/2 重ね 1回巻きとする。ただし外面被覆ライニング銅管及び排水管は除く。	【雨水ポンプ機】																																																																																												
18 保温材	<table border="1"> <thead> <tr> <th>保温材の種類</th> <th>区</th> <th>分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">グラスウール 保温材</td> <td rowspan="4">ロックウール 保温材</td> <td>給水管 ・ 排水管（リン管） ・ 給水管</td> <td>給水管</td> </tr> <tr> <td>温水管 ・ 冷水管</td> <td>冷水管</td> </tr> <tr> <td>長方形ダクト ・ スパイラルダクト</td> <td>冷温水管</td> </tr> <tr> <td>ヘッダー ・ タンク ・ 蒸気管</td> <td>蒸気管</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ポリスチレン フォーム 保温材</td> <td rowspan="4">ポリスチレン フォーム 保温材</td> <td>給水管 ・ 排水管 ・ 冷水管</td> <td>冷水管</td> </tr> <tr> <td>温水管 ・ 冷水管</td> <td>冷温水管</td> </tr> <tr> <td>長方形ダクト ・ スパイラルダクト</td> <td>冷温水管</td> </tr> <tr> <td>ヘッダー ・ タンク ・ 蒸気管</td> <td>蒸気管</td> </tr> </tbody> </table> 保温外装材 ・ SUS製ラッキング ・ 樹脂製ラッキング ・ カラー亜鉛鉄板 ・ その他（ ）	保温材の種類	区	分	グラスウール 保温材	ロックウール 保温材	給水管 ・ 排水管（リン管） ・ 給水管	給水管	温水管 ・ 冷水管	冷水管	長方形ダクト ・ スパイラルダクト	冷温水管	ヘッダー ・ タンク ・ 蒸気管	蒸気管	ポリスチレン フォーム 保温材	ポリスチレン フォーム 保温材	給水管 ・ 排水管 ・ 冷水管	冷水管	温水管 ・ 冷水管	冷温水管	長方形ダクト ・ スパイラルダクト	冷温水管	ヘッダー ・ タンク ・ 蒸気管	蒸気管	22 管の支持 23 塗装																																																																					
保温材の種類	区	分																																																																																												
グラスウール 保温材	ロックウール 保温材	給水管 ・ 排水管（リン管） ・ 給水管	給水管																																																																																											
		温水管 ・ 冷水管	冷水管																																																																																											
		長方形ダクト ・ スパイラルダクト	冷温水管																																																																																											
		ヘッダー ・ タンク ・ 蒸気管	蒸気管																																																																																											
ポリスチレン フォーム 保温材	ポリスチレン フォーム 保温材	給水管 ・ 排水管 ・ 冷水管	冷水管																																																																																											
		温水管 ・ 冷水管	冷温水管																																																																																											
		長方形ダクト ・ スパイラルダクト	冷温水管																																																																																											
		ヘッダー ・ タンク ・ 蒸気管	蒸気管																																																																																											

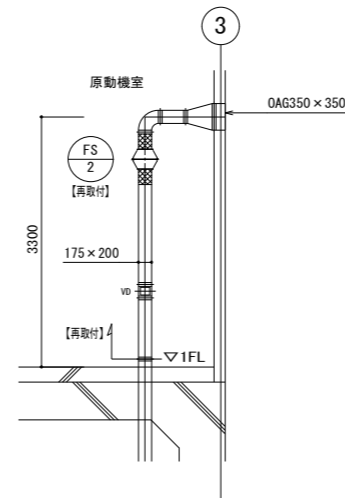


1階平面図 1/100

改修機器表

記号	機器名称	系統	機器仕様	電動機			運転方式	台	設置場所	備考
				φ	V	kW				
FS-2	給気ファン	1階 原動機室系統	形式 斜流ファン 250φ × 400m <sup>3</sup> /h × 120Pa	1	100	0.1		1	1階 原動機室	【再取付】

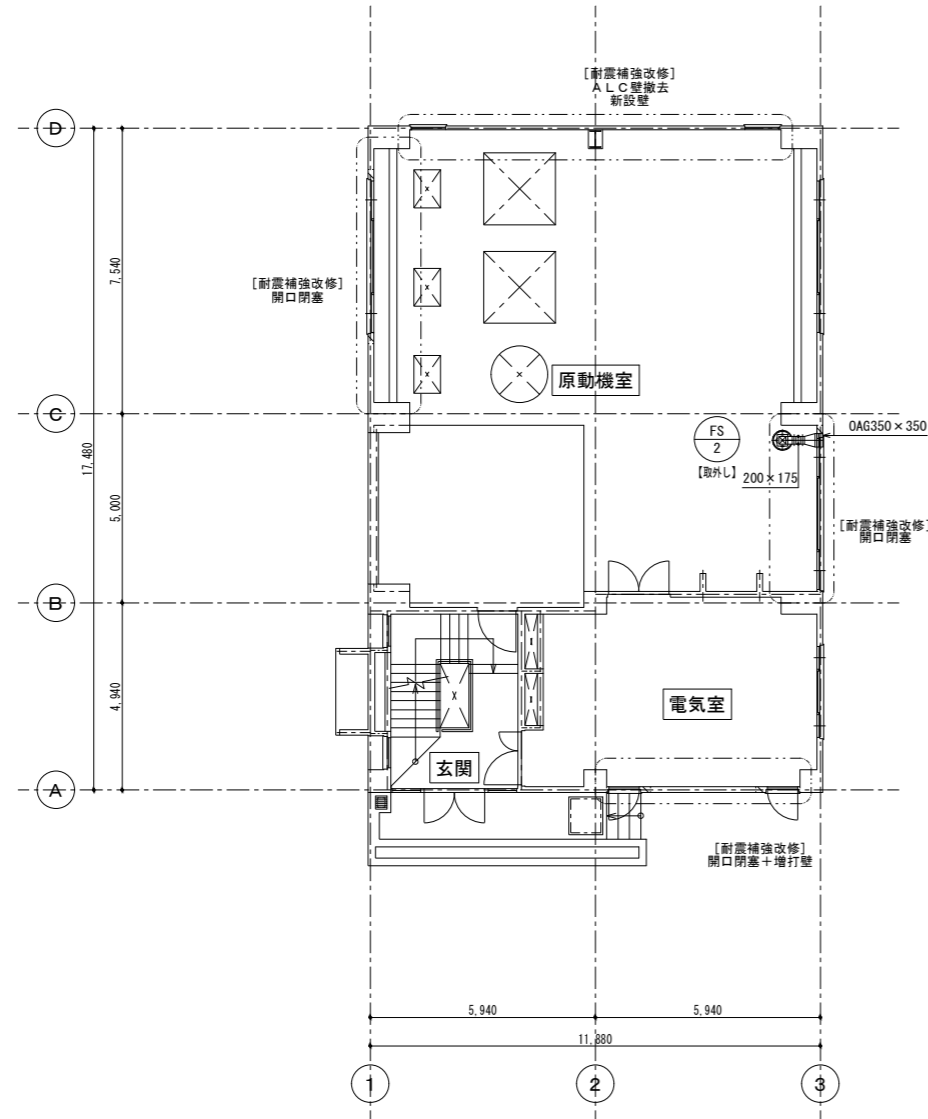
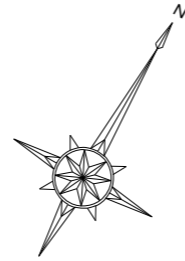
1. 電気容量は参考値とする。



部分断面図 1/50

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図 (改修後)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	AM-3/87

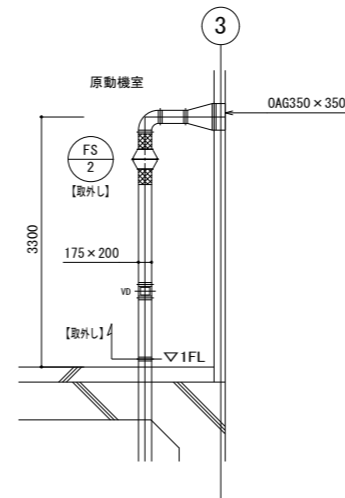


1階平面図 1/100

撤去機器表

記号	機器名称	系統	機器仕様	電動機			運転方式	台	設置場所	備考
				φ	V	kW				
FS-2	給気ファン	1階 原動機室系統	形式 斜流ファン 250φ × 400m <sup>3</sup> /h × 120Pa	1	100	0.1		1	1階 原動機室	【取外し】

1. 電気容量は参考値とする。

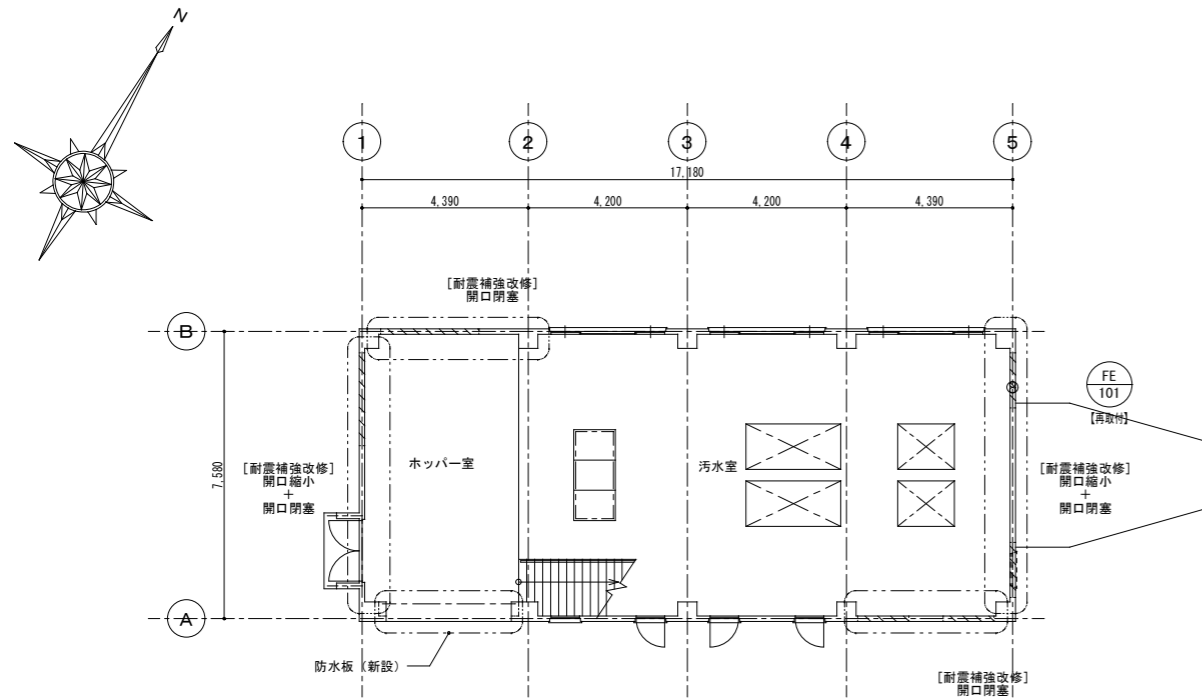


部分断面図 1/50

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図 (改修前)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	AM-4/87

改 修 後



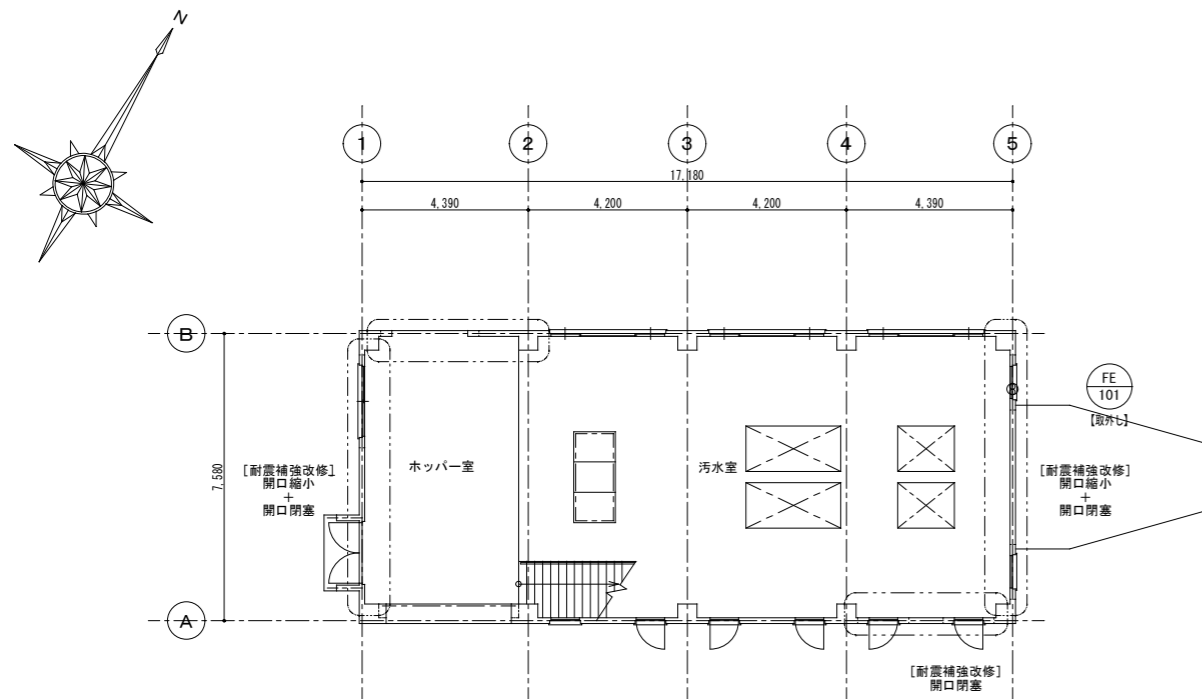
1階平面図 1/100

改修機器表

記号	機器名称	系統	機器仕様	電動機			運転方式	台	設置場所	備考
				φ	V	kW				
FE-101	排気ファン	1階 汚水室系統	形式 有圧換気扇 350φ × 42m <sup>3</sup> /h × -Pa	1	100	0.1		1	1階 汚水室	【再取付】

1. 電気容量は参考値とする。

改 修 前



1階平面図 1/100

撤去機器表

記号	機器名称	系統	機器仕様	電動機			運転方式	台	設置場所	備考
				φ	V	kW				
FE-101	排気ファン	1階 汚水室系統	形式 有圧換気扇 350φ × 42m <sup>3</sup> /h × -Pa	1	100	0.1		1	1階 汚水室	【取外し】

1. 電気容量は参考値とする。

【汚水ポンプ棟】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	平面図 (改修後・改修前)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成29年12月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	AM-5/87



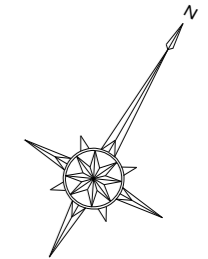
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
② 工用電力、水等	・本工事に必要な工用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は、受注者の負担とする。 ○市支給とする。ただし、構内既存施設より利用可能な範囲に限る。	③ 鋼製電線管	特記なき鋼製電線管(19.25、・・・75)の表示は全て厚鋼電線管とする。	<現場代理人に関する事項> 工場製作期間中等に現場代理人の常駐を解除する場合は、その期間に応じた経費の減額変更を行う。	
28 産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が本工事により生じた産業廃棄物税が課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求する事ができる。	39 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。	この契約による業務を行うに当たり個人情報(特定個人情報(個人番号をその内容に含む個人情報をいう。))	
29 工事の保険	・建設工事保険(管理財物担保特約に加入)(保険証券の写しを提出) ・請負業者賠償責任保険(保険証券の写しを提出) 加入期間は工事期間を原則とする。(必要に応じて延長するものとする。)	40 再使用機器	取り外し再使用機器は、清掃及び絶縁測定のうち、取り付ける。ただし、絶縁劣化等使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。	個人情報(特定個人情報(個人番号をその内容に含む個人情報をいう。))を含む。以下同じ。)を取り扱	
30 建設共済等	下記の制度について加入すること。 ・法定外労災補償制度(加入証明書を提出) 建設業退職金共済制度に加入し、掛金収納書を提出する。 共済証紙購入額 請負額(消費税含む)の0.5/1000以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。 ※2 契約変更により工事価格が上昇した場合は不足分を追加購入すること。 工事請負代金額500万円以上の工事は、工事実績情報(CORINS)の登録手続きを行うこと。	41 タンブラスイッチ	タンブラスイッチは、図面に特記なき場合、ネーム付とする。		
31 工事実績情報の登録		④ 配線器具等	配線器具(スイッチ、コンセント他)の現場納り等による仕様、数量については監督員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。		
32 施工体制台帳の提出	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、施工体制台帳の写しを提出のこと。なお、警備業者についても記載すべき下請負人の範囲に含むものとする。	④ 機器仕様	使用機器の製造者選定による若干の仕様の相違は、監督員の承諾を得れば、可とする。		
33 監督職員事務所	・設けない ・設ける	44 合成樹脂管配線	合成樹脂製可とう電線管及び付属品は、P F管(単層管)の波付管以上を使用する。 位置ボックスは金属製とし、電力用には接地を施す。		
34 完成時の提出図書	監督職員の指示により下記のものを出す。 ・工事完成図(竣工図(修正済みの設計図)+竣工図) 完成図 C A Dデータ P D Fデータ(C D-R) 完成図(A4版に製本したもの) 完成図(機械設備図と併せて二つ折り製本したもの、3部) 保全に関する資料等 工事写真(紙、C D-R)	45 最上階の埋込配管	最上階の天井スラブへの埋込配管は、原則として避けるものとする。		
35 発生材の処理	・引渡しを要するもの ・引渡しを要するもの以外 構外搬出適切処理とする。 廃棄物管理票(マニフェスト)確認表を作成し、監督員にA票及びD票もしくはE票の確認を受けるものとする。 ・特別管理産業廃棄物(P C B使用機器) P C B使用機器は、関係法令に従い適切に処置する。 ・再使用又は再資源化を図るもの	④ 既設との取合い	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。		
④ 工事記録	工事記録は以下のように行うこと。 ○工事写真 工程写真 埋設部、いんべい部、施工工程、材料等 完成写真 ※撮影用機にデジタルカメラを用い、サービスサイズ程度の大きさとA4用紙に印刷し、提出する。 ※次の図書を参考とする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方 建築設備編」 ○工事日報、納品伝票 工事日報、納品伝票等の写しは監督員が提出を求めた場合に提出すること。	47 自家発電設備の配管工事等	原動機、発電機と付属各機器間の燃料油、冷却水などの配管、制御用配線等は、監督員の承諾を受けて図面と多少相違してもさしつかえない。		
③ 随時検査	設計金額3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第8条第6項の規程により発注者が随時検査を求めた場合、監督員の指示に従い受検すること。	48 地中配線の埋設深さ等	地中配線の特記なき埋設深さは、0.6m以上とする。 高圧、特別高圧以外の地中配管にも埋設標識シート(2倍)を ・設ける ・設けない		
		49 仮工事条件	監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。 1. 施工可能日 ・土、日曜日、祝日施工有り ・指定なし ・その他( ) 2. 施工可能時間帯 ・指定有り( 時～ 時) ・指定なし		
		50 地中配線の埋設標	構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は次による。 ・鉄製(箇所) ・コンクリート製(箇所)		
		⑤ 資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	資材購入及び工事の一部を下請業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、できる限り市内業者を優先させること。		
		52 一般照明の照度測定	一般照明の照度測定を行う。照度測定箇所は、監督職員の指示による。		
		⑥ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。		

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	電気特記仕様書(2)		
縮尺	-	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	AE-2/87

改 修 後

(注 記)			3. 凡 例	
1. 図中にて太線 (——) で記すものは新設、細線 (——) で記すものは既設のままを示す。			○	照明器具 FL40W-2 灯
また、配管配線については下記による。			○	照明器具 FL40W-1 灯
——	配線、新設	①	露出コンセント 2P15A	
——	配管、既設のまま	○	丸型露出ボックス	
配管の種類については下記とする。			⊗	プルボックス
——	露出配管	⊗	貫通補修箇所	
2. 特記なき配管配線は下記とする。			4. 図中にて ( 再 ) を付する機器は一時的取り外し品再取付とする。	
——	EM-1E2.0×2	(G16)	5. 新設配管貫通位置はすべて浸水深500以上とする。	
——	EM-1E1.6×2	(G16)	6. 図中のプルボックスサイズは下記とする。	
			⊗15	150×150×100 SS
			⊗21	200×200×100 SS
			⊗32	300×300×200 SS
			⊗21S	200×200×100 SUS-WP



GPS携帯EM-TKEE0.5-10P (22)

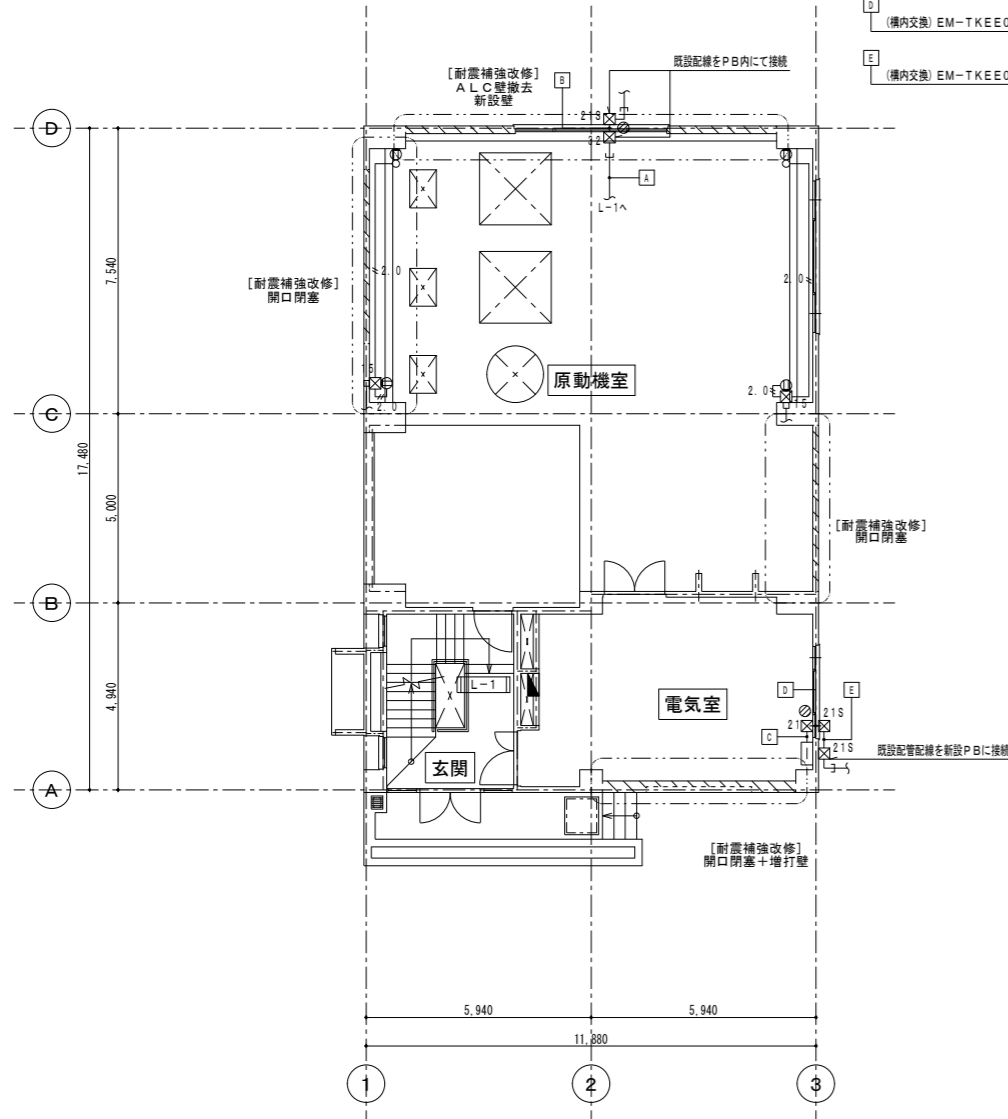
- ④ 1V3.5'×2 (ピット内コログシ)
- ④ 1V5.5'×2 (ピット内コログシ)
- ④ 1V8'×2 (ピット内コログシ)

- ⑤ 1EM-1E3.5'×2 (スリーブ内)
- ⑤ 1EM-1E5.5'×2 (スリーブ内)
- ⑤ 1EM-1E8'×2 (スリーブ内)

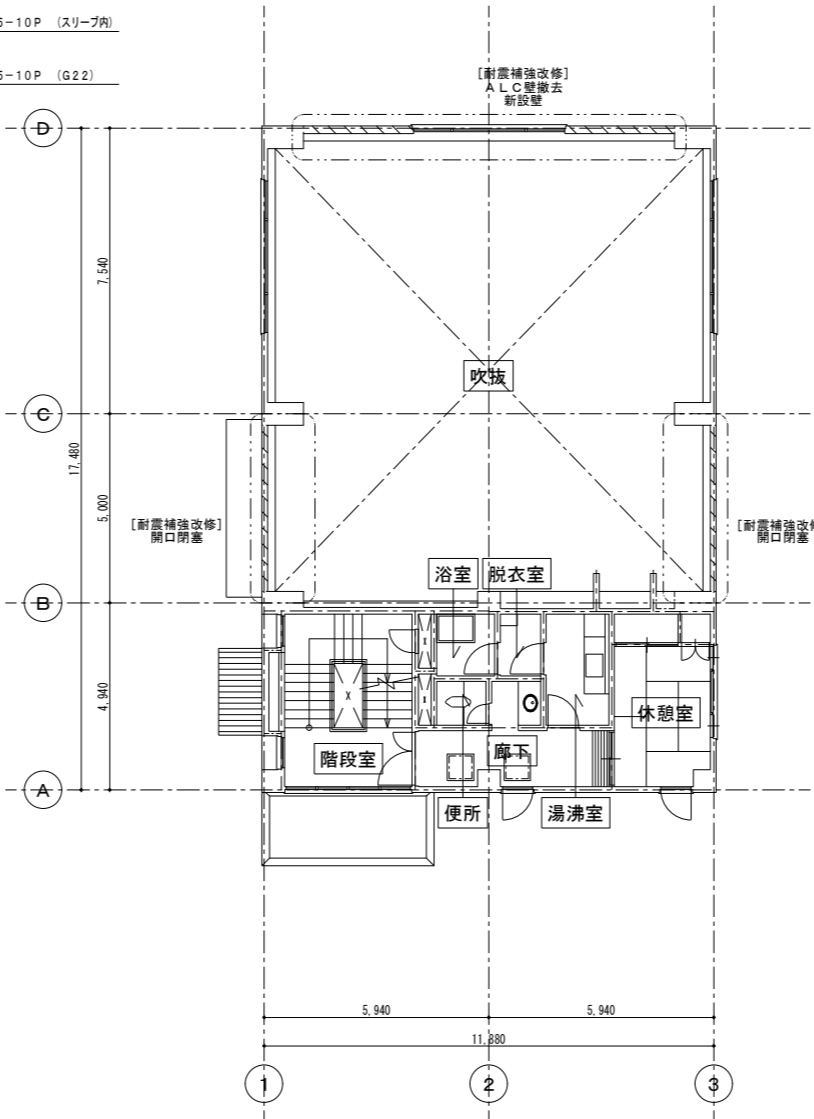
⑥ (構内交換) EM-TKEE0.5-10P (G22)

⑦ (構内交換) EM-TKEE0.5-10P (スリーブ内)

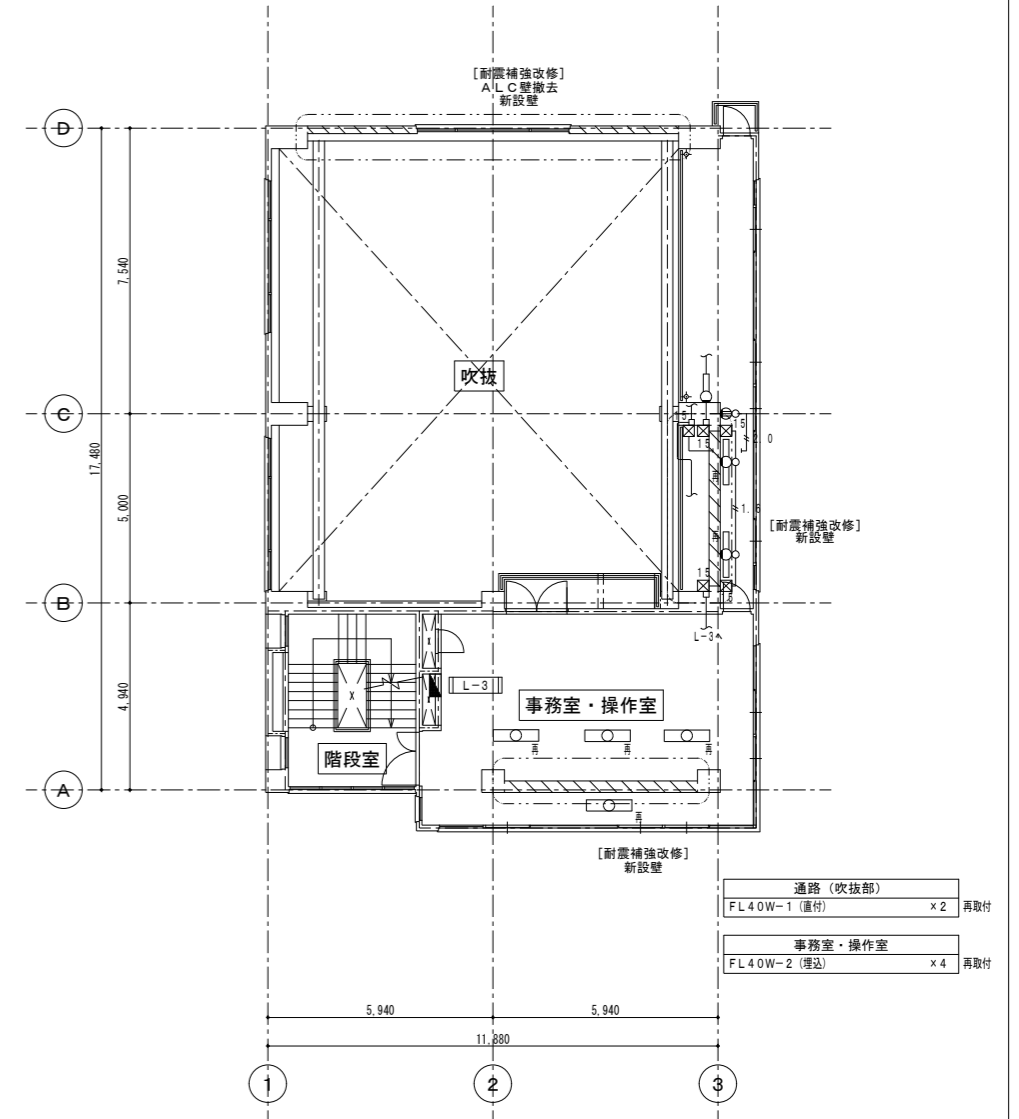
⑧ (構内交換) EM-TKEE0.5-10P (G22)



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100



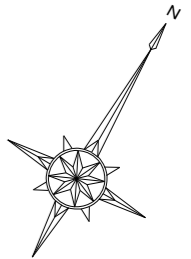
3階平面図 1/100

通路 (吹抜部)	FL40W-1 (置付)	×2	再取付
事務室・操作室	FL40W-2 (埋込)	×4	再取付

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	電灯・弱電設備 1・2・3階平面図 (改修後)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成230年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	AE-3/87

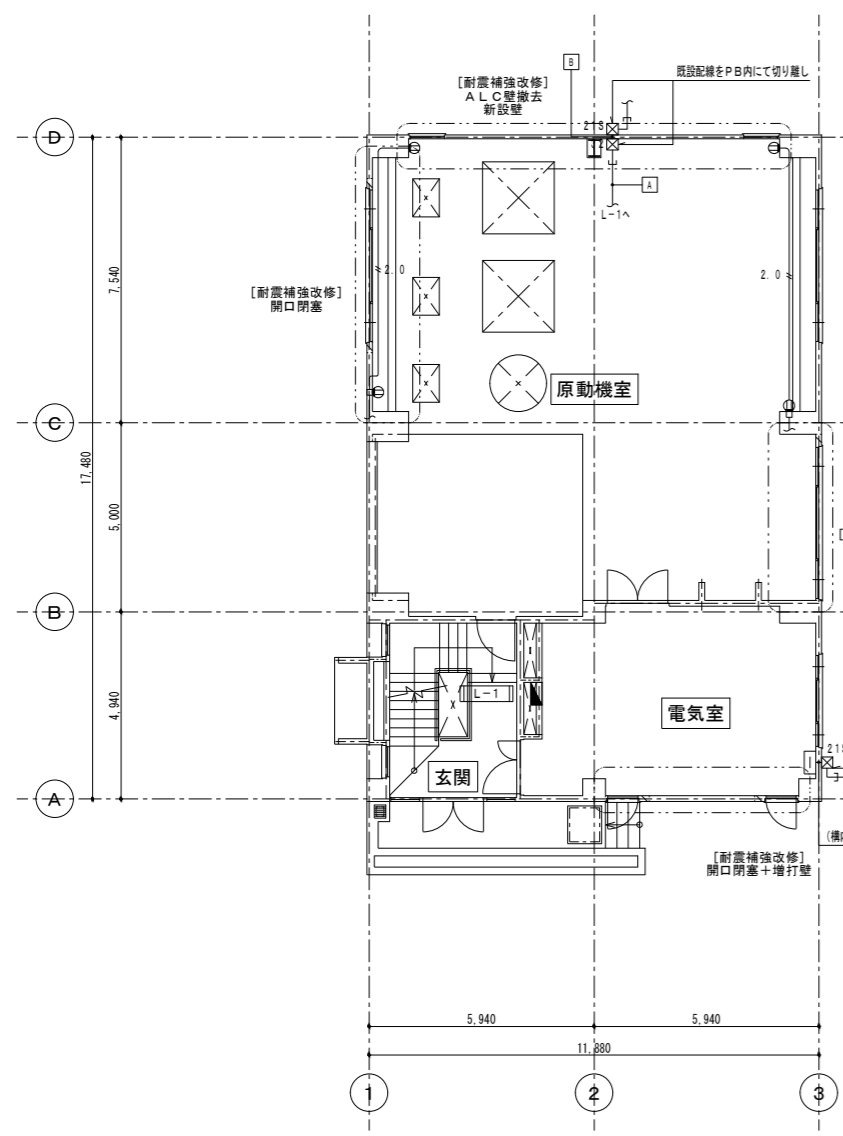
改 修 前



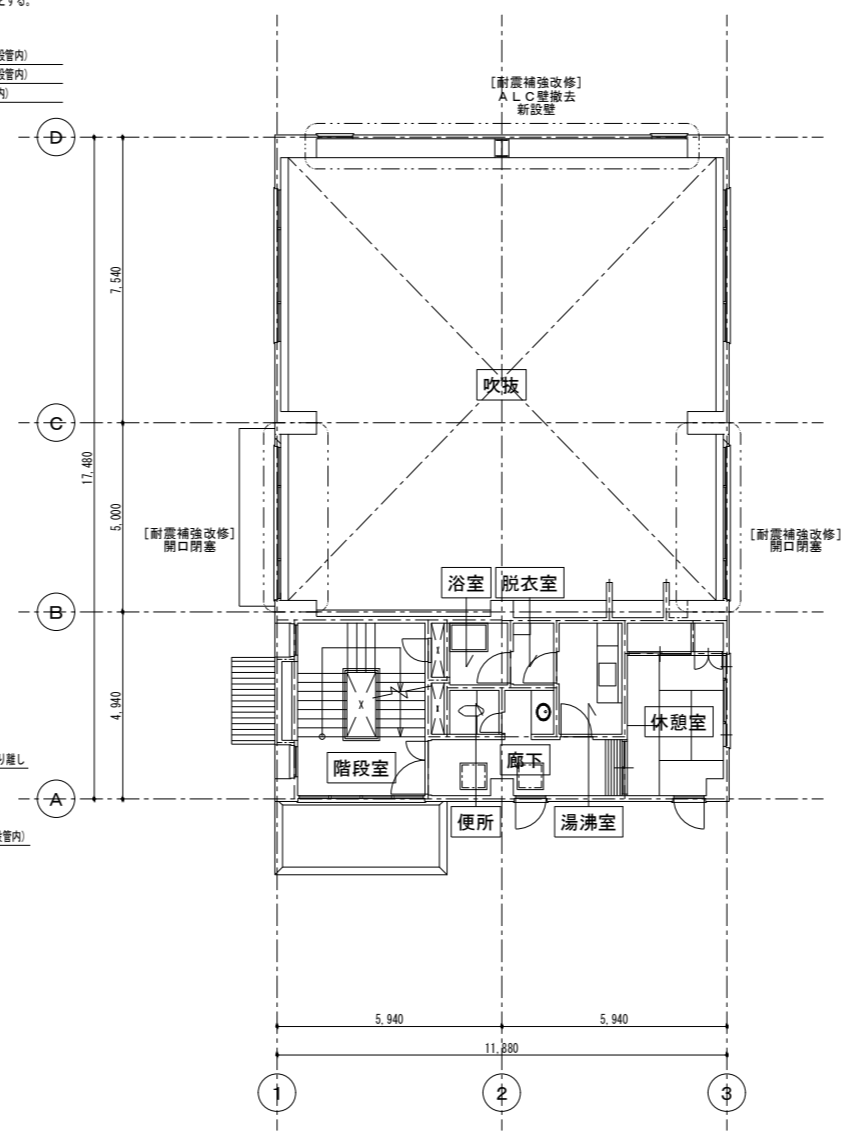
(注 記)		3. 凡 例	
1. 図中にて太線 ( — ) で記すものは撤去、細線 ( --- ) で記すものは既設のままを示す。 また、配管配線については下記による。		○	照明器具 FL40W-2灯
配管配線共、撤去 (隠蔽配管は配線のみ撤去、配管は放棄とする)		○	照明器具 FL40W-1灯
配管配線共、既設のまま		⊕	埋込コンセント 2P15A
		×	プルボックス
配管の種類については下記とする。		4. 図中にて ( 再 ) を付する機器は一時取り外し後、再取付とする。	
打込配管		5. 既設配管貫通孔はすべてモルタル埋めとする。	
床インベイ配管		6. 図中のプルボックスサイズは下記とする。	
2. 特記なき配管配線は下記とする。		×	32 300×300×200 SS
2.0	IV2.0×2 (既設管内)	×	215 200×200×100 SUS-WP
2.6	IV1.6×2 (既設管内)		

- A
- 1) IV3.5'×2 (ビット内コロガシ)
  - 2) IV5.5'×2 (ビット内コロガシ)
  - 3) IV8'×2 (ビット内コロガシ)
- ※上記配線、切り離し後存置とする。

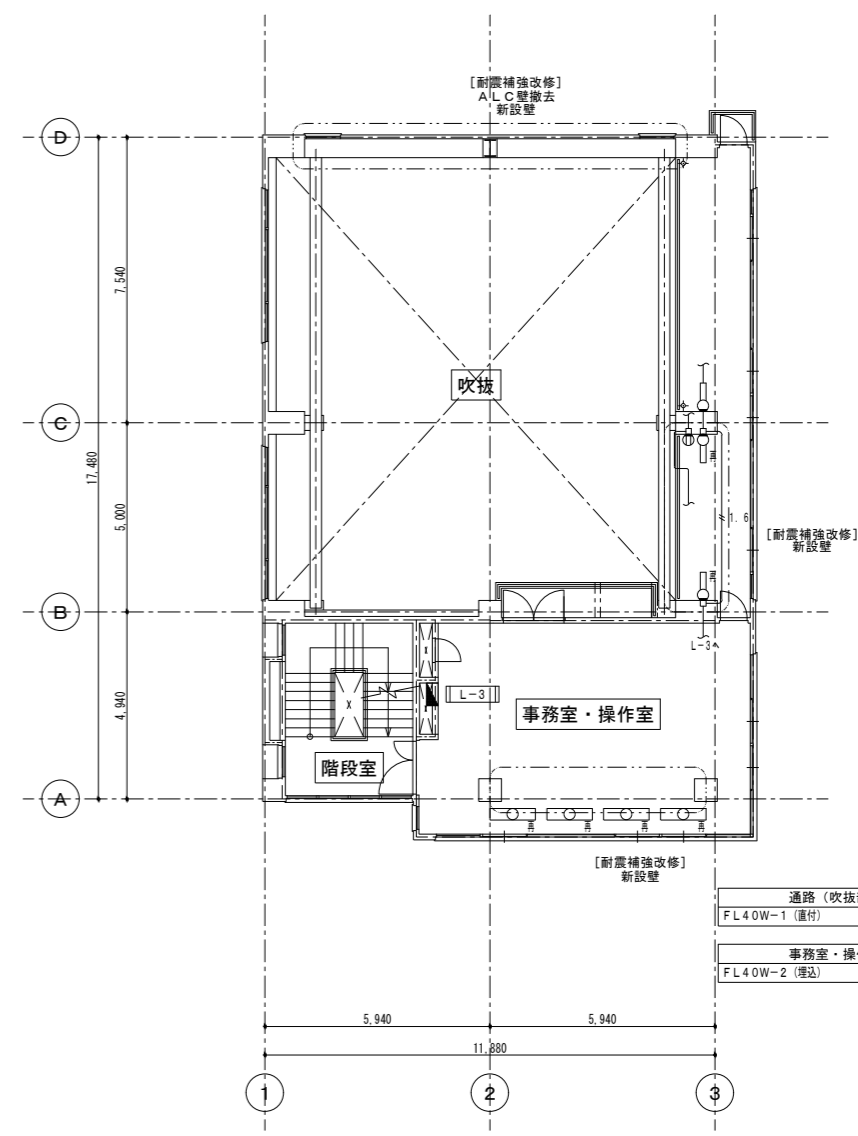
- B
- 1) IV3.5'×2 (既設管内)
  - 2) IV5.5'×2 (既設管内)
  - 3) IV8'×2 (既設管内)



1階平面図 1/100



2階平面図 1/100



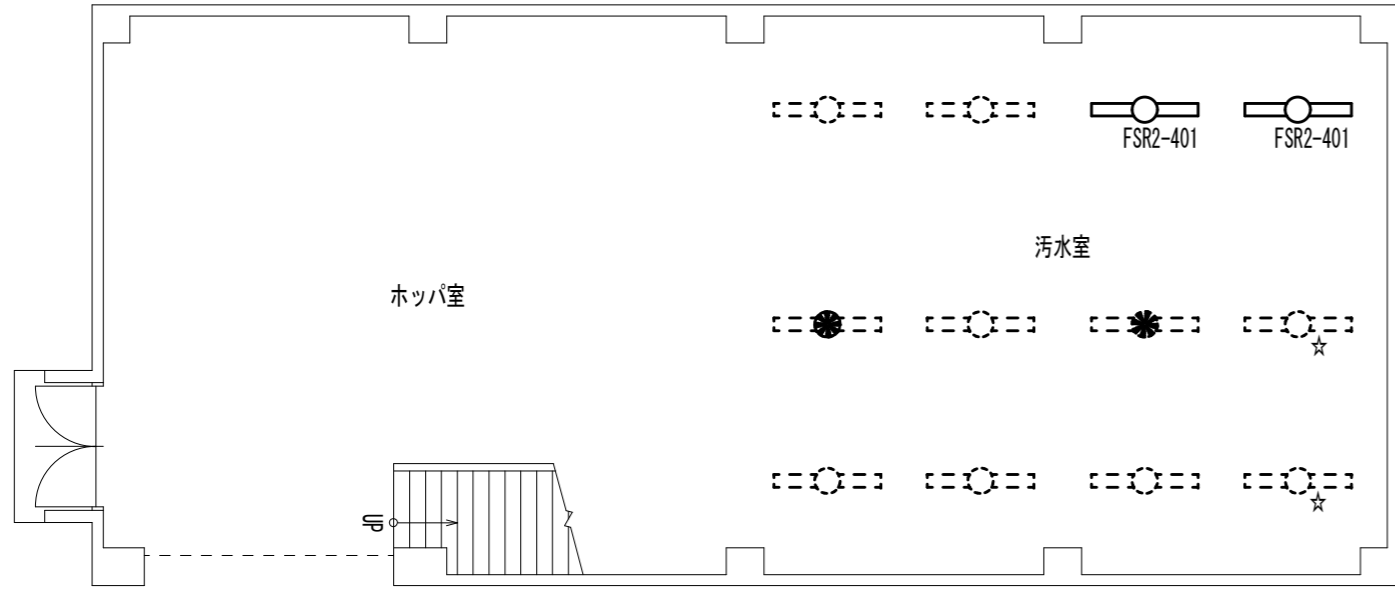
3階平面図 1/100

通路 (吹抜部)	FL40W-1 (直付)	× 2	再取付有
事務室・操作室	FL40W-2 (埋込)	× 4	再取付有

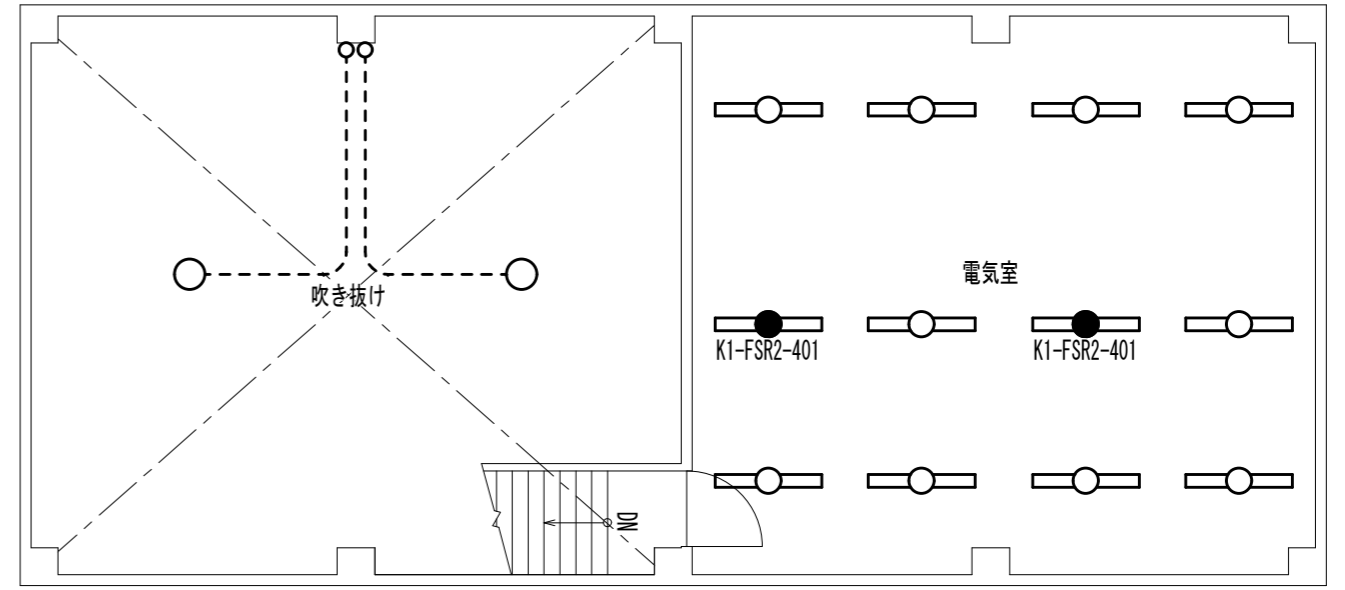
【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	電灯・弱電設備 1・2・3階平面図 (改修前)		
縮尺	S=1:100	設計年月日	平成元年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	AE-4/87

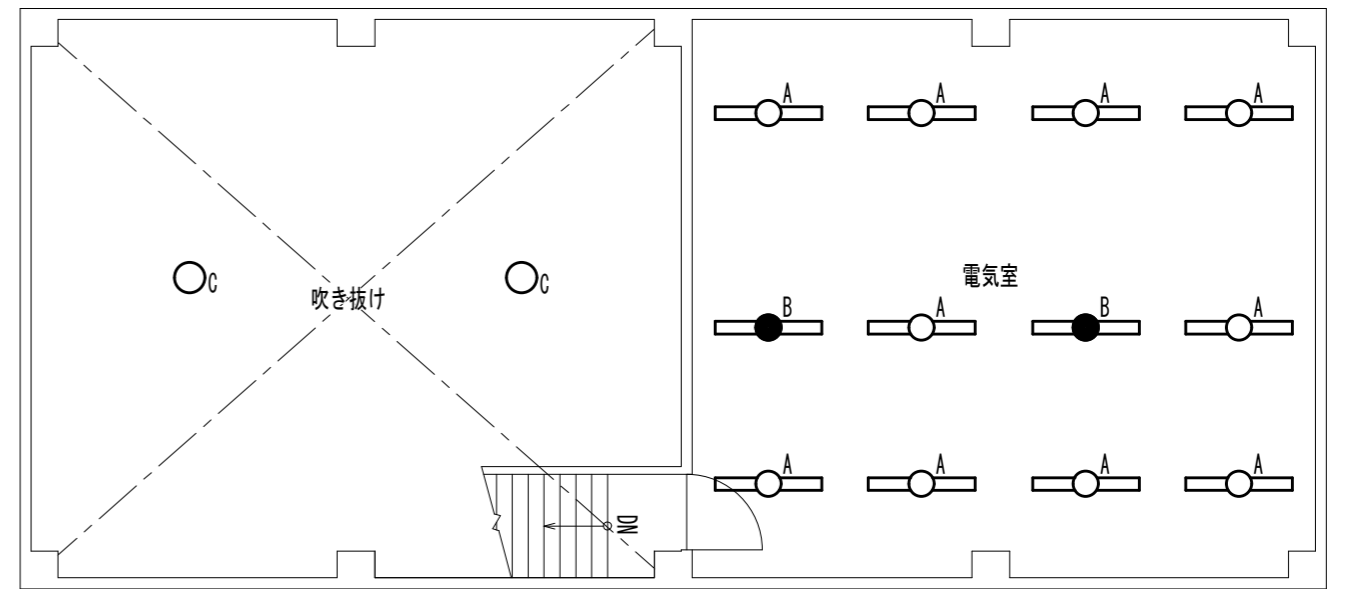
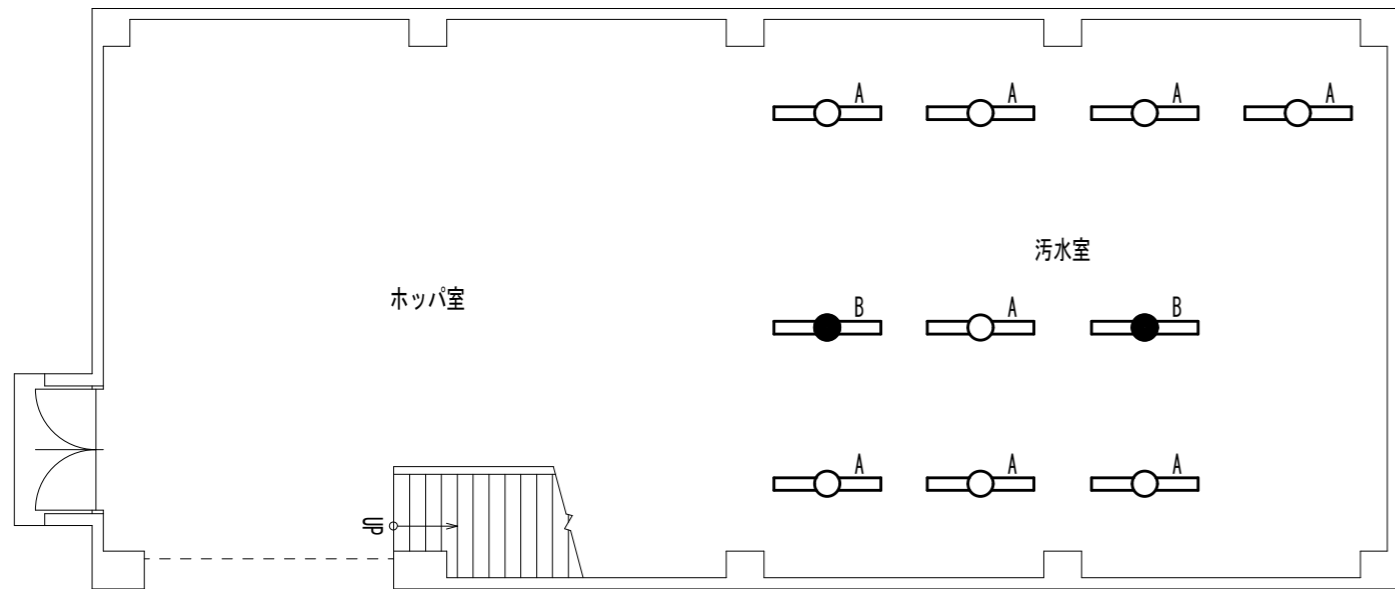




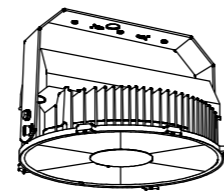


※点線は、吊下取付台のみ存在することを示す。  
 ※撤去：蛍光灯・吊下台(2灯)、吊下取付台(☆を付した箇所を除く)。



※撤去：水銀灯(500W 2台)及びワイヤ、ハンドル等一式  
 ※撤去：蛍光灯・吊下台(12灯) (特記無き器具は、FSR2-401)

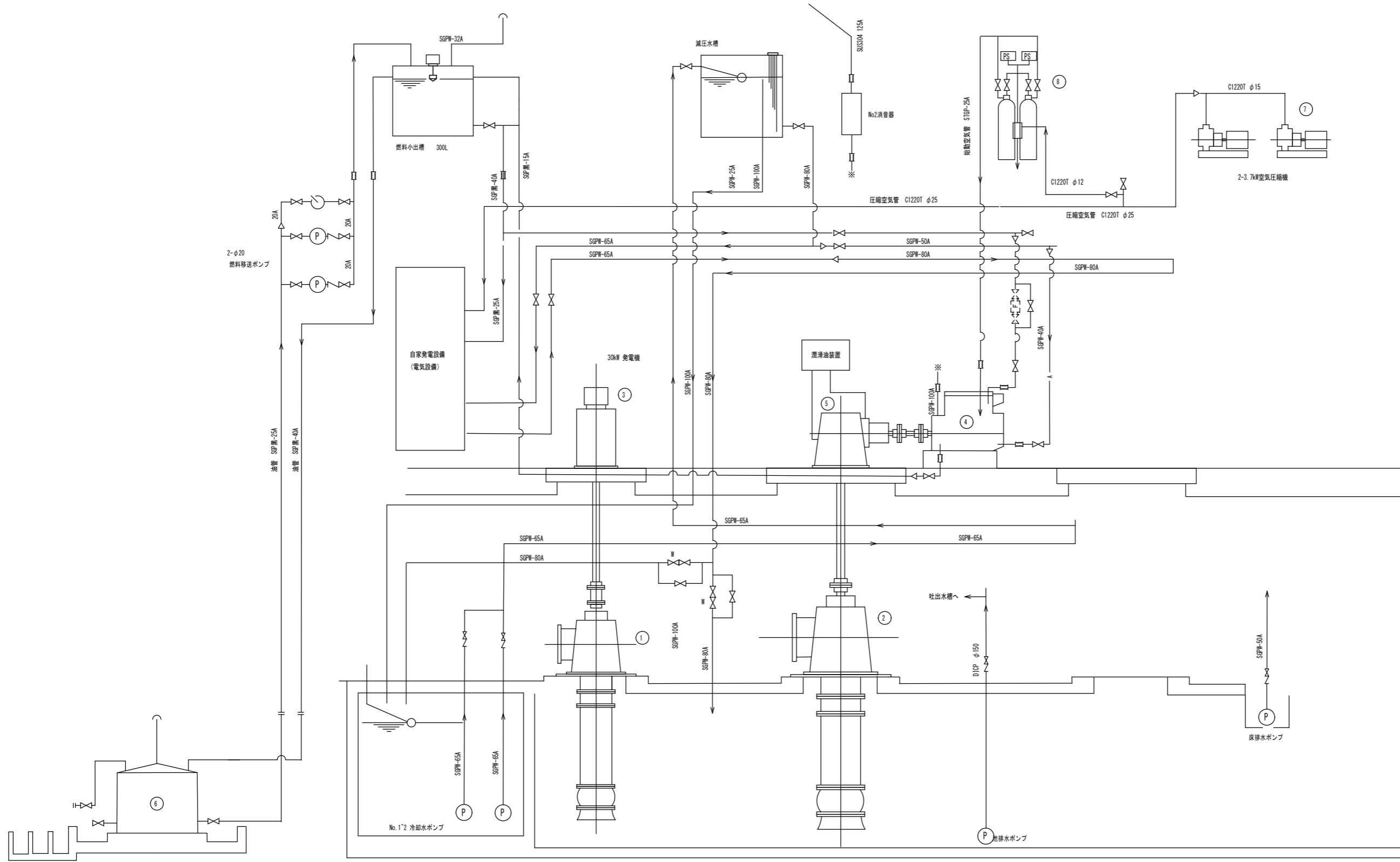


A	LED直付天井灯 (LSS9-3200LM)	18	B	LED直付天井灯 (非常用照明)	4	C	LED直付天井灯 (LSR1W-20000LM)	2
 <p>LED制御装置は、一般形 (LN)</p>		 <p>器具光束 約3100 lm          常時：ライトバー点灯          非常時：非常用本体組込LED点灯          光源寿命：40000時間 (85%照度)          点検スイッチ、充電モニタ付          LED制御装置は、一般形 (LN)          東芝ライテック LEKTJ407323D-LS9相当</p>		 <p>LED制御装置は、初期照度補正形 (LJ)</p>				

【汚水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	配線系統図 (更新・撤去)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	AE-5/87

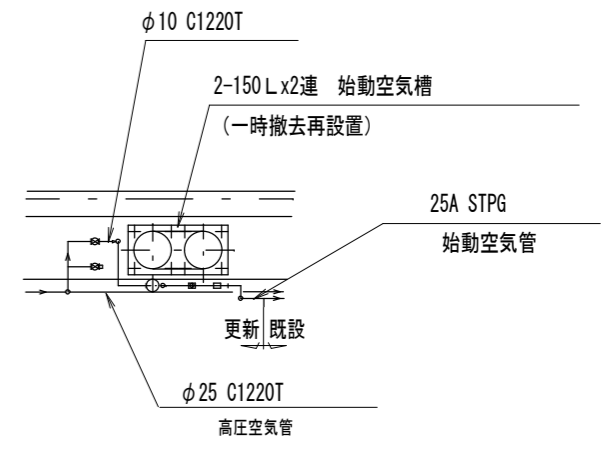
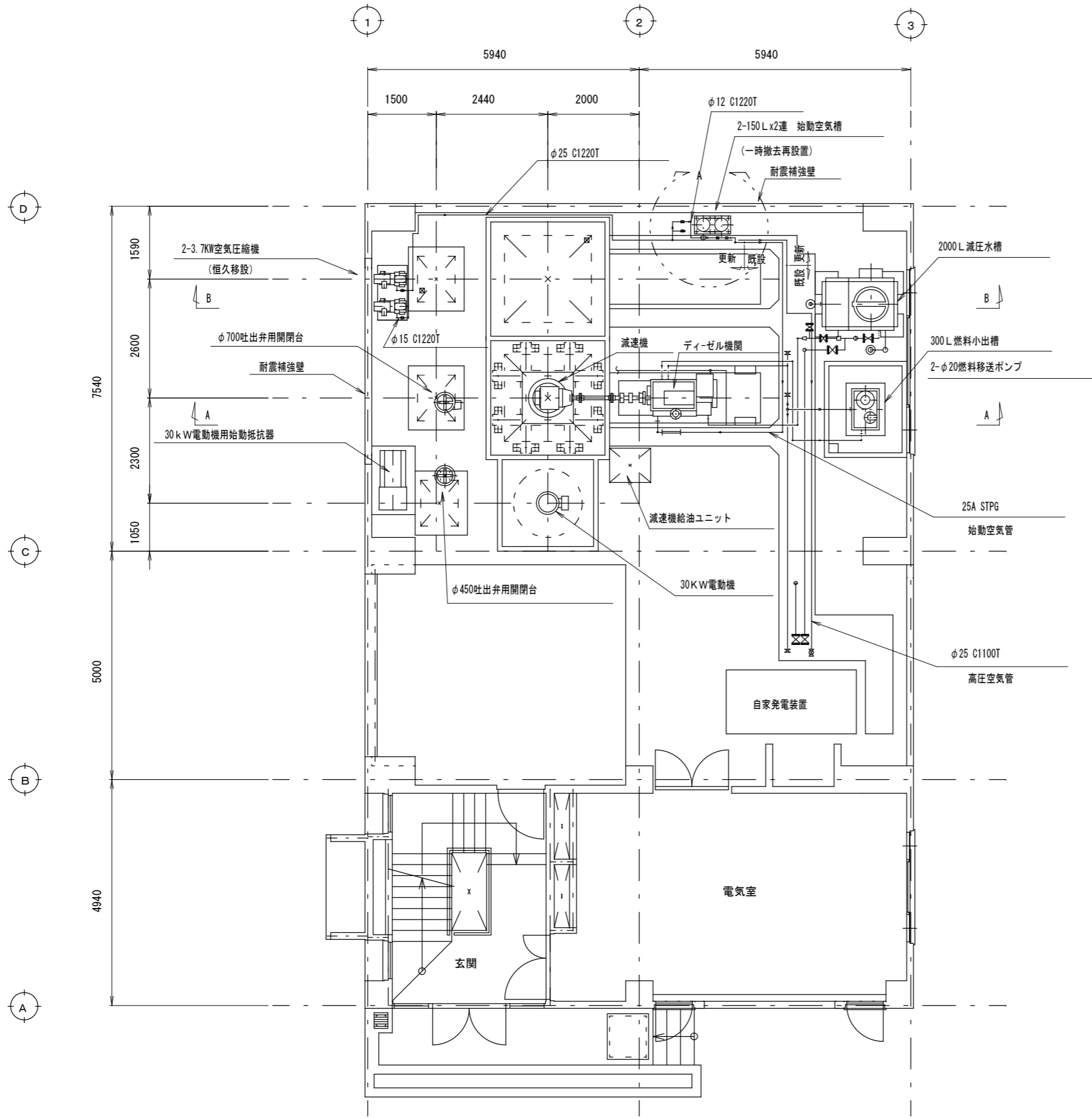
記号	名称
▽	仕切弁
■	玉形弁
∟	逆止弁
⊞	電動弁
⊞	ボールタップ
△	レギュサ
⊞	伸縮継手
⊞	ウィングポンプ
⊞	ベント
⊞	⊞



機器番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
機器名称	No.1 雨水ポンプ	No.2,3 雨水ポンプ	No.1 雨水ポンプ用電動機	No.2,3雨水ポンプ用ディーゼル機	No.2,3雨水ポンプ用減速機	重油タンク	No.1,2 空気圧縮機	No.2 雨水ポンプ用空気槽
型式	立軸斜流ポンプ	立軸斜流ポンプ	巻形電動機	ディーゼル機関	かさ歯車減速機	屋外タンク式	空冷式空気圧縮機	縦式定置型
仕様	φ450×21.6 m /分±0m	φ700×57.9m /分±0m <sup>2</sup>	-	79kW	-	1950L	18.3m /h <sup>2</sup> 30kg/cm <sup>2</sup>	150L×2連
電動機	-	-	30kW	-	-	-	3.7kW	-
数量	1	1	1	1	1	1	2	1
備考	既設	今回	全体				移設	一時撤去・再設置

【雨水ポンプ棟】

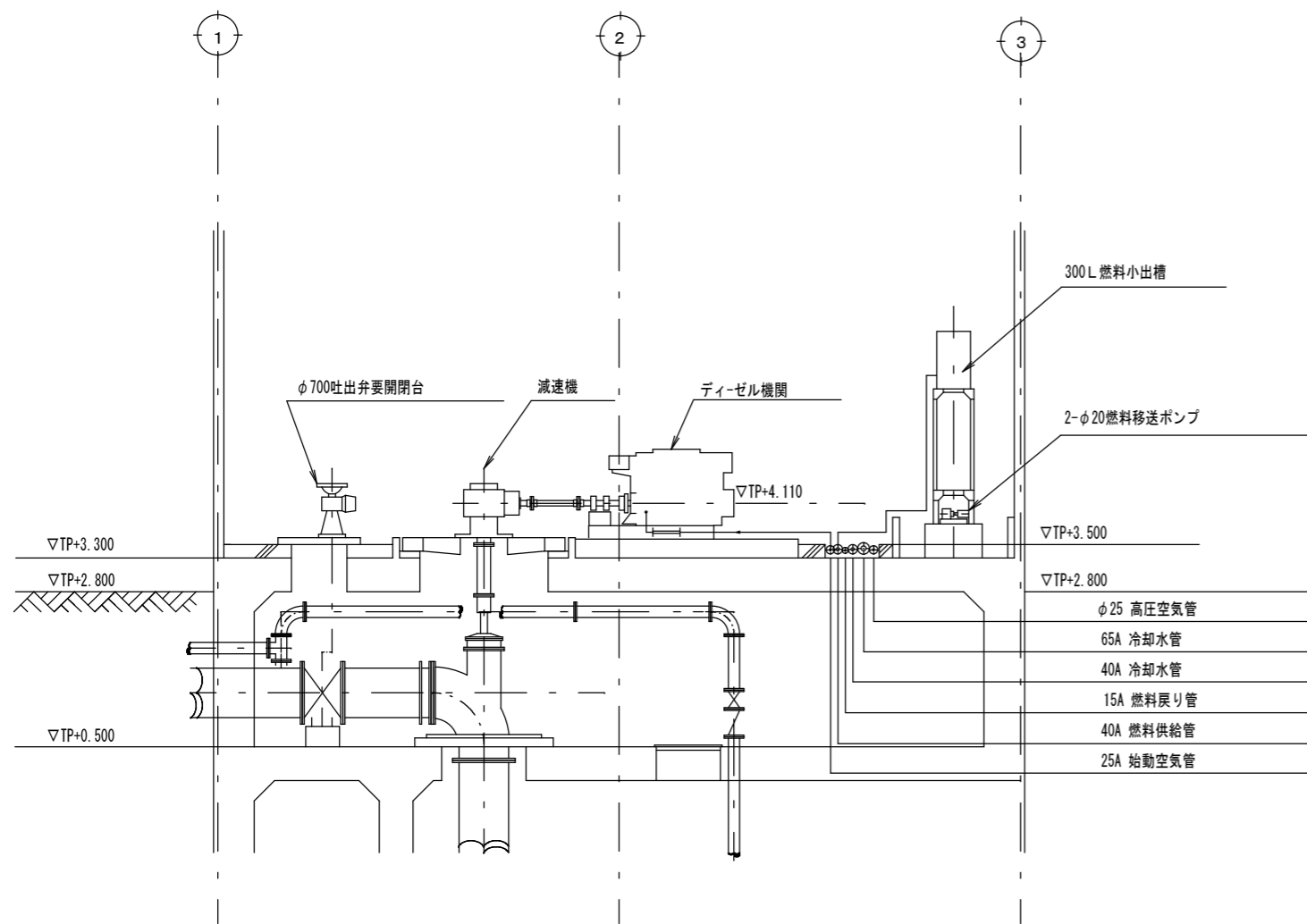
事業名	平成30年度公共下水道事業
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事
工事場所	四日市市尾上町 地内
名称	雨水ポンプ設備フロー図 (撤去・再設置)
縮尺	S-NONE 設計年月日 平成30年1月
工種	設計者 オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市 図面番号 PM-1/87



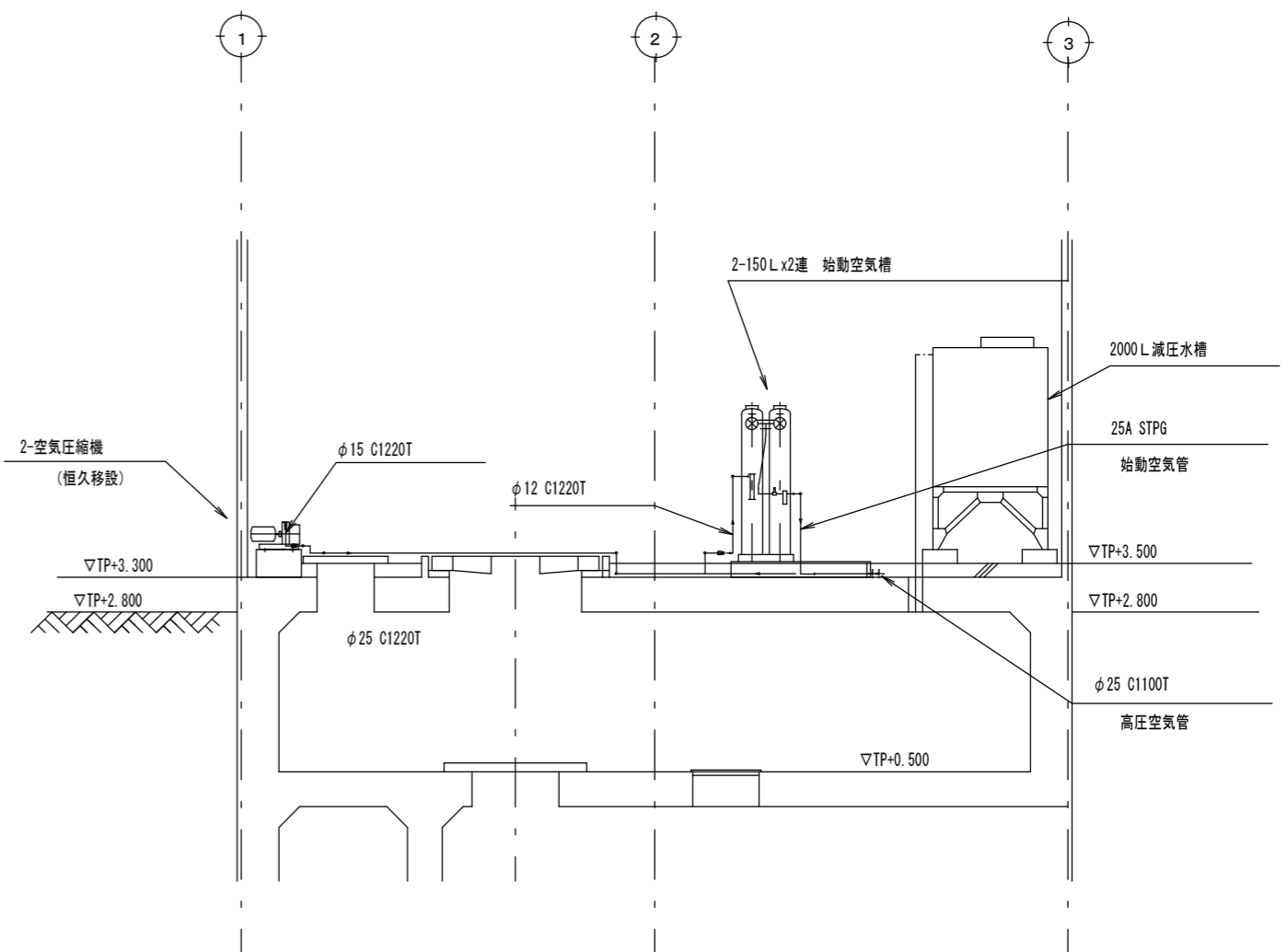
A部 詳細 SCALE : 1/30

1階 平面図

【雨水ポンプ機】			
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	1F平面図 (再設置)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	PM-2/87



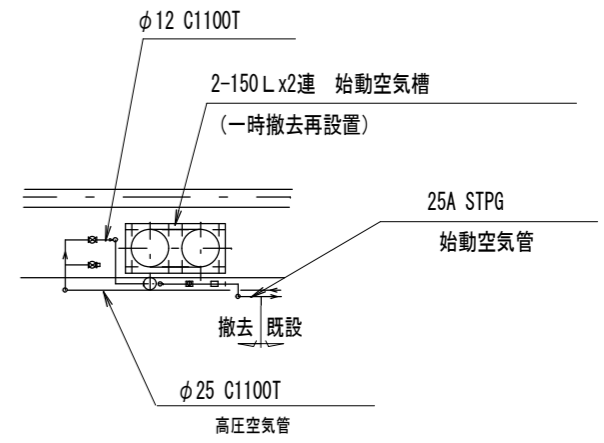
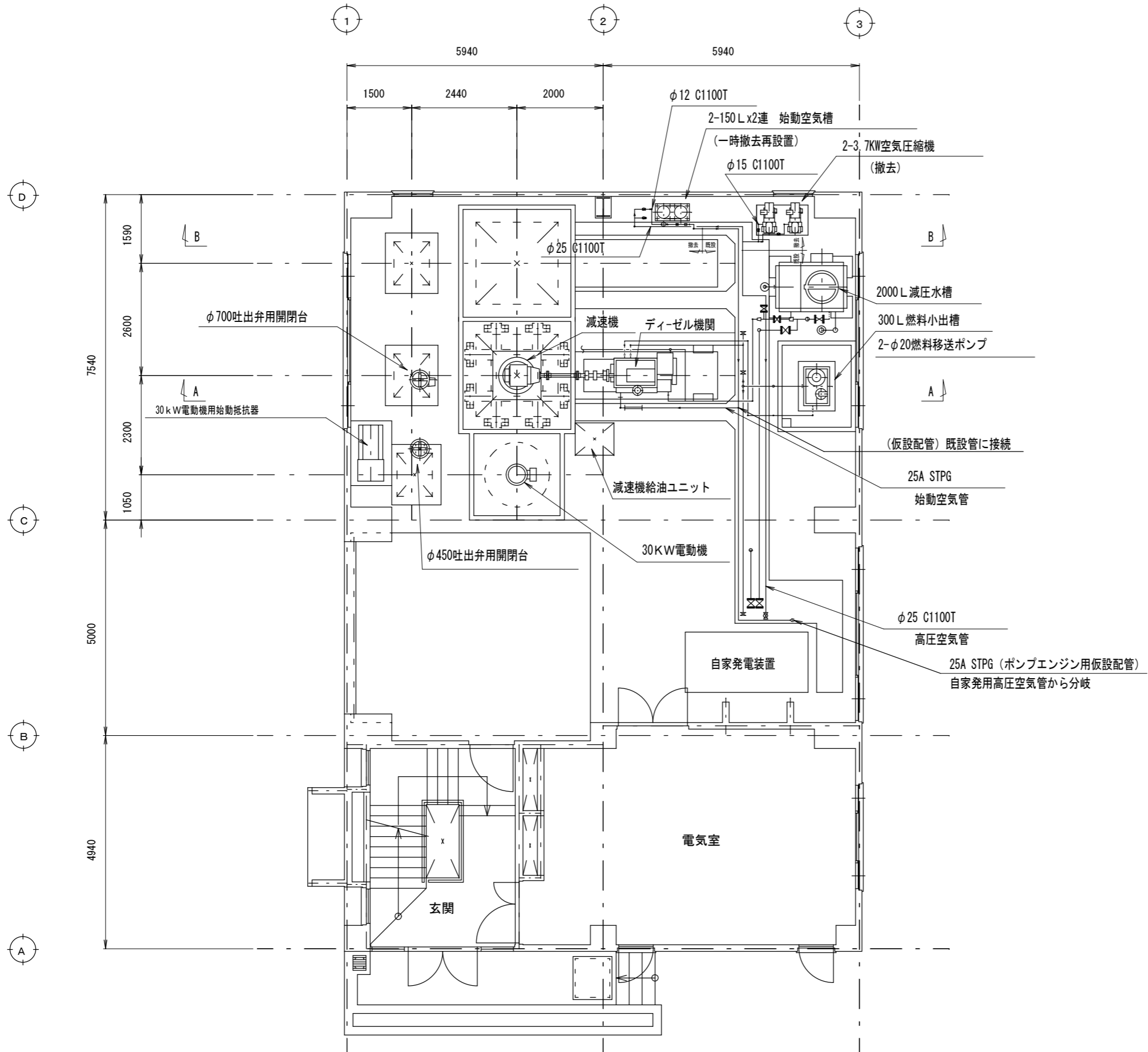
A-A 断面図



B-B 断面図

【雨水ポンプ機】

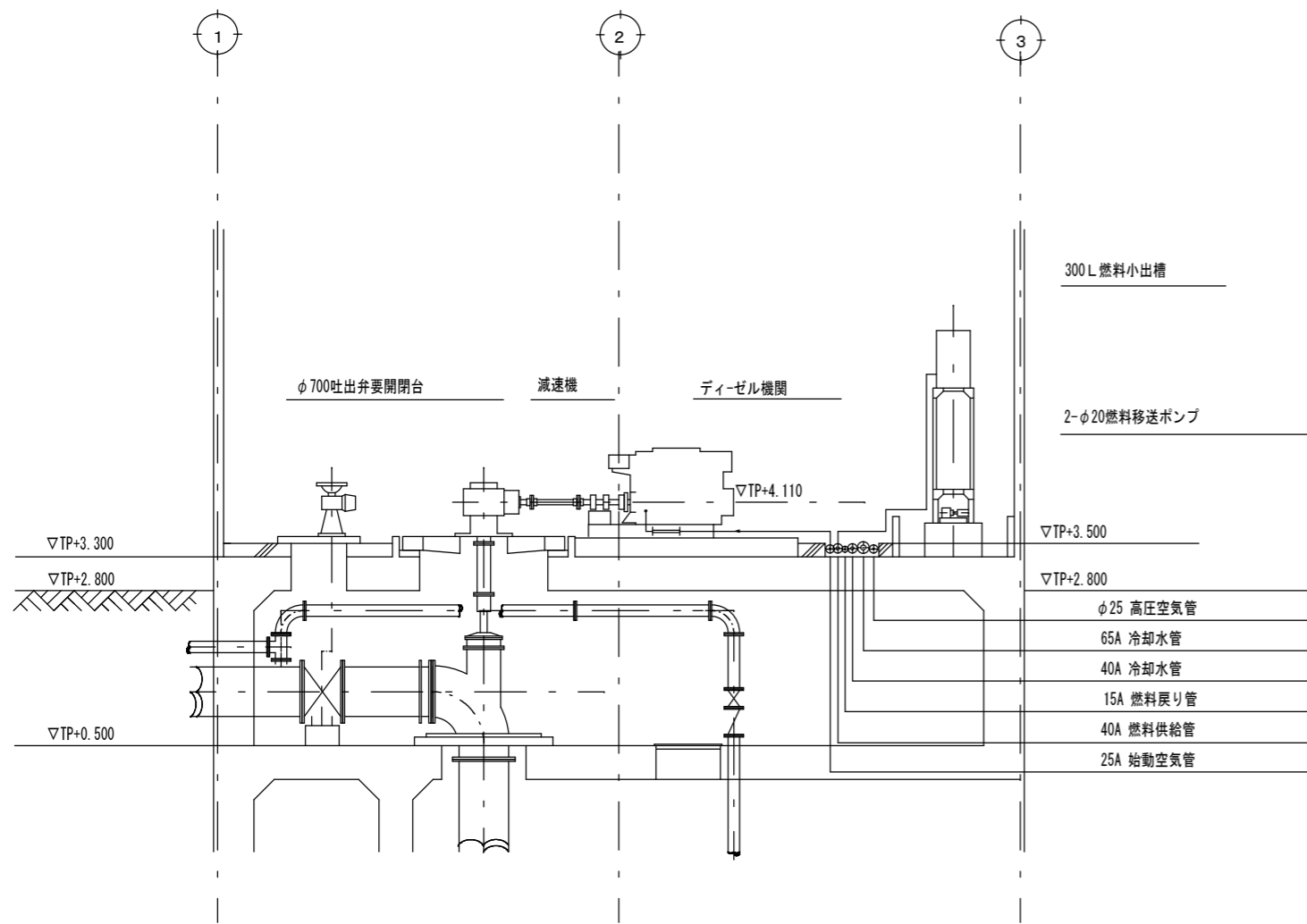
事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場前震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	1F断面図 (再設置)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	PM-3/87



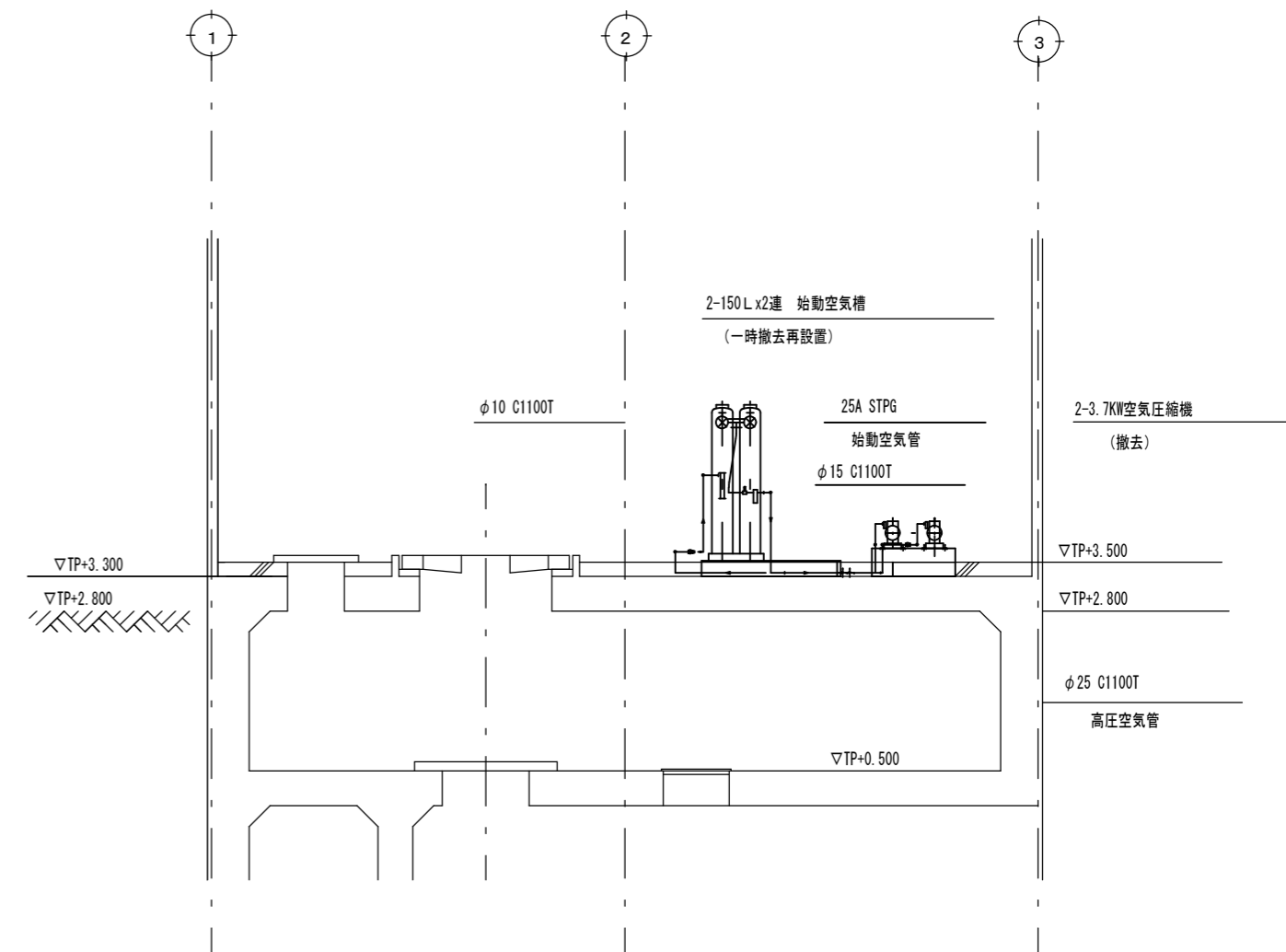
A部 詳細 SCALE : 1/30

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	1F平面図 (撤去)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	PM-4/87



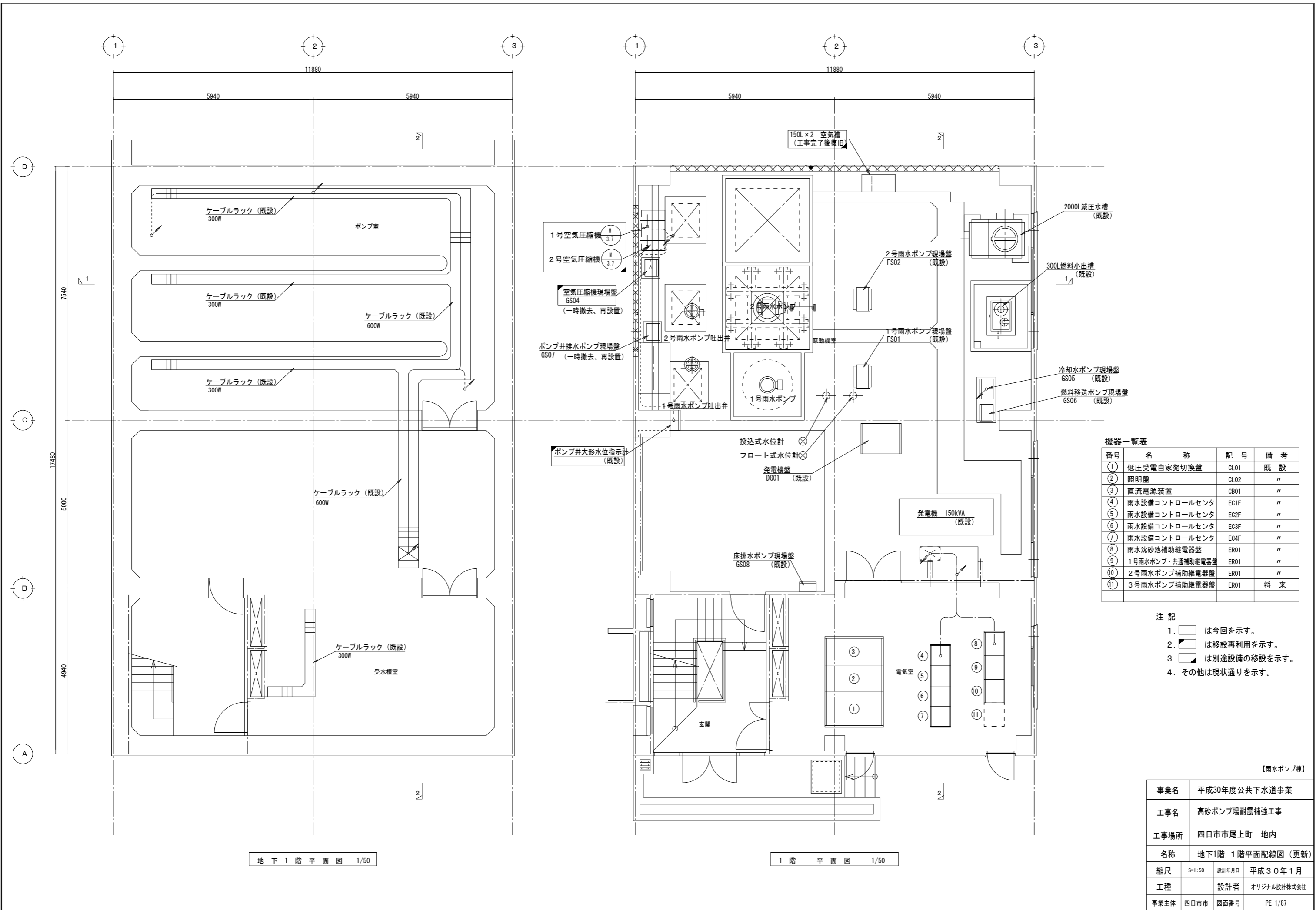
A-A 断面図



B-B 断面図

【雨水ポンプ機】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	1F平面図 (撤去)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	PM-5/87



機器一覧表

番号	名称	記号	備考
①	低圧受電自家発切換盤	CL01	既設
②	照明盤	CL02	〃
③	直流電源装置	CB01	〃
④	雨水設備コントロールセンタ	EC1F	〃
⑤	雨水設備コントロールセンタ	EC2F	〃
⑥	雨水設備コントロールセンタ	EC3F	〃
⑦	雨水設備コントロールセンタ	EC4F	〃
⑧	雨水沈砂池補助継電器盤	ER01	〃
⑨	1号雨水ポンプ・共通補助継電器盤	ER01	〃
⑩	2号雨水ポンプ補助継電器盤	ER01	〃
⑪	3号雨水ポンプ補助継電器盤	ER01	将来

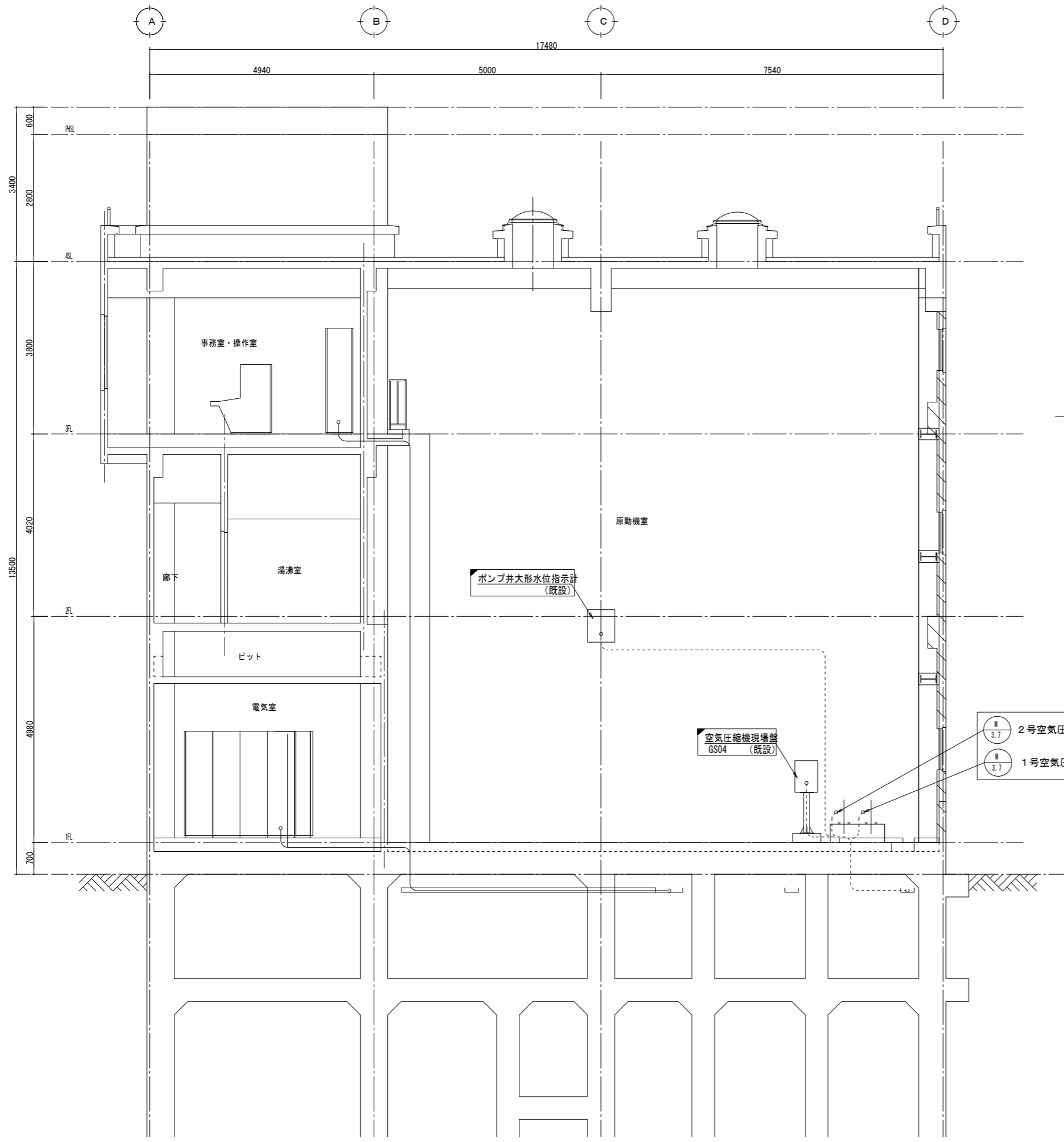
- 注記
- は今回を示す。
  - ◻ は移設再利用を示す。
  - ◻ は別途設備の移設を示す。
  - その他は現状通りを示す。

地下1階平面図 1/50

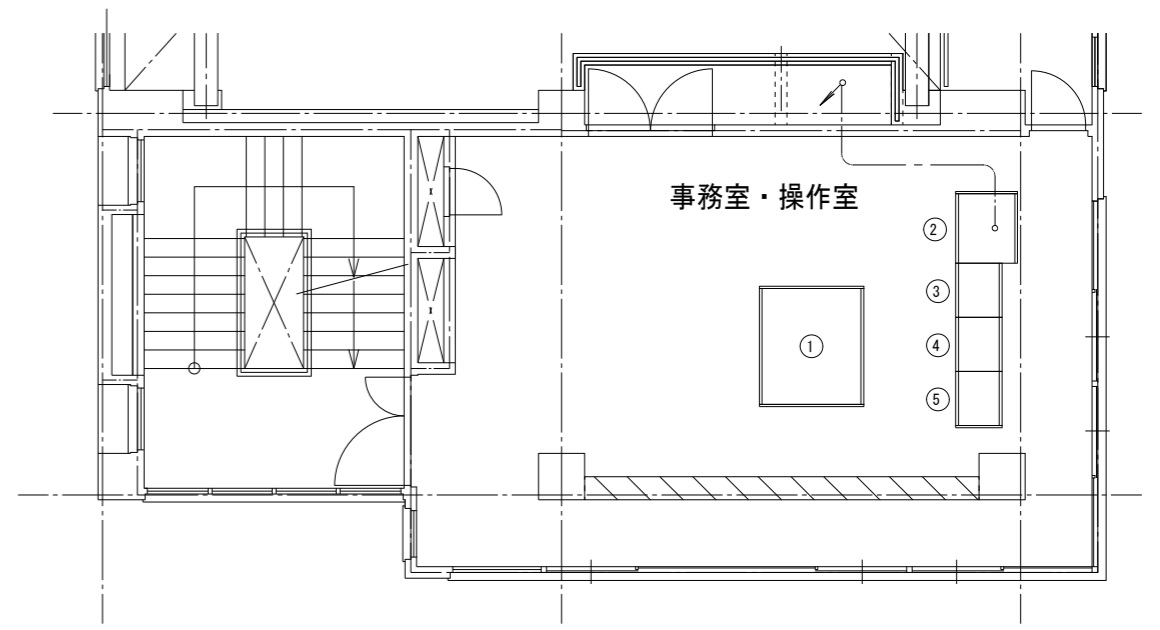
1階平面図 1/50

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	地下1階, 1階平面配線図 (更新)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	PE-1/87



雨水棟断面図 1/50



3階操作室平面図 1/50

機器一覧表

番号	名称	記号	備考
①	監視操作盤	HDD1	既設
②	中央計装盤	ME01	〃
③	中央継電器盤 (1)	HP01	〃
④	中央継電器盤 (2)	HP02	〃
⑤	遠方監視制御盤	NTM1	〃

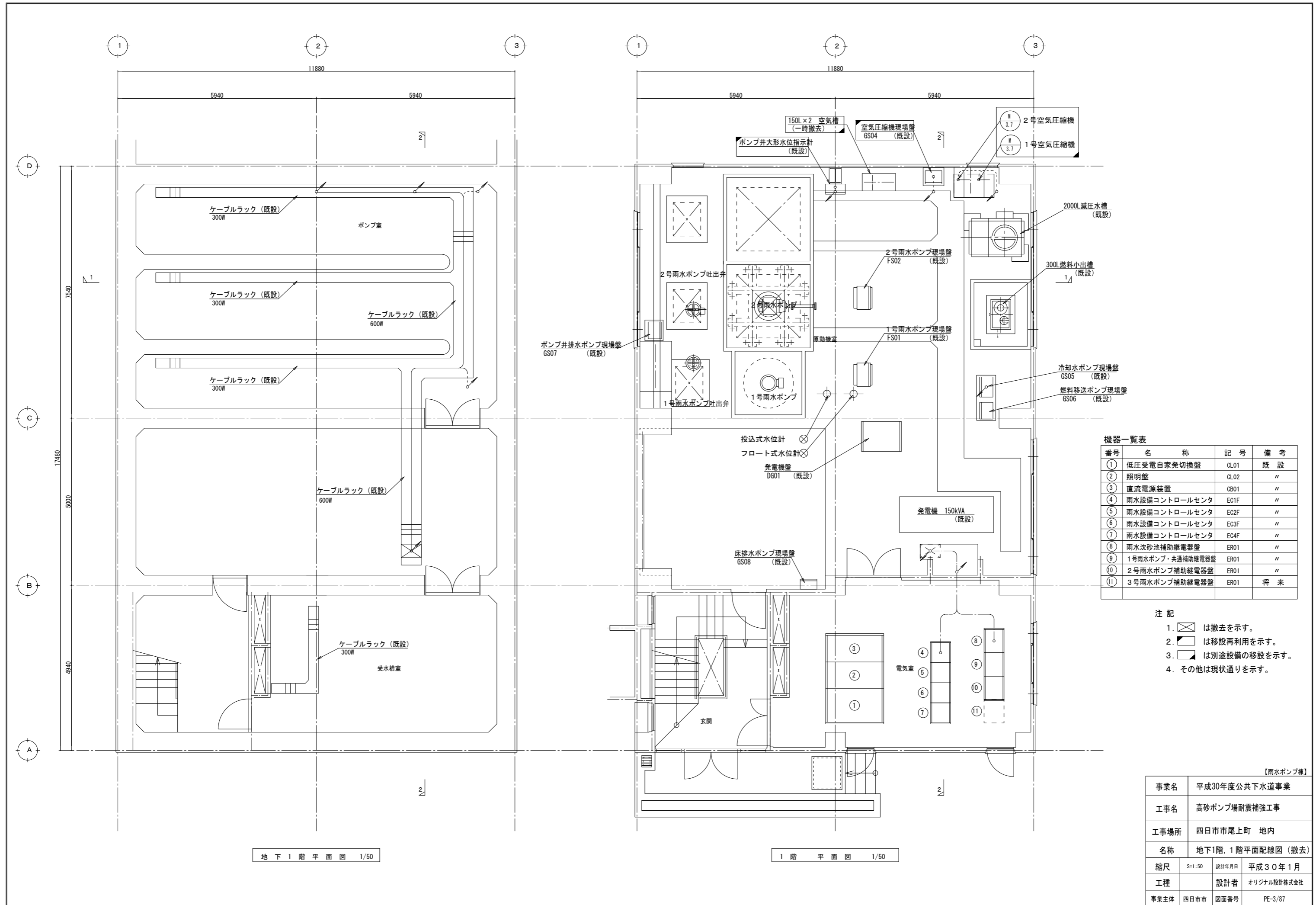
注記

- は今回を示す。
- ◻ は移設再利用を示す。
- ◻ は別途設備の移設を示す。
- その他は現状通りを示す。

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	3階操作室平面・断面配線図 (更新)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	PE-2/87





機器一覧表

番号	名称	記号	備考
①	低圧受電自家発切換盤	CL01	既設
②	照明盤	CL02	〃
③	直流電源装置	CB01	〃
④	雨水設備コントロールセンタ	EC1F	〃
⑤	雨水設備コントロールセンタ	EC2F	〃
⑥	雨水設備コントロールセンタ	EC3F	〃
⑦	雨水設備コントロールセンタ	EC4F	〃
⑧	雨水沈砂池補助継電器盤	ER01	〃
⑨	1号雨水ポンプ・共通補助継電器盤	ER01	〃
⑩	2号雨水ポンプ補助継電器盤	ER01	〃
⑪	3号雨水ポンプ補助継電器盤	ER01	将来

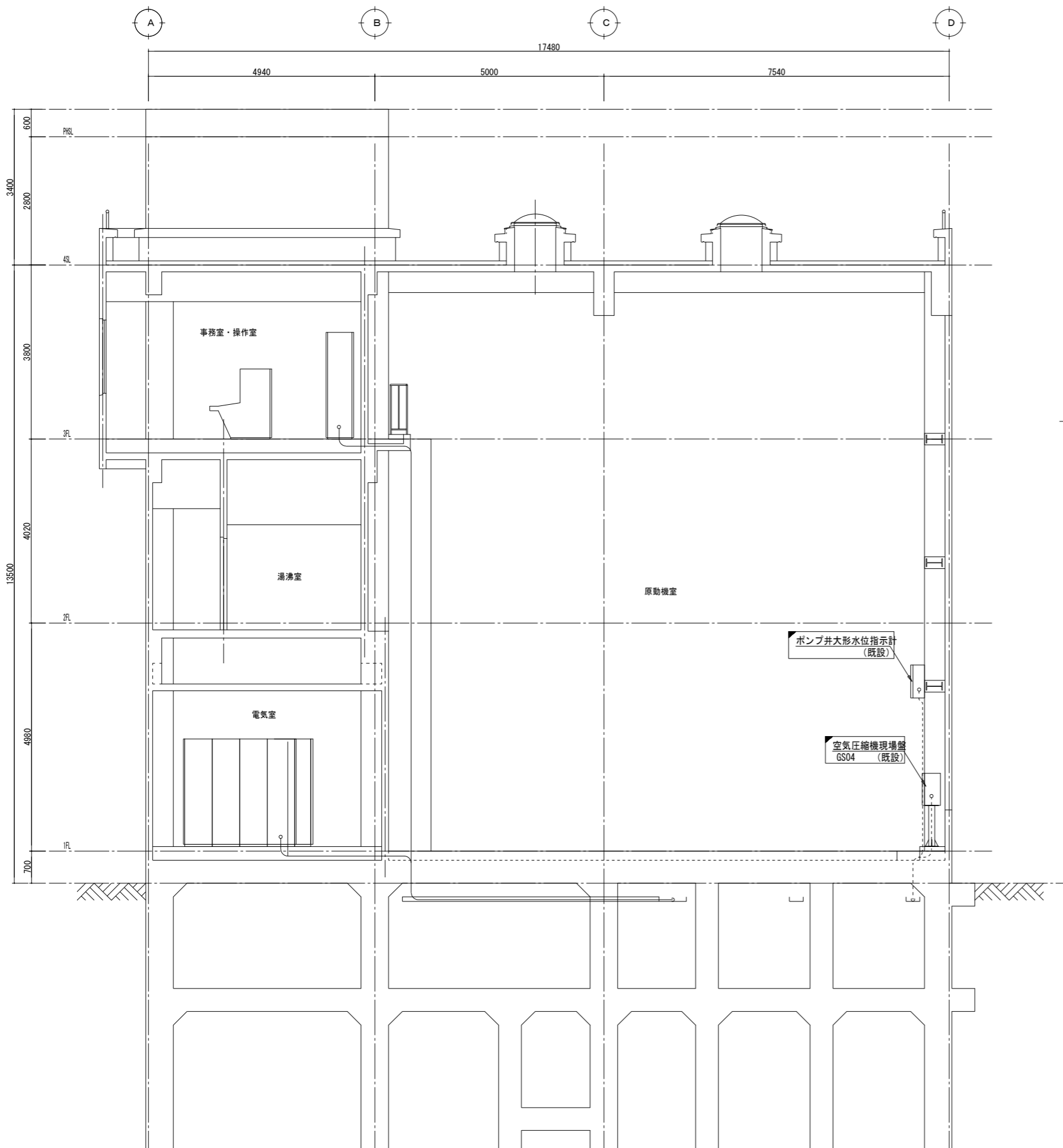
- 注記
1. は撤去を示す。
  2. は移設再利用を示す。
  3. は別途設備の移設を示す。
  4. その他は現状通りを示す。

地下1階平面図 1/50

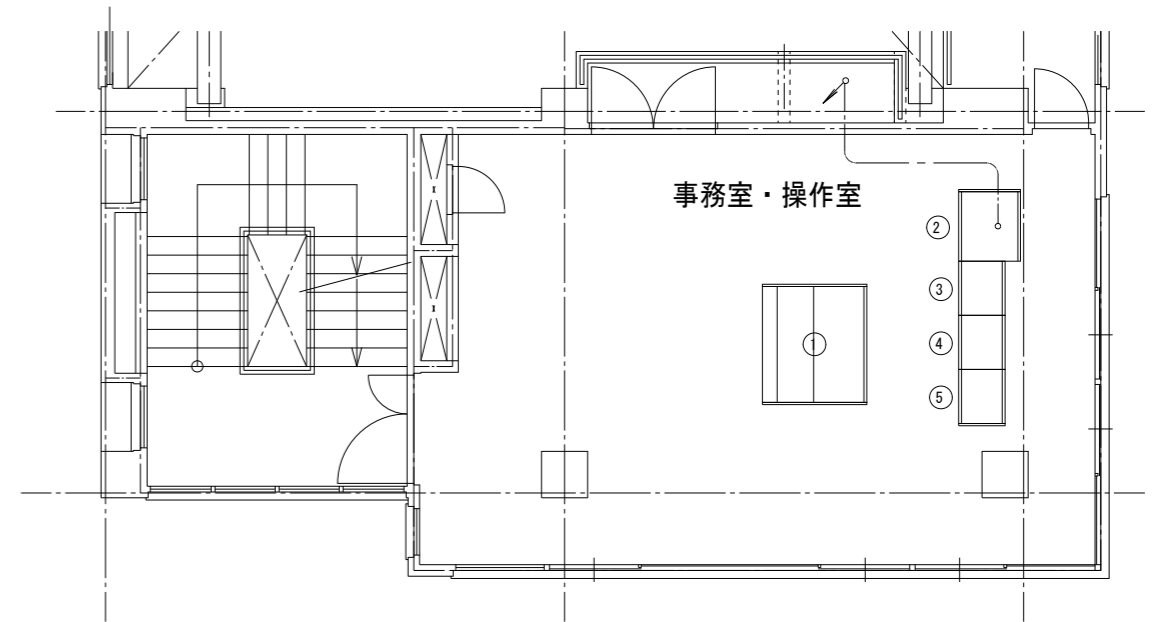
1階平面図 1/50

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	地下1階, 1階平面配線図 (撤去)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種	設計者	オリジナル設計株式会社	
事業主体	四日市市	図面番号	PE-3/87



雨水棟断面図 1/50



3階操作室平面図 1/50

機器一覧表

番号	名称	記号	備考
①	監視操作盤	HDO1	既設
②	中央計装盤	ME01	〃
③	中央継電器盤 (1)	HP01	〃
④	中央継電器盤 (2)	HP02	〃
⑤	遠方監視制御盤	NTM1	〃

注記

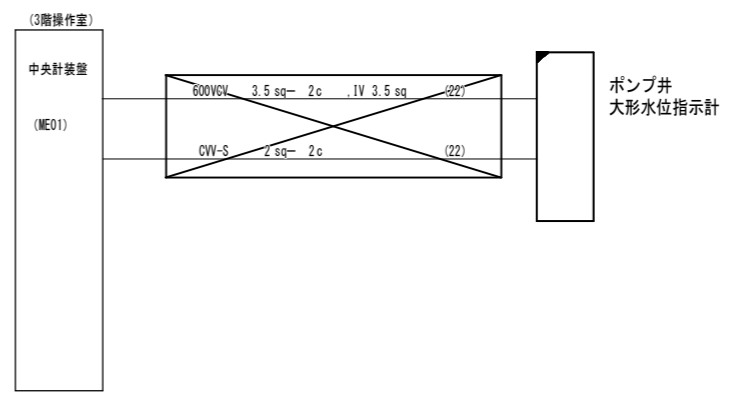
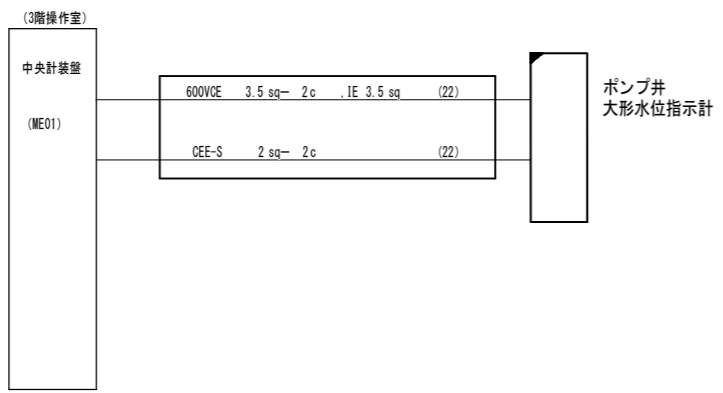
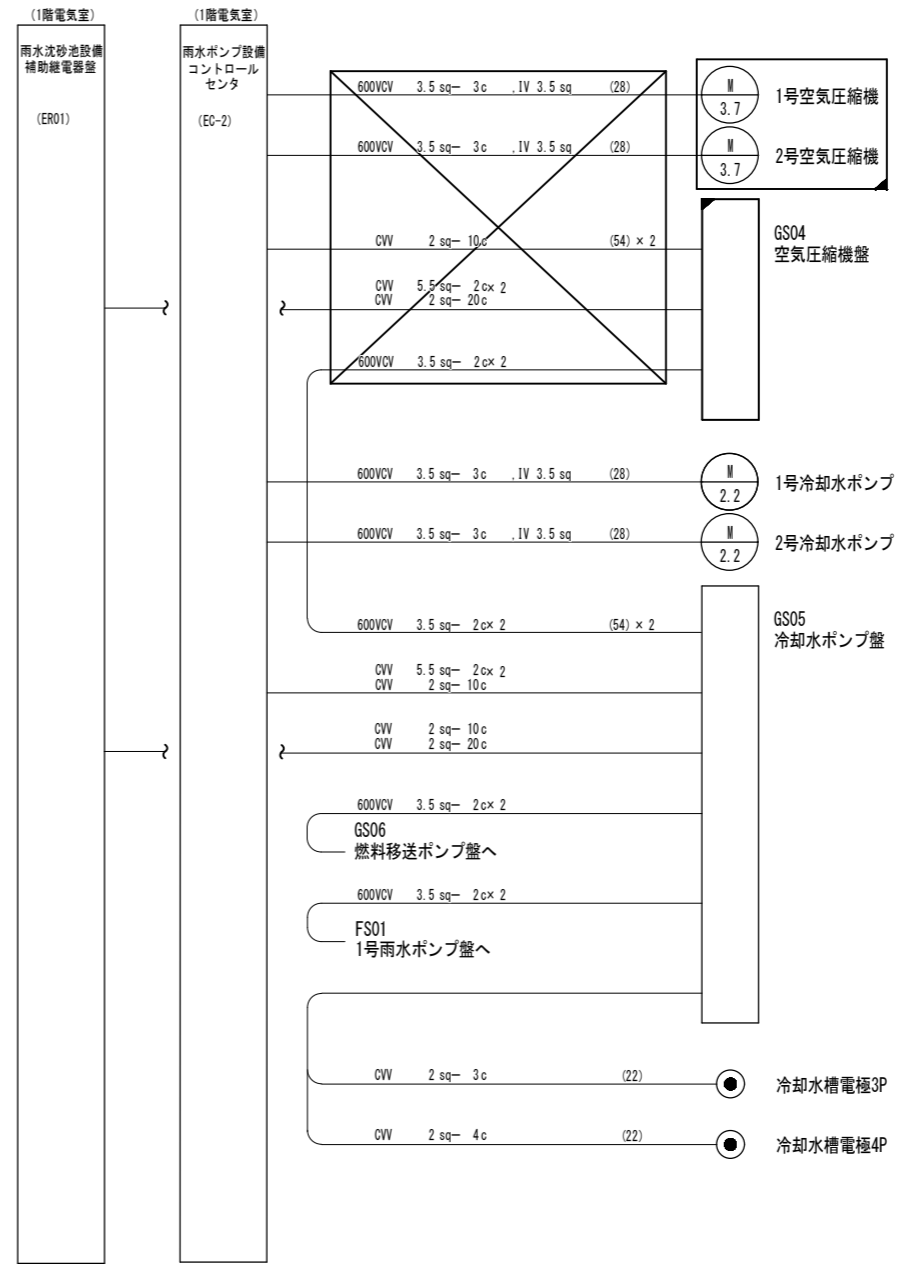
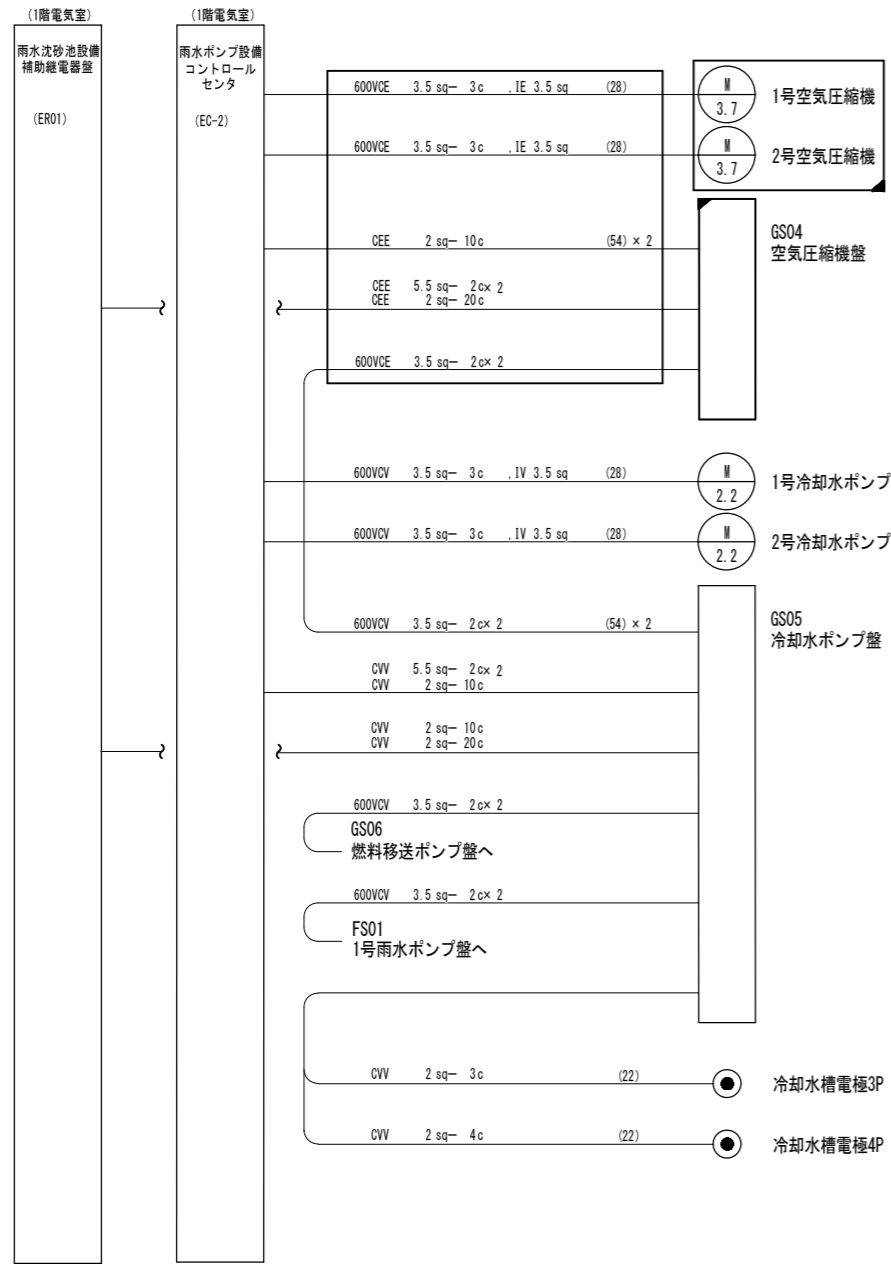
1. は撤去を示す。
2. は移設再利用を示す。
3. は別途設備の移設を示す。
4. その他は現状通りを示す。

(雨水ポンプ棟)

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	3階操作室平面・断面配線図 (撤去)		
縮尺	S=1:50	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	PE-4/87

更 新

撤 去



- 注 記
1. □ は今回を示す。
  2. ⊗ は撤去を示す。
  3. ◻ は移設再利用を示す。
  4. ◻ は別途設備の移設を示す。
  5. その他は現状通りを示す。
  6. 特記なき電線管は、厚鋼電線管を示す。

【雨水ポンプ棟】

事業名	平成30年度公共下水道事業		
工事名	高砂ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市尾上町 地内		
名称	配線系統図 (更新・撤去)		
縮尺	S-NON	設計年月日	平成30年1月
工種		設計者	オリジナル設計株式会社
事業主体	四日市市	図面番号	PE-5/87